取扱説明書

ビクターBS・110度CSデジタル
ハイビジョン液晶テレビ

⚠ご使用の前に**安全上のご注意**
（8〜12ページ）を必ずお読みください。

型名 **LT-26LC4**
LT-26LC41

エ グ ゼ
EXE

このたびはビクター製品をお買い上げいただき、ありがとうございます

● ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そしてお読みになったあとは、後日役に立つこともありますので、保証書と一緒に大切に保管してください。

LCT1534-001A

もくじ

各章の詳しいもくじは章扉をご覧ください。

はじめに

準備する

ふだんの使い方

衛星デジタル放送を楽しむ

衛星デジタル放送を予約する

いろいろな機能で楽しむ

SD メモリーカードで楽しむ

他の機器をつなぐ

こまったときは

主な特長

このビクター液晶ディスプレイシステムには、当社が開発した独自の高画質技術を搭載しています。

DET(Digital Emotional Technology)とは
さまざまな映像入力ソースを、高精細な映像につくり換えて再現するビクター独自のデジタル技術です。新開発デジタル方式のクロマデコーダーを採用し、地上アナログ信号を、より高品位なデジタル信号で DET コア部へとダイレクト伝送する事で伝送ロスを大幅に低減し、ノイズや色にじみを抑えた、高精細映像を実現しています。

本機は衛星デジタル放送（BS デジタル放送と 110 度 CS デジタル放送）用の受信機を内蔵したハイビジョン液晶テレビです。BS･110 度 CS デジタル対応アンテナと電話回線を接続し、付属の B-CAS カードを本機に挿入して視聴します。
また本機は、**衛星デジタル放送の電子番組表（EPG）**に対応しており、簡単に番組を選んだり、予約ができます。

本機には次のような便利な機能があります。
それぞれのページをご覧になってお楽しみください。

複数の番組やビデオなどを同時に見る
マルチ画面機能
☞131 ～ 133 ページ

住所やレシピのメモをとりたい
メモ画面機能
☞132 ページ

横長画面を生かした 6 種類の画面サイズ
画面サイズ切換
☞128 ページ

映画ソフトをフィルム本来の質感で忠実に再現
ナチュラルシネマ機能
☞134 ページ

目にやさしく、節電もできる
デジタル E.E.
☞137 ページ

テレビの消し忘れを防ぐ
オフタイマー
☞138 ページ

衛星デジタル放送の番組を簡単に選んだり、予約できる
電子番組表（EPG）機能
☞62 ページ

衛星デジタル放送のお気に入りチャンネルを登録して、簡単に選べる
ホームメニュー
☞68 ページ

衛星デジタル放送のいろいろな場面で便利なメニューを表示する
便利機能ボタン

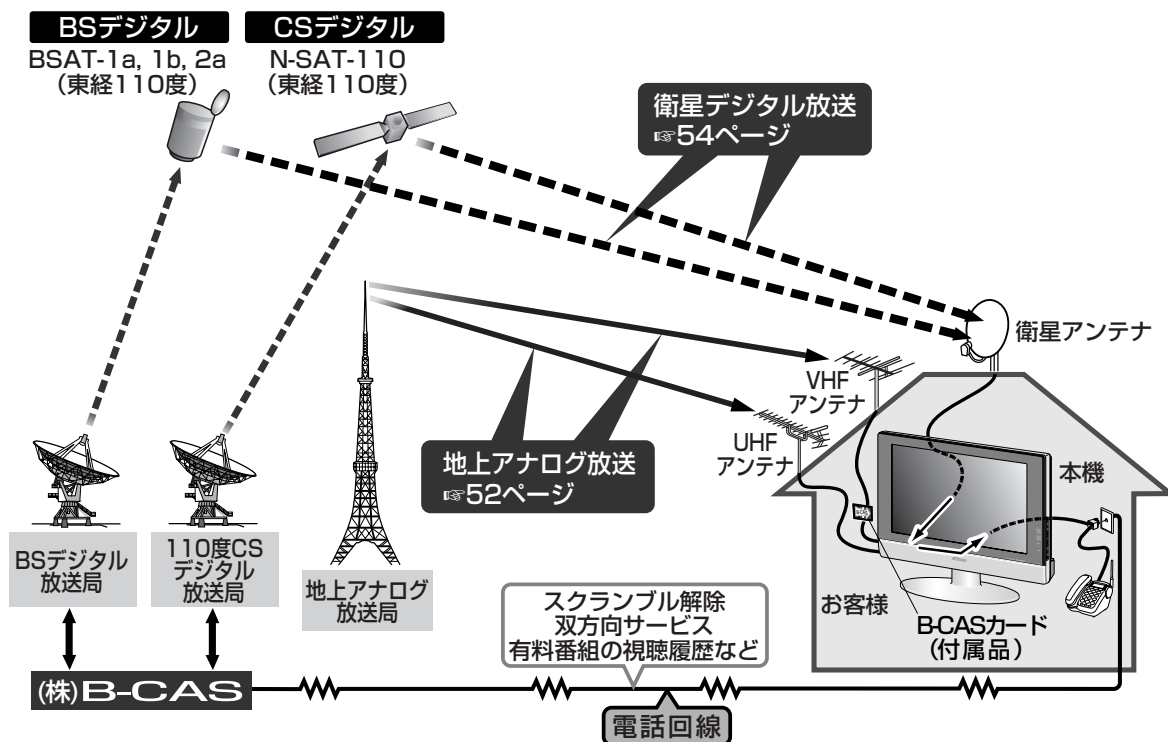
衛星デジタル放送を 1 本のコードでデジタルのまま D-VHS に記録できる
i.LINK（アイリンク） 入出力端子 2 系統装備
☞160、162 ページ

DVD や D-VHS ビデオデッキをよりきれいに見ることができる
D4 端子 1 系統
コンポーネント入力端子 1 系統装備
☞160、167 ページ

SD メモリーカードに記録された画像や音楽を楽しむことができる
SD メモリーカード再生機能
☞141 ページ

この取扱説明書について
- 主にリモコンのボタンを使って説明しています。
- イラストや画面表示は説明上、強調や省略をされていることがありますので、実際とは多少異なります。
- イラストは主にLT-26LC4のものを使用しています。外観などはLT-26LC41とは多少異なります。

本機で受信できる放送

本機は、地上アナログ放送（従来のテレビ放送）と、衛星デジタル放送（BSデジタル放送および110度CSデジタル放送）が受信できます。

衛星デジタル放送について

BSデジタル放送とは

地上36000kmにある放送衛星（Broadcast Satellite）を使って、2000年12月1日より放送が開始されました。テレビチャンネルを中心にデジタルのラジオ放送やデータ放送もあり、一部の有料放送を除き無料で楽しめます。映像はデジタルハイビジョンが中心のワイドで高画質／高音質の放送です。
電話線を接続すると、双方向データ放送でアンケートやクイズ等に参加するなど新しい時代の放送を楽しむ事ができます。

110度CSデジタル放送とは

BSデジタル放送の衛星と同じ軌道上の通信衛星（Communicatiion Satellite）を使って、2002年3月に放送が開始されました。110度CSデジタル放送は、「プラットワン」と「スカイパーフェクTV!2」の2つのグループがあります。放送グループごとに見たいチャンネルを選んで契約し、視聴します。専門チャンネルを中心にした、多チャンネル放送です。（視聴契約については添付のパンフレットをご覧ください。）

CS1：プラットワン

プラットワン・カスタマーセンター
0570-001-012（ナビダイヤル）
（携帯電話・PHSの場合は045-227-9650）
受付時間 10:00～20:00（年中無休）

CS2：スカイパーフェクTV！2

スカイパーフェクTV!2・カスタマーセンター
0570-088-222（ナビダイヤル）
または045-339-0002
受付時間 10:00～20:00（年中無休）

ご注意

- 本機では、東経124度に打ち上げられた通信衛星JCSAT-4を利用して放送されている「スカイパーフェクTV!」はご覧いただけません。
- 本機は、110度CSデジタル放送を利用した蓄積型双方向サービスには対応していません。

知っておいていただきたいこと

- ＊印のついている用語については「用語解説」☞181、182ページをご覧ください。

B-CAS(ビーキャス)カード*登録をしてください

B-CASカードはカードに組み込まれたICを利用し、登録された受信者に対して、いろいろな放送サービスの利用を可能にします。
公共放送・有料放送を視聴するときや、双方向番組に参加するときに必要です。
B-CASカードを本機に挿入し、はがきまたはインターネットによる登録をしてください（登録は無料です）。
B-CASカードの台紙の一部が登録はがきになっています。また、台紙に書かれた説明も良くお読みください。（台紙に添付されたバーコードのシールは、有料放送の申し込みに利用します。紛失しないようにしてください。）

ご注意
- B-CASカードには、視聴情報などが記憶されますので、本機に入れたままご使用ください（☞27ページ）。
- B-CASカードを使用しなくても本機をご使用いただけますが、公共放送の視聴時にメッセージがでたり、有料放送の視聴や一部のデータ放送の利用ができません。
- B-CASカードは、株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズから貸与されたものです。
  破損・紛失などにより再発行を依頼されるときは費用がかかります。B-CASカード（またはB-CASカードの台紙）に記載されたカスタマーセンターまでご連絡ください。

NHKや有料放送は視聴の手続きが必要です

NHK、WOWOW、スターチャンネル、プラットワン、スカイパーフェクTV!2をご覧になるには視聴の申し込み手続きが必要です。添付のパンフレットをお読みのうえ、B-CASカードの登録とあわせて、手続きを行ってください。

電源を入れた時の映像について

- 本機は、電源を入れてから映像が映るまで数秒の時間がかかります。
  電源ボタンを繰り返し押さないようにしてください。
  電源が入っているかどうかは、本体の電源ランプの点灯をご確認ください。（☞16ページ）
- 衛星デジタル放送（BSデジタル放送*と110度CSデジタル放送*）を視聴中に電源を「切/入」すると映像が乱れますが、故障ではありません。電源を切って10秒程度たってから、電源を入れるようにしてください。

データ放送について

衛星デジタル放送では、さまざまなデータ放送が送られてきます。データ放送の種類によっては表示されない場合や表示が出るまでに時間がかかる場合がありますが故障ではありません。
番組によっては、選局と同時に「データを取得中です」のメッセージが表示されたり、データ放送画面に自動的に切り換わる場合があります。

自動表示メッセージ機能のご案内

本機は衛星デジタル放送の自動表示メッセージ機能に対応しています。この機能は放送局からの視聴者への案内などに使用されます。
自動表示メッセージを消すには、リモコンの「戻る」ボタンを押してください。（自動表示メッセージのなかには、リモコンの「戻る」ボタンを押しても消せない場合があります。あらかじめご了承ください。）

視聴予約や録画予約を確実に行うために

- 電源が「切」のとき、視聴予約は実行されません。視聴予約した番組をご覧になるには、あらかじめ電源を「入」にしておいてください。（☞98ページ）
- 電源プラグが抜かれていると録画予約は実行されません。電源を切るときは、リモコンまたは本体の電源ボタンを押して切ってください。（☞101、105ページ）

天候不良によって画質や音質が悪くなる場合があります

悪天候により衛星からの電波が弱くなっている場合、降雨対応放送が行われているときは、降雨対応放送に切り換わります。（画面にメッセージが表示されます。）
降雨対応放送では、画質や音質が少し悪くなります。また、番組情報が表示できない場合もあります。

ソフトウェアと動作

正常に動作しないときは

本機では、電子番組ガイド*やデータ放送などデジタル情報を受信して、さまざまなサービスを受けることができます。これらのサービスは精密な電子部品と、パソコンで使われているものと同様のソフトウェアを使用することで実現されています。
そのため、外部の影響などが原因で、正常に動作しない場合があります。
正常に動作しない（あるいは全く動作しない）ときは、電源プラグをコンセントから抜き、その後再び電源プラグを差し込んで、電源を入れ直してください。

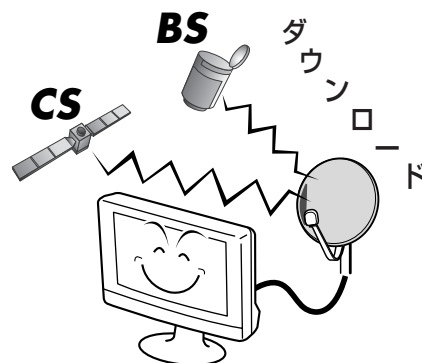
ダウンロード

多くの機能をソフトウェアで実現していますので、将来機能が追加されたときも、ソフトウェアを入れ換えることで機能を追加できるようになっています。このようにして機能を追加することをダウンロードと呼んでいます。
お買い上げ時は、自動的にダウンロードを行ってプログラムを更新する設定になっています。（通常はダウンロードによるプログラムの更新をされることをおすすめします ☞93ページ）。

放送されない機能は動作しません

本機にはさまざまな機能がありますが、放送局がそれらの機能に対応した放送をしていないときは使用できません。

放送切換をした直後の番組表の表示内容について

放送の切換（BS･CS1･CS2への切換）をした直後に番組表を表示させると、番組の情報が何も表示されない場合があります。これは、放送を切り換えた直後は番組の情報が充分でないためです。故障ではありません。しばらくすると順次表示されます。（または放送切換をして20秒以上たってから番組表を表示させるようにしてください。）

著作権とご注意

- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロヴィジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロヴィジョン社の許可が必要で、また、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- あなたがビデオデッキなどで録画･録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- i.LINK は、IEEE（Institute of Electrical and Electronics Engineers）1394-1995 およびその拡張仕様を示す呼称です。i.LINKとi.LINKロゴ「i」はソニー株式会社の商標です。
- 本機から電話回線を使用して通信を行う場合、フリーダイヤル（通話料金無料）でないかぎり、電話料金はお客様の負担になります。
- 本機は電波産業界（ARIB）規格に基づいた仕様になっております。将来規格の変更があった際は、本機の仕様を変更する場合があります。
- この製品に使用されているソフトウェアに関する情報は、衛星デジタル放送受信中に番組ナビボタンを押し、インフォメーション→ ID 表示→ソフト情報表示をご参照ください。
  なお、「ID表示」画面を表示中に青ボタンを押すと、本機のソフトウェアに関する情報が英文で表示されます。

DTLA の説明

著作権保護に対応した i.LINK 対応機器には、デジタルデータのコピー･プロテクション技術が採用されています。この技術は、DTLA（The Digital Transmission Licensing Administrator）というデジタル伝送における著作権保護技術の管理運用団体から許可を受けているものです。このDTLAのコピー･プロテクション技術を搭載している機器間では、コピーが制限されている映像／音声／データを、i.LINK を使ってデジタルコピーできない場合があります。
また、DTLA のコピー･プロテクション技術を搭載している機器と搭載していない機器との間では、i.LINK でデジタルの映像／音声／データのやりとりができない場合があります。

安全上のご注意

ご使用の前に必ずお読みください。

「安全上のご注意」の絵表示

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵（マーク）が表示されています。これらは、あなたや他の人々への危害や、財産への損害を未然に防止するための表示です。
絵表示の意味をよく理解して本文をお読みください。

⚠警告
この絵表示（文字を含む）は、そこに書かれていることを無視すると、死亡したり重傷を負うことが想定される内容です。十分注意してください。

⚠注意
この絵表示（文字を含む）は、そこに書かれていることを無視すると、障害を負ったり、物理的損害が想定される内容です。十分注意してください。

● 注意（警告を含む）が必要なことを示す記号

一般的注意

指をはさまれないように注意

感電注意

● してはいけない行為（禁止行為）を示す記号

禁止

水場での使用禁止

ぬれ手禁止

分解禁止

接触禁止

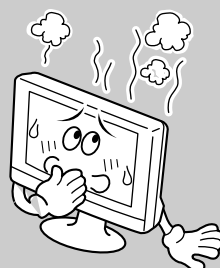
水ぬれ禁止

● 必ずしてほしい行為（強制・指示行為）を示す記号

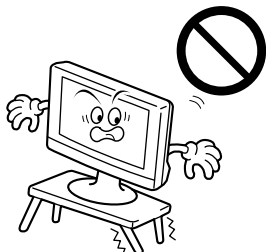
プラグをコンセントから抜く

⚠警告 万一、次のような異常が発生したときは

- ●煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常のとき。
- ●画面が映らない、音が出ないなどの故障のとき。
- ●本機の内部に水や物が入ってしまったとき。
- ●本機を落としたり、キャビネットが破損したとき。

このようなときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、（煙などが出ていたときは、それが出なくなったことを確かめてから）販売店に修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
なお、お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。

⚠警告 設置するときの警告

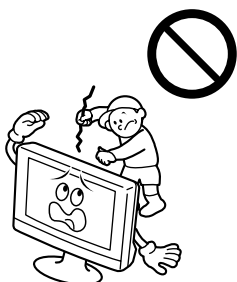
不安定な場所に置かない

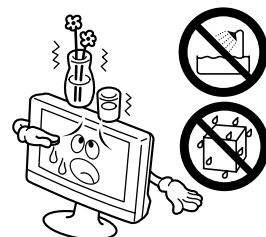
ぐらついた台や傾いたところなどを避け、安定した場所に置いてください。落ちたり、倒れたりして、けがをする原因となります。

指定の電源電圧（交流100V）以外で使用しない

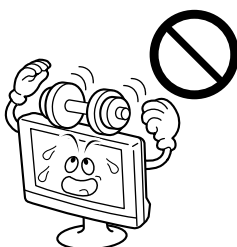
表示された電源電圧以外では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

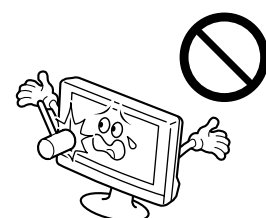
警告 使用するときの警告

本機内部に物を入れない

金属や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電の原因となります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

本機に水をかけない

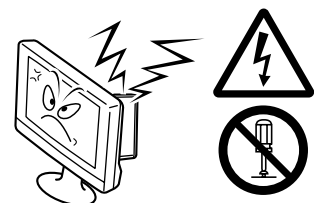
屋外や風呂場など水場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
水などの入った容器（花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など）は、こぼれたりしますので、本機の上や近くに置かないでください。

本機の上に物を置かない

重いものを置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

衝撃を与えない

ディスプレイの前面パネルに、たたくなどして衝撃を加えるとパネルが割れ、火災・けがの原因となります。
前面パネルには、絶対に衝撃を加えないでください。

本機を改造しない

火災・感電の原因となります。

パネルの裏ぶたは絶対に外さない

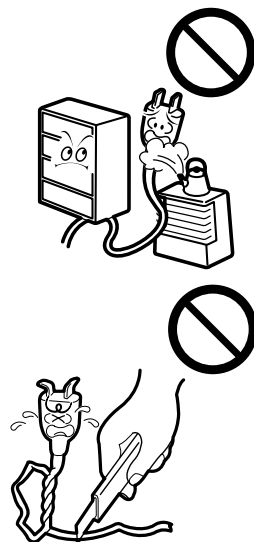
内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。

警告　使用するときの警告

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない

感電の原因となります。

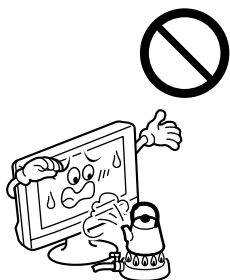
電源コードを傷つけない

電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードを加工したり・無理に曲げたり・ねじったり・引っ張ったり、電源コードを熱器具に近づけたりしないでください。火災・感電の原因となります。

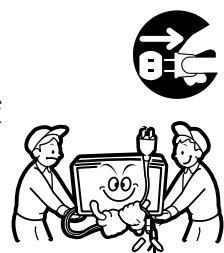
電源コードが切れたり、芯線が出たりしたときは、販売店に電源コードの交換を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

注意　設置するときの注意

次のような場所に置かない

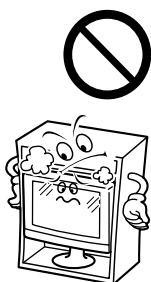
火災・感電の原因となることがあります。

- 湿気やほこりの多いところ
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるところ
- 熱器具の近くまた、直射日光の当たるところに置くと、キャビネットやパネルが変質することがあります。

移動するときは接続コード類をはずす

コードを傷つけますので、電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線などの接続コードをはずしてください。コードに傷がつくと、火災・感電の原因となることがあります。

また、本機は質量が重く奥行きがなくて不安定なため、開梱や持ち運び、設置は二人以上で行ってください。

本機の通風孔をふさがない

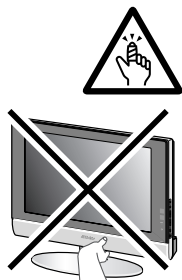
通風孔をふさぐと、内部の熱が逃げませんので、火災の原因となることがあります。次のことにご注意ください。

- 壁や家具などから10cm以上離す
- 押し入れ、本箱など狭いところに入れない
- じゅうたんや布団などの上に置かない
- テーブルクロスなどを掛けない
- あお向け、横倒し、逆さまにしない

直射日光にあてない

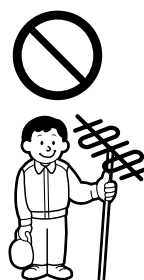
直射日光や熱器具の近くに置くと、液晶パネルやキャビネット、部品に悪い影響を与えますので近くに置かないようご注意ください。

注意　設置するときの注意

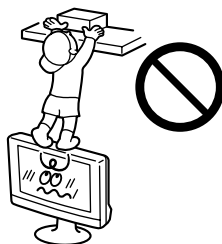
本体パネルの下部を持って前後に傾けない

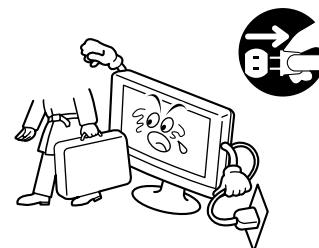
テレビの画面を前後に傾けるときは、本体パネル部分の下側中央部を持たないでください。
指がはさまれて、けがの原因となることがあります。

アンテナ工事は販売店に依頼する

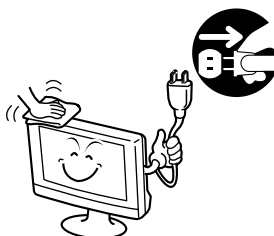
技術と経験が必要ですので、販売店に依頼してください。

- 倒れても電線に触れない場所に設置するよう依頼してください。感電の原因となることがあります。
- BS、CS放送用アンテナは、風の影響を受けやすいので、しっかり取り付けるよう依頼してください。

注意　使用するときの注意

本機に乗らない、ぶら下がらない

倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

お手入れをするときは電源コードを抜く

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。

電源プラグのホコリに注意する

電源プラグとコンセントの間にホコリがたまると火災の原因になります。定期的に電源プラグを抜き掃除してください。

スタンドの角度を調整するときは注意する

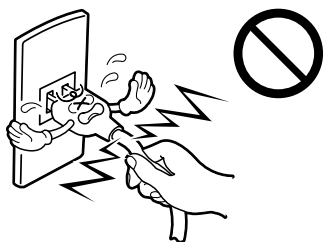
手や指がはさまれてけがの原因となることがあります。また無理に傾けると転倒して落下やけがの原因となることがあります。
（角度調整の範囲：前方５度、後方10度
左右各20度以内）

音が歪んだ状態で使用しない

長時間音が歪んだ状態で使用しないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

注意　使用するときの注意

電源コードは電源プラグを持って抜く

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。

また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

注意　その他の注意

1年に1度は本機内部の掃除を販売店に依頼する

内部にホコリがたまったまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。

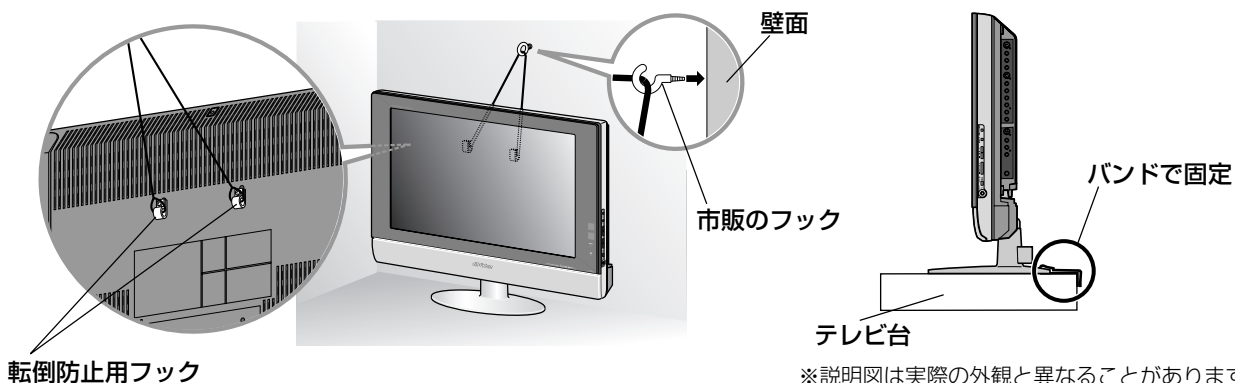
乾電池の使いかたに注意する

電池は間違った使いかたをすると、破裂したり液がもれて、火災・けが・故障・周囲の汚損の原因となることがあります。次のことにご注意ください。

・新しい電池と古い電池を混ぜて使わない
・種類の違う電池を混ぜて使わない
・電池ケースのプラス（＋）とマイナス（－）の表示どおりに入れる
・指定された電池以外は使わない

転倒防止の処置をしてください

地震などの非常時の安全確保と、事故を防止するために、落下や転倒を防止する処置をしてください。

- 付属の転倒防止用フックを同梱の取り付けねじを使って、本体後面に取り付けていただき、市販の丈夫なひもなどで本機を壁面や柱など堅牢部に固定してください。
- 製品専用のテレビ台を使用するときは、本体スタンドに固定用バンドを通し、テレビ台に固定してください。

※説明図は実際の外観と異なることがあります。

液晶テレビをご使用になる前に

輝点・滅点について

画面上に赤や青、緑の点(輝点)が消えなかったり、黒い点(滅点)がある場合がありますが、故障ではありません。パネルは非常に精密な技術で作られており、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合がありますので、ご了承ください。

お手入れのしかた

• キャビネットやパネルのよごれは

柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。
キャビネットが変質したり、塗料がはげることがありますので、次のことに注意してください。

– シンナーやベンジンでふかない
– 殺虫剤など揮発性のものをかけない
– ゴムやビニール製品など長時間接触させたままにしない

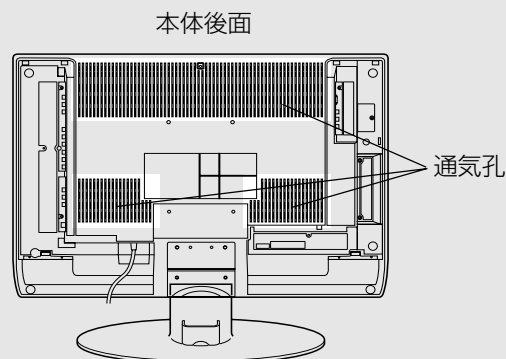
• 画面のよごれは

画面には反射防止のための表面コーティングなど、特殊な薄膜層が形成されています。この薄膜層がダメージを受けると「ムラ」「変色」「キズ」「欠陥」など、修理不可能な外観変化が生じる恐れがありますので次のことに注意してください。

– 画面にのりやテープなどを貼らない
– 画面にペンなどで書き込みをしない
– 画面を硬いものにぶつけない
– 画面を結露させない
– 画面をアルコール・シンナー・ベンジンなどの溶剤などでふかない
– 画面を強くこすらない

画面の汚れを取り除く場合には、柔らかい布を使ってからぶき・かたく絞った水ぶき・薄めた中性洗剤でかたく絞った水ぶきを行ってください。

• 通気孔に付着したほこりは

本体後面に付着したほこりは、掃除機を使って吸い取ってください。掃除機が使えないときには、布で拭き取ってください。通気孔(右のイラスト参照)にほこりが付着したまま放置すると、内部の温度が調節できなくなり、故障の原因となることがあります。

液晶テレビをご覧になるときは

- **やや離れてご覧ください**
  画面のたての長さの5〜7倍を目安にした場所でご覧ください。見やすく、疲れにくくなります。
- **部屋の明るさは新聞が楽に読める程度に…**
  暗すぎる部屋は、目を疲れさせるのでよくありません。適度な明るさの中でご覧ください。
  また、連続して長い時間、画面を見ていることも目を疲れさせますので、ときどき目を休めてください。
- **夜間の音量は適度に…**
  周辺の人の迷惑にならないよう適度な音量でお楽しみください。特に、夜間での音量は小さな音でも通りやすいので、窓を閉めるなどの隣り近所への配慮(思いやり)を十分にし、生活環境を守りましょう。

各部のなまえ

リモコン

● 白抜数字 のボタンは衛星デジタル放送用のボタンです。

ふたを閉じたところ

1 **送信部**
ディスプレイのリモコン受光部に向けてリモコンのボタンを押してください。

2 **メモ画面ボタン** ☞132ページ
押すと2画面に切り換わり、右側の画面は静止画になります。

3 **サービス切換（テレビ、ラジオ、データ）ボタン** ☞55ページ
衛星デジタル放送の放送サービス（テレビ放送、ラジオ放送、データ放送）を切り換えるときに使います。

4 **チャンネル数字ボタン**
地上アナログ放送（VHF/UHF）やCATV、衛星デジタル放送のチャンネルを選ぶときに使います。また、データ放送やメニュー操作中に数字や記号を入力するときなどにも使います。

5 **放送切換（地上アナログ、BS、CS1、CS2）ボタン** ☞53、55ページ
地上アナログ放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送（CS1, CS2）を切り換えるときに使います。

6 **番号入力ボタン** ☞56ページ
衛星デジタル放送で、番号を直接入力してチャンネルを選ぶときに使います。

7 **チャンネル+/−ボタン** ☞53、55、86ページ
チャンネルを変えるときに使います。

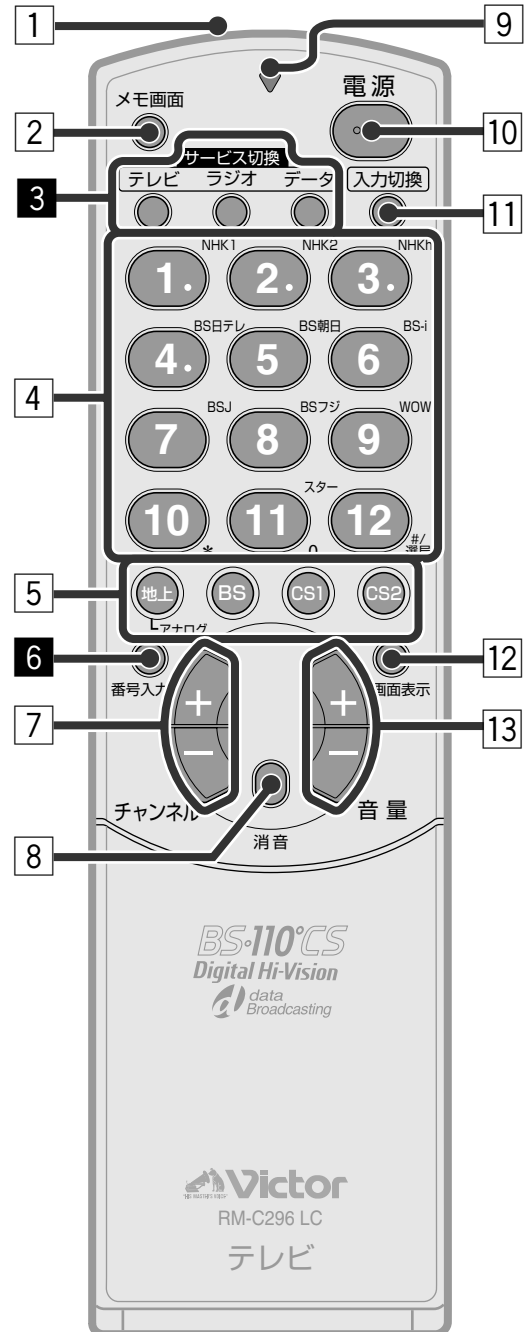
8 **消音ボタン** ☞52、54ページ
急いで音を消すときに使います。

9 **操作ランプ**
リモコンを操作すると点滅します。ランプが暗くなったり、操作がしにくくなったら電池を交換してください。

10 **電源ボタン** ☞28、52、54ページ
電源を「入/切」します。

11 **入力切換ボタン** ☞170ページ
接続しているAV機器の映像を見るときに使います。くり返し押して、ご覧になりたい外部入力を選びます。
- 入力切換ボタンを押したあとに、チャンネル数字ボタン（1.から4.）を押すと、外部入力（ビデオ1からビデオ4）をダイレクトに選択できます。

12 **画面表示ボタン** ☞53、55、170ページ
チャンネルや外部入力、番組の情報を表示させるときに使います。

13 **音量+/−ボタン** ☞52、54ページ
音量を調節するときに使います。

ふたを開けたところ

14 **番組表ボタン** ☞62ページ
番組表を表示します。

15 **番組ナビボタン**
「番組ナビ」画面を表示します。

16 **機器ナビボタン**
「機器ナビ」画面を表示します。

17 **メニューボタン**
「メニュー」画面を表示します。

18 **元の画面ボタン**
番組表や設定画面などを消すときに使います。

19 **カラー(青、赤、緑、黄)ボタン/データ放送ボタン** ☞60、61、146、148ページ
BSデータ放送や110度CSデータ放送を見るときに使います。またSDメモリーカードの画像を再生するときにも使います。

前日/翌日ボタン ☞63ページ
番組表の日付けを変えるときに使います。

20 **映像切換ボタン** ☞74ページ
衛星デジタル放送で、マルチビュー放送や複数の映像がある番組のときに、映像を切り換えます。

21 **音声切換ボタン** ☞75、124ページ
複数の音声が放送されている番組で音声を選ぶときに使います。

22 **オフタイマーボタン** ☞138ページ
一定時間後に電源を切りたいときに使います。

23 **映像選択ボタン** ☞118、121、122ページ
画質を切り換えるときに使います。

24 **番組説明ボタン** ☞67ページ
番組の説明を表示するときに使います。

25 **ホームメニューボタン** ☞69ページ
ホームメニューを表示します。

26 **便利機能ボタン**
便利機能メニューを表示します。

27 **番組表ズームボタン** ☞63ページ
衛星デジタル放送の番組表を表示中に、番組欄だけを大きく表示します。

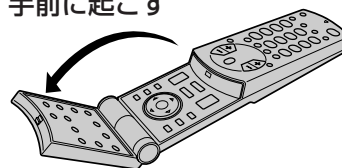
28 **戻るボタン**
一つ前のメニュー画面に戻るときなどに使います。
データ放送受信時にも使います。

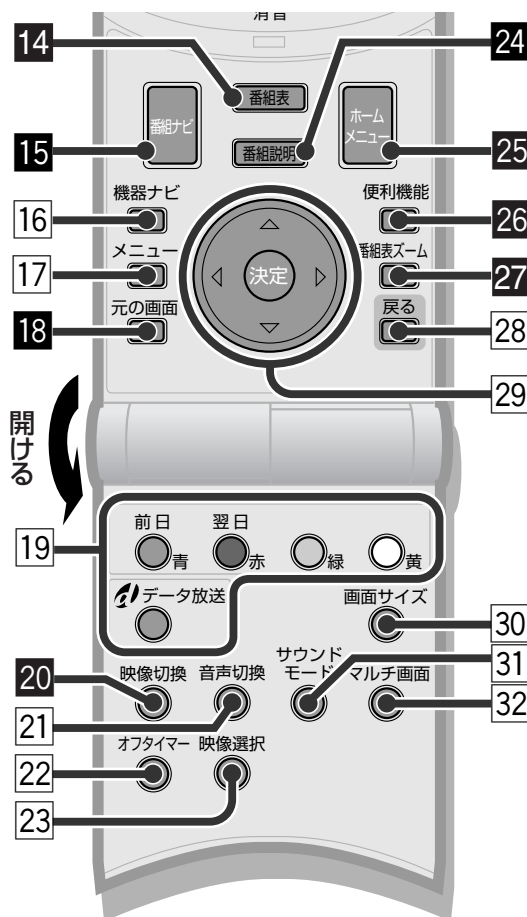
29 **カーソル(◀▶▼▲)ボタン/決定ボタン**
メニューの項目を選ぶときや、設定を変えるときに使います。
データ放送受信時にも使います。

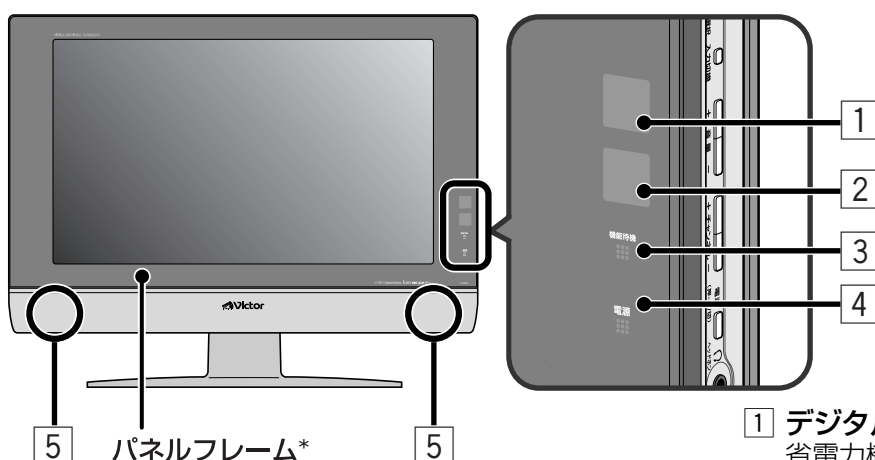
30 **画面サイズボタン** ☞129ページ
画面サイズを変更するときに使います。

31 **サウンドモードボタン** ☞125ページ
サウンドモードを切り換えるときに使います。

32 **マルチ画面ボタン** ☞131、133ページ
マルチ画面(2画面、番組一覧)に切り換えるときに使います。

ふたの開けかた

リモコンを使うときは

- リモコン受光部やリモコンの発信部に明るい光があたっていたり、途中に障害物があって信号をさえぎられていると動作しません。
- リモコンの操作は、ゆっくりと確実に行ってください。

本体

前面

1 **デジタルE.E.センサー** ☞137ページ
省電力機能の「デジタルE.E.」を利用したとき、周囲の明るさを感知する部分です。

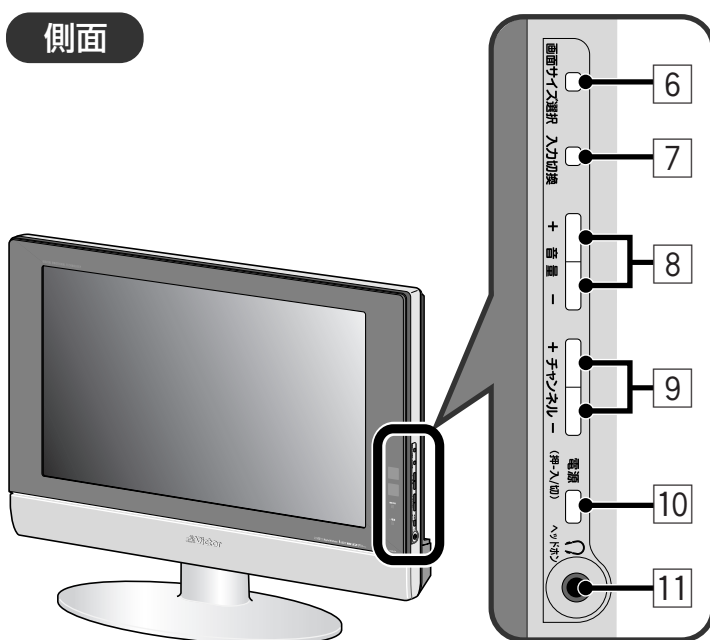
2 **リモコン受光部** ☞15ページ
リモコンを操作するときは、リモコンの送信部をここに向けます。

3 **機能待機ランプ** ☞93、101、105ページ
本機の電源が「切」の場合でも、録画予約の実行中、ダウンロード中などに赤く点灯します。

4 **電源ランプ** ☞28、52、54ページ
本機の電源が「入」のとき、緑色で点灯します。

5 **スピーカー**

* 本体のパネルフレーム部分には、保護シートが張り付けてあります。

側面

6 **画面サイズ選択ボタン** ☞129ページ
画面サイズを変更するときに使います。
くり返し押して、お好みの画面サイズを選びます。

7 **入力切換ボタン** ☞170ページ
接続しているAV機器の映像を見るときに使います。くり返し押して、ご覧になりたい外部入力を選びます。

8 **音量+/−ボタン** ☞52、54ページ
音量を調節するときに使います。

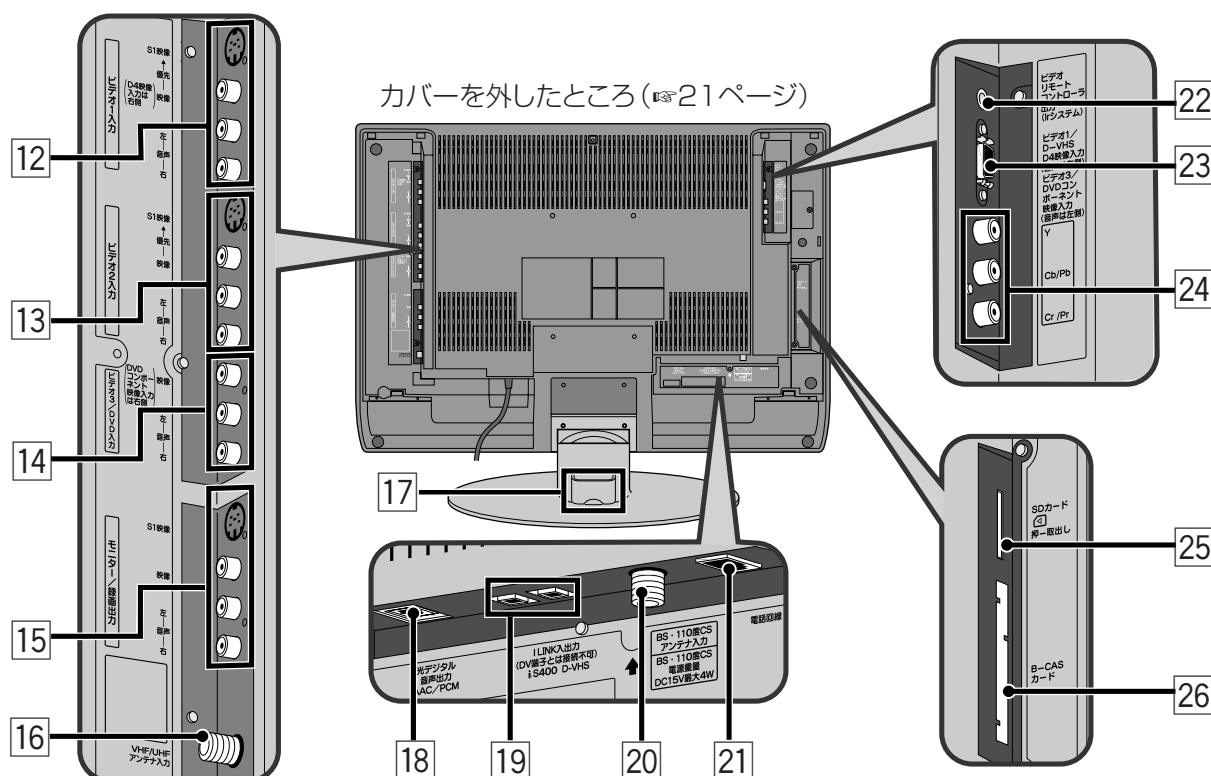
9 **チャンネル+/−ボタン** ☞53、55、86ページ
チャンネルを順番に変えるときに使います。

10 **電源ボタン** ☞28、52、54ページ
本機の電源を「入/切」します。

11 **ヘッドホン端子**
ヘッドホンをつなぎます。
- ヘッドホンをつなぐとスピーカーからの音が消えます。

後面

お知らせ

「接続できる機器」(☞154ページ)もご覧ください。

12 **ビデオ1入力端子** ☞156、157ページ
ビデオデッキなどの映像・音声出力端子をつなぎます。
- S1映像端子と映像端子が同時に使われたときは、S1映像端子からの入力信号が優先されます。

13 **ビデオ2入力端子** ☞156、157ページ
ビデオデッキなどの映像・音声出力端子をつなぎます。
- S1映像端子と映像端子が同時に使われたときは、S1映像端子からの入力信号が優先されます。

14 **ビデオ3/DVD入力端子** ☞167ページ
ビデオデッキやDVDプレーヤーなどの映像・音声出力端子をつなぎます。

15 **モニター/録画出力端子** ☞157、160ページ
ビデオデッキの映像・音声入力端子と接続します。ふだんは ディスプレイに映っている映像と音声を出力します。録画予約の実行中はその映像と音声の録画用出力になります。
- D4映像入力端子やビデオ3/DVDコンポーネント映像入力端子から入力された映像信号は出力されません。
- マルチ画面の2画面を表示中は、左画面の映像と音声が出力されます。番組一覧中は出力されません。
- 地上アナログ放送の映像はS1映像出力端子からは出力されません。

16 **VHF/UHFアンテナ入力端子** ☞22ページ
VHF、UHFのアンテナをつなぎます。

17 **コードホルダー**☞28ページ
アンテナケーブルや映像・音声コードなどをここに通してまとめます。

18 **光デジタル音声出力端子** ☞168ページ
MDレコーダーやAACデコーダーを持ったアンプなどと接続します。

19 **i.LINK入出力端子** ☞160、162ページ
D-VHSビデオデッキなどのi.LINK対応機器と接続します。

20 **BS・110度CSアンテナ入力端子**
☞22ページ
BS・110度CSデジタル放送対応の衛星アンテナをつなぎます。

21 **電話回線端子** ☞25ページ
電話線（アナログ回線のモジュラーケーブル）を接続します。

22 **ビデオリモートコントローラ出力端子**
☞157、160ページ
付属のビデオリモートコントローラを接続します。

23 **ビデオ1/D-VHS D4映像入力端子**
☞156、160ページ
D-VHSビデオデッキなどのD4映像端子をもった機器をつなぎます。
- D4映像入力に映像信号が入力されているときは、ビデオ1入力に入力されるS1映像信号や映像信号より優先されます。
- 音声出力はビデオ1入力端子12に接続してください。

24 **ビデオ3/DVD コンポーネント映像入力端子**
☞167ページ
DVDプレーヤーなどのコンポーネント映像出力端子をもった機器をつなぎます。
- コンポーネント映像入力に映像信号が入力されているときは、ビデオ3/DVD入力に入力された映像信号より優先されます。
- 音声出力はビデオ3/DVD入力端子14に接続してください。

25 **SDカード挿入口** ☞143ページ
SDカードを挿入します。

26 **B-CAS（ビーキャス）カード挿入口** ☞27ページ
付属のB-CASカードを挿入します。

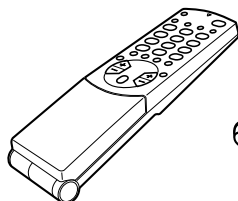
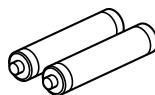
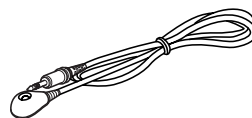
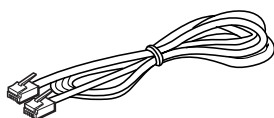
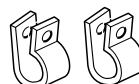
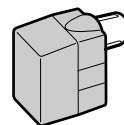
準備する

接続

受信設定

1 付属品を確かめる

付属品を確認してください。万一、不足しているものがありましたら、お手数ですがお買い上げの販売店またはビクターサービス窓口までご連絡ください。

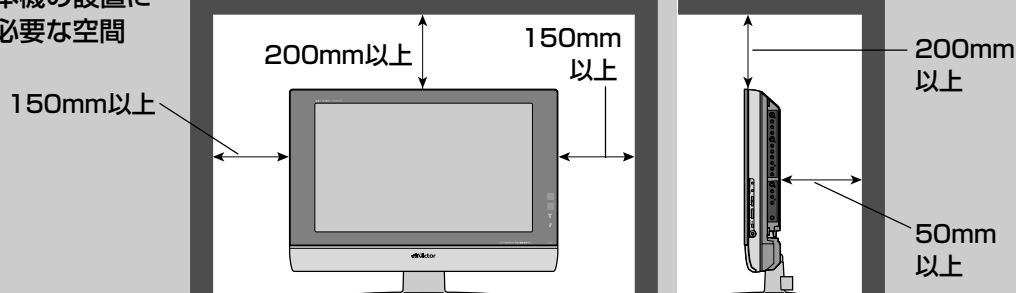
液晶テレビ本体セット

局名シール、その他の印刷物、取扱説明書、保証書

2 設置する

直射日光が当たらない、風通しのよい場所を選んでください。
壁に掛けてご使用になるときの設置、据え付けは工事専門業者に依頼してください。

設置するときのご注意

- 電源コードや接続コードは引っかからないように本体背面で束ね、壁、床などの隅に配置してください。(☞28ページ)
- 設置場所によっては、周囲の影響を受け、正しくリモコン操作ができないことがあります。影響のでない場所に設置してください。
- 据え付け場所の周囲温度は、0℃～40℃の範囲で使用してください。
- 壁に掛けてご使用になるときは、カバーを外してください。また、スタンドを取り外してください。
- 放熱をよくするため周囲には下図の空間距離を保つようにしてください。
  本機は若干熱を帯びる構造になっています。過熱防止のため下図の空間距離を保つとともに、取り扱いには十分気をつけてください。

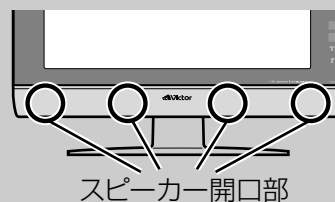
本機の設置に必要な空間

転倒防止の処置をしてください

地震などの非常時の安全確保と、事故を防止するために、落下や転倒を防止する処置をしてください。
詳しくは12ページをご覧ください。

画面の角度を調節するときは

スタンドの台座をしっかりと片手で押さえながら、もう一方の手で本体パネル部分の上部中央を持ち、ゆっくりと傾けてください。（前方5度、後方10度、左右各20度以内で調整できます。）

・ スタンドの台座をしっかりと押さえずに傾けると、テレビが転倒して落下やけがの原因となることがあります。

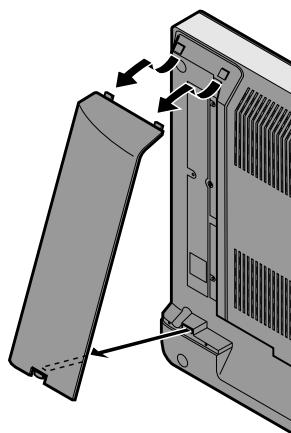
画面を傾けるときや、本体を移動するときは、本体下部のスピーカー開口部付近を直接強く押さないでください。表面の化粧シートが変形することがあります。

3 アンテナをつなぐ

より良い映像で放送をご覧いただくために、アンテナを接続するときは以下のことにご注意ください。

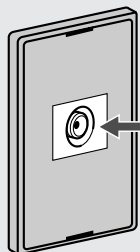
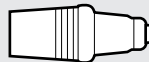
衛星アンテナを接続するときは

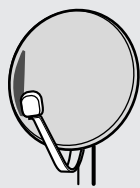
- BSデジタル放送や110度CSデジタル放送を受信するには、双方の放送に対応した衛星アンテナをご使用ください。
- 同軸ケーブルや分配器も衛星デジタル放送対応品をご使用ください。
- 衛星デジタル放送はアンテナケーブル･分配器･ブースターなどの機器の影響を受けやすくなっています。現在ご使用の衛星アンテナで今までのBS（アナログ）放送が映っていても、衛星デジタル放送は映らない場合があります。このような場合は販売店にご相談ください。
- 映らなかったり、映りが悪い場合は、「衛星アンテナ設定」で、アンテナレベルが50以上あることを確認してください。（☞35ページ）
- お買い上げ時の「衛星アンテナ設定」は「アンテナ電源」が「オフ」になっています。
  お買い上げ時の設定では衛星アンテナに電源が供給されません。ご自宅などで個別に衛星アンテナを設置しているときは、設定を「オン」にしてください。（☞35ページ）

アンテナを接続する前にカバーを取り外してください

カバー下部のフックを外し、少し持ち上げるようにして引くと、カバーがはずれます。
カバーを取り付けるときは、カバー上部のフックを本体に掛けてカバー下部のフックをはめ込みます。

➡次のページへ

ご注意
- アンテナの設置・接続は、できるだけお買い上げの販売店にご依頼ください。
- アンテナケーブルには同軸ケーブル（別売）をお使いください。フィーダー線の使用はできるだけ避けてください。
- ビデオデッキを接続するときは、アンテナケーブルはビデオデッキに接続してから本機に接続します。
「準備する」の「ビデオデッキをつなぐ」（☞24ページ）をご覧になって、接続してください。

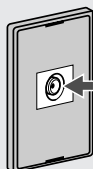
VHF/UHFアンテナの接続

お知らせ
- VHF端子とUHF端子が別々に分かれているときは下記の「VHFとUHFが分かれているとき」をご覧ください。
- 先バラの同軸ケーブルをお使いの場合など、付属のアンテナコネクターの取り付けが必要なときは右ページの「コネクターのつなぎかた」をご覧ください。

衛星アンテナの接続

お知らせ
個別に衛星アンテナを設置しているときはアンテナの設定が必要です。接続が終わったら、35ページの「衛星アンテナを設定する」をご覧になって設定してください。

衛星デジタル
放送対応アンテナ

衛星デジタル放送対応75Ω同軸ケーブル（F型コネクター）*

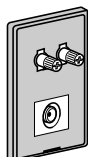
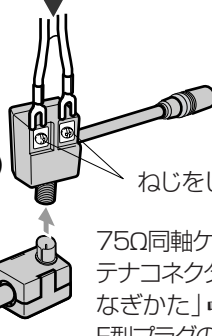
または

壁面の衛星デジタル
放送アンテナ端子

衛星デジタル放送対応75Ω同軸ケーブル（F型プラグ～F型プラグ）

VHF/UHFと衛星デジタル放送が一緒のとき

別売の分波器が必要です。

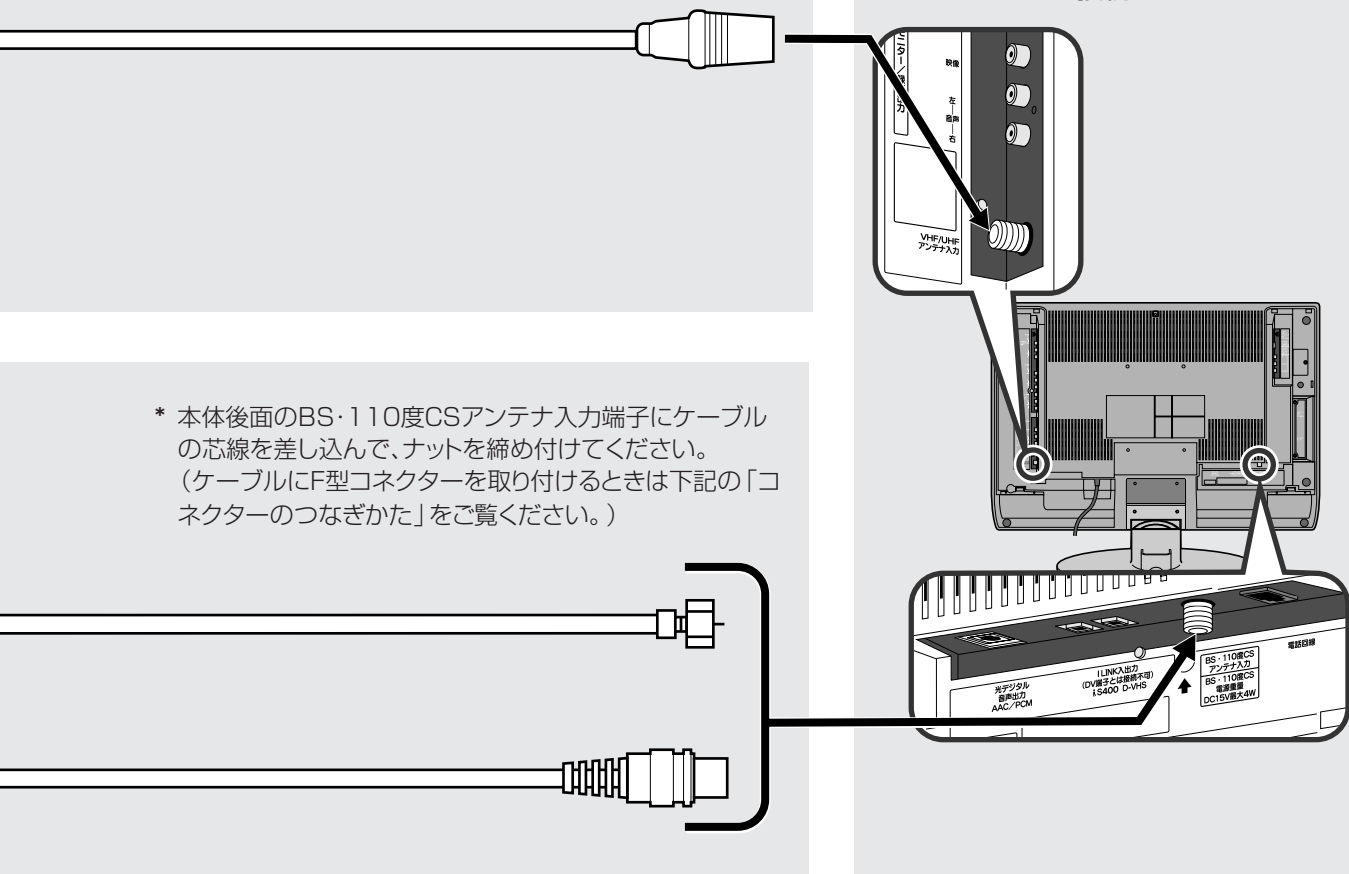
VHFとUHFが分かれているとき

別売の混合器（VZ-84）が必要です。

75Ω同軸ケーブルが先バラのときは、付属のアンテナコネクターにつないでから（「コネクターのつなぎかた」☞右ページ）、混合器につなぎます。
F型プラグのときはそのまま混合器につなぎます。

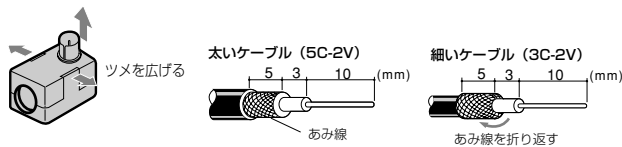
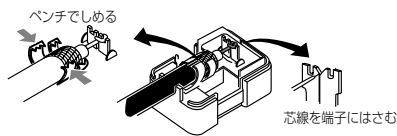
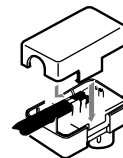
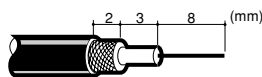
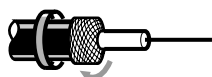
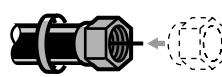
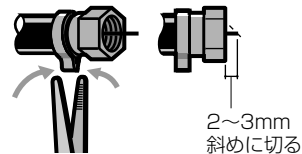
アンテナをつなぐときは

- BS·110度CSとVHF/UHF/FMの電波が混合されているときは、分波器（または分配器）が必要になります。分波器（または分配器）は妨害を受けにくくするため、金属のケースで作られたものをご使用ください。ご不明の場合は、販売店にお問い合わせください。
- 妨害電波の影響を避けるため、道路や電車の架線、ネオンなどから離して設置するよう依頼してください。
- アンテナは定期的に点検·交換してください。特にばい煙や潮風があるところでは、傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、販売店にご相談ください。

本体後面のアンテナ入力端子にアンテナケーブルを接続する

* 本体後面のBS·110度CSアンテナ入力端子にケーブルの芯線を差し込んで、ナットを締め付けてください。
（ケーブルにF型コネクターを取り付けるときは下記の「コネクターのつなぎかた」をご覧ください。）

コネクターのつなぎかた

付属のアンテナコネクターのつなぎかた（BS·110度CSアンテナには使用できません。）

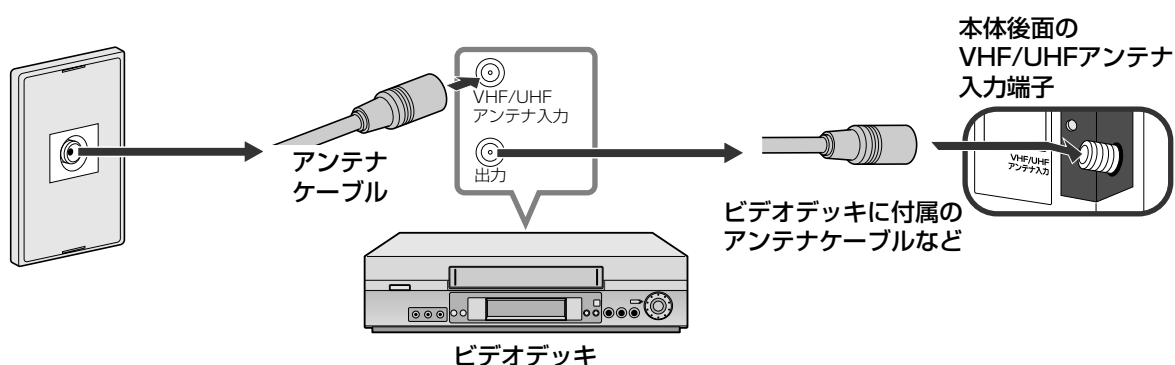
1 カバーをはずす　**2** ケーブルを加工する　**3** ケーブルをつなぐ　**4** カバーをつける

F型コネクター（別売）のつなぎかた

1 ケーブルを加工する　**2** リングをとおす　**3** コネクターを差し込む　**4** リングをペンチで締める

4 ビデオデッキをつなぐ

ご注意
- 接続が終わるまで、電源コードはコンセントから抜いておいてください。
- ビデオデッキの取扱説明書もご覧ください。

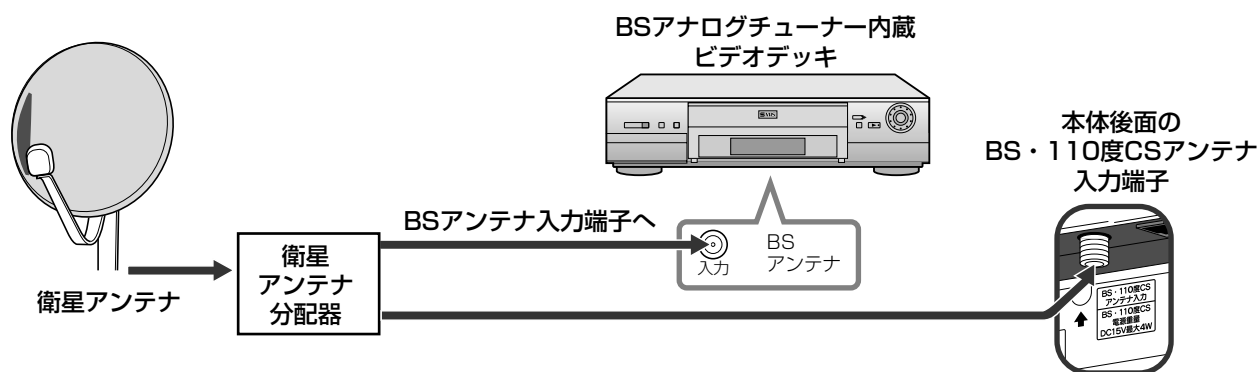
- ここではアンテナをビデオデッキ経由で接続するときの説明をしています。映像・音声コードの接続は、「他の機器をつなぐ」の「ビデオデッキをつなぐ」（☞157ページ）をご覧ください。

VHF/UHFアンテナをつなぐ

VHF/UHFアンテナをビデオデッキ経由で本体後面のVHF/UHFアンテナ入力端子に接続します。

お知らせ
- アンテナをつなぐときは、カバーを外してください。（☞21ページ）

衛星アンテナをつなぐ（BSアナログチューナー内蔵ビデオデッキの場合）

衛星アンテナ分配器が必要です。
衛星アンテナを衛星アンテナ分配器に接続してから、本機とビデオデッキに接続します。

お知らせ
- 衛星アンテナ分配器は両通電のものをお使いください。
- アンテナをつなぐときは、カバーを外してください。（☞21ページ）

接続後に「衛星初期設定」の「衛星アンテナ設定」（☞35ページ）を次のように設定します。

個別に衛星アンテナを設置しているとき

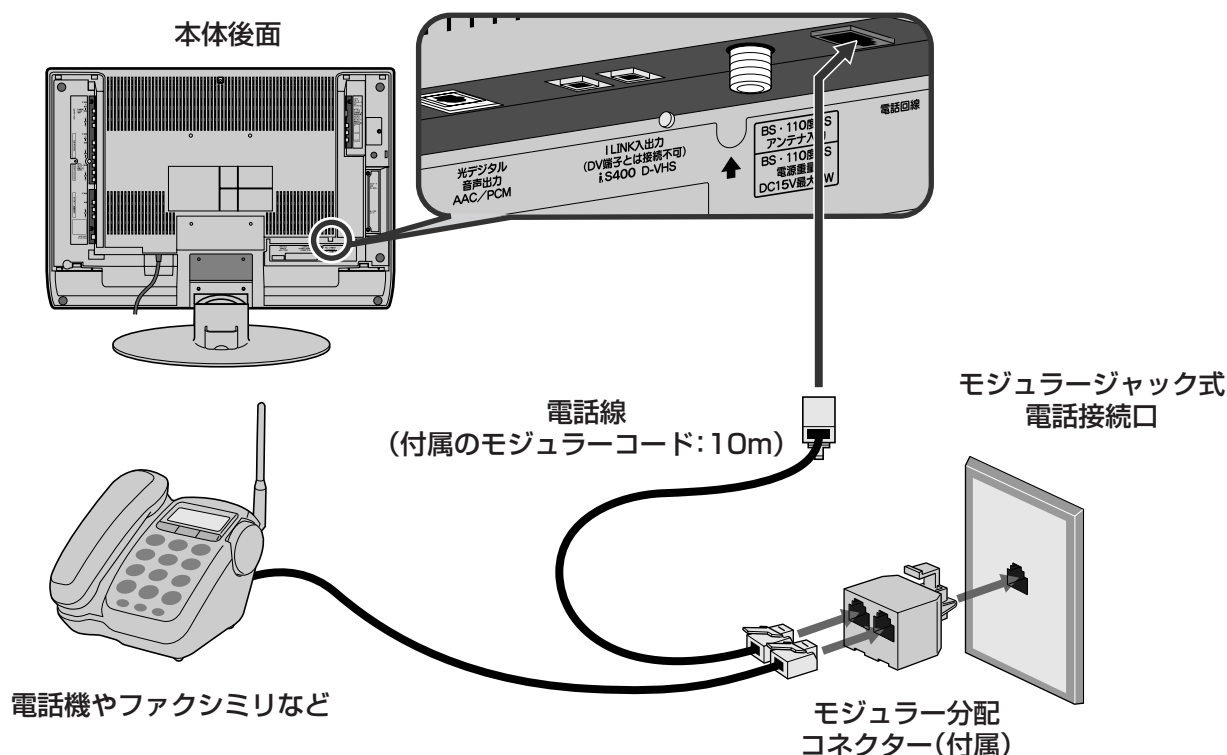
本機またはビデオデッキから、衛星アンテナのコンバーターへ電源を供給します。
- 本機から電源を供給する場合：「オン」を選ぶ
- ビデオデッキから電源を供給する場合：「オフ」を選ぶ

マンション、集合住宅などで、共聴アンテナをお使いのとき

本機、ビデオデッキ共に電源を供給しません：「オフ」を選ぶ

5 電話線をつなぐ

有料番組を購入するとき（☞72ページ）や、クイズ番組の回答、ショッピングの申し込みなどの双方向型の番組に参加するときは、電話回線を使用します。
これらのサービスを利用するには電話線を接続してください。

お知らせ
- 常に接続しておく必要があります。
- 接続したあとで電話の設定（☞37ページ）を行います。
- モジュラーコードを接続するときは、端子の向きを確認の上、端子とプラグの形状を合わせて差し込んでください。

電話接続口について

- **3ピン差し込みコンセントのときは**
  市販の交換アダプターでモジュラージャックに変換してモジュラー分配コネクターをつなぎます。
- **モジュラージャック式や3ピン差し込みコンセント以外のときは**
  お買い上げの販売店またはお近くの電話会社にご相談ください。

本機が通信を行うのは

- ICカードに記録された番組購入、契約状況などのデータが、月1回程度自動的に放送局に送信されます。
- 投票やショッピングなどの視聴者参加型番組はそのつどセンターに送信します。

お知らせ
- 電話料金が、有料か無料かは、放送事業者（放送局）にご確認ください。

キャッチホンサービスをご利用のときは

本機の通信中にキャッチホンが入ると通信が中断し、データが送れなくなります。キャッチホンのサービスをキャッチホンⅡに変更してください。詳しくはお近くの電話会社にご相談ください。

ご注意
- 本機は、専用線、公衆電話、共同電話、携帯電話、PHS、自動車電話、船舶電話、地域集団電話、ホームテレホンには接続できません。また、構内交換機（PBX）には接続できないものがあります。
- 本機が通信を行っているときは、同じ電話接続口に接続されている電話機やファクシミリなどは使用できません。また、一部の電話器やファクシミリでは呼び出し音が鳴ることがあります。そのような場合は、電話機やファクシミリのメーカーにご相談ください。

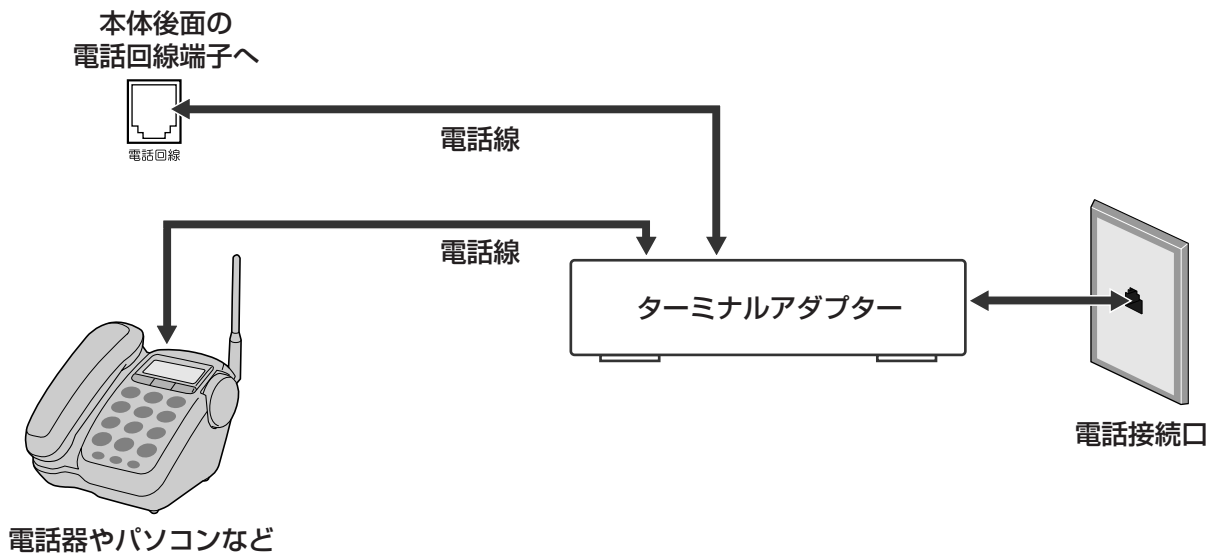
➡次のページへ

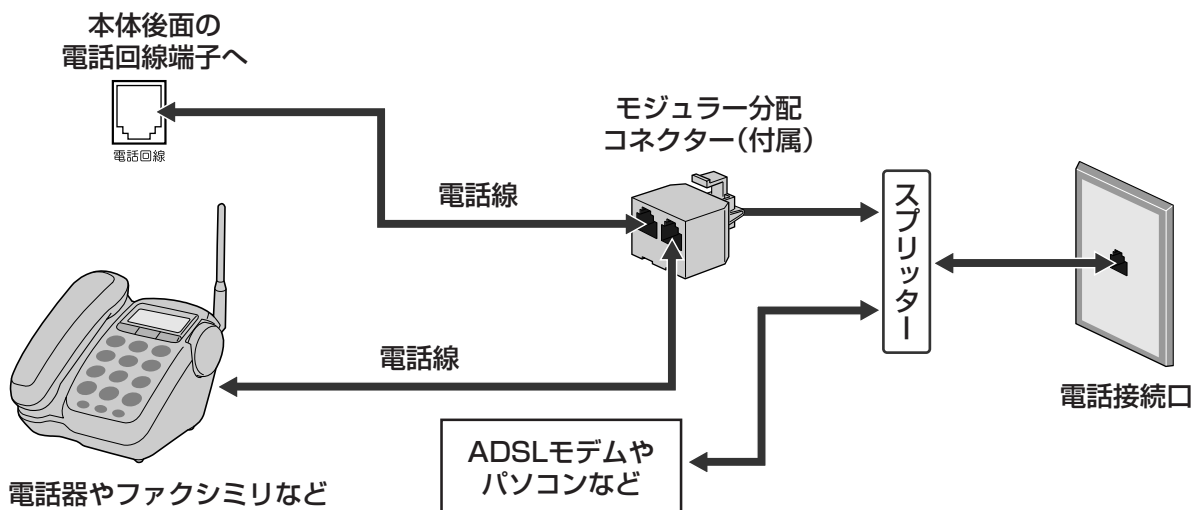
電話回線の使用状況に合わせてつなぐ

ISDN回線やADSL回線をご使用の場合は、こちらをご覧になって接続してください。

ISDN回線をお使いのとき

ターミナルアダプター（市販品）が必要です。
ターミナルアダプター（市販品）の電話用またはモデム用モジュラージャックに接続してください。ターミナルアダプターを使用していないときは、お買い上げ販売店またはお近くの電話会社にご相談ください。

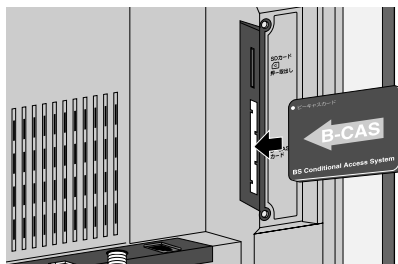
本体後面の
電話回線端子へ
電話回線
電話線
電話線
ターミナルアダプター
電話接続口
電話器やパソコンなど

ADSL回線をお使いのとき

スプリッター（市販品）にモジュラー分配コネクター（付属）を接続して、電話線（付属）で本機と接続してください。詳細についてはお買い上げ販売店または、お近くの電話会社にご相談ください。

6 B-CASカードを入れる

公共放送や有料放送を視聴したり、双方向型番組に参加するにはB-CASカードが必要です。付属のB-CASカードを本体に挿入します。

お知らせ
- ふだんはB-CASカードを本体に挿入したままでお使いください。
- 「知っておいていただきたいこと」(☞6ページ)もご覧ください。
- カードを入れるときは、カバーを外してください。(☞21ページ)

1 B-CASカードを入れる

- B-CASカードは、台紙から外してご使用ください。

B-CASカードの表(矢印が印刷されている面)を本体後面に向けて、止まる位置まで入れます。

B-CASカード取り扱い上のご注意
- B-CASカードを折り曲げたり、変形させないでください。また、分解加工は行わないでください。
- B-CASカードの上に重いものを置いたり、踏みつけたりしないでください。
- B-CASカードに水をかけたり、ぬれた手でさわらないでください。
- B-CASカードのIC(集積回路)部分には手を触れないでください。
- 本機の電源が「入」のときに、B-CASカードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。

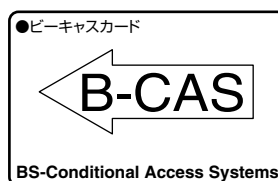
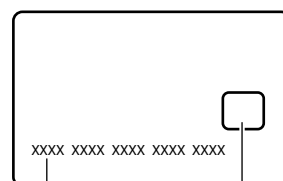
B-CASカードの情報を表示するには

1. **衛星デジタル放送をご覧のときに番組ナビボタンを押す**
   「番組ナビ」画面が表示されます。
2. **カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して「インフォメーション」を選び、決定ボタンを押す**
   「インフォメーション」画面が表示されます。
3. **カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して「B-CASカード」を選び、決定ボタンを押す**
   「B-CASカード」画面が表示されます。

「B-CASカード」画面を消すには
元の画面ボタンを押す

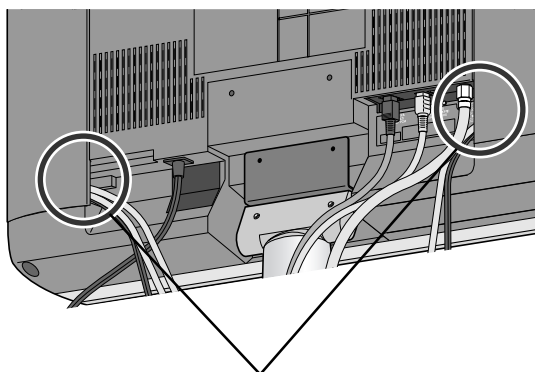
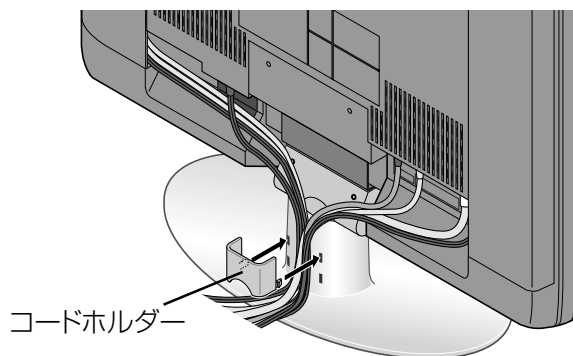
B-CASカードを抜くときは

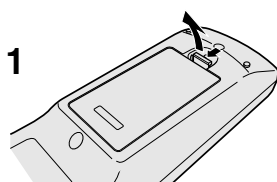
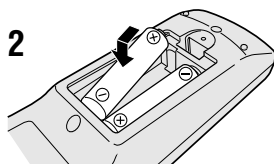
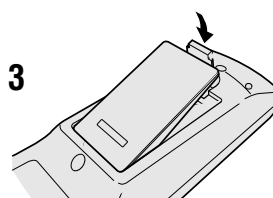
万一、抜く必要があるときは、本機の電源プラグをコンセントから抜いた後、ゆっくりとB-CASカードを抜いてください。B-CASカードの中にはIC(集積回路)が組み込まれているため、テレビ画面にB-CASカードに関するメッセージが表示されたとき以外は、抜き差しをしないでください。

〈表面〉
●ビーキャスカード
B-CAS
BS-Conditional Access Systems

〈裏面〉
XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX
カード番号　IC(集積回路)

7 コードをまとめる

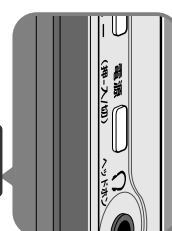
本体後面のコードホルダーを使って、接続したコードをまとめます。

1. 下図のようにコードを引き出し、カバーをしめる

2. コードホルダーを外し、コードをたばね、ふたたびはめこむ。
   コードホルダーは左右を軽くつまんで引くと、外れます。

8 電源を入れる

1. 電源プラグをコンセント(交流100V)に差し込む
2. リモコンに付属の単3乾電池2本を入れる

1
2
3
お知らせ

- 電池に表示されている注意事項をお読みください。
- 長期間使用しないときは取り出しておいてください。
- 電池はふつうの使いかたで、6か月から1年間使えます。ただし、付属の電池は動作確認用ですので短くなることがあります。操作しにくくなったら交換してください。

ご注意
ショートを防ぐため、必ず電池の⊖(マイナス)側を先に入れてください。

3. リモコン、または本体の電源ボタンを押す
   電源が「入」になると、本体の電源ランプが点灯します。

9 地上アナログ放送の受信設定をする

地上アナログ放送のチャンネル合わせを行います。

地上アナログ放送のチャンネルを合わせる

お住まいの地域を選ぶと、受信できるチャンネルを一括して自動的に設定します。

- **メニュー画面を切り換えるには**
  メニューを表示中に1ボタン（チャンネル数字ボタン）を押すと、各メニュー画面を切り換えることができます。
- **設定を途中でやり直すには**
  戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

1 地上アナログボタンを押す

地上アナログ放送に切り換わります。

2 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

3 カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して「初期設定」メニューの「地域チャンネル合わせ」を選ぶ

4 カーソルボタン（◀▶）を押す

「地域チャンネル合わせ」画面が表示されます。

➡次のページへ

地上アナログ放送のチャンネルを合わせる（つづき）

5 カーソルボタン（◀▶▲▼）を押してお住まいの地方を選び、決定ボタンを押す

例：「関東」を選んだとき

映像調節　音声調節　各種設定　初期設定
地域チャンネル合わせ
次にお住まいの地域または近辺の地域を選んでください。

みと	ひたち	うつのみや1	うつのみや2
やいた1	やいた2	まえばし	きりゅう1
きりゅう2	さいたま	くまがや1	くまがや2
ちちぶ1	ちちぶ2	次の地域画面	

◀◆▶で選択　決定で決定　戻るで前画面へ　メニューで終了

- 「関東」は2ページあります。
  2ページ目を表示するには、「次の地域画面」を選んで決定ボタンを押します。
  1ページ目に戻るには、「前の地域画面」を選んで決定ボタンを押します。

6 カーソルボタン（◀▶▲▼）を押してお住まいの都市を選ぶ

7 決定ボタンを押す

選んだ地域のチャンネルが自動的に設定され、「チャンネル1～12ボタンの設定変更」画面が表示されます。

映像調節　音声調節　各種設定　初期設定
チャンネル1～12ボタンの設定変更
変更したいチャンネルボタンを選んでください。

① [1	② [14	③ [3
④ [4	⑤ [16	⑥ [6
⑦ [38	⑧ [8	⑨ [42
⑩ [10	⑪ [46	⑫ [12

初期に戻す

◀◆▶で選択　決定で決定　戻るで前画面へ　メニューで終了

8 カーソルボタン（◀▶▲▼）を押して、各チャンネルが受信できることを確認する

選んだチャンネルに切り換わります。

メニュー画面を消すには
メニューボタンを押す

お買い上げの時の設定に戻すには

手順7で「初期に戻す」を選び、決定ボタンを押します。

お住まいの地域名がないときは

地域チャンネル表（☞31～34ページ）から、お住まいに近い地域名をさがして設定してください。

うまく受信できないチャンネルがあるときは

お住まいの場所によっては、近隣の地域を選んだ方がうまく受信できることがあります。近県または近隣の地域を選び、もう一度地域チャンネル合わせを行ってみてください。
「1」と「2」がある地域の場合、「1」でうまく受信できないときは「2」を選んで、もう一度地域チャンネル合わせを行ってみてください。
例：　八王子市にお住まいの方で「はちおうじ1」で放送が受信できないときは「はちおうじ2」に設定してください。

ご注意
横浜市にお住まいの方は、はじめに「よこはま2」で設定してください。放送が受信できないときは「よこはま1」に設定してください。

次のような場合は「地上アナログ放送のチャンネルを個別に設定する」（☞45ページ）をご覧ください。

受信状態が悪いとき
「チャンネル1～12ボタンの設定変更」画面の「受像微調整」で調節します。

空きチャンネルの設定を変えたい
地上アナログ放送のチャンネルをチャンネル+/−ボタンで切り換えるときに、空きチャンネルを選ばないように設定できます（チャンネルスキップ）。
また、空きチャンネルに受信できる他のチャンネルを割り当てることができます。

チャンネルの画面表示を変えたい
お買い上げ時には、押したチャンネル数字ボタンの番号が表示されるように設定されています。
チャンネル番号と画面表示が異なるときは、一致するように設定できます。例えば、42チャンネルを選んだら、画面表示も「42」になるように設定できます。

ご注意
地域チャンネル合わせはテレビの中継局には対応していません。中継局からの電波を受信したい場合は、個別にチャンネル合わせを行ってください。（☞45ページ）

地域チャンネル表

お知らせ

放送局名･受信チャンネルは当社の調査によるものです。

地域チャンネル表の見かた

リモコンのチャンネル番号

	地域名	放送局名・受信チャンネル	
		1	2
都道府県名	地域名（対応都市）	放送局名 受信チャンネル	放送局名 受信チャンネル

	地域名	放送局名・受信チャンネル											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
北海道	札幌（江別）	北海道放送 1		NHK総合 3		札幌テレビ 5			北海道文化 27		北海道テレビ 35	テレビ北海道 17	NHK教育 12
	小樽		NHK教育 2		北海道テレビ 4			札幌テレビ 7	北海道文化 26	北海道放送 9		NHK総合 11	テレビ北海道 24
	旭川		NHK教育 2	北海道文化 37		北海道テレビ 39		札幌テレビ 7		NHK総合 9		北海道放送 11	テレビ北海道 33
	名寄			北海道文化 26	NHK総合 4		札幌テレビ 6		北海道テレビ 24		北海道放送 10		NHK教育 12
	稚内		NHK教育 30	北海道文化 26		北海道テレビ 24		札幌テレビ 22		NHK総合 28	北海道放送 10		
	室蘭		NHK教育 2	北海道文化 37		北海道テレビ 39		札幌テレビ 7		NHK総合 9		北海道放送 11	テレビ北海道 29
	苫小牧		NHK教育 49	北海道文化 53		北海道テレビ 61		札幌テレビ 57		NHK総合 51		北海道放送 55	テレビ北海道 47
	函館		北海道文化 27		NHK総合 4		北海道放送 6		北海道テレビ 35		NHK教育 10	テレビ北海道 21	札幌テレビ 12
	帯広		北海道文化 32		NHK総合 4		北海道放送 6		北海道テレビ 34		札幌テレビ 10		NHK教育 12
	釧路		NHK教育 2	北海道文化 41		北海道テレビ 39		札幌テレビ 7		NHK総合 9		北海道放送 11	
	網走	北海道放送 1		NHK総合 3		札幌テレビ 5			北海道文化 27		北海道テレビ 35		NHK教育 12
	北見		NHK教育 2	北海道文化 59		北海道テレビ 61		札幌テレビ 7		NHK総合 9		北海道放送 53	
青森	青森（弘前）	青森放送 1		NHK総合 3	青森朝日 34	NHK教育 5							青森テレビ 38
	八戸		岩手めんこい 29		青森朝日 31			NHK教育 7		NHK総合 9		青森放送 11	青森テレビ 33
	むつ				NHK総合 4		青森朝日 56		青森テレビ 58		青森放送 10		NHK教育 12
岩手	盛岡				NHK総合 4		岩手放送 6		NHK教育 8	岩手朝日 31	テレビ岩手 35		岩手めんこい 33
	釜石		NHK総合 2				テレビ岩手 58/35		岩手めんこい 60/33	岩手朝日 62/20	岩手放送 10/6		NHK教育 12/90
	二戸		岩手放送 2			NHK総合 5			岩手めんこい 29	岩手朝日 61	テレビ岩手 37		NHK教育 12
宮城	仙台	東北放送 1		NHK総合 3		NHK教育 5		東日本放送 32		宮城テレビ 34			仙台放送 12
	石巻	東北放送 59		NHK総合 51		NHK教育 49		東日本放送 61		宮城テレビ 55			仙台放送 57
	気仙沼		NHK総合 2		東北放送 4		仙台放送 6	東日本放送 43		宮城テレビ 37	NHK教育 10		
秋田	秋田		NHK教育 2			秋田朝日 31				NHK総合 9		秋田放送 11	秋田テレビ 37
	大館				NHK総合 4	秋田朝日 59	秋田放送 6		NHK教育 8				秋田テレビ 57
	大曲		NHK教育 43			秋田朝日 41				NHK総合 45		秋田放送 47	秋田テレビ 51
山形	山形		さくらんぼテレビ 30		NHK教育 4		テレビユー山形 36		NHK総合 8		山形放送 10		山形テレビ 38
	鶴岡(酒田)	山形放送 1	さくらんぼテレビ 24	NHK総合 3			NHK教育 6		テレビユー山形 22				山形テレビ 39
	米沢		さくらんぼテレビ 60		NHK教育 50		テレビユー山形 56		NHK総合 52		山形放送 54		山形テレビ 58
福島	福島（郡山）		NHK教育 2		テレビユー福島 31		福島中央 33			NHK総合 9	福島放送 35	福島テレビ 11	
	いわき		テレビユー福島 62		NHK総合 4		福島中央 58		福島テレビ 8		NHK教育 10		福島放送 60
	会津若松	NHK総合 1		NHK教育 3	テレビユー福島 47		福島テレビ 6		福島中央 37		福島放送 41		
茨城	水戸（勝田）	NHK総合 44		NHK教育 46	日本テレビ 42		TBS 40		フジテレビ 38		テレビ朝日 36		テレビ東京 32
	日立	NHK総合 52		NHK教育 50	日本テレビ 54		TBS 56		フジテレビ 58		テレビ朝日 60		テレビ東京 62

地域チャンネル表

お知らせ

放送局名･受信チャンネルは当社の調査によるものです。

地域チャンネル表の見かた

リモコンのチャンネル番号

	地域名	放送局名・受信チャンネル		
		1	2	
都道府県名	地域名（対応都市）	放送局名 受信チャンネル	放送局名 受信チャンネル	

	地域名	放送局名・受信チャンネル											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
栃木	宇都宮1	NHK総合 29		NHK教育 27	日本テレビ 25		TBS 23		フジテレビ 21		テレビ朝日 19	とちぎテレビ 31	テレビ東京 17
	宇都宮2	NHK総合 51		NHK教育 49	日本テレビ 53		TBS 55		フジテレビ 57		テレビ朝日 41	とちぎテレビ 31	テレビ東京 44
	矢板1	NHK総合 51		NHK教育 49	日本テレビ 53		TBS 55		フジテレビ 57		テレビ朝日 59	とちぎテレビ 33	テレビ東京 61
	矢板2	NHK総合 40		NHK教育 30	日本テレビ 36		TBS 42		フジテレビ 45		テレビ朝日 59	とちぎテレビ 33	テレビ東京 61
群馬	前橋（伊勢崎・高崎）	NHK総合 52		NHK教育 50	日本テレビ 54	群馬テレビ 48	TBS 56	放送大学 40	フジテレビ 58		テレビ朝日 60		テレビ東京 62
	桐生1	NHK総合 43		NHK教育 45	日本テレビ 39	群馬テレビ 41	TBS 37	放送大学 40	フジテレビ 35		テレビ朝日 33		テレビ東京 31
	桐生2	NHK総合 51		NHK教育 57	日本テレビ 53	群馬テレビ 41	TBS 55	放送大学 40	フジテレビ 35		テレビ朝日 59		テレビ東京 61
埼玉	さいたま（三郷・越谷・狭山・草加・所沢・新座・上尾・朝霞・入間・岩槻・大宮・春日部・川口・川越）	NHK総合 1	MXテレビ 14	NHK教育 3	日本テレビ 4	放送大学 16	TBS 6		フジテレビ 8		テレビ朝日 10	テレビ埼玉 38	テレビ東京 12
	熊谷1	NHK総合 33		NHK教育 35	日本テレビ 25		TBS 23		フジテレビ 21		テレビ朝日 19	テレビ埼玉 28	テレビ東京 17
	熊谷2	NHK総合 51		NHK教育 35	日本テレビ 53		TBS 55		フジテレビ 57		テレビ朝日 59	テレビ埼玉 30	テレビ東京 61
	秩父1	NHK総合 51		NHK教育 49	日本テレビ 53		TBS 55		フジテレビ 57		テレビ朝日 59	テレビ埼玉 47	テレビ東京 61
	秩父2	NHK総合 14		NHK教育 49	日本テレビ 16		TBS 18		フジテレビ 29		テレビ朝日 38	テレビ埼玉 47	テレビ東京 44
千葉	千葉（我孫子・市川・市原・浦安・柏・木更津・佐倉・流山・習志野・野田・船橋・松戸・八千代）	NHK総合 1	MXテレビ 14	NHK教育 3	日本テレビ 4	放送大学 16	TBS 6		フジテレビ 8		テレビ朝日 10	千葉テレビ 46	テレビ東京 12
	銚子	NHK総合 51		NHK教育 49	日本テレビ 53		TBS 55		フジテレビ 57		テレビ朝日 59	千葉テレビ 39	テレビ東京 61
東京	23区（昭島・青梅・清瀬・小金井・小平・立川・調布・西東京・東久留米・東村山・日野・府中・武蔵野・三鷹）	NHK総合 1	MXテレビ 14	NHK教育 3	日本テレビ 4	放送大学 16	TBS 6	テレビ埼玉 38	フジテレビ 8	テレビ神奈川 42	テレビ朝日 10	千葉テレビ 46	テレビ東京 12
	八王子1	NHK総合 51	MXテレビ 47	NHK教育 49	日本テレビ 53		TBS 55		フジテレビ 57		テレビ朝日 59		テレビ東京 61
	八王子2	NHK総合 33	MXテレビ 40	NHK教育 29	日本テレビ 35		TBS 37		フジテレビ 31		テレビ朝日 45		テレビ東京 62
	多摩1	NHK総合 30	MXテレビ 28	NHK教育 32	日本テレビ 26		TBS 24		フジテレビ 22		テレビ朝日 20		テレビ東京 18
	多摩2	NHK総合 49	MXテレビ 61	NHK教育 47	日本テレビ 51		TBS 53		フジテレビ 55		テレビ朝日 57		テレビ東京 59
神奈川	*1 横浜1（横浜の一部）	NHK総合 52		NHK教育 50	日本テレビ 54		TBS 56		フジテレビ 58		テレビ朝日 60	テレビ神奈川 48	テレビ東京 62
	*1 横浜2（横浜・厚木・海老名・鎌倉・川崎・相模原・座間・藤沢・町田・大和・横須賀）	NHK総合 1	MXテレビ 14	NHK教育 3	日本テレビ 4	放送大学 16	TBS 6		フジテレビ 8		テレビ朝日 10	テレビ神奈川 42	テレビ東京 12
	平塚（茅ヶ崎）	NHK総合 33		NHK教育 29	日本テレビ 35		TBS 37		フジテレビ 39		テレビ朝日 41	テレビ神奈川 31	テレビ東京 43
	秦野	NHK総合 47		NHK教育 49	日本テレビ 51		TBS 53		フジテレビ 55		テレビ朝日 57	テレビ神奈川 61	テレビ東京 59
	小田原	NHK総合 52		NHK教育 50	日本テレビ 54		TBS 56		フジテレビ 58		テレビ朝日 60	テレビ神奈川 46	テレビ東京 62
山梨	甲府	NHK総合 1		NHK教育 3		山梨放送 5		テレビ山梨 37					
長野	長野1		NHK総合 44	長野朝日 50		テレビ信州 40		長野放送 42		NHK教育 46		信越放送 48	
	長野2		NHK総合 2/80	長野朝日 20/20		テレビ信州 30/30		長野放送 38/38		NHK教育 9/90		信越放送 11	
	松本		NHK総合 44	長野朝日 50		テレビ信州 48		長野放送 42		NHK教育 46		信越放送 40/11	
	飯田			NHK教育 3	NHK総合 4	テレビ信州 42	信越放送 6		長野放送 40		長野朝日 44		
	岡谷・諏訪				NHK総合 4	テレビ信州 59	信越放送 6		NHK教育 8	長野放送 47	長野朝日 61		
新潟	新潟（長岡）			新潟テレビ21 21	テレビ新潟 29	新潟放送 5			NHK総合 8		新潟総合TV 35		NHK教育 12
	上越	NHK教育 1		NHK総合 3	テレビ新潟 27		新潟テレビ21 37		新潟総合TV 33		新潟放送 10		

	地域名	放送局名・受信チャンネル 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
富山	富山	北日本放送 1		NHK総合 3					富山テレビ 34		NHK教育 10		チューリップTV 32
	高岡	北日本放送 50		NHK総合 48					富山テレビ 44		NHK教育 46		チューリップTV 42
石川	金沢（小松）		石川テレビ 37		NHK総合 4		北陸放送 6		NHK教育 8		テレビ金沢 33		北陸朝日 25
	七尾	テレビ金沢 57		北陸朝日 59		NHK教育 5		石川テレビ 55		NHK総合 9		北陸放送 11	
福井	福井			NHK教育 3			北陸放送 6			NHK総合 9		福井放送 11	福井テレビ 39
	敦賀						NHK総合 6		福井放送 8		福井テレビ 38		NHK教育 12
岐阜	岐阜（大垣）	東海テレビ 1		NHK総合 39		中部日本放送 5		中京テレビ 35		NHK教育 9	岐阜放送 37	名古屋テレビ 11	テレビ愛知 25
	高山		NHK教育 2		NHK総合 4		中部日本放送 6	中京テレビ 26	東海テレビ 8		岐阜放送 38		名古屋テレビ 12
	中津川				NHK総合 4		名古屋テレビ 6	中京テレビ 26	中部日本放送 8		東海テレビ 10	岐阜放送 28	NHK教育 12
静岡	静岡（清水・焼津）		NHK教育 2	静岡第1 31		静岡朝日 33		テレビ静岡 35		NHK総合 9		静岡放送 11	
	浜松		静岡第1 30		NHK総合 4		静岡放送 6		NHK教育 8		静岡朝日 28		テレビ静岡 34
	富士（富士宮）		NHK教育 54	静岡第1 27		静岡朝日 29		テレビ静岡 39		NHK総合 52		静岡放送 41	
	三島・沼津		NHK教育 51	静岡第1 61		静岡朝日 57		テレビ静岡 59		NHK総合 53		静岡放送 55	
	島田	NHK総合 1		NHK教育 3		静岡放送 5		静岡第1 48			静岡朝日 50		テレビ静岡 58
	藤枝	NHK総合 42		NHK教育 44		静岡放送 40		静岡第1 24			静岡朝日 26		テレビ静岡 38
愛知	名古屋（安城・一宮・岡崎・春日井・刈谷・小牧・瀬戸・半田）	東海テレビ 1		NHK総合 3		中部日本放送 5	岐阜放送 37	中京テレビ 35	三重テレビ 33	NHK教育 9		名古屋テレビ 11	テレビ愛知 25
	豊橋（豊川）	東海テレビ 56		NHK総合 54		中部日本放送 62		中京テレビ 58		NHK教育 50		名古屋テレビ 60	テレビ愛知 52
	豊田	東海テレビ 57		NHK総合 53		中部日本放送 55		中京テレビ 59		NHK教育 51		名古屋テレビ 61	テレビ愛知 49
三重	津（鈴鹿・松阪・四日市）	東海テレビ 1		NHK総合 31		中部日本放送 5		中京テレビ 35		NHK教育 9	三重テレビ 33	名古屋テレビ 11	テレビ愛知 25
	伊勢	東海テレビ 57		NHK総合 53		中部日本放送 55		中京テレビ 47		NHK教育 49	三重テレビ 59	名古屋テレビ 61	
	名張	東海テレビ 62		NHK総合 52		中部日本放送 60		中京テレビ 54		NHK教育 50	三重テレビ 58	名古屋テレビ 56	
滋賀	大津		NHK総合 28		毎日放送 36		朝日放送 38	京都テレビ 34	関西テレビ 40		読売テレビ 42	びわ湖放送 30	NHK教育 46
	彦根		NHK総合 52		毎日放送 54		朝日放送 58		関西テレビ 60		読売テレビ 62	びわ湖放送 56	NHK教育 50
京都	京都（宇治）		NHK総合 2	京都テレビ 34	毎日放送 4	テレビ大阪 19	朝日放送 6		関西テレビ 8		読売テレビ 10		NHK教育 12
	舞鶴		NHK総合 51		毎日放送 53	京都テレビ 57	朝日放送 55		関西テレビ 59		読売テレビ 61		NHK教育 49
	福知山		NHK総合 50		毎日放送 54	京都テレビ 56	朝日放送 58		関西テレビ 60		読売テレビ 62		NHK教育 52
大阪	大阪（池田・和泉・茨木・門真・河内長野・岸和田・堺・吹田・大東・高槻・豊中・富田林・寝屋川・羽曳野・東大阪・枚方・松原・守口・八尾）		NHK総合 2	サンテレビ 36	毎日放送 4		朝日放送 6		関西テレビ 8	テレビ大阪 19	読売テレビ 10		NHK教育 12
兵庫	神戸1		NHK総合 28	サンテレビ 36	毎日放送 18		朝日放送 20		関西テレビ 22		読売テレビ 24	テレビ大阪 19	NHK教育 26
	神戸2		NHK総合 28	サンテレビ 36	毎日放送 31		朝日放送 41		関西テレビ 43		読売テレビ 47	テレビ大阪 19	NHK教育 45
	神戸灘		NHK総合 52	サンテレビ 62	毎日放送 54		朝日放送 56		関西テレビ 58		読売テレビ 60	テレビ大阪 19	NHK教育 50
	川西		NHK総合 29	サンテレビ 33	毎日放送 35		朝日放送 37		関西テレビ 39		読売テレビ 41		NHK教育 31
	三木		NHK総合 44	サンテレビ 36	毎日放送 34		朝日放送 38		関西テレビ 40		読売テレビ 42		NHK教育 46
	姫路		NHK総合 50	サンテレビ 56	毎日放送 54		朝日放送 58		関西テレビ 60		読売テレビ 62		NHK教育 52
	明石（加古川）		NHK総合 51	サンテレビ 55	毎日放送 53		朝日放送 57		関西テレビ 59		読売テレビ 61	テレビ大阪 19	NHK教育 49
奈良	奈良（橿原）		NHK総合 2	テレビ大阪 19	毎日放送 4	NHK奈良 51	朝日放送 6	京都テレビ 34	関西テレビ 8	サンテレビ 36	読売テレビ 10	奈良テレビ 55	NHK教育 12
	五條		NHK総合 43	奈良テレビ 41	毎日放送 33		朝日放送 35		関西テレビ 37		読売テレビ 39		NHK教育 45
和歌山	和歌山		NHK総合 32	テレビ和歌山 30	毎日放送 42		朝日放送 44		関西テレビ 46		読売テレビ 48		NHK教育 26
	海南・田辺		NHK総合 50	テレビ和歌山 56	毎日放送 54		朝日放送 58		関西テレビ 60		読売テレビ 62		NHK教育 52
鳥取	鳥取	日本海テレビ 1		NHK総合 3	NHK 教育 4				山陰中央 24		山陰放送 22		
島根	松江	日本海テレビ 30					NHK総合 6		山陰中央 34		山陰放送 10		NHK教育 12
	浜田		NHK総合 2	日本海テレビ 54		山陰放送 5			山陰中央 58	NHK教育 9			
岡山	岡山（倉敷）	TVせとうち 23		NHK教育 3		NHK総合 5	瀬戸内海放送 25	岡山放送 35		西日本放送 9		山陽放送 11	
	津山		NHK総合 2		TVせとうち 56		瀬戸内海放送 62	山陽放送 7		西日本放送 58		岡山放送 60	NHK教育 12
	笠岡		NHK総合 2		NHK教育 4	TVせとうち 19	山陽放送 6			西日本放送 17	瀬戸内海放送 21	岡山放送 60	

地域チャンネル表

お知らせ

放送局名･受信チャンネルは当社の調査によるものです。

地域チャンネル表の見かた

リモコンのチャンネル番号

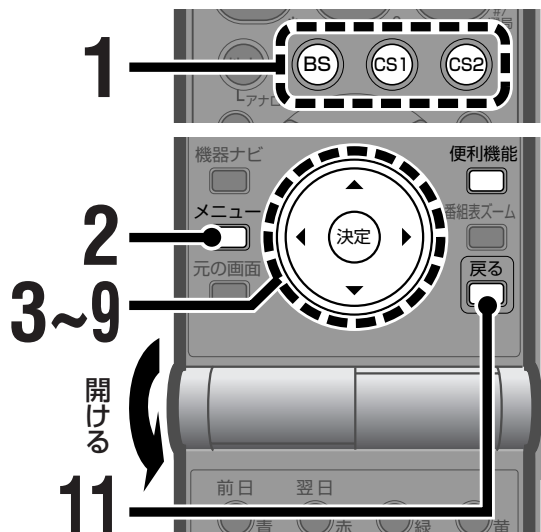
	地域名	放送局名・受信チャンネル		
		1	2	
都道府県名	地域名（対応都市）	放送局名 受信チャンネル	放送局名 受信チャンネル	

	地域名	放送局名・受信チャンネル											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
広島	広島	テレビ新広島 31		NHK総合 3	中国放送 4			NHK教育 7		広島ホームTV 35			広島テレビ 12
	福山	テレビ新広島 54		NHK教育 3		NHK総合 5		中国放送 7		広島ホームTV 57		広島テレビ 11	
	尾道	NHK総合 1			広島ホームTV 24			NHK教育 7	テレビ新広島 26		中国放送 10		広島テレビ 12
	呉	NHK教育 1			広島ホームTV 24	広島テレビ 5			テレビ新広島 26	中国放送 9		NHK総合 11	
山口	山口（徳山・防府）	NHK教育 1				山口朝日 28		テレビ山口 38		NHK総合 9		山口放送 11	
	下関	NHK教育 41		TXN九州 23	山口放送 4	山口朝日 21		テレビ山口 33		NHK総合 39	テレビ西日本 10		
	宇部	NHK教育 14				山口朝日 31		テレビ山口 20		NHK総合 16	テレビ西日本 10	山口放送 18	
	岩国	NHK教育 1				山口朝日 28		テレビ山口 22		NHK総合 9		山口放送 11	
徳島	徳島	四国放送 1		NHK総合 3	毎日放送 4		朝日放送 6		関西テレビ 8		読売テレビ 10		NHK教育 38
香川	高松	TVせとうち 19		NHK教育 39		NHK総合 37	瀬戸内海放送 33	岡山放送 31		西日本放送 41		山陽放送 29	
	丸亀	TVせとうち 16		NHK教育 40		NHK総合 44	瀬戸内海放送 42	岡山放送 22		西日本放送 20		山陽放送 18	
愛媛	松山		NHK教育 2		あいテレビ 29		NHK総合 6		愛媛放送 37	愛媛朝日 25	南海放送 10	テレビ新広島 31	広島ホームTV 35
	新居浜		NHK総合 2		NHK教育 4		南海放送 6		愛媛放送 36	愛媛朝日 14		あいテレビ 27	
	今治		NHK教育 30		あいテレビ 27		NHK総合 32		愛媛放送 36	愛媛朝日 17	南海放送 34		
	宇和島	NHK教育 1			あいテレビ 34		NHK総合 6		愛媛放送 32	愛媛朝日 16	南海放送 10		
高知	高知				NHK総合 4		NHK教育 6		高知放送 8		テレビ高知 38		高知さんさんテレビ 40
福岡	福岡	九州朝日 1		NHK総合 3	RKB毎日 4		NHK教育 6			テレビ西日本 9		TXN九州 19	福岡放送 37
	久留米	九州朝日 57		NHK総合 46	RKB毎日 48		NHK教育 54			テレビ西日本 60		TXN九州 14	福岡放送 52
	大牟田	九州朝日 58		NHK総合 53	RKB毎日 61		NHK教育 50			テレビ西日本 55		TXN九州 19	福岡放送 43
	北九州		九州朝日 2	TXN九州 23	福岡放送 35		NHK総合 6		RKB毎日 8		テレビ西日本 10		NHK教育 12
	行橋		九州朝日 57	TXN九州 19	福岡放送 43		NHK総合 49		RKB毎日 60		テレビ西日本 54		NHK教育 46
佐賀	佐賀		NHK教育 40	九州朝日 57	RKB毎日 48	TXN九州 14		サガテレビ 36	テレビ西日本 60	NHK総合 38		熊本放送 11	福岡放送 52
長崎	長崎	NHK教育 1		NHK総合 3		長崎放送 5		長崎国際 25		長崎文化 27		テレビ長崎 37	
	佐世保		NHK教育 2		長崎国際 17		長崎文化 31		NHK総合 8		長崎放送 10		テレビ長崎 35
	諫早	NHK教育 45		NHK総合 47		長崎放送 49		長崎国際 20		長崎文化 24		テレビ長崎 42	
熊本	熊本（八代）		NHK教育 2	熊本朝日 16		熊本県民 22		テレビ熊本 34		NHK総合 9		熊本放送 11	
大分	大分（別府）			NHK総合 3		大分放送 5		テレビ大分 36		大分朝日 24			NHK教育 12
	中津			NHK総合 48		大分放送 51		テレビ大分 37		大分朝日 17			NHK教育 45
宮崎	宮崎（都城）						テレビ宮崎 35		NHK総合 8		宮崎放送 10		NHK教育 12
	延岡		NHK教育 2		NHK総合 4		宮崎放送 6		テレビ宮崎 39				
鹿児島	鹿児島	南日本放送 1		NHK総合 3		NHK教育 5		鹿児島放送 32		鹿児島テレビ 38		鹿児島読売 30	
	阿久根		鹿児島読売 17		鹿児島放送 23		鹿児島テレビ 35		NHK総合 8		南日本放送 10		NHK教育 12
	鹿屋		NHK教育 2		NHK総合 4		南日本放送 6		鹿児島放送 31		鹿児島テレビ 33		鹿児島読売 25
沖縄	那覇（沖縄）		NHK総合 2			琉球朝日 28			沖縄テレビ 8		琉球放送 10		NHK教育 12

10 衛星デジタル放送の受信設定をする

本機を購入後、はじめて衛星デジタル放送をご覧になるときは、「衛星初期設定」で必要な設定をしてください。
あらかじめアンテナや電話線を接続し、B-CASカードを入れておきます。(☞21、25、27ページ)

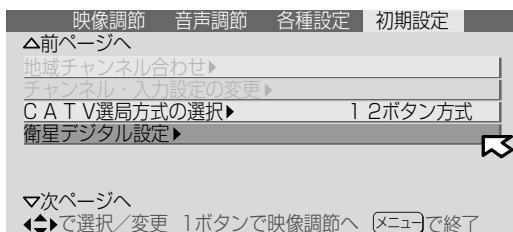
ステップ1：衛星アンテナを設定する

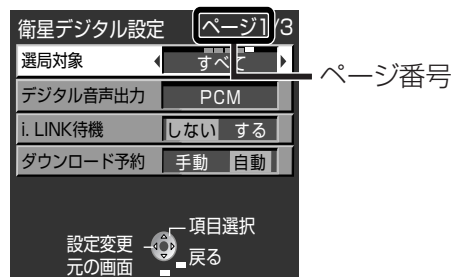
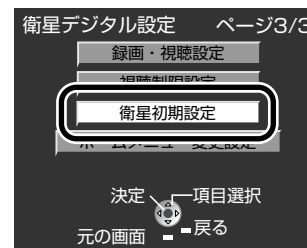
本機から衛星アンテナのコンバーターへ電源を供給するかしないかを設定します。
また、衛星アンテナの入力レベルを確認できます。

- **メニュー画面を切り換えるには**
  メニューを表示中に1ボタン（チャンネル数字ボタン）を押すと、各メニュー画面を切り換えることができます。
- **設定を途中でやり直すには**
  戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。
- **元の画面に戻るには**
  元の画面ボタンを押します。設定画面が消えます。

1 BS、CS1、またはCS2ボタンを押して衛星デジタル放送に切り換える

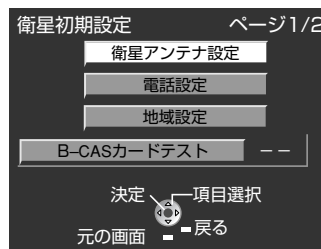
2 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

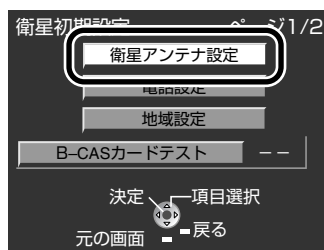
3 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「初期設定」メニューの「衛星デジタル設定」を選ぶ

4 カーソルボタン(◀▶)を押す

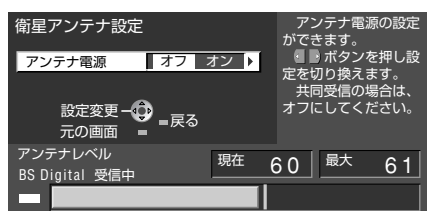
「衛星デジタル設定」画面が表示されます。

5 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「衛星初期設定」を選ぶ

- 「衛星デジタル設定」画面は3ページ構成です。上記の画面イラストは3ページ目です。

6 決定ボタンを3秒以上押す

「衛星初期設定」画面が表示されます。

➡次のページへ

ステップ1：衛星アンテナを設定する（つづき）

7 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「衛星アンテナ設定」を選ぶ

8 決定ボタンを押す

「衛星アンテナ設定」画面が表示されます。

9 カーソルボタン(◀▶)を押して設定を切り換える

衛星アンテナに電源を供給するかどうかを設定します。

オン　→手順10へ
衛星アンテナに電源を供給します。ご自宅で個別に衛星アンテナを設置している場合など、本機に直接衛星アンテナをつないでいるときに選びます。

オフ　→手順11へ
衛星アンテナに電源を供給しません。マンションなどで共聴システムをお使いのときに選びます。

10 衛星アンテナの向きを設定する

右記の「衛星アンテナを調節するには」をご覧になって、アンテナを調節してください。

11 戻るボタンを押す

「衛星初期設定」画面が表示されます。

➡ステップ2へ

お買い上げの時の設定に戻すには

「衛星初期設定」画面の「設定項目リセット」で、「衛星アンテナ設定」を工場出荷状態に戻すことができます。
ただし正常に受信できているときは行わないでください。（☞44ページ）

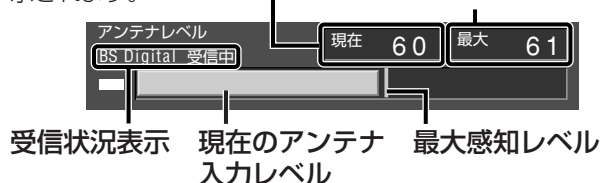
衛星アンテナを調節するには

「衛星アンテナ設定」画面で現在選んでいるチャンネルのアンテナ入力レベルを確認しながら、衛星アンテナの向きを調節します。

現在のアンテナ入力レベル値
0～99までの数値で表示されます。

最大感知レベル値：
アンテナの方向調整を始めてから受信した最大値を表示します。

アンテナレベル
BS Digital　受信中
現在　60
最大　61

受信状況表示　**現在のアンテナ入力レベル**　**最大感知レベル**

受信可能なレベルに達すると、受信状況表示に「BS Digital 受信中」や「SKY PerfecTV!2 受信中」などと表示されます。表示が出ている状態で、アンテナ入力レベルが最大になる向きを探し、その向きに衛星アンテナを固定してください。

お知らせ

- 110度CSデジタル放送をご覧になる場合は、110度CSデジタル放送のチャンネル（CS1-001チャンネルまたはCS2-100チャンネル）を選局し、調節してください。その向きのままでBSデジタル放送も受信できます。（あらためてBSデジタル放送を受信して調節する必要はありません。）
- 衛星アンテナは少しずつ動かしてください。画面のレベル表示は衛星アンテナの動きより少し遅れて表示されます。
（アンテナの調節方法についてはアンテナの取扱説明書もご覧ください。）

ご注意

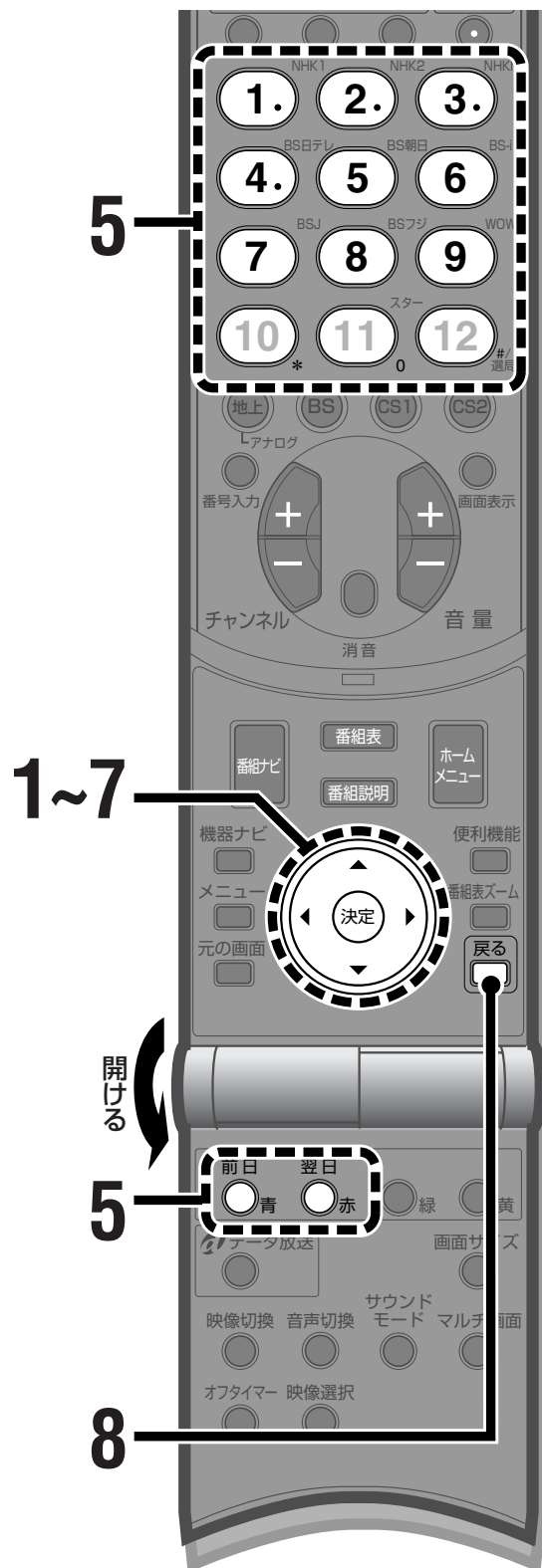
- アンテナの向きを調節するときは、入力レベルを確認する人と、向きを調節する人が連係を取りながらおこなってください。
- 受信状況表示に「他の衛星受信中」と表示されている場合は、BS・110度CSデジタル放送以外の衛星電波を受信しています。正しい向きをご確認のうえ、再度アンテナを調節してください。
- アンテナ入力レベル値が50以下のときは、放送を受信できないことがありますのでご注意ください。
- アンテナの最大入力レベルは受信チャンネル、天候、季節、アンテナの調節具合、受信している地域などによって異なります。

便利機能ボタンを押すと…

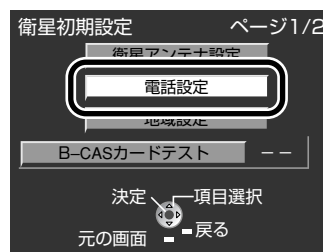
衛星デジタル放送をご覧のときに、便利機能メニューから現在のアンテナレベルを確認できます。

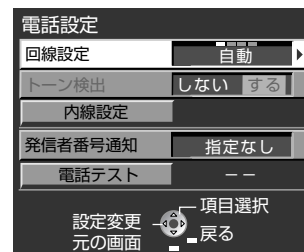
1. **衛星デジタル放送をご覧のときに便利機能ボタンを押す**
2. **カーソルボタン(▲▼)を押して「アンテナレベル」を選び、決定ボタンを押す**
現在のアンテナ入力レベルが表示されます。
3. **確認が終わったら元の画面ボタンを押す**

ステップ2：電話を設定する

衛星デジタル放送では、有料番組の購入や、クイズの解答・ショッピングの申し込みなどといった双方向型の番組への参加ができます。これらのサービスを受けるには電話線の接続と設定が必要です。電話線を接続（☞25ページ）のうえ、電話設定を行ってください。

お知らせ

ステップ1からのつづきで説明しています。
「衛星初期設定」画面が表示されていないときは、35ページの手順1から手順6を行ってください。

1 カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して「衛星初期設定」画面の「電話設定」を選ぶ

2 決定ボタンを押す

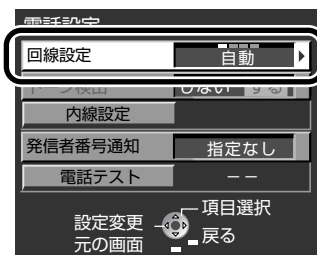
「電話設定」画面が表示されます。

3 電話回線の種類を設定する

本機に接続された電話回線に合わせて、回線の種類を設定します。

- 接続している電話回線の種類がわからないときは、電話会社にお問い合わせください。

1）カーソルボタン（▲▼）を押して「回線設定」を選ぶ

- **設定を途中でやり直すには**
  戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。
- **元の画面に戻るには**
  元の画面ボタンを押します。設定画面が消えます。

➡次のページへ

ステップ2: 電話を設定する(つづき)

2) カーソルボタン(◀▶)を押して設定する

自動

通常はこちらを選びます。
電話テスト(☞39ページ)を行うと、自動で回線の種類を検出し、設定します。

プッシュ

プッシュ回線をお使いの場合に選びます。

ダイヤル20

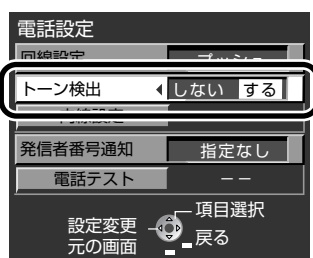
20PPSのダイヤル回線をお使いの場合に選びます。

ダイヤル10

10PPSのダイヤル回線をお使いの場合に選びます。

4 トーン検出を設定する

トーン検出は、本機が電話回線につながっているかどうかを検出する機能です。

1) カーソルボタン(▲▼)を押して「トーン検出」を選ぶ

2) カーソルボタン(◀▶)を押して設定する

する

通常はこちらを選びます。

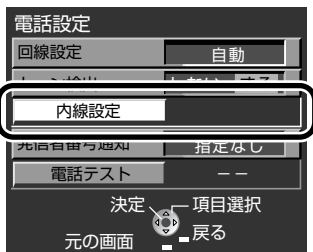
しない

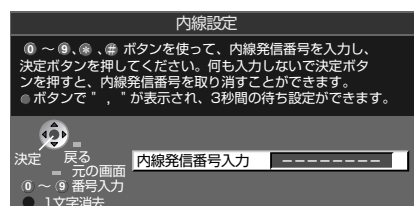
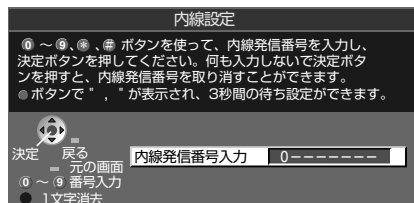
受話器を上げても無音で、「ツー」音が聞こえない内線電話などの場合に選びます。

5 内線発信番号を設定する

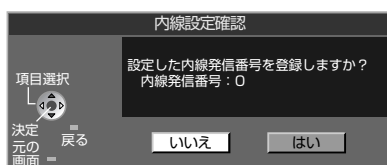
外線に電話をするときに0発信などが必要な電話回線に本機をつないでいるときはこの設定が必要です。

内線発信番号が必要ない場合は手順6(☞39ページ)へ進んでください。

1) カーソルボタン(▲▼)を押して「内線設定」を選ぶ

2) 決定ボタンを押す

「内線設定」画面が表示されます。

3) チャンネル数字ボタンを押して内線発信番号を入力する

- 時間待ち設定が必要な場合は、青ボタンを押して「,」(カンマ)を入力します。「,」(カンマ)1つで3秒間の待ち時間設定になります。
- 番号を間違えて入力したときは、赤ボタンを押します。押すたびに最後に入力した桁が消えます。
- すでに設定した内線発信番号を取り消すときは、何も入力せずに決定ボタンを押し、手順4)で「はい」を選んで決定ボタンを押します。

4) 決定ボタンを押す

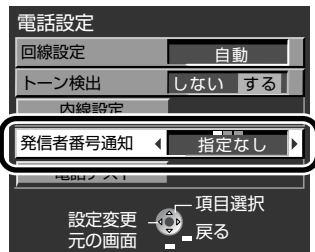
設定確認の画面が表示されます。

5) カーソルボタン(◀▶)を押して「はい」を選び、決定ボタンを押す

入力した内線発信番号が設定されます。

- 「いいえ」を選んで決定ボタンを押すと、入力した内線発信番号は取り消されます。

6 電話番号を通知するかどうかを設定する

電話回線を使用するときに、相手先に電話番号を通知するかしないかを設定します。

1）カーソルボタン（▲▼）を押して「発信者番号通知」を選ぶ

2）カーソルボタン（◀▶）を押して設定する

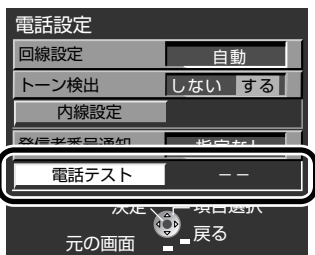
指定なし
登録している電話番号をそのままダイヤルします。番号を通知するかしないかは、お客様が通信事業者と契約されている内容に従います。

通知する
登録している電話番号の頭に「186」を付けてダイヤルします。

通知しない
登録している電話番号の頭に「184」を付けてダイヤルします。

7 電話の設定が正しいかどうかテストする

- 同じ電話回線に接続している電話機などが使用中でないことを確認してから行ってください。

1）カーソルボタン（▲▼）を押して「電話テスト」を選ぶ

2）決定ボタンを押す

電話のテストが開始されます。
- テストには数分かかる場合があります。

電話テスト	テスト中

電話のテストが終わると、「電話テスト」の項目にテスト結果が表示されます。

OK
正しく設定されています。

NG
不具合が発生しています。画面上の説明に従って原因を取り除いてください。また、電話線の接続も確認してください。
- 「電話設定」画面に戻るには、戻るボタンを押してください。

テスト中
テスト中です。

－－
テストをしていない状態です。

8 戻るボタンを押す

「衛星初期設定」画面が表示されます。

➡ステップ3へ

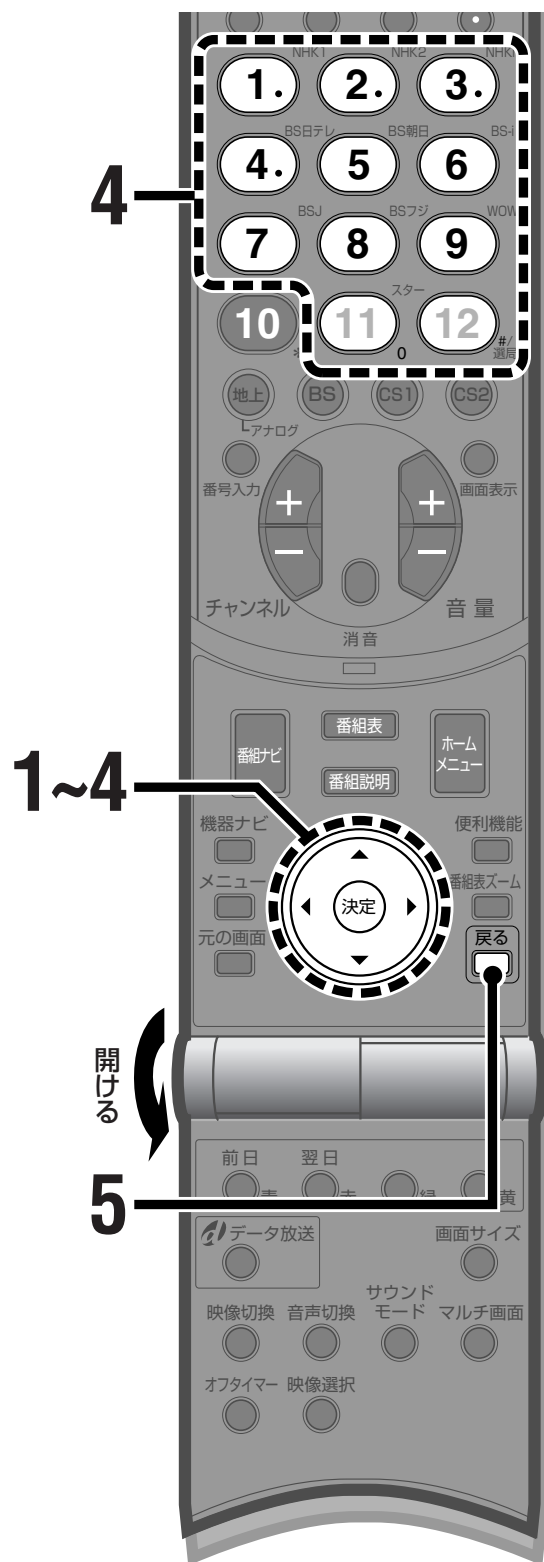
お買い上げの時の設定に戻すには

「衛星初期設定」画面の「設定項目リセット」で、「電話設定」を工場出荷状態に戻すことができます。ただし正常に通信できているときは行わないでください。（☞44ページ）

ご注意

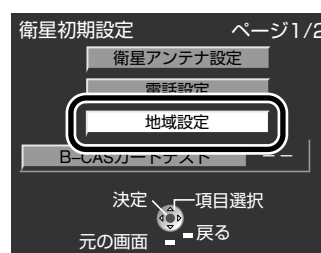
- 「回線設定」を「自動」に設定していても、電話テストで種類が検出できない電話回線があります。この場合は、ご使用の電話回線の種類を確認のうえ、「プッシュ」、「ダイヤル20」、「ダイヤル10」に設定してください。
- 「回線設定」を「自動」に設定していると、「トーン検出」は「しない」に設定できません。
- 「トーン検出」を「しない」に設定していると、同じ回線に接続している電話機などが回線を使用中でも、本機で通信操作が行われてしまいます。このような場合、使用中の電話機などにダイヤル音が混入し、通信障害の原因となります。
- 「発信者番号通知」を「通知しない」または「指定なし」に設定しても、データ放送によっては通知する場合があります。
- 電話回線の種類がわからないなど、お使いの電話回線の設定にご不明の点がある場合は、電話会社にお問い合わせください。

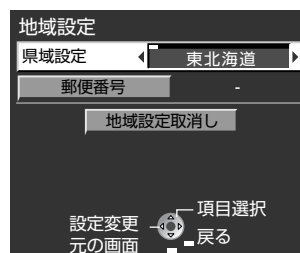
ステップ3：お住まいの地域を設定する

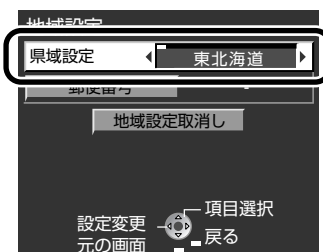
「地域設定」は、緊急警告放送やデータ放送のときに、それぞれの地域に関する情報を受信するための設定です。データ放送の情報提示に利用されますので、お住まいの地域、郵便番号を正しく設定されることをおすすめします。

- **設定を途中でやり直すには**
  戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。
- **元の画面に戻るには**
  元の画面ボタンを押します。設定画面が消えます。

お知らせ

ステップ2からのつづきで説明しています。
「衛星初期設定」画面が表示されていないときは、35ページの手順1から手順6を行ってください。

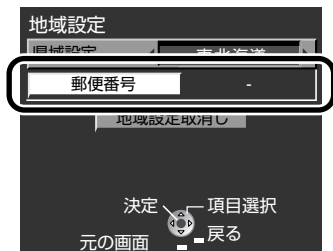
1 カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して「衛星初期設定」画面の「地域設定」を選ぶ

2 決定ボタンを押す

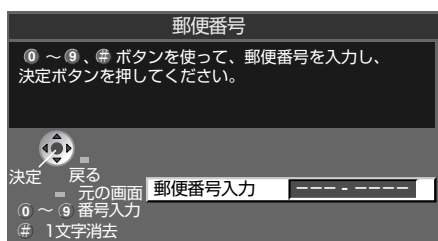
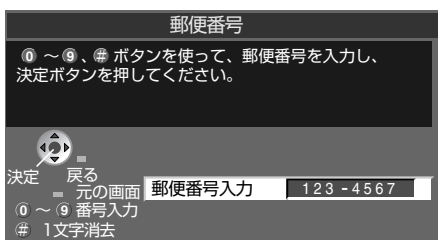
「地域設定」画面が表示されます。

3 お住まいの都道府県を設定する

1）カーソルボタン（▲▼）を押して「県域設定」を選ぶ

2）カーソルボタン（◀▶）を押して設定する

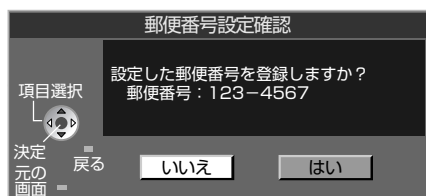
- 伊豆、小笠原諸島地域にお住まいのかたは、「東京都島部」を選んでください。
- 南西諸島鹿児島県地域にお住まいのかたは、「鹿児島県島部」を選んでください。

4 お住まいの地域の郵便番号を設定する

1）カーソルボタン（▲▼）を押して「郵便番号」を選ぶ

2）決定ボタンを押す

「郵便番号」の設定画面が表示されます。

3）チャンネル数字ボタンを押して7桁の郵便番号を入力する

- 0を入力するときはチャンネル数字ボタンの11を押します。
- 入力した番号を取り消すには、#（12）ボタンを押します。押すたびに最後に入力した桁が消えます。

4）決定ボタンを押す

設定確認の画面が表示されます。

5）カーソルボタン（◀▶）を押して「はい」を選び、決定ボタンを押す

入力した郵便番号が設定されます。

- 「いいえ」を選んで決定ボタンを押すと入力した郵便番号は取り消されます。

5 戻るボタンを押す

「衛星初期設定」画面が表示されます。

➡ステップ4へ

お買い上げ時の設定に戻すには

1 「地域設定」画面を表示中にカーソルボタン（▲▼）を押して「地域設定取消し」を選ぶ

2 決定ボタンを押す

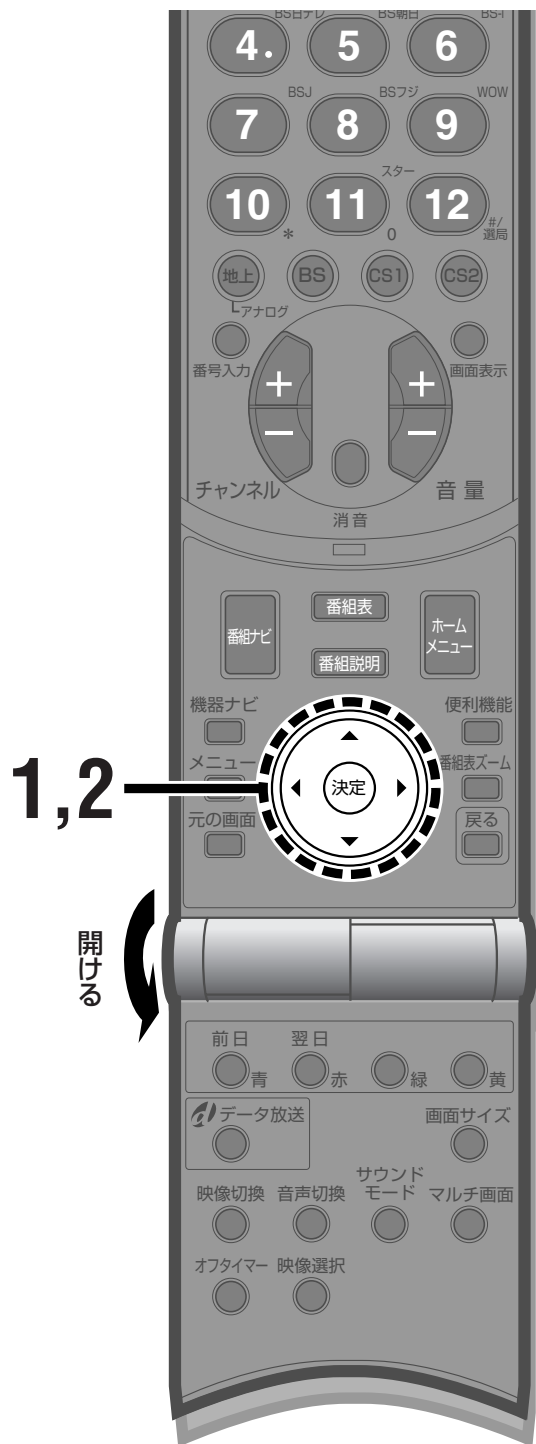
設定の取り消しを確認する画面が表示されます。

3 カーソルボタン（◀▶）を押して「はい」を選び、決定ボタンを押す

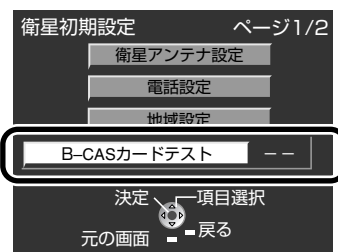
「県域設定」と「郵便番号」の設定が工場出荷状態に戻ります。

- 「いいえ」を選んで決定ボタンを押すと、設定は取り消されません。

ステップ4: B-CASカードをテストする

B-CASカードの動作テストを行います。B-CASカードが本体に入っていることを確認してください。

お知らせ

ステップ3からのつづきで説明しています。
「衛星初期設定」画面が表示されていないときは、35ページの手順1から手順6を行ってください。

1 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「衛星初期設定」画面の「B-CASカードテスト」を選ぶ

2 決定ボタンを押す

B-CASカードの動作テストの結果が表示されます。

OK

正常に動作しています。

NG

正常に動作していません。
B-CASカードが挿入されているか、B-CASカードの挿入方向が間違っていないか、使用できないB-CASカードが挿入されていないかなどを確認してください。(☞27ページ)

テスト中

テスト中です。

ーー

テストをしていない状態です。

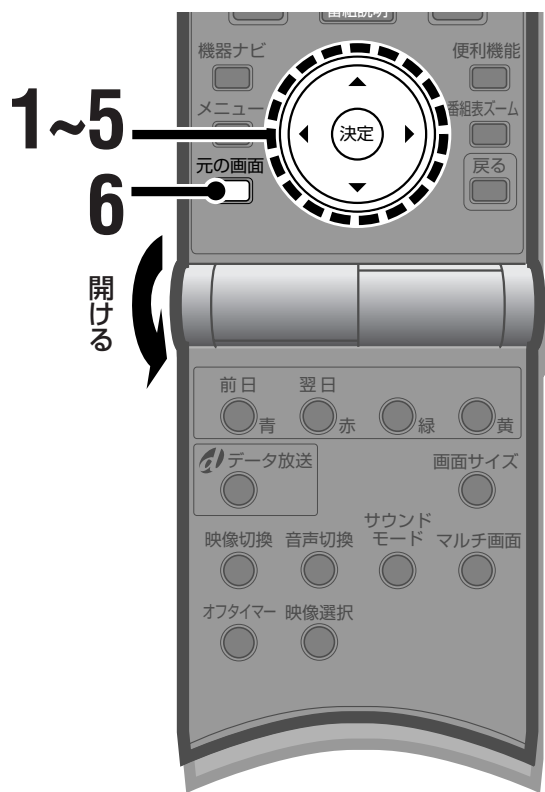
➡ステップ5へ

- **設定を途中でやり直すには**
  戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。
- **元の画面に戻るには**
  元の画面ボタンを押します。設定画面が消えます。

ご注意

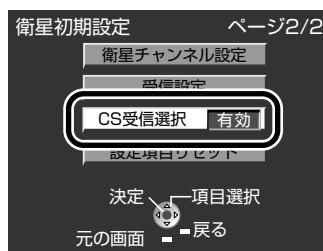
B-CASカードを抜き差ししたときは、3秒以上たってからB-CASカードのテストを行ってください。

ステップ5：110度CSデジタル放送の受信選択をする

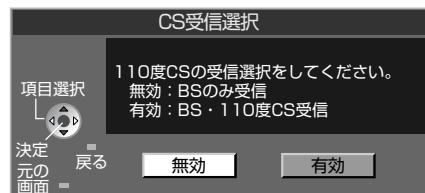
110度CSデジタル放送を受信するかどうかを設定します。

- **設定を途中でやり直すには**
  戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。
- **元の画面に戻るには**
  元の画面ボタンを押します。設定画面が消えます。

お知らせ

ステップ4からのつづきで説明しています。
「衛星初期設定」画面が表示されていないときは、35ページの手順1から手順6を行ってください。

1 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「衛星初期設定」画面の「CS受信選択」を選ぶ

- 「衛星初期設定」画面は2ページ構成です。
  上記の画面イラストは2ページ目です。

2 決定ボタンを押す

「CS受信選択」画面が表示されます。

3 カーソルボタン(◀▶)を押す

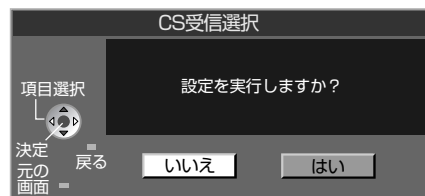
有効

110度CSデジタル放送を受信します。
通常はこちらを選びます。

無効

BSデジタル放送のみをご覧になるときに選びます。110度CSデジタル放送に関連する機能が表示されません。

4 決定ボタンを押す

設定を変更したときは設定確認の画面が表示されます。

5 カーソルボタン(◀▶)を押して「はい」を選び、決定ボタンを押す

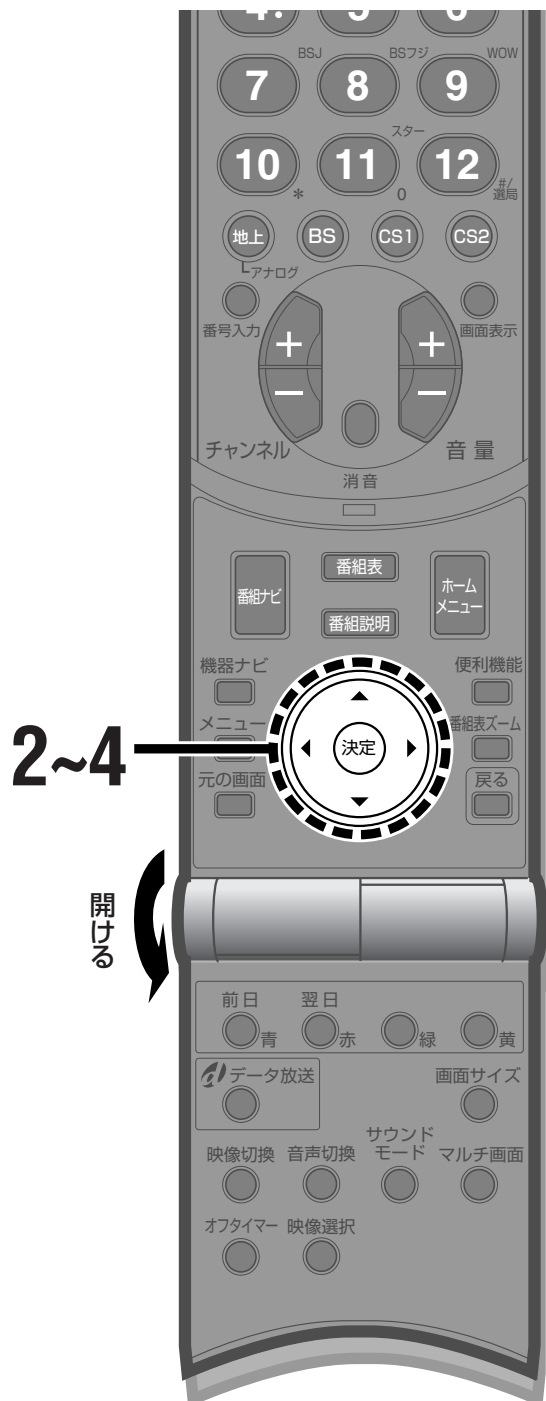
「衛星初期設定」画面が表示されます。
- 「いいえ」を選んで決定ボタンを押すと、設定は変更されません。

6 元の画面ボタンを押して終了する

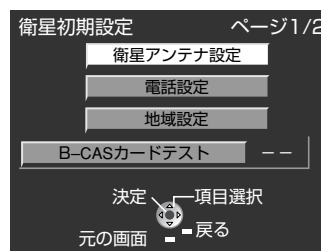
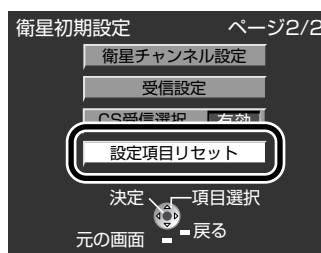
以上で準備は終了です。

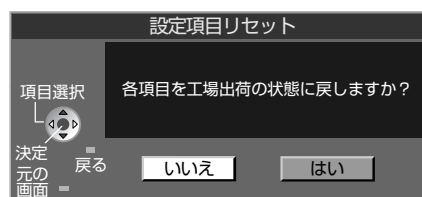
設定項目をリセットする

「衛星アンテナ設定」、「電話設定」、「受信設定」を工場出荷時の設定に戻します。

ご注意:
正常に受信または通信できているときは行わないでください。受信できなくなる場合があります。

• **設定を途中でやり直すには**
戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

1 「衛星初期設定」画面を表示する

• 35ページの手順1から手順6を行って表示してください。

2 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「設定項目リセット」を選ぶ

3 決定ボタンを押す

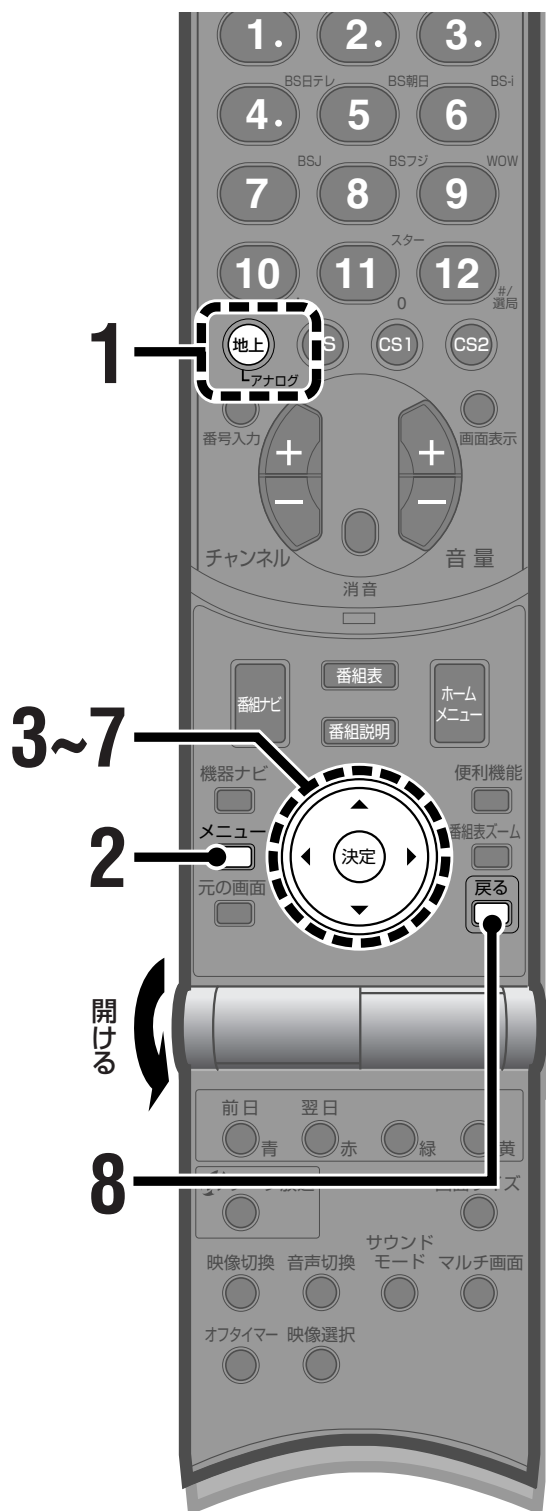
確認する画面が表示されます。

4 カーソルボタン(◀▶)を押して「はい」を選び、決定ボタンを押す

「衛星アンテナ設定」、「電話設定」、「受信設定」が工場出荷状態に戻ります。

• 「いいえ」を選んで決定ボタンを押すと、設定は変更されません。

「衛星初期設定」画面を消すには
元の画面ボタンを押す

地上アナログ放送のチャンネルを個別に設定する

「地上アナログ放送の受信設定をする」（☞29ページ）ではうまく受信できないときは、こちらで設定してください。また、空きチャンネルや画面表示の設定を変更することもできます。

• **メニュー画面を切り換えるには**
メニューを表示中に1ボタン（チャンネル数字ボタン）を押すと、各メニュー画面を切り換えることができます。

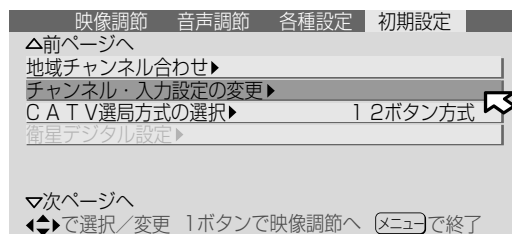
• **設定を途中でやり直すには**
戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

1 地上アナログボタンを押す

地上アナログ放送に切り換わります。

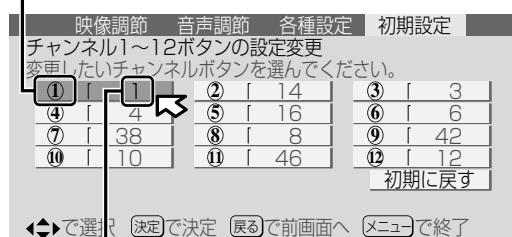
2 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

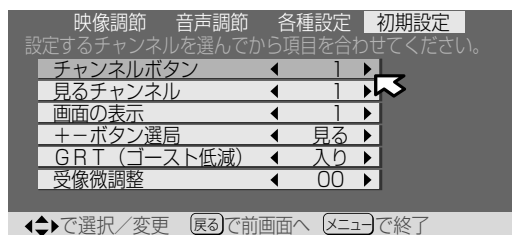
3 カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して「初期設定」メニューの「チャンネル・入力設定の変更」を選ぶ

4 カーソルボタン（◀▶）を押す

「チャンネル1～12ボタンの設定変更」画面が表示されます。

例：「23区」のとき

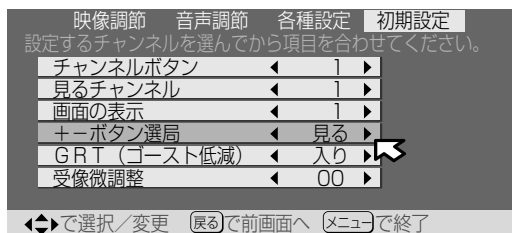
チャンネル数字ボタンの番号

受信するチャンネルの番号

5 カーソルボタン（◀▶▲▼）を押して変更したいチャンネル数字ボタンを選び、決定ボタンを押す

設定変更画面に切り換わります。

映像調節 音声調節 各種設定 初期設定
設定するチャンネルを選んでから項目を合わせてください。

項目	設定
チャンネルボタン	1
見るチャンネル	1
画面の表示	1
＋－ボタン選局	見る
GRT（ゴースト低減）	入り
受像微調整	00

◀⇕▶で選択／変更 戻るで前画面へ メニューで終了

6 カーソルボタン（▲▼）を押して設定する項目を選ぶ

チャンネルボタン
設定するチャンネル数字ボタンを選びます。（1～12）

見るチャンネル
チャンネル数字ボタンを押したときに受信するチャンネルを選びます。
（1～12：VHF放送、13～62：UHF放送、C13～C38：CATV放送）

画面の表示
テレビ画面上に表示するチャンネル番号を選びます。（お買い上げ時は、押したチャンネル数字ボタンの番号が表示されるように設定されています。）

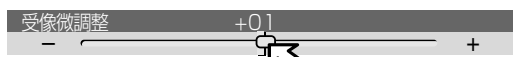
＋－ボタン選局
チャンネル＋/－ボタンでそのチャンネルを選べるようにするか、しないかの設定をします（チャンネルスキップ）。
放送を受信していないチャンネルをスキップしたいときは、「見ない」を選びます。

GRT（ゴースト低減）
ゴースト（映像が2重·3重になって映る現象）を低減するか、しないかの設定をします。通常は「入り」を選びます。（「地域チャンネル合わせ」を行うと、自動的に「入り」に設定されます。ただし、1チャンネルまたは2チャンネルに受信するチャンネルがない場合には、ゴースト低減機能は「切り」になります。）

受像微調整
受信状態が悪いときに調整します。最も映像がきれいに映るように調整します。

7 カーソルボタン（◀▶）を押して設定を変更する

- 「受像微調整」を選んだときには、調整画面が表示されます。カーソルボタン（◀▶）を押して、映像が最もきれいに映るように調整します。（数秒間操作を行わないと、調整画面が消えます。）

受像微調整　+01
－　＋

8 他のチャンネル数字ボタンの設定も変更するときは、戻るボタンを押す

手順4の画面に戻ります。
手順5から手順7をくり返して設定を変更します。

設定画面を消すには
メニューボタンを押す

空きチャンネルを使うには

1. **手順1～手順5を行い、手順5で放送を受信していないチャンネル数字ボタンを選ぶ**
2. **手順6で「見るチャンネル」を選ぶ**
3. **受信できるチャンネルの番号をカーソルボタン（◀▶）で選ぶ**

チャンネルの画面表示を変えるには

例えば、42チャンネルを選んだときに、画面表示も「42」になるように設定できます。

1. **手順1～手順5を行い、手順5で画面表示を変更したいチャンネル数字ボタンを選ぶ**
2. **手順6で「画面の表示」を選ぶ**
3. **表示させたい番号をカーソルボタン（◀▶）で選ぶ**
   - この例では「42」を選びます。

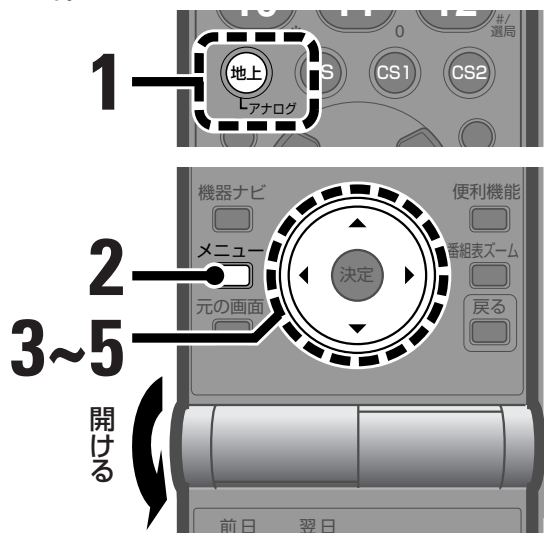
CATVチャンネルを設定する

CATV(ケーブルテレビ)を受信するには、使用する機器ごとにCATV各社との受信契約が必要です。また、スクランブルのかかった有料放送の視聴や録画にはアダプターが必要です。詳しくはお住まいの地域のCATV各社にご相談ください。

CATVチャンネルの選局方法を選ぶ

CATVをご覧の方は、まずこちらの設定を行ってください。
チャンネル番号をチャンネル数字ボタンで直接入力して選局することができます。

お知らせ

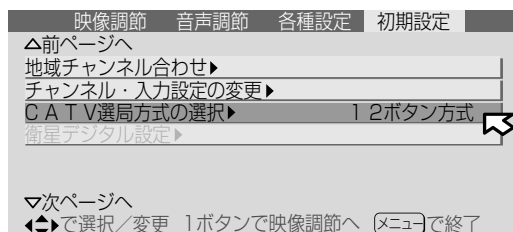
CATVをご覧にならない場合、CATVをご覧の場合でも受信できるチャンネル数が12以下のときは、この設定は必要ありません。

- **メニュー画面を切り換えるには**
  メニューを表示中に1ボタン(チャンネル数字ボタン)を押すと、各メニュー画面を切り換えることができます。
- **設定を途中でやり直すには**
  戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

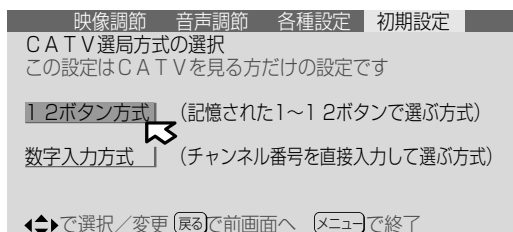
1 地上アナログボタンを押す

地上アナログ放送に切り換わります。

2 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

3 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「初期設定」メニューの「CATV選局方式の選択」を選ぶ

4 カーソルボタン(◀▶)を押す

「CATV選局方式の選択」画面が表示されます。

5 カーソルボタン(▲▼)を押して「数字入力方式」を選ぶ

設定画面を消すには
メニューボタンを押す

「数字入力方式」でチャンネルを選ぶには

「数字入力方式」に設定した場合、地上アナログ放送とCATVのチャンネルを選ぶには、チャンネル番号をチャンネル数字ボタンで入力します。

例: VHFの1チャンネルを選局するときは
0(11)、1と押す

例: VHFの12チャンネルを選局するときは
1、2と押す

例: CATVのチャンネル34を選局するときは
3、4と押す

- 1けたのチャンネル番号を入力するときは、チャンネル番号を入力したあと、選局(12)ボタンを押しても入力できます。

  例: VHFの1チャンネルを選局するときは
  1、選局(12)と押す

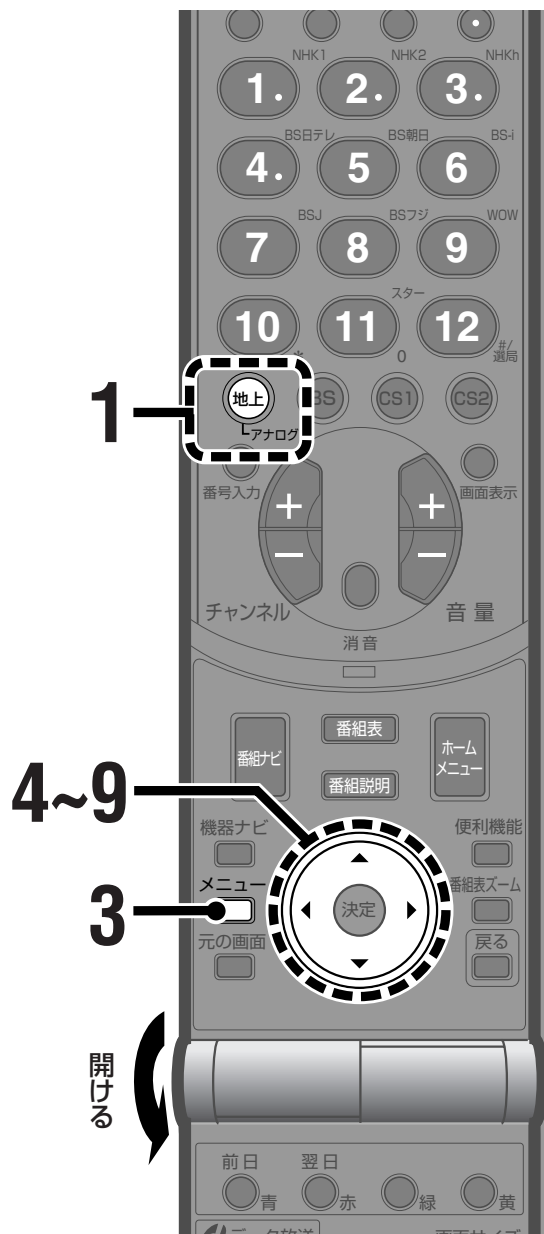
お買い上げ時の設定に戻すには

リモコンの1から12ボタンで直接選局できるように戻すには、手順1から手順4を行い、手順5で「12ボタン方式」を選びます。

ご注意

「数字入力方式」に設定すると、地上アナログ放送のチャンネルも数字入力方式になります。CATVをご覧にならないときは「12ボタン方式」を選んでください。

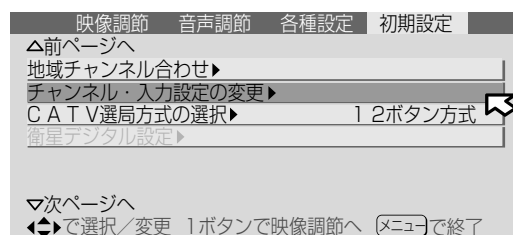
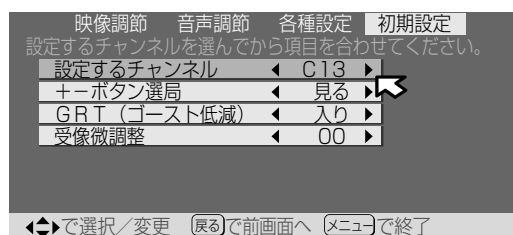
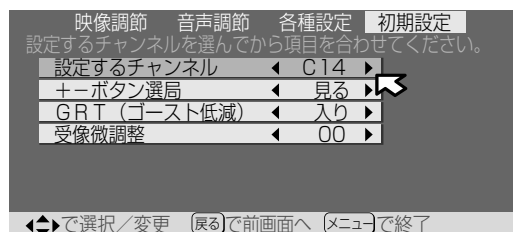
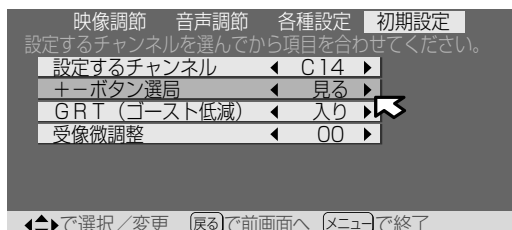
CATVチャンネルを個別に設定する

受信するCATVチャンネルを個別に設定します。
設定を行う前に、47ページをご覧になって、「CATV選局方式の選択」を「数字入力方式」に設定してください。

- **メニュー画面を切り換えるには**
  メニューを表示中に1ボタン（チャンネル数字ボタン）を押すと、各メニュー画面を切り換えることができます。
- **設定を途中でやり直すには**
  戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

1 地上アナログボタンを押す
地上アナログ放送に切り換わります。

2 CATVのチャンネル（C13～C38）に切り換える

3 メニューボタンを押す
メニュー画面が表示されます。

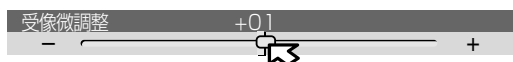
4 カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して「初期設定」メニューの「チャンネル・入力設定の変更」を選ぶ

5 カーソルボタン（◀▶）を押す
設定画面に切り換わります。

6 カーソルボタン（◀▶）を押して設定するチャンネルを選ぶ

7 カーソルボタン(▲▼)を押して設定する項目を選ぶ

設定するチャンネル
設定するチャンネルの番号を選びます。(C13〜C38)

＋ーボタン選局
チャンネル＋/ーボタンでそのチャンネルを選べるようにするか、しないかの設定をします。(チャンネルスキップ)
放送を受信していないチャンネルをスキップしたいときは、「見ない」を選びます。

GRT(ゴースト低減)
ゴースト(映像が2重·3重になって映る現象)を低減するか、しないかの設定をします。通常は「入り」を選びます。(お買い上げ時はすべてのCATVチャンネルで「入り」になっています。)

受像微調整
受信状態が悪いときに調整します。最も映像がきれいに映るように調整します。

8 カーソルボタン(◀▶)を押して設定を変更する

- 「受像微調整」を選んだときには、調整画面が表示されます。カーソルボタン(◀▶)を押して、映像が最もきれいに映るように調整します。(数秒間操作を行わないと、調整画面が消えます。)

9 他のチャンネルの設定も変更するには、カーソルボタン(▲▼)を押して「設定するチャンネル」を選び、手順7から手順9をくり返す

設定画面を消すには
メニューボタンを押す

ふだんの使い方

地上アナログ放送を見る

この取扱説明書ではリモコンを使っての操作を説明しています。
本体にある同じ名前のボタンでも同様に操作できます。

1 電源を入れる

リモコンの電源ボタンを押す

本体の電源が入ります。
• 本体の電源ボタンを押しても電源が入ります。
• 本体の電源ランプが点灯します。

電源を切るには
リモコンの電源ボタンを押す
• 本体の電源ボタンを押しても電源が切れます。
• 本体の電源ランプが消えます。

2 音量を調節する

音量＋/－ボタンを押す

画面に音量が表示されます。

画面表示

急いで音を消すには

消音ボタンを押す
電話がかかってきたときなど、一時的に音を消します。
「消音中」と画面に表示され続けます。
もう1度押すと、元の音量に戻ります。

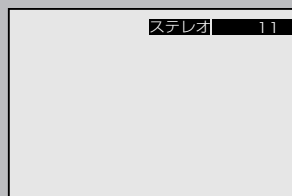
ご注意
• 次の場合は「消音中」の表示は出ません。
 ー番組ナビや番組表（☞62ページ）を表示しているとき。
 ーSDカード画面（☞143ページ）を表示しているとき。
• メニューを表示中に消音ボタンを押すと、メニューが消えます。

3 地上アナログ放送を見る

1 地上ボタンを押す

地上アナログ放送に切り換わります。

2 チャンネル数字ボタンを押す

選んだチャンネルが画面に表示されます。

画面表示

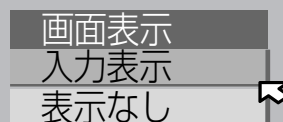
チャンネルを順番に選ぶには

チャンネル＋/－ボタンを押す

チャンネル番号を画面に表示する

画面表示ボタンを押す

設定画面が表示されます。
押すたびに「入力表示」と「表示なし」が切り換わります。

画面表示
入力表示
表示なし

入力表示
画面右上にチャンネル番号を表示します。

表示なし
チャンネルを変えたとき、一定のあいだチャンネル番号を表示します。

しばらくすると、設定画面が消えます。

ご注意
映像が映っていないとき（無信号）は、本機の電源が入っていることを示すため、表示を消すことはできません。

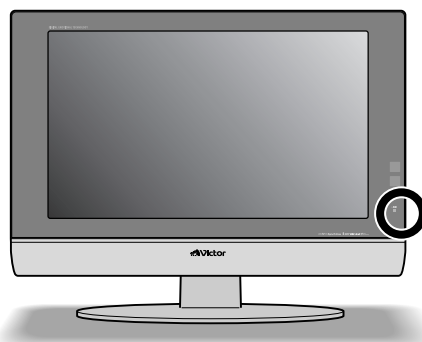
衛星デジタル放送を見る

この取扱説明書ではリモコンを使っての操作を説明しています。
本体にある同じ名前のボタンでも同様に操作できます。

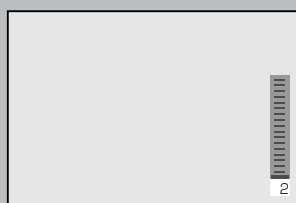
1 電源を入れる

リモコンの電源ボタンを押す

本体の電源が入ります。
• 本体の電源ボタンを押しても電源が入ります。
• 本体の電源ランプが点灯します。

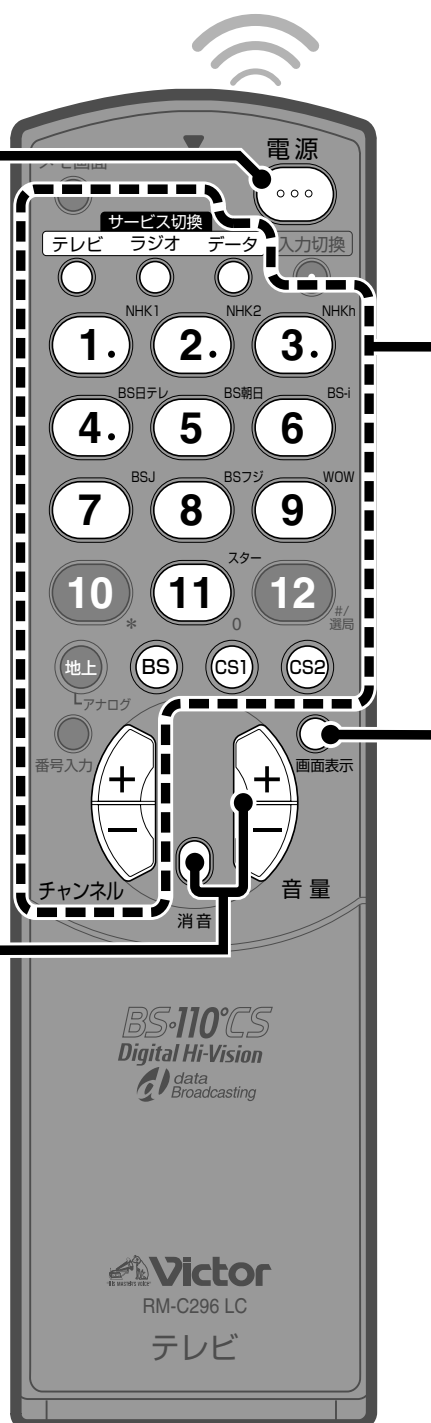
電源を切るには
リモコンの電源ボタンを押す
• 本体の電源ボタンを押しても電源が切れます。
• 本体の電源ランプが消えます。

2 音量を調節する

音量＋/－ボタンを押す

画面に音量が表示されます。

画面表示

急いで音を消すには

消音ボタンを押す
電話がかかってきたときなど、一時的に音を消します。
「消音中」と画面に表示され続けます。
もう1度押すと、元の音量に戻ります。

ご注意
• 次の場合は「消音中」の表示は出ません。
　－番組ナビや番組表（☞62ページ）を表示しているとき。
　－SD カード画面（☞143ページ）を表示しているとき。
• メニューを表示中に消音ボタンを押すと、メニューが消えます。

3 BS・110度CSデジタル放送を見る

1 BSボタン、CS1ボタン、またはCS2ボタンを押す

- BSボタン:　BSデジタル放送を見る
- CS1ボタン: CS1デジタル放送(プラットワン)を見る
- CS2ボタン: CS2デジタル放送(スカイパーフェクTV!2)を見る

2 サービス切換ボタン(テレビ、ラジオ、データ)を押す

見たい放送サービスのボタンを押します。

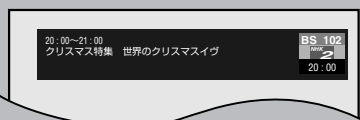
3 チャンネルを選ぶ

テレビ放送を見るとき

チャンネル数字ボタンを押す

ボタンに登録されているチャンネルに切り換わります。(下記の表をご覧ください。)

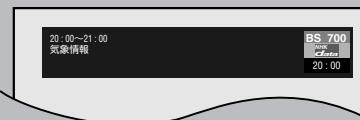
- チャンネル+/−ボタンで順番に選ぶこともできます。

画面表示

ラジオ放送またはデータ放送を見るとき

チャンネル+/−ボタンを押す

チャンネルが順番に切り換わります。

- チャンネル+/−ボタンで選ぶときは、「衛星デジタル設定」の「選局対象」の設定により、選べるチャンネルが異なります。(☞86ページ)

画面表示

お知らせ

- その他にも、いろいろなチャンネルの選び方があります。56、57ページをご覧ください。
- 衛星デジタル番組表から番組を探して選ぶこともできます。(☞62ページ)
- データ放送については60ページもご覧ください。

お買い上げ時はチャンネル数字ボタンに次のチャンネルが登録されています。

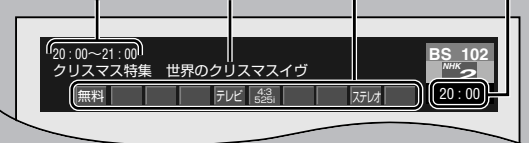
- チャンネル数字ボタンに登録されているチャンネルは変更できます。(☞87、89ページ)
- 放送局名やチャンネル名は実際とは異なる場合があります。

BS デジタル		
1	101	NHK1 (NHK BS1)
2	102	NHK2 (NHK BS2)
3	103	NHKh (NHK ハイビジョン)
4	141	BS 日テレ
5	151	BS 朝日
6	161	BS-i
7	171	BSJ (BS ジャパン)
8	181	BS フジ
9	191	WOW (WOWOW)
11	200	スター (スター・チャンネル)

CS1 (プラットワン)		
1	001	プロモ CH
2	999	カルチャー TV
3	963	Tivi ! 963
4	011	CS 日本
5	055	ep プラザ
6	900	お一当たり ch
7	700	Sound Terior
8		
9	090	WOWOW PPV ナビ
11		

CS2 (スカイパーフェク TV!2)		
1	100	スカパー ! 2 プロモ
2	110	ワンテンポータル
3	123	CS 映画
4	128	
5	250	アクティブ ! スポーツチャンネル
6	160	C-TBS ウェルカムチャンネル
7	170	BAZ
8	182	フジテレビ 739
9	194	AQ ステーション
11	190	TAKARAZUKA SKY STAGE

チャンネル番号や番組の情報を画面に表示する

画面表示ボタンを押す

* アイコンが示す内容については180ページをご覧ください。

放送時間　番組名　アイコン*　現在時刻

約5秒後 ➡

BS 102

もう一度画面表示ボタンを押すと画面表示が消えます。

お知らせ

チャンネルを切り換えたときも、番組情報が数秒間表示されます。

チャンネル番号を直接入力してチャンネルを選んだり、登録されているチャンネルを画面に表示して選ぶ（「お好み選局」）こともできます。

チャンネルを番号で直接選ぶ

1 衛星デジタル放送を見ているときに、番号入力ボタンを押す

番号入力の画面が表示されます。

2 チャンネル数字ボタンを押してチャンネル番号を入力する

例：101チャンネルを選ぶとき

① 1ボタンを押す

BS 1 - -

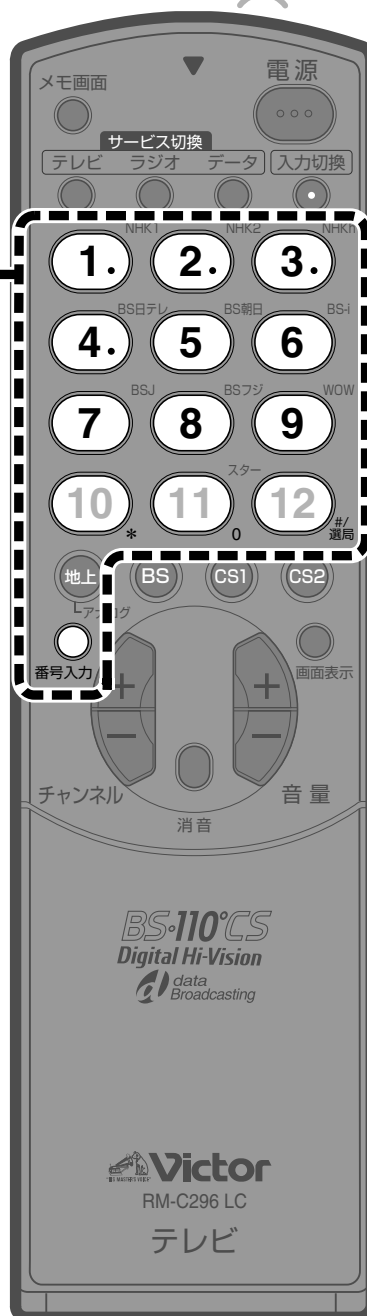
② （約5秒以内に）0（11）ボタンを押す

BS 1 0 -

③ （約5秒以内に）1ボタンを押す

- 入力する番号を間違えたときは、#（12）ボタンを押します。押すたびに最後に入力した桁が消えます。

お知らせ

約5秒以内につづきの番号を入力しなかったときは、番号入力の画面が消えます。

「お好み選局」で選ぶ

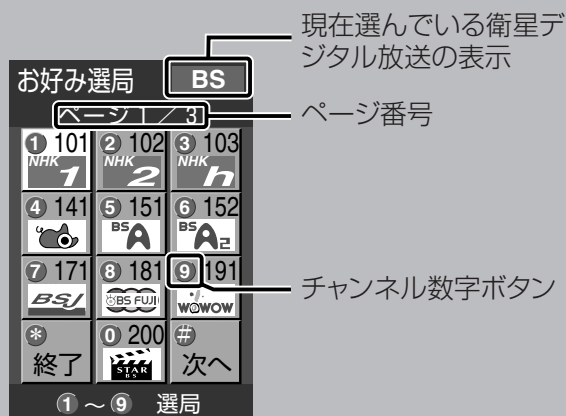
チャンネル数字ボタンに設定されたチャンネルやお好みで登録したチャンネルを、画面に表示して選べます。

お知らせ

- BSデジタル放送、CS1デジタル放送、CS2デジタル放送それぞれのお好みのチャンネルを、30チャンネルずつ登録できます。（☞89ページ）

1 衛星デジタル放送を見ているときに、#/選局（12）ボタンを押す

「お好み選局」画面が表示されます。

例：BSデジタル放送のとき

2 見たいチャンネルのチャンネル数字ボタンを押す

選んだチャンネルに切り換わります。
カーソルボタン（◀▶▲▼）でチャンネル数字ボタンを選んで、決定ボタンを押しても切り換えられます。

「お好み選局」画面は3ページです。

- **次のページを表示するには**
  ＃/選局（12）ボタンを押す
  （「終了」と表示されているときは画面が消えます。）
- **前のページを表示するには**
  ＊（10）ボタンを押す
  （「終了」と表示されているときは画面が消えます。）

衛星デジタル放送を楽しむ

データ放送を操作する

衛星デジタル放送のデータ放送では、リモコンを操作していろいろな情報を表示したり、クイズやアンケートに答えるといった双方向型番組へ参加することができます。

データ放送について

連動型データ放送　衛星テレビ放送や衛星ラジオ放送の番組に連動して、付加情報などを放送するデータ放送です。
データが連動して放送されているかどうかは番組によります。
番組情報で、次のアイコンが表示されている番組は連動型データ放送です。

連動型データ放送を表すアイコン：+ⓓテレビ　ⓓテレビ　+ⓓラジオ　ⓓラジオ

独立型データ放送　データ放送だけの放送です。「独立型データ放送」は、BS(CS)テレビ放送を選ぶときと同じように、チャンネルを選んで見ることができます。(☞55ページ)

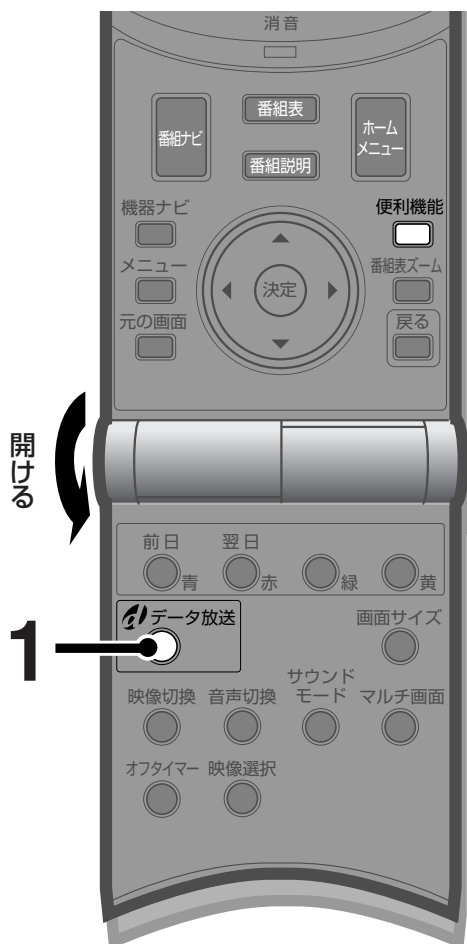
データ放送の特長

- ニュース、天気予報などをいつでも見られます。
- クイズやアンケートに答えたり、ショッピングなど双方向のサービスを受けられます。(電話線の接続および電話設定が必要です。☞ 25、37ページ)
- テレビ番組関連の情報を見られます。例えばスポーツ中継中に選手のプロフィールや他の試合の経過などを見られます。

お知らせ

データ放送のサービス内容は各放送局や番組によって異なります。

連動型データ放送を表示する

連動型データ放送のデータを表示するには、次の操作をしてください。

1 データ放送ボタンを押す

データ放送を見ることができます。

元の映像に戻るには

データ放送ボタンまたは元の画面ボタンを押す

便利機能ボタンを押すと…

連動型データ放送の表示を消すことができます。

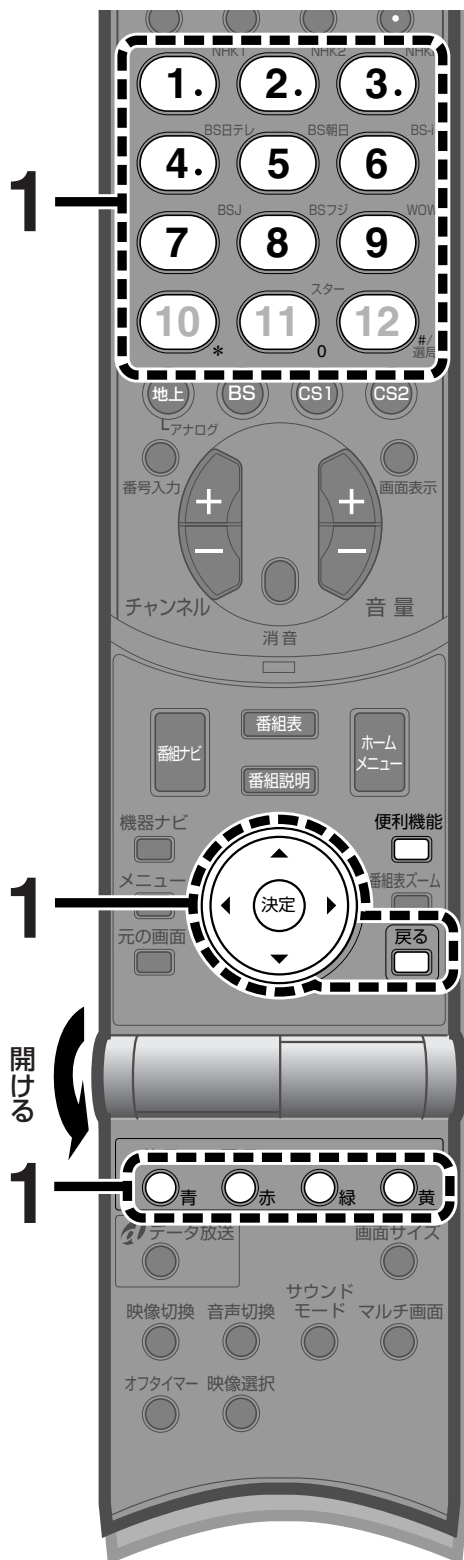
1. **連動型データ放送の表示中に便利機能ボタンを押す**
2. **カーソルボタン(▲▼)を押して「データ放送表示オフ」を選び、決定ボタンを押す**

ご注意

- 時間帯によっては、データ放送が放送されていない場合もあります。
- データ放送の種類によっては表示されない場合や、表示が出るまでに時間がかかる場合があります。故障ではありません。
- 番組によっては、選局と同時に「データを取得中です」の表示が出たり、データ放送に自動的に切り換わる場合があります。

データ放送の操作

データ放送の操作をするときは

- 操作は画面を見ながらゆっくりと行ってください。操作が速いと正しく反応しないことがあります。
- チャンネルを切り換えたり、別のデータ放送に切り換えた後は表示に時間がかかります。（1度受信したデータは記憶していますので、再表示するときは速くなります。）
- データ放送のボタンの表示は、放送局や番組によって異なります。
- 画面上に操作ガイドが表示されているときは、その指示にしたがって操作してください。
- **データ放送では、画面で表示される操作ボタンと実際に操作するボタンが異なることがあります。**

1 画面の表示にしたがって操作する

- **項目を選ぶとき**
  カーソルボタン（◀▶▲▼）で項目を選び、決定ボタンを押す
- **画面上のボタンに色がついているとき**
  同じ色のカラーボタンを押す
- **数字を選んだり、入力するとき**
  チャンネル数字ボタンを押す
- **前の画面に戻るとき**
  戻るボタンを押す

便利機能ボタンを押すと…

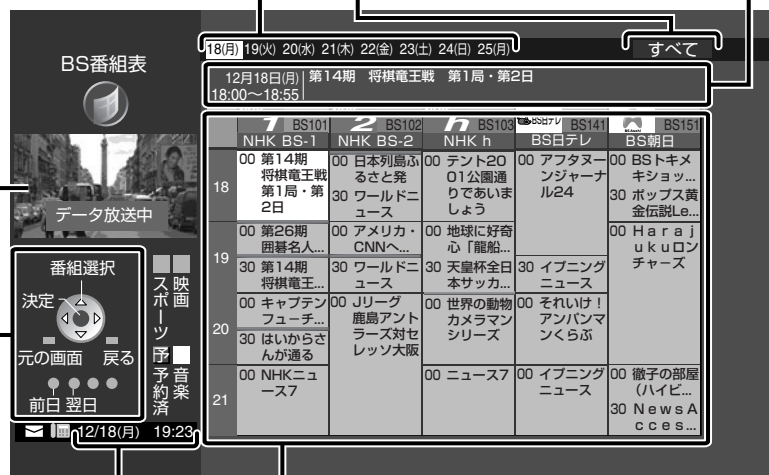
番組で複数のデータが送信されているとき、データを切り換えることができます。

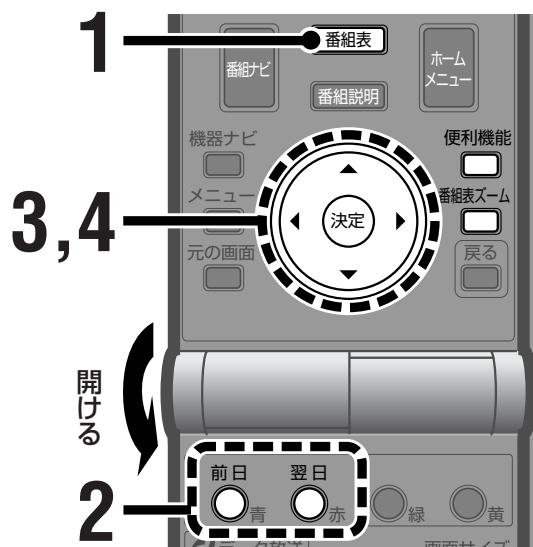
1. **複数のデータ放送の信号がある番組のとき、便利機能ボタンを押す**
2. **カーソルボタン（▲▼）を押して「信号切換」を選び、決定ボタンを押す**
3. **カーソルボタン（▲▼）を押して「データ」を選ぶ**
4. **カーソルボタン（◀▶）を押して信号を切り換える**

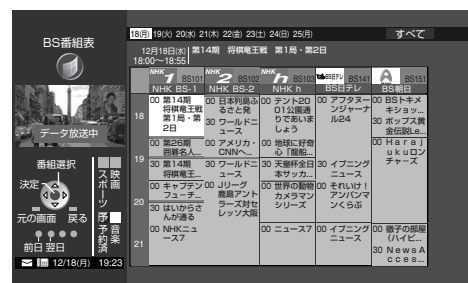
ご注意
2画面表示中にデータ放送の操作はできません。

見たい番組を探す

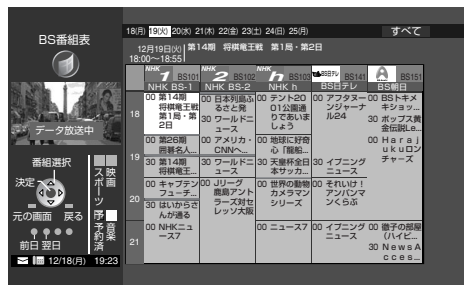
衛星デジタル番組表から選ぶ

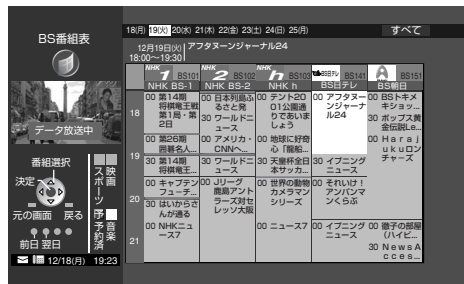
現在から一週間先までの全番組を表示できます。新聞や雑誌の番組欄を見るような感覚で番組を選べます。また、放送予定の番組を予約することもできます。**(☞97ページ)**

ご注意

- 電源を入れた後、番組表、番組内容表示などの機能が働くようになるまでに10秒程かかる場合があります。
- 「選局対象」(☞86ページ)の設定によって、番組表に表示されるチャンネルは異なります。
- 放送局の都合により番組が変更された場合は、番組表と実際の放送内容が一致しないことがあります。

1 番組表ボタンを押す

番組表が表示されます。
1度に5局、4時間分表示されます。

- **操作を途中でやり直すときは**
  戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。
- **元の画面に戻るには**
  元の画面ボタンを押します。メニューや設定画面が消えます。

2 前日(青)/翌日(赤)ボタンを押して放送日を選ぶ

選んだ日付の番組が表示されます。

3 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して番組を選ぶ

選んだ番組の放送時間とタイトルが上部に表示されます。

- カーソルボタン(▲▼)を押しつづけると上下に移動して、1週間分の番組を表示します。
- カーソルボタン(◀▶)を押しつづけると左右に移動してチャンネルが変わります。

4 決定ボタンを押す

放送中の番組を選んだとき

番組を見るか、予約するかの選択画面が表示されます。

現在、放送中の番組です。

見る　予約する

「見る」

選んだ番組に切り換わります。

「予約する」

「予約設定」画面が表示されます。(☞98、101、106ページ)

放送予定の番組を選んだとき

「予約設定」画面が表示されます。(☞98、101、106ページ)

操作の途中で番組表を消すには

番組表ボタンを押す

お知らせ

- 最大7日先まで選択できます。
- 現在の時刻より前に戻すことはできません。
- 有料番組を選んだときは購入画面が表示されます。(☞72ページ)
- 視聴制限のある番組を選んだときは暗証番号の入力が必要になります。(☞84ページ)

番組表を表示しているときは

- サービス切換ボタン(テレビ、ラジオ、データ)を押すと、表示されている番組表のサービスを切り換えることができます。
- チャンネル数字ボタンを押すと、そのボタンに登録されているチャンネルが、番組表の中央に表示されます。
- 番号入力ボタンを押すと、数字ボタンで入力してチャンネルを選ぶことができます。(☞56ページ)選んだチャンネルが番組一覧の中央に表示されます。
- #/選局(12)ボタンを押すと、「お好み選局」画面(☞57ページ)が表示されます。チャンネルを選ぶと、選んだチャンネルが番組一覧の中央に表示されます。

番組表を拡大するには

番組表ズームボタンを押します。番組表が画面全体に拡大されます。もう一度押すと元に戻ります。

選んだ番組の内容を知りたいときは

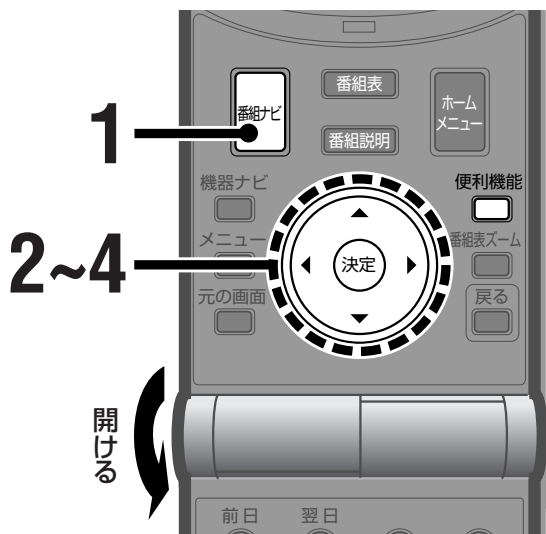
番組説明ボタンを押します。選んでいる番組の詳しい情報を見ることができます。(☞67ページ)

便利機能ボタンを押すと…

番組表を表示中に便利機能ボタンを押すと、サブメニューが表示されます。カーソルボタン(▲▼)で選択して決定ボタンを押すか、数字ボタンで選択する事で以下の機能が使用できます。

- 最大7日先までの日付の番組表への表示切換
- 視聴制限の一時解除(☞ 84ページ)
- 番組表に表示する内容の切換(☞86ページ)
- チャンネル数字ボタンによるチャンネル番号の直接入力(☞56ページ)

裏番組から選ぶ

現在放送している衛星デジタル放送の番組を一覧表示して、番組を選べます。

- **操作を途中でやり直すときは**
  戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。
- **元の画面に戻るには**
  元の画面ボタンを押します。メニューや設定画面が消えます。

1 番組ナビボタンを押す

番組ナビ画面が表示されます。

2 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して「裏番組」を選び、決定ボタンを押す

現在放送中の番組が一覧表示されます。

- 一度に表示できない番組があるときは、カーソルボタン(▲▼)をくり返し押すと表示されます。

3 カーソルボタン(▲▼)を押して見たい番組を選ぶ

4 決定ボタンを押す

選んだ番組に切り換わります。

お知らせ

- 有料番組を選んだときは購入画面が表示されます。(☞72ページ)
- 視聴制限のある番組を選んだときは暗証番号の入力が必要になります。(☞84ページ)

裏番組を表示しているときは

- 放送切換ボタン(BS、CS1、CS2)を押すと、選んだ放送の裏番組一覧に切り換わります。
- サービス切換ボタン(テレビ、ラジオ、データ)を押すと、選択した種類の放送の裏番組だけが一覧に表示されます。

選んだ番組の内容を知りたいときは

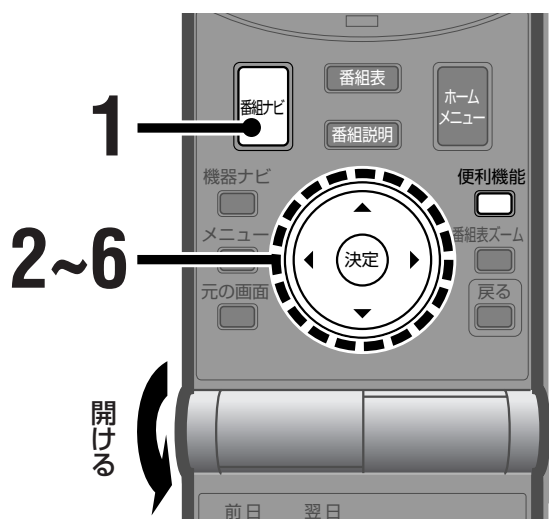
番組説明ボタンを押します。選んでいる番組の詳しい情報を見ることができます。(☞67ページ)

便利機能ボタンを押すと…

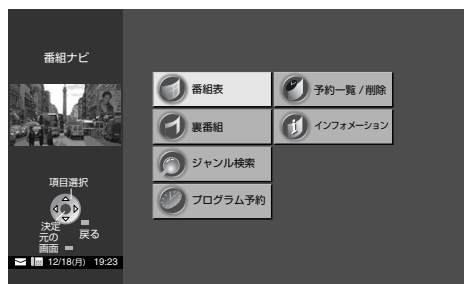
裏番組の一覧を表示中に便利機能ボタンを押すと、サブメニューが表示されます。カーソルボタン(▲▼)で選択して決定ボタンを押すと以下の機能が使用できます。

- 視聴制限の一時解除(☞84ページ)
- 裏番組一覧に表示する内容の切換(☞86ページ)

検索して番組を選ぶ

番組のジャンル(種類)を選んで、番組を検索することができます。
検索結果の一覧から番組を選んだり予約したりできます。

- **操作を途中でやり直すときは**
  戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。
- **元の画面に戻るには**
  元の画面ボタンを押します。メニューや設定画面が消えます。

1 番組ナビボタンを押す

番組ナビ画面が表示されます。

2 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して「ジャンル検索」を選び、決定ボタンを押す

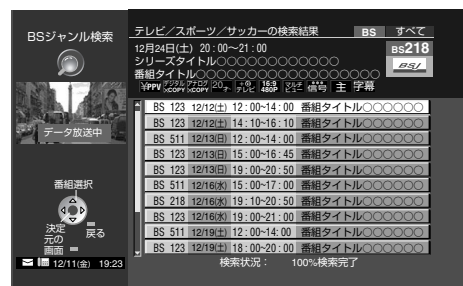
ジャンル項目が表示されます。

3 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押してジャンルを選ぶ

次のジャンルの中から選べます

:ニュース・報道　: ドラマ
: 映画　: スポーツ
: 音楽　: アニメ・特撮
: 教養・情報　: バラエティ
: その他

4 決定ボタンを押す

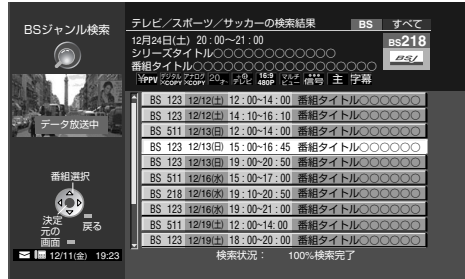
検索結果の一覧が表示されます。

- 検索結果が1ページを超える場合は、一覧の横にスクロールバーが表示されます。表示されていない番組はカーソルボタン(▲▼)を押すと表示されます。
- 「スポーツ」「教養・情報」「映画」「その他」を選んだ場合は、「サブジャンル」画面が表示されます。
  さらにジャンルを絞り込んで検索することができます。

例:「スポーツ」を選んだとき

カーソルボタン(▲▼)を押して検索したいサブジャンルを選んで、決定ボタンを押します。

➡次のページへ

検索して番組を選ぶ（つづき）

5 カーソルボタン(▲▼)を押して番組を選ぶ

選んだ番組の放送時間とタイトルが上部に表示されます。

6 決定ボタンを押す

放送中の番組を選んだとき

番組を見るか、予約するかの選択画面が表示されます。

現在、放送中の番組です。

見る　予約する

「見る」

選んだ番組に切り換わります。

「予約する」

「予約設定」画面が表示されます。（☞98、101、106ページ）

放送予定の番組を選んだとき

「予約設定」画面が表示されます。（☞98、101、106ページ）

お知らせ

- 現在見ている放送（BS、CS1、CS2）の番組が検索されます。（例えばBSデジタル放送を見ているときは、BSデジタル放送の番組が検索されます。）
- 検索結果が表示されているときに、サービス切換ボタンを押すと、選択したサービスの放送だけで再検索できます。
- 「サブジャンル」画面で、項目をすべて検索したい場合には、「すべて」を選んで決定ボタンを押してください。
- 有料番組を選んだときは購入画面が表示されます。（☞72ページ）
- 視聴制限のある番組を選んだときは暗証番号の入力が必要になります。（☞84ページ）

ご注意

- ジャンルによっては検索に時間のかかる場合があります。（検索の途中でも、すでに表示されている番組を選んだり、予約できます。）

選んだ番組の内容を知りたいときは

番組説明ボタンを押します。選んでいる番組の詳しい情報を見ることができます。（☞67ページ）

便利機能ボタンを押すと…

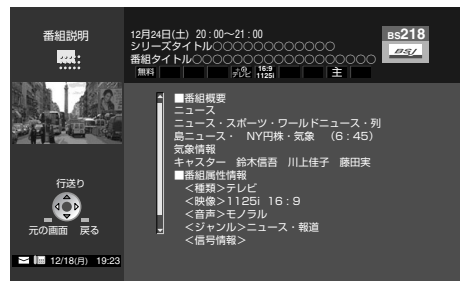
ジャンル検索結果の一覧を表示中に便利機能ボタンを押すと、サブメニューが表示されます。カーソルボタン（▲▼）で選択して決定ボタンを押すと以下の機能が使用できます。

- 視聴制限の一時解除（☞ 84ページ）
- 検索結果の一覧に表示する内容の切換（☞86ページ）

番組の内容を確認する

現在見ている番組や、「番組表」「裏番組」「ジャンル検索」「予約一覧」で選んでいる番組の説明を見ることができます。

1 番組説明ボタンを押す

現在選んでいる番組の説明が表示されます。

- 説明のつづきを見るには、カーソルボタン（▲▼）を押します。

説明表示を消すには

番組説明ボタンを押す

お知らせ

- 戻るボタンまたは元の画面ボタンを押しても説明表示が消えます。

便利機能ボタンを押すと…

「番組説明」画面中に便利機能ボタンを押すとサブメニューが表示されます。
カーソルボタン(▲▼)で選択して決定、または数字ボタンで選択する事で、「番組概要」「番組属性」「番組詳細」の先頭へ切り換えることができます。

ホームメニューを使う

**ホームメニューを使ってお気に入りのチャンネルを簡単に選べます。
ホームメニューには次の2つがあります。**

いつでも情報

お気に入りのチャンネルを登録して簡単に選ぶことができます。
- 「いつでも情報」にチャンネルを登録するには70ページをご覧ください。

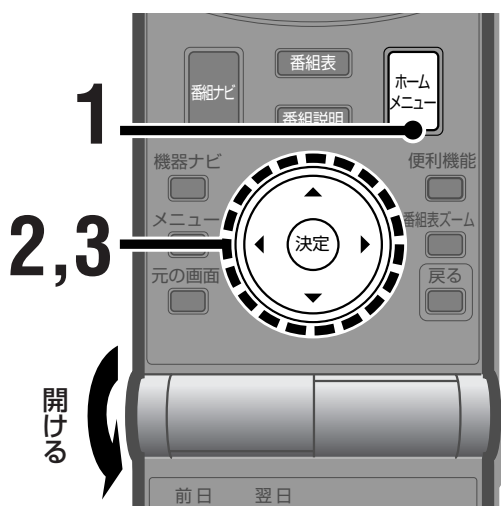
よく見るチャンネル

見ている時間の長いチャンネルの上位3局が表示されます。
いつも見ているチャンネルを簡単に選ぶことができます。

「いつでも情報」から選ぶ

お気に入りのチャンネルを登録して簡単に選ぶことができます。
チャンネルの登録方法は70ページをご覧ください。

お知らせ

- お買い上げ時には、3つのチャンネルにはそれぞれ次のチャンネルが設定されています。
  「ニュースチャンネル」: BS 701CH
  「お天気チャンネル」: BS 700CH
  「お好みチャンネル」: BS 999CH
- チャンネルの放送内容は放送局側の都合により変更される場合があります。放送内容が変更された場合、ご希望の情報が放送されていないことがあります。
  そのようなときは、「いつでも情報」にお好きなチャンネルを登録しなおしてお楽しみください。

1 ホームメニューボタンを押す

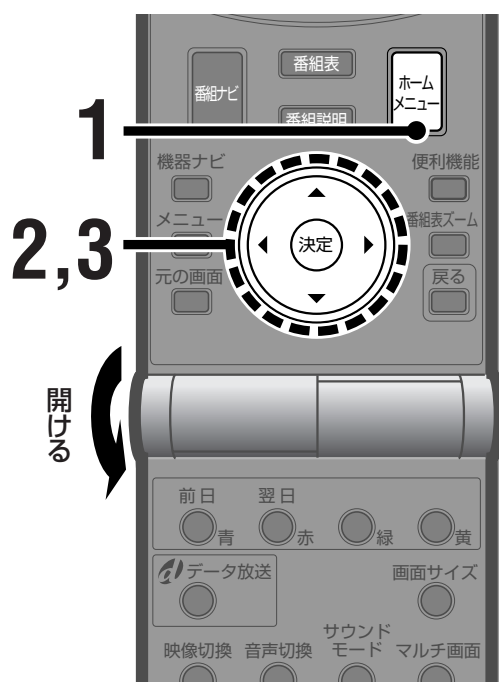
ホームメニューが表示されます。

2 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して、「ニュース」「天気」「お好み」のいずれかを選ぶ

3 決定ボタンを押す

登録されているチャンネルに切り換わります。

「よく見るチャンネル」から選ぶ

「よく見るチャンネル(トップ3)」には、最近2週間で、視聴時間が長かった3つのチャンネルが表示されます。
普段よく見ているチャンネルを簡単に選ぶことができます。

1 ホームメニューボタンを押す

ホームメニューが表示されます。

2 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して、「よく見るチャンネル(トップ3)」のいずれかを選ぶ

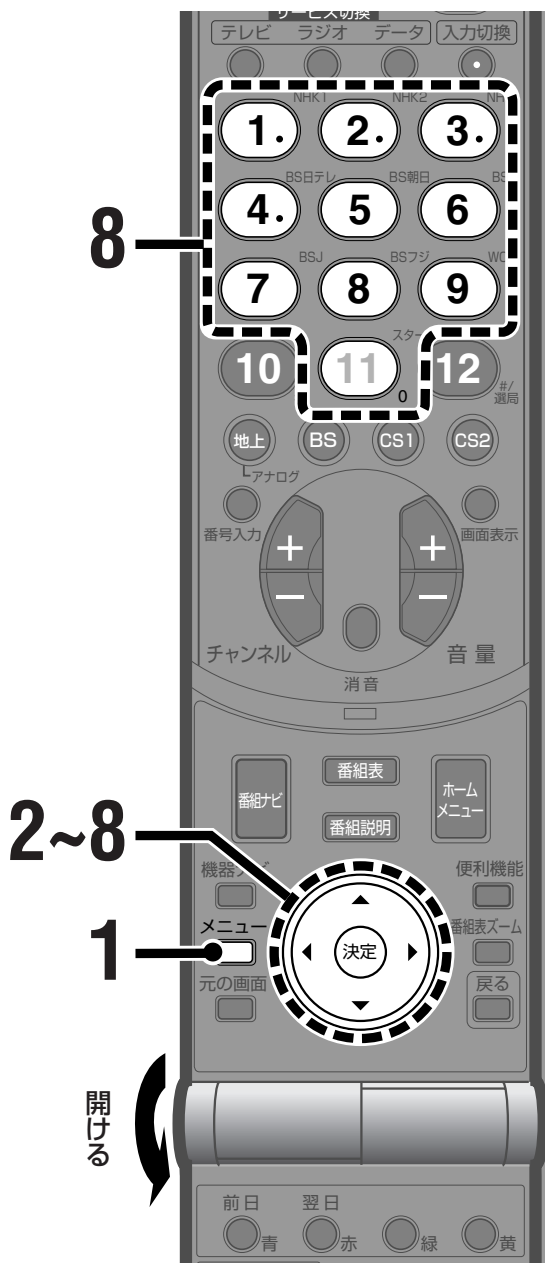
3 決定ボタンを押す

選んだチャンネルに切り換わります。

ホームメニューにチャンネルを登録する

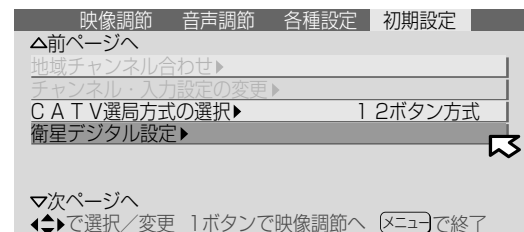
ホームメニューの「いつでも情報」にお気に入りのチャンネルを登録します。
「ニュース」、「お天気」、「お好み」の3つのチャンネルを登録できます。

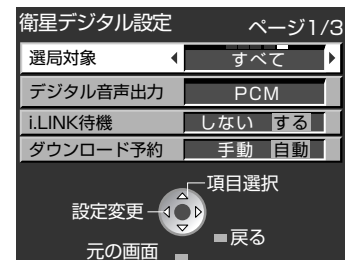
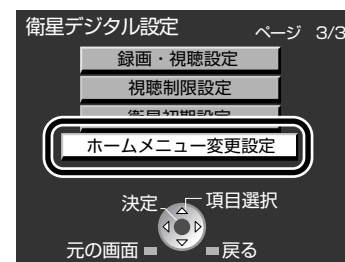
お知らせ

登録するチャンネルを探すには、衛星デジタル番組表やジャンル検索が便利です。
「ニュース」や「天気」に登録するチャンネルをジャンル検索で探すときは、「ニュース・報道」でお探しください。
（☞65ページ）

- **メニュー画面を切り換えるには**
  メニューを表示中に1ボタン（チャンネル数字ボタン）を押すと、各メニュー画面を切り換えることができます。
- **操作を途中でやり直すときは**
  戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。
- **元の画面に戻るには**
  元の画面ボタンを押します。メニューや設定画面が消えます。

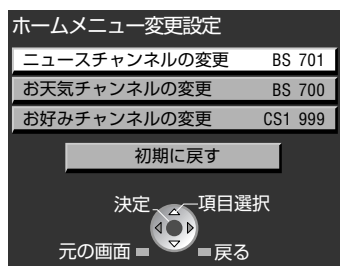
1 メニューボタンを押す

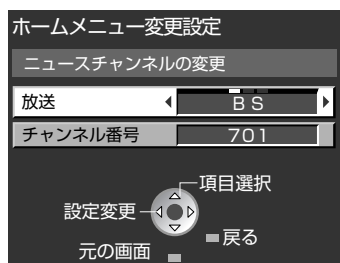
メニュー画面が表示されます。

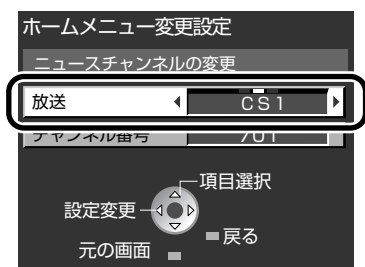
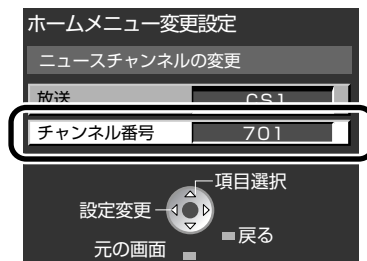
2 カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して「初期設定」メニューの「衛星デジタル設定」を選ぶ

3 カーソルボタン（◀▶）を押す

「衛星デジタル設定」画面が表示されます。

4 カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して「ホームメニュー変更設定」を選ぶ

- 「衛星デジタル設定」画面は3ページ構成です。上記の画面イラストは3ページ目です。

5 決定ボタンを押す

「ホームメニュー変更設定」画面が表示されます。

6 カーソルボタン(▲▼)を押して変更したいチャンネルを選び、決定ボタンを押す

チャンネルの変更画面が表示されます。

7 カーソルボタン(▲▼)を押して「放送」を選び、カーソルボタン(◀▶)で放送を選ぶ

カーソルボタン(◀▶)で、衛星放送の種類(BS/CS1/CS2)が切り換わります。

8 カーソルボタン(▲▼)を押して「チャンネル番号」を選び、チャンネル数字ボタンで登録したいチャンネル番号を入力する

設定画面を消すには

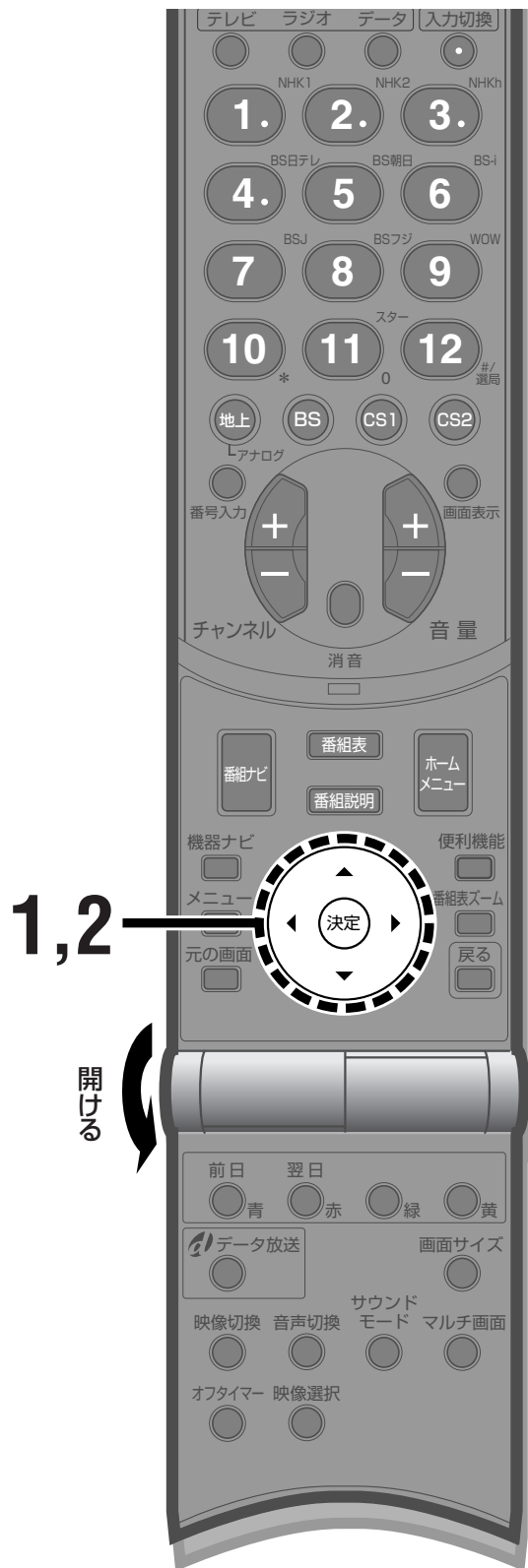
元の画面ボタンを押す

お買い上げ時の設定に戻すには

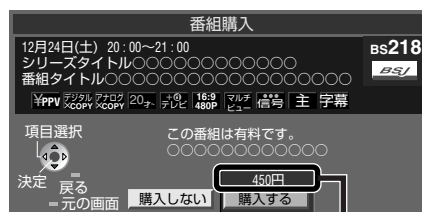
手順6で「初期に戻す」を選んで決定ボタンを押します。ホームメニュー設定リセット画面が表示されます。「はい」を選ぶとホームメニューの設定がお買い上げ時の設定に戻ります。

有料番組を見る

有料番組を購入する

衛星デジタル放送には、番組単位で購入できる有料の番組(ペイ・パー・ビュー)があります。
有料の番組を視聴するときや録画するときは、購入するための操作が必要となります。

1 有料番組を選ぶ

放送中の有料番組に切り換えたり、番組表などから放送予定の有料番組を選ぶと、購入画面が表示されます。

- 現在放送中の番組のときは、購入の操作が終わるまで映像･音声は出ません。

- 番組によってはプレビュー(番組の内容を確認するための短時間の放送)を見ることができます。この場合は、決定ボタンを押すと購入画面が表示されます。

2 カーソルボタン(◀▶)を押して選び、決定ボタンを押す

購入しない

番組を購入しません。他のチャンネルを選択してください。

購入する

番組を購入したことになり、視聴できます。ただし、コピーガードがかかっている番組は録画できません。(☞104、110ページ)

- 録画のために追加料金が必要なときは､「購入する」のかわりに次の二つが表示されます。

視聴購入

番組を購入したことになり視聴できますが、録画機器で録画することはできません。

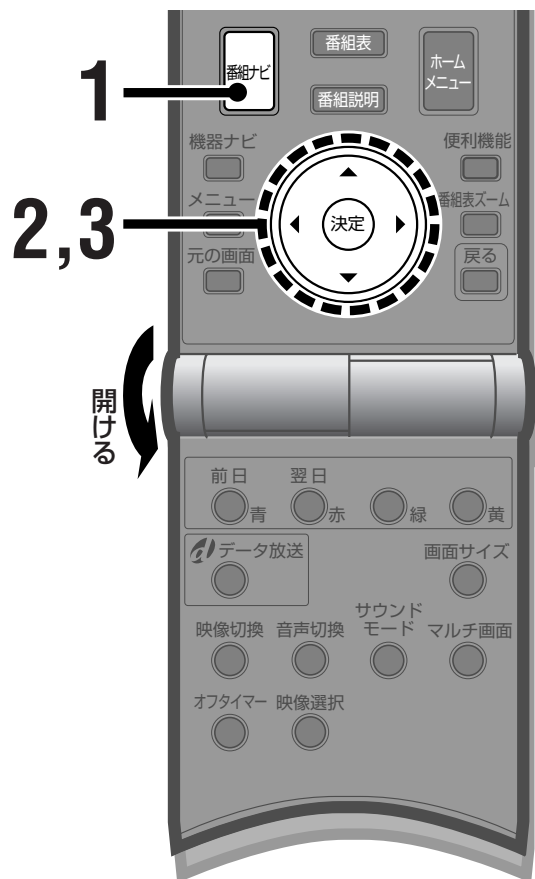
録画購入

番組を購入したことになり、録画できます。録画機器で録画をしたいときに選択してください。

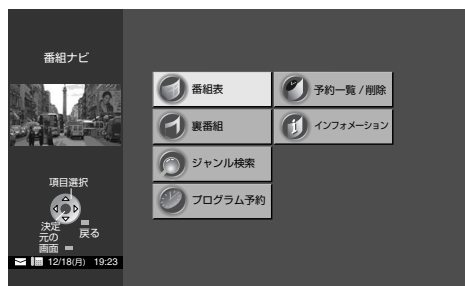
購入に関するご注意

- 購入した番組を視聴中に他のチャンネルに切り換えても､購入した番組に戻れます。
  ただし､購入した番組を実際に視聴していなくても購入料金が請求されます。
- 視聴制限の対象になる番組を選局した場合には､暗証番号の入力が必要になります｡(☞84ページ)
- 追加購入の必要な信号がある番組の場合は､追加購入の画面が表示されます。

購入記録を確認する

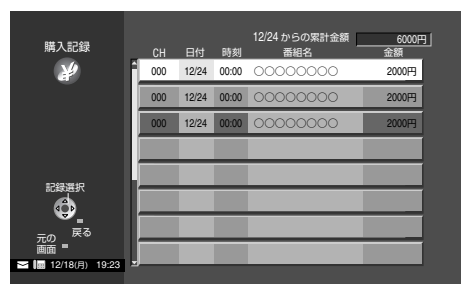
購入した有料番組の購入日や番組名、金額などの履歴（最近の25番組について）を確認することができます。また、購入金額の累計を確認したり、累計金額をリセットすることができます。

• **操作を途中でやり直すときは**
戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

• **元の画面に戻るには**
元の画面ボタンを押します。メニューや設定画面が消えます。

1 番組ナビボタンを押す

「番組ナビ」画面が表示されます。

2 カーソルボタン（◀▶▲▼）を押して「インフォメーション」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン（◀▶▲▼）を押して「購入記録」を選び、決定ボタンを押す

購入記録画面が表示されます。

• 一度に表示できない項目があるときは、カーソルボタン（▲▼）を押すと表示できます。

「購入記録」画面を消すには
元の画面ボタンを押す

累計金額をリセットするには

#(12)ボタンを押すと、累計金額リセット確認画面が表示されます。
カーソルボタン（◀▶）を押して「はい」を選び、決定ボタンを押すと累計金額が0円に戻ります。

• 番組の履歴を消すことはできません。
• 金額がリセットされた履歴は薄い文字で表示されます。

信号を切り換えて楽しむ

映像を切り換える

衛星デジタル放送には、複数の映像を放送している番組があります。このような番組では、映像を切り換えて楽しむことができます。

1 映像切換ボタンをくり返し押して映像を切り換える

番組に複数の映像があるときは、映像切換ボタンを押すごとに映像が切り換わります。

- マルチビュー放送の場合は、主番組、副番組の切り換えができます（副番組は最大で2つまで）。
  主番組、副番組のそれぞれに複数の映像がある場合は次のように順番に切り換わります。

  主番組の映像1→主番組の映像2→……
  →副番組の映像1→副番組の映像2→……

マルチビュー放送とは

マルチビュー放送は、プロ野球中継などの番組で、最大3つの異なる映像を同じチャンネルで放送します。映像切換ボタンを押すと、これらの放送を切り換えて楽しめます。

マルチビュー放送の例

時刻			
18:00	いきいき！わが町（ハイビジョン放送）		
19:00	プロ野球中継（マルチビュー放送）		
	主番組（通常の放送）	副番組1（バックネット裏からの映像）	副番組2（ブルペンの映像）
	標準画質放送	標準画質放送	標準画質放送
21:00	9時のニュース（ハイビジョン放送）		

- マルチビュー放送の番組は、番組情報にマルチビューのアイコンが表示されます。（☞55ページ）

便利機能ボタンを押すと…

便利機能ボタンのサブメニューで、簡単に映像を切り換えることができます。

1. 画面に他のメニュー画面を表示していない状態で便利機能ボタンを押す
2. カーソルボタン（▲▼）を押して「信号切換」を選び、決定ボタンを押す
3. カーソルボタン（▲▼）を押して「映像」を選ぶ
4. カーソルボタン（◀▶）を押して設定を切り換える

音声を切り換える

衛星デジタル放送には、複数の音声を放送している番組があります。このような番組では、音声を切り換えて楽しむことができます。

1 音声切換ボタンをくり返し押して音声を切り換える

番組に複数の音声や二重音声があるときは、音声切換ボタンを押すごとに音声が切り換わります。

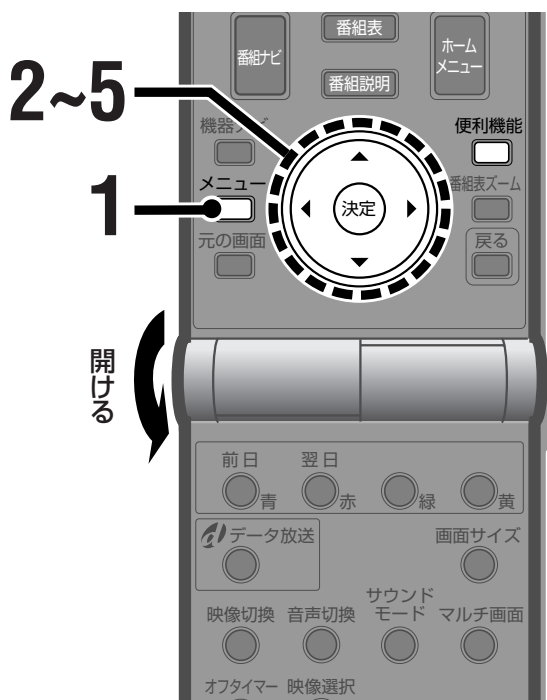
- 二重音声の場合は、「主」、「副」「主＋副」の順番に音声が切り換わります。

便利機能ボタンを押すと…

便利機能ボタンのサブメニューで、簡単に音声を切り換えることができます。

1. 画面に他のメニュー画面を表示していない状態で便利機能ボタンを押す
2. カーソルボタン(▲▼)を押して「信号切換」を選び、決定ボタンを押す
3. カーソルボタン(▲▼)を押して「音声」を選ぶ
4. カーソルボタン(◀▶)を押して設定を切り換える

字幕を見る

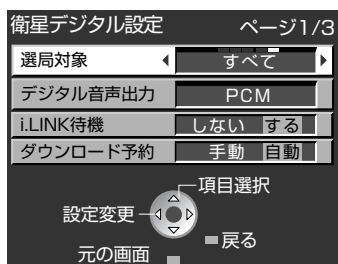
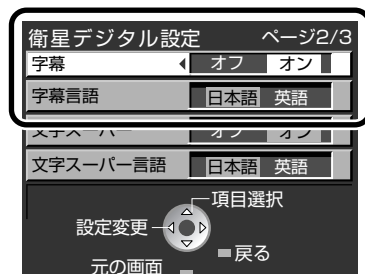
字幕のある番組を視聴するときに、字幕を表示するかしないかなどを設定できます。

- **操作を途中でやり直すときは**
  戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。
- **元の画面に戻るには**
  元の画面ボタンを押します。メニューや設定画面が消えます。

1 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

2 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「初期設定」メニューの「衛星デジタル設定」を選ぶ

3 カーソルボタン(◀▶)を押す

「衛星デジタル設定」画面が表示されます。

4 カーソルボタン(▲▼)を押して設定したい項目を選ぶ

- 「衛星デジタル設定」画面は3ページ構成です。上記の画面イラストは2ページ目です。

字幕

字幕表示の有無を選択します。

「オン」: 字幕を表示します。

「オフ」: 字幕を表示しません。

字幕言語

字幕で表示される言語を選択します。

「日本語」: 日本語の字幕を表示します。

「英語」: 英語の字幕を表示します。

5 カーソルボタン(◀▶)を押して設定を切り換える

「衛星デジタル設定」画面を消すには

元の画面ボタンを押す

ご注意

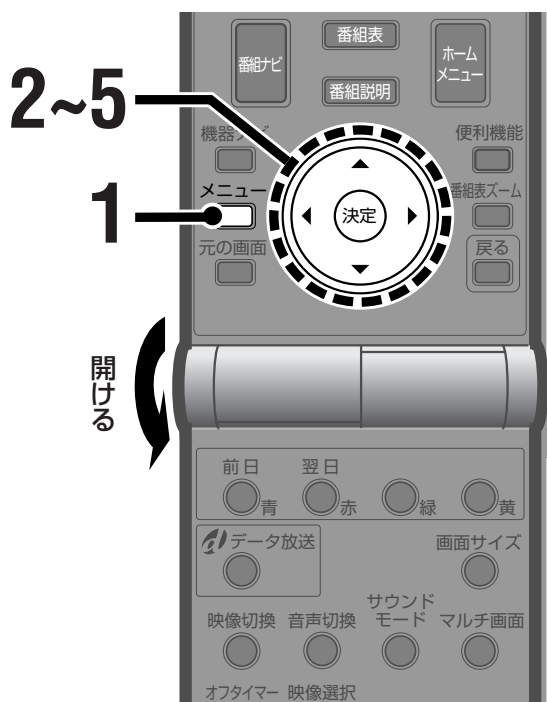
- 放送によっては設定が無効になる場合もあります(強制的に字幕を表示する放送など)。

便利機能ボタンを押すと…

便利機能ボタンのサブメニューで、簡単に字幕の設定を切り換えることができます。

1. **画面に他のメニュー画面を表示していない状態で便利機能ボタンを押す**
2. **カーソルボタン(▲▼)を押して「信号切換」を選び、決定ボタンを押す**
3. **カーソルボタン(▲▼)を押して切り換える項目を選ぶ**
4. **カーソルボタン(◀▶)を押して設定を切り換える**

文字スーパーを見る

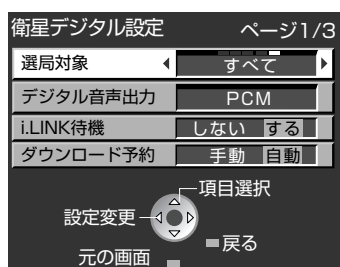
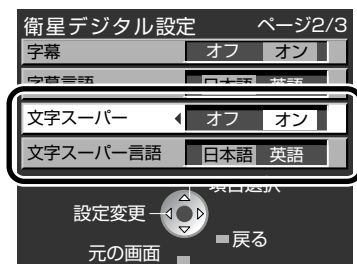
文字スーパーは、いろいろなお知らせを放送中の画面に文字で表示するものです。
視聴中に、文字スーパーを表示するかどうかなどを設定できます。

- **操作を途中でやり直すときは**
  戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。
- **元の画面に戻るには**
  元の画面ボタンを押します。メニューや設定画面が消えます。

1 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

2 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「初期設定」メニューの「衛星デジタル設定」を選ぶ

3 カーソルボタン(◀▶)を押す

「衛星デジタル設定」画面が表示されます。

4 カーソルボタン(▲▼)を押して設定したい項目を選ぶ

- 「衛星デジタル設定」画面は3ページ構成です。上記の画面イラストは2ページ目です。

文字スーパー

文字スーパー表示の有無を選択します。

「オン」: 文字スーパーを表示します。

「オフ」: 文字スーパーを表示しません。

文字スーパー言語

文字スーパーで表示される言語を選択します。

「日本語」: 日本語の文字スーパーを表示します。

「英語」: 英語の文字スーパーを表示します。

5 カーソルボタン(◀▶)を押して設定を切り換える

「衛星デジタル設定」画面を消すには

元の画面ボタンを押す

ご注意

放送によっては設定が無効になる場合もあります(強制的に文字スーパーを表示する放送など)。

安心して使うためにー視聴制限を設定する

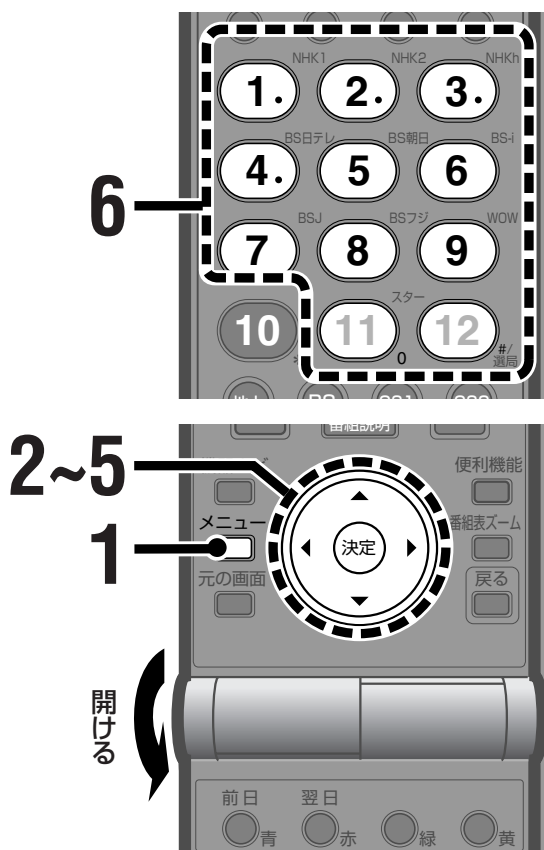
衛星デジタル放送には有料番組や成人向けの番組があります。これらの番組の視聴をあらかじめ制限できます。視聴制限には視聴年令制限と一番組限度額の二種類があります。

視聴制限の種類

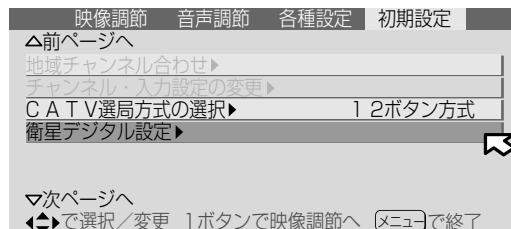
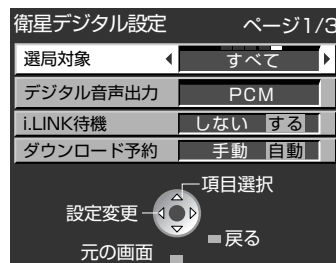
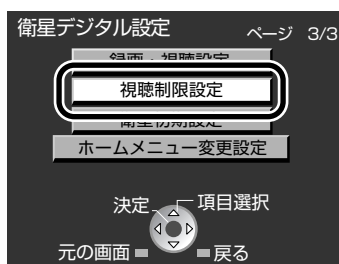
視聴年令制限
視聴年令制限の対象になる番組については、番組名のかわりに「･･･」と表示され、暗証番号を入力しない限り番組を視聴することも詳細情報を見ることもできません。

一番組限度額
設定した限度額より高い有料番組は、暗証番号を入力しない限り視聴（購入）できなくなります。

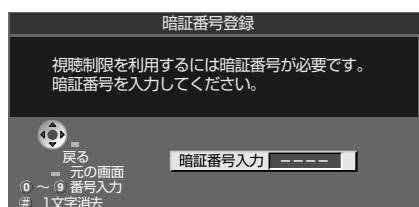
暗証番号を設定する

視聴制限を設定するには、あらかじめ暗証番号を登録しておく必要があります。

- **メニュー画面を切り換えるには**
  メニューを表示中に1ボタン（チャンネル数字ボタン）を押すと、各メニュー画面を切り換えることができます。
- **操作を途中でやり直すときは**
  戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。
- **元の画面に戻るには**
  元の画面ボタンを押します。メニューや設定画面が消えます。

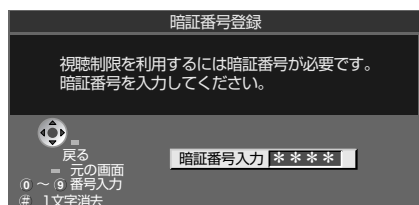
1 **メニューボタンを押す**
メニュー画面が表示されます。

2 **カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「初期設定」メニューの「衛星デジタル設定」を選ぶ**

3 **カーソルボタン(◀▶)を押す**
「衛星デジタル設定」画面が表示されます。

4 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「視聴制限設定」を選ぶ

- 「衛星デジタル設定」画面は3ページ構成です。上記の画面イラストは3ページ目です。

5 決定ボタンを押す

暗証番号が設定されていない場合には、暗証番号の登録画面が表示されます。

- すでに暗証番号が設定されている場合には、暗証番号入力画面になります。

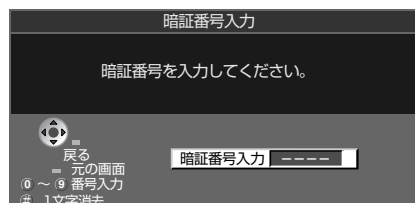
6 チャンネル数字ボタンで4桁の暗証番号を登録する

画面の指示に従って暗証番号を登録します。

- 入力する番号を間違えたときは、#(12)ボタンを押します。最後の桁が取り消されます。
- 登録した番号を確認するために、再度入力画面が表示されます。もう一度同じ暗証番号を入力してください。

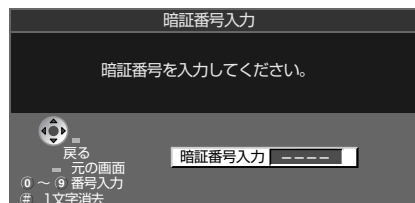
設定画面を消すには
元の画面ボタンを押す

ご注意
- 暗証番号を入力しても、画面上には「＊＊＊＊」と表示されます。
- 登録または変更した暗証番号はメモをしておいてください。

暗証番号を変更するには

1. **メニューボタンを押す**
2. **カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「初期設定」メニューの「衛星デジタル設定」を選ぶ**
3. **カーソルボタン(◀▶)を押す**
4. **カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「視聴制限設定」を選び、決定ボタンを押す**
   暗証番号入力画面が表示されます。

5. **現在の暗証番号を入力する**
6. **カーソルボタン(▲▼)を押して「暗証番号変更」を選び、決定ボタンを押す**
7. **新しい暗証番号を入力する**
   確認画面が表示されます。もう一度新しい暗証番号を入力してください。
8. **元の画面ボタンを押して終了する**

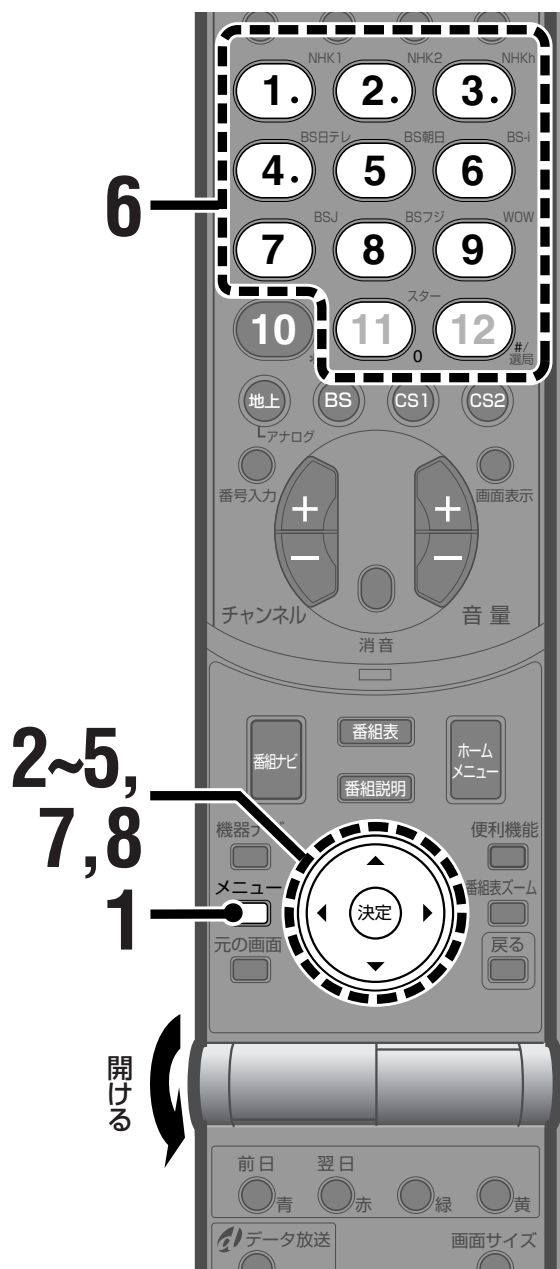
暗証番号を取り消すには

1. **メニューボタンを押す**
2. **カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「初期設定」メニューの「衛星デジタル設定」を選ぶ**
3. **カーソルボタン(◀▶)を押す**
4. **カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「視聴制限設定」を選び、決定ボタンを押す**
   暗証番号入力画面が表示されます。

5. **現在の暗証番号を入力する**
6. **カーソルボタン(▲▼)を押して「暗証番号取消し」を選び、決定ボタンを押す**
   「暗証番号取消し」画面が表示されます。
7. **カーソルボタン(◀▶)を押して「はい」を選び、決定ボタンを押す**
   - 「いいえ」を選んで決定ボタンを押すと、暗証番号は取り消されません。
8. **元の画面ボタンを押して終了する**

- 暗証番号の取消しが終わると、約10秒後に「衛星デジタル設定」画面に戻ります。

ご注意
- 暗証番号を取り消すと、設定されていた視聴制限は無効になります。視聴制限を有効にするにはもう一度暗証番号を登録してください。

年令による視聴制限を設定する

年令による視聴制限を設定できます。視聴年令を設定すると、制限の対象になる番組は、番組表などで表示されるときに、番組名のかわりに「･･･」と表示されます。
このような番組は、暗証番号を入力しない限り、視聴することも詳細情報を見ることもできません。視聴制限を設定する前に、暗証番号の登録を済ませてください。(☞78ページ)

1 メニューボタンを押す
メニュー画面が表示されます。

2 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「初期設定」メニューの「衛星デジタル設定」を選ぶ

3 カーソルボタン(◀▶)を押す
「衛星デジタル設定」画面が表示されます。

4 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「視聴制限設定」を選ぶ

- 「衛星デジタル設定」画面は3ページ構成です。上記の画面イラストは3ページ目です。

- **メニュー画面を切り換えるには**
  メニューを表示中に1ボタン（チャンネル数字ボタン）を押すと、各メニュー画面を切り換えることができます。
- **操作を途中でやり直すときは**
  戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。
- **元の画面に戻るには**
  元の画面ボタンを押します。メニューや設定画面が消えます。

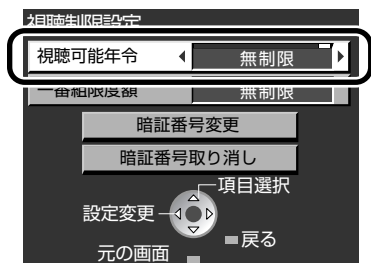
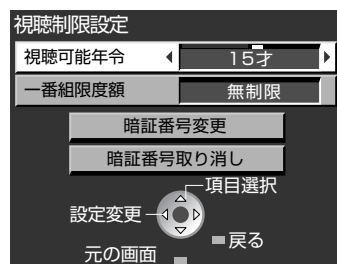
5 決定ボタンを押す

暗証番号入力画面が表示されます。

6 チャンネル数字ボタンで4桁の暗証番号を入力する

「視聴制限設定」画面が表示されます。

• 入力する番号を間違えたときは、#(12)ボタンを押します。最後の桁が取り消されます。

7 カーソルボタン(▲▼)を押して「視聴可能年令」を選ぶ

8 カーソルボタン(◀▶)を押して視聴可能年令を設定する

4才～19才(1才単位)

設定した年令より視聴制限の高い番組を視聴するときには、視聴制限を一時的に解除しない限り(☞84ページ)、暗証番号の入力が必要になります。

無制限

番組の対象年令に関係無く番組が視聴できます。

設定画面を消すには

元の画面ボタンを押す

暗証番号を間違えたときには

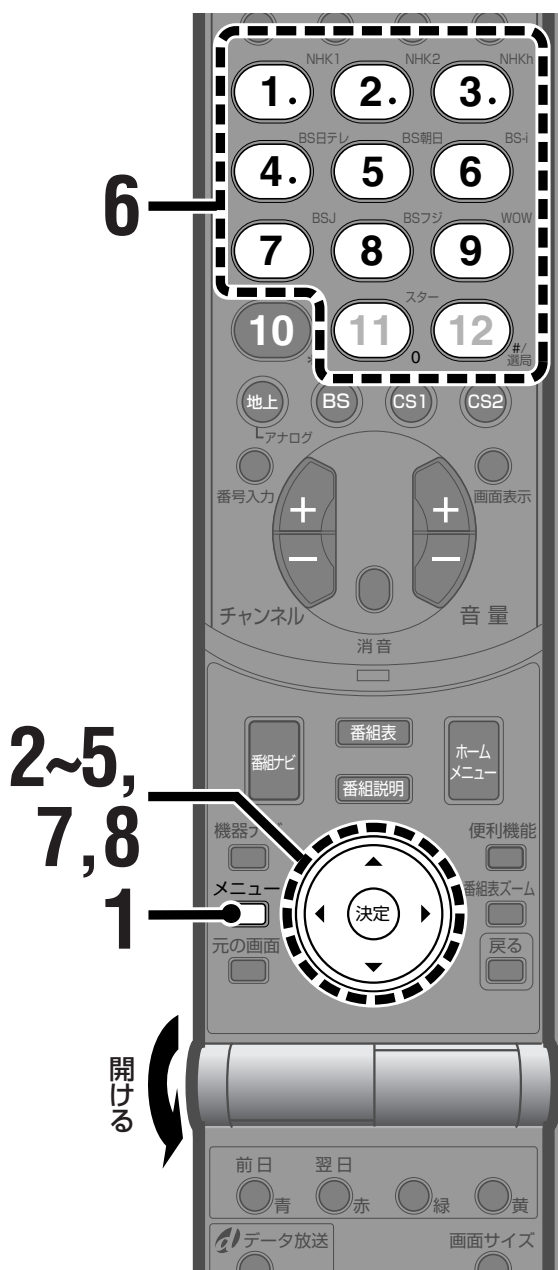
暗証番号を間違えると、再度「暗証番号入力」画面が表示されます。暗証番号を確認の上、入力してください。

• 暗証番号を3回間違えると、入力できなくなります。（しばらくすると「衛星デジタル設定」画面に戻ります。）

暗証番号を忘れてしまったときは

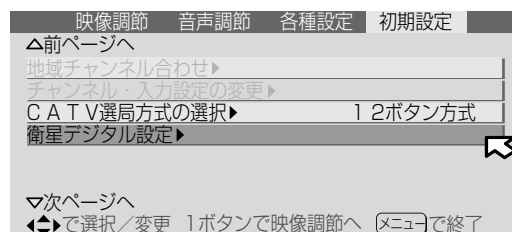
B-CASカードのカスタマーセンターにお問い合わせ下さい。

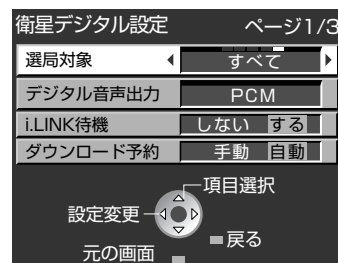
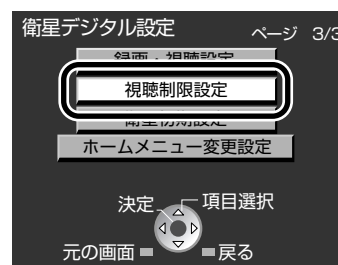
料金による視聴制限を設定する

番組の料金の限度額を設定することができます。
設定した一番組あたりの限度額より高額である番組は、暗証番号を入力しない限り視聴（購入）できなくなります。
視聴制限を設定する前に、暗証番号の登録を済ませてください。（☞78ページ）

- **メニュー画面を切り換えるには**
  メニューを表示中に1ボタン（チャンネル数字ボタン）を押すと、各メニュー画面を切り換えることができます。
- **操作を途中でやり直すときは**
  戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。
- **元の画面に戻るには**
  元の画面ボタンを押します。メニューや設定画面が消えます。

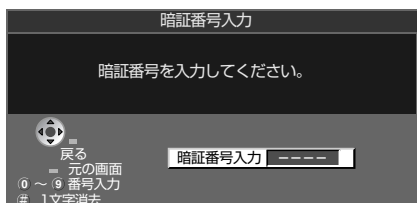
1 メニューボタンを押す

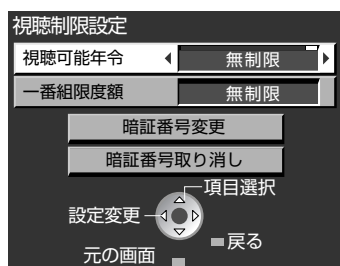
メニュー画面が表示されます。

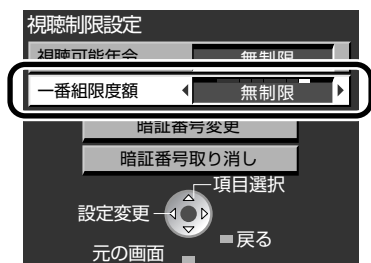
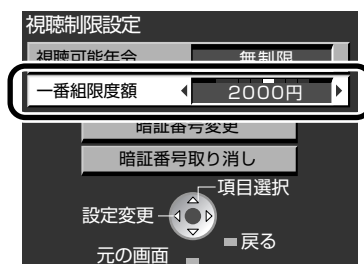
2 カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して「初期設定」メニューの「衛星デジタル設定」を選ぶ

3 カーソルボタン（◀▶）を押す

「衛星デジタル設定」画面が表示されます。

4 カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して「視聴制限設定」を選ぶ

- 「衛星デジタル設定」画面は3ページ構成です。上記の画面イラストは3ページ目です。

5 決定ボタンを押す

暗証番号入力画面が表示されます。

6 チャンネル数字ボタンで4桁の暗証番号を入力する

「視聴制限設定」画面が表示されます。

- 入力する番号を間違えたときは、#(12)ボタンを押します。最後の桁が取り消されます。

7 カーソルボタン(▲▼)を押して「一番組限度額」を選ぶ

8 カーソルボタン(◀▶)を押して限度額を設定する

100円、500円～3000円

設定した金額よりも高い番組を視聴するときは、暗証番号の入力が必要になります。

- 「500円」～「3000円」は500円きざみで設定できます。

無制限

一番組の料金にかかわらず、番組を購入することができます。

設定画面を消すには

元の画面ボタンを押す

暗証番号を間違えたときには

暗証番号を間違えると、再度「暗証番号入力」画面が表示されます。暗証番号を確認の上、入力してください。

- 暗証番号を3回間違えると、入力できなくなります。（しばらくすると「衛星デジタル設定」画面に戻ります。）

暗証番号を忘れてしまったときは

B-CASカードのカスタマーセンターにお問い合わせ下さい。

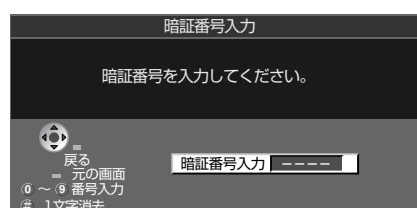
視聴制限を一時的に解除する

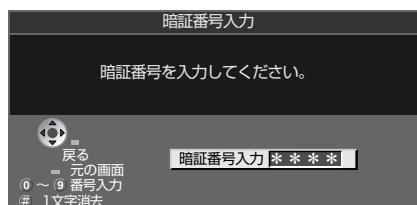
視聴制限は一時的に解除することができます。

ご注意
視聴制限を一時解除すると、電源を切るまで解除されたままになります。ただし、一番組限度額の対象になる番組を選んだときは、視聴制限が解除されていても必ず「暗証番号入力」画面が表示されます。（☞82ページ）

- **操作を途中でやり直すときは**
  戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。
- **元の画面に戻るには**
  元の画面ボタンを押します。メニューや設定画面が消えます。

1 視聴制限の対象となる番組を選ぶ

設定した視聴制限（視聴可能年令または一番組限度額）の対象になる番組を選ぶと、「暗証番号入力」画面が表示されます。

2 チャンネル数字ボタンで4桁の暗証番号を入力する

暗証番号を入力すると、視聴制限は一時的に解除されます。

- 入力する番号を間違えたときは、#(12)ボタンを押します。最後の桁が取り消されます。

暗証番号を間違えたときには

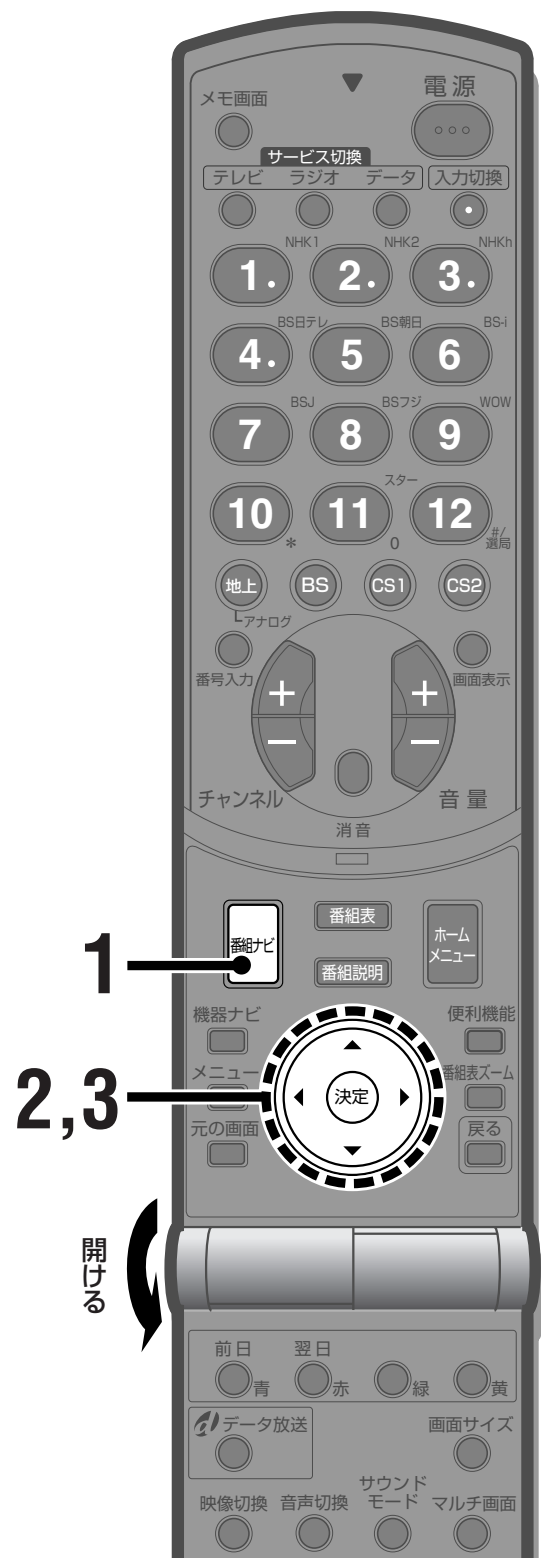
暗証番号を間違えると、再度「暗証番号入力」画面が表示されます。暗証番号を確認の上、入力してください。

便利機能ボタンを押すと…

視聴制限の対象になっている番組を選局していなくても、便利機能ボタンのサブメニューで、あらかじめ視聴制限を一時解除しておくことができます。

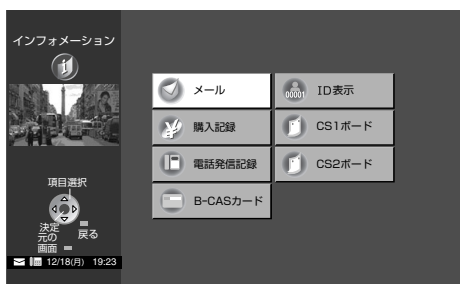
1. **メニュー画面を表示していない状態、または「番組表」、「裏番組一覧」、「ジャンル検索結果」画面で便利機能ボタンを押す**
2. **カーソルボタン（▲▼）を押して「視聴制限一時解除」を選び、決定ボタンを押す**
3. **暗証番号を入力する**

安心して使うために－電話の発信記録を確認する

電話発信記録では､｢まだセンターへ送っていない番組購入記録の有無｣と｢データ放送の番組から発信した最近の発信履歴の内容｣を確認できます｡また､未発信の番組購入記録を発信することもできます｡(通常は定期的に自動で発信されます｡)

1 番組ナビボタンを押す

｢番組ナビ｣画面が表示されます｡

2 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して｢インフォメーション｣を選び､決定ボタンを押す

｢インフォメーション｣画面が表示されます｡

3 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して｢電話発信記録｣を選び､決定ボタンを押す

｢電話発信記録｣画面が表示されます｡

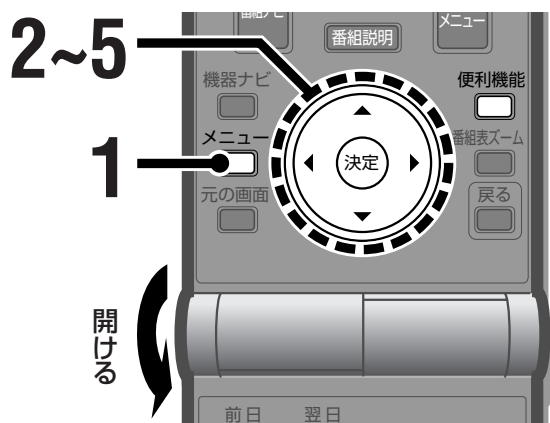
- 購入記録が送信できる場合には､カーソルボタン(▲▼)で｢発信｣を選んで決定ボタンを押します｡電話回線を通してセンターへ番組の購入記録などを発信できます｡

- **操作を途中でやり直すときは**
  戻るボタンを押します｡ひとつ前の画面に戻ります｡
- **元の画面に戻るには**
  元の画面ボタンを押します｡メニューや設定画面が消えます｡

｢電話発信記録｣画面を消すには
元の画面ボタンを押す

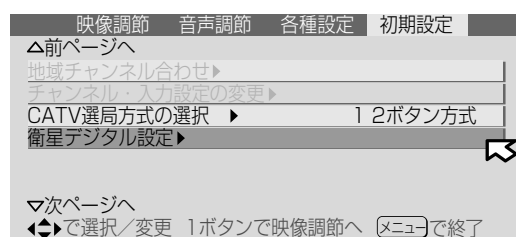
お知らせ
i.LINK接続機器から本機を通じて電話発信を行ったときは､区分表示に i.LINK のアイコンが表示されます｡

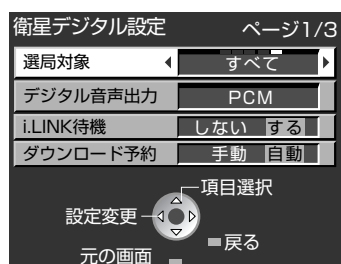
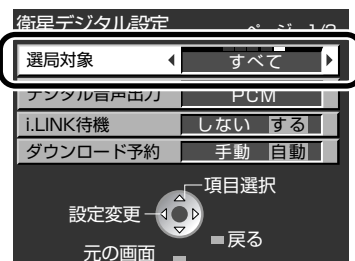
番組表などに表示するチャンネルを設定する

「番組表」「裏番組」「ジャンル検索」などで表示させるチャンネルや、チャンネル+/−ボタンで選べるチャンネルの種類（選局対象）を選択できます。

- **メニュー画面を切り換えるには**
  メニューを表示中に1ボタン（チャンネル数字ボタン）を押すと、各メニュー画面を切り換えることができます。
- **操作を途中でやり直すときは**
  戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。
- **元の画面に戻るには**
  元の画面ボタンを押します。メニューや設定画面が消えます。

1 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

2 カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して「初期設定」メニューの「衛星デジタル設定」を選ぶ

3 カーソルボタン（◀▶）を押す

「衛星デジタル設定」画面が表示されます。

4 カーソルボタン（▲▼）を押して「選局対象」を選ぶ

5 カーソルボタン（◀▶）を押して対象を設定する

番組表などで表示したいチャンネルや、チャンネル+/−ボタンで選びたいチャンネルの種類を選びます。

お好み
「衛星チャンネル設定」（☞87ページ）や「お好み設定」（☞89ページ）で登録したチャンネル

テレビ
テレビ放送のチャンネル

ラジオ
ラジオ放送のチャンネル

データ
データ放送のチャンネル

すべて
現在放送されている全てのチャンネル

「衛星デジタル設定」画面を消すには
元の画面ボタンを押す

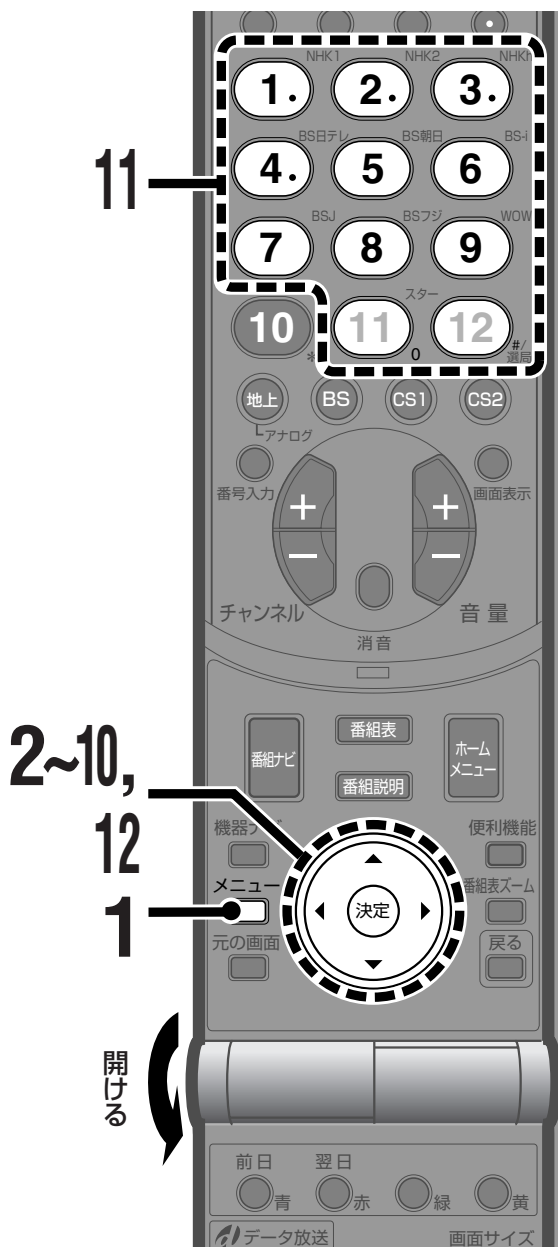
便利機能ボタンを押すと…

便利機能ボタンのサブメニューで、表示させるチャンネルを選択することができます。

1. **「番組表」、「裏番組一覧」、「ジャンル検索結果」画面で便利機能ボタンを押す**
   - 番組表からサブメニューを表示させた場合は、カーソルボタン（▲▼）を押して「サブメニュー2へ」を選んで決定ボタンを押します。
2. **カーソルボタン（▲▼）を押して「表示内容」を選ぶ**
3. **カーソルボタン（◀▶）を押して表示したいチャンネルの種類を選び、決定ボタンを押す**

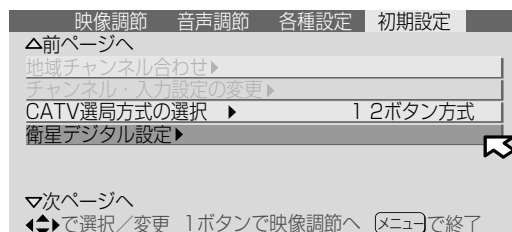
好きなチャンネルを登録する

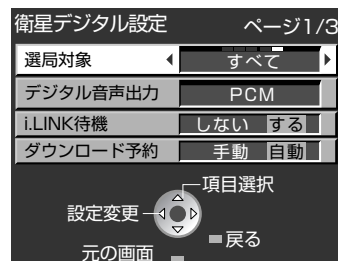
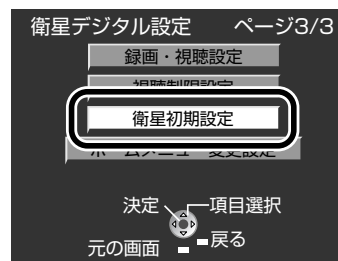
「衛星チャンネル設定」で登録する

リモコンのチャンネル数字ボタンで選局（プリセット選局）できるチャンネルを、お好みのチャンネルに設定できます。BSデジタル放送、CS1デジタル放送、CS2デジタル放送をそれぞれ30チャンネルずつ登録できます。

- **メニュー画面を切り換えるには**
  メニューを表示中に1ボタン（チャンネル数字ボタン）を押すと、各メニュー画面を切り換えることができます。
- **操作を途中でやり直すときは**
  戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。
- **元の画面に戻るには**
  元の画面ボタンを押します。メニューや設定画面が消えます。

1 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

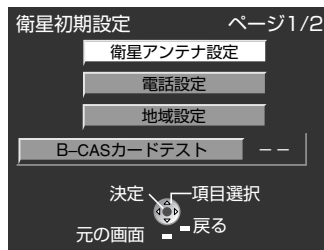
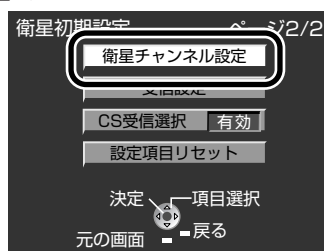
2 カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して「初期設定」メニューの「衛星デジタル設定」を選ぶ

3 カーソルボタン（◀▶）を押す

「衛星デジタル設定」画面が表示されます

4 カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して「衛星初期設定」を選ぶ

- 「衛星デジタル設定」画面は3ページ構成です。上記の画面イラストは3ページ目です。

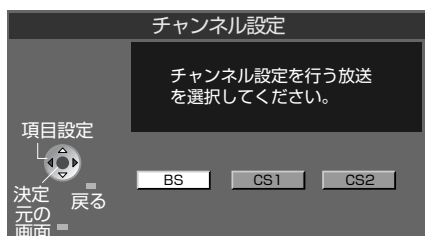
➡次のページへ

「衛星チャンネル設定」で登録する（つづき）

5 決定ボタンを3秒以上押す

「衛星初期設定」画面が表示されます。

6 カーソルボタン（▲▼）を押して「衛星チャンネル設定」を選ぶ

- 「衛星初期設定」画面は2ページ構成です。上記の画面イラストは2ページ目です。

7 決定ボタンを押す

「チャンネル設定」画面が表示されます。

8 カーソルボタン（◀▶）を押して設定したい放送を選び、決定ボタンを押す

- 「CS受信選択」（☞43ページ）を「無効」に設定しているときは、「CS1」「CS2」を選べません。

9 カーソルボタン（▲▼）を押して、設定したいリモコンの数字番号を選ぶ

- チャンネル数字ボタンを押すと、リモコンの数字番号の1～10を選べます。

10 カーソルボタン（◀▶）を押して「CH」の項目を選ぶ

11 チャンネル数字ボタンで登録したいチャンネル番号を入力する

- 入力する番号を間違えたときは、#(12)ボタンを押します。最後の桁が取り消されます。
- カーソルボタン（▲▼）でもチャンネル番号を選べます。

12 カーソルボタン（◀▶）を押してリモコンの数字番号を選び、手順9～11をくり返す

- 他の放送のチャンネルを登録するときは、戻るボタンを押して、手順6からくり返してください。

「衛星チャンネル設定」画面を消すには

元の画面ボタンを押す

登録されたチャンネルについて

- 1～10に登録されたチャンネルは、チャンネル数字ボタンを押すだけで選局できます。
- 選局対象（☞86ページ）を「お好み」にして、登録されたチャンネルだけをチャンネル+/−ボタンで選べるようにできます。
- お好み選局（☞57ページ）で、登録したチャンネルを画面に表示して選べます。

「お好み設定」で登録する

「お好み設定」では、現在ご覧になっているチャンネルを、画面に表示させた選局ボタンに登録します。登録したチャンネルを「お好み選局」(☞57ページ)で簡単に呼び出せます。BSデジタル放送、CS1デジタル放送、CS2デジタル放送をそれぞれ30チャンネルずつ登録できます。

1 登録したいチャンネルを見ているときに、#/選局(12)ボタンを3秒以上押す

「お好み選局」画面が表示された後、3秒後に「お好み設定」画面に切り換わります。

2 カーソルボタン(◀▶▲▼)で画面上の選局ボタンを選ぶ

3 決定ボタンを押す

選んでいる選局ボタンに、現在視聴中のチャンネルが登録されます。

登録したチャンネルを削除するには

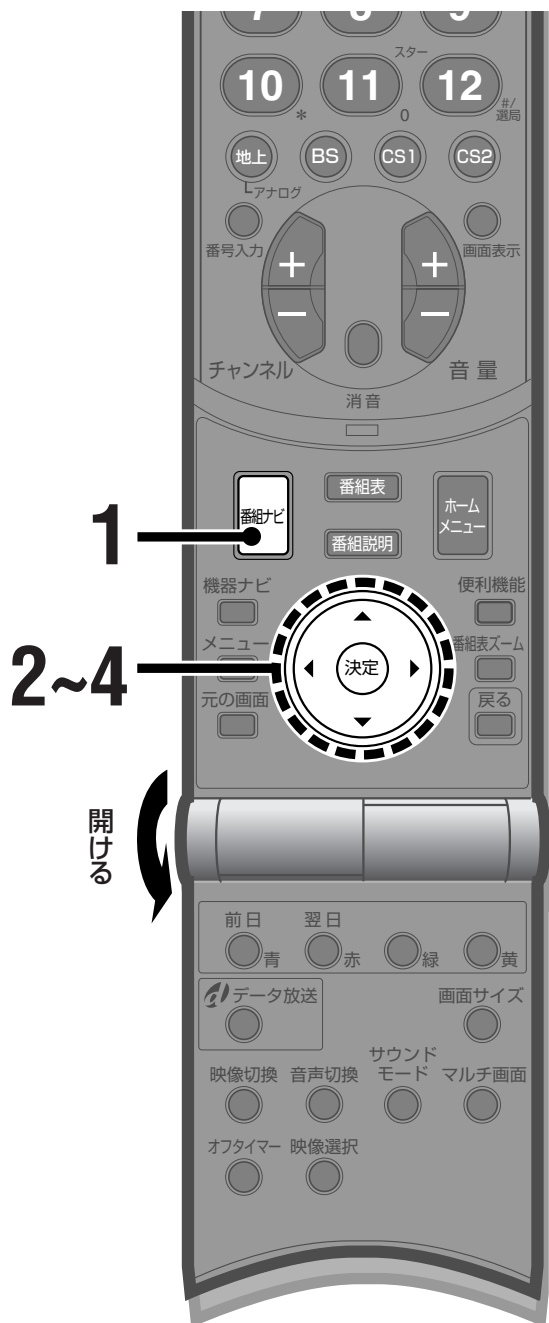
削除したい選局ボタンを選び、#（12）ボタンを1秒以上押します。
選んでいる選局ボタンに登録されたチャンネルを削除できます。

便利機能ボタンを押すと…

「お好み設定」画面を表示しているときに便利機能ボタンを押すと、チャンネル削除の確認画面が表示されます。確認画面で決定ボタンを押すと、選んでいる選局ボタンに登録されたチャンネルを削除できます。

放送局からのお知らせを見る

メールを読む

メールには、放送局から送られてくる個人あての情報と、本機が予約の実行に失敗したときなどに出すメッセージの2種類があります。重要なお知らせが含まれていますので、必ずお読みください。

- **操作を途中でやり直すときは**
  戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。
- **元の画面に戻るには**
  元の画面ボタンを押します。メニューや設定画面が消えます。

1 番組ナビボタンを押す

「番組ナビ」画面が表示されます。

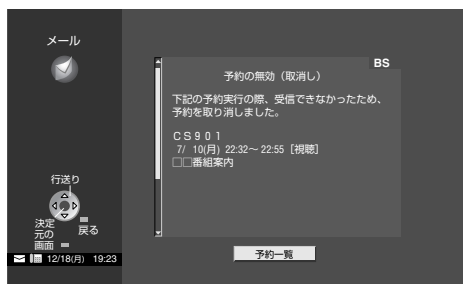
2 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して「インフォメーション」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して「メール」を選び、決定ボタンを押す

✉:まだ読んでいないメール

✉:すでに読んだメール

- メールは9通まで表示されます。10通以上のメールがあるときはカーソルボタン(▲▼)を押すと表示されます。

4 カーソルボタン(▲▼)を押して読みたいメールを選び、決定ボタンを押す

- 表示しきれない部分があるときは、カーソルボタンで「次ページ」を選び、決定ボタンを押すと表示されます。

5 内容を確認する

「メール」画面を消すには
元の画面ボタンを押す

他のメールを読みたいときは

手順5で戻るボタンを押し、手順4からくり返します。

ご注意

- B-CASカードが挿入されていないとメールを受信する事ができません。B-CASカードは本機に異常が発生しない限り抜かないでください。
- メールは合計で24通(各放送では最大13通)まで保存できます。24通を超えると古いメールから自動的に削除されます。
  ただし、御愛用者登録のお願いのメールは削除されません。

本機が出すメールの内容

本機から送られてくるメールには次のようなものがあります。

電話回線の通信異常通知

電話回線を使用した通信で異常があった場合に届きます。

- 通信異常のメールが届いたときは、電話回線の接続、電話設定を確認のうえ、正しく設定や接続を行ってください(☞25、37ページ)。電話回線の接続や設定に問題がない場合は、PPV(ペイ･パー･ビュー)の契約をしている放送局のカスタマーセンターにお問い合わせください。
- 決定ボタンを押すと、「電話発信記録」(☞85ページ)画面が表示されます。

予約の警告、失敗の通知

予約が失敗した場合に届きます。

- これらのメールを表示中に決定ボタンを押すと、「予約一覧」(☞114ページ)画面が表示されます。

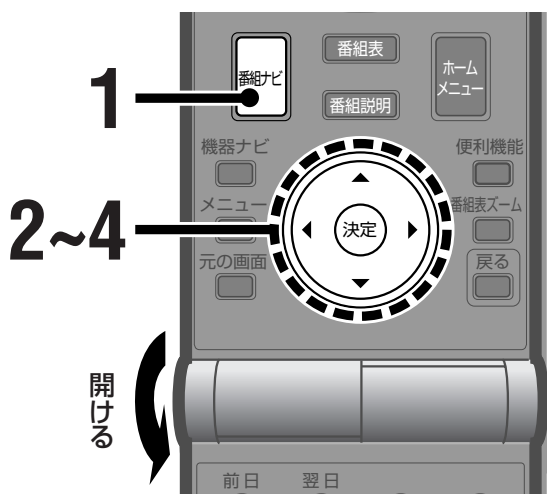
ダウンロードの通知

ダウンロードの予約やダウンロードの実行結果のメールが届きます。ダウンロードについての詳しい説明は93ページをご覧ください。

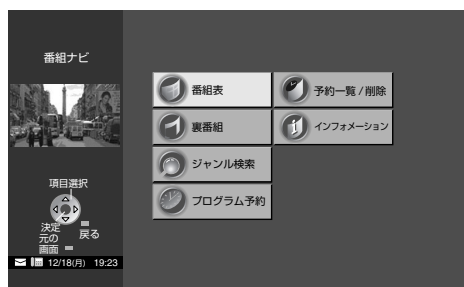
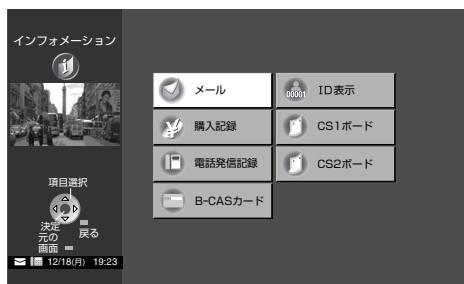
「ご愛用者登録のお願い」メール

お買い上げ後、初めて本機の電源を入れると、「ご愛用者登録のお願い」メールが届きます。このメールは今後のサービスのためにご愛用者登録をお願いするものです。
なお、このメールは登録が終わった後も削除されずに残ります。

ボードを読む

ボードは、放送局から送られてくる情報と、ご案内などがあります。重要なお知らせが含まれていますので、定期的に目を通すようにしてください。

- **操作を途中でやり直すときは**
  戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。
- **元の画面に戻るには**
  元の画面ボタンを押します。メニューや設定画面が消えます。

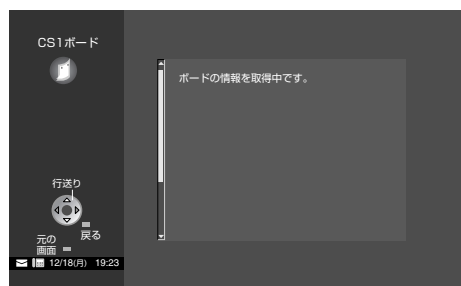
1 番組ナビボタンを押す

「番組ナビ」画面が表示されます。

2 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して「インフォメーション」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して「CS 1 ボード」「CS2ボード」を選び、決定ボタンを押す

CS1ボード
プラット・ワンからのお知らせを表示します。

CS2ボード
スカイパーフェクTV!2からのお知らせを表示します。

- ボード項目は9通まで表示されます。10通以上の項目があるときはカーソルボタン(▲▼)を押すと表示されます。

4 カーソルボタン(▲▼)を押して読みたいボード項目を選び、決定ボタンを押す

- 表示しきれない部分を読むには、カーソルボタンで「次ページ」を選び、決定ボタンを押します。

5 内容を確認する

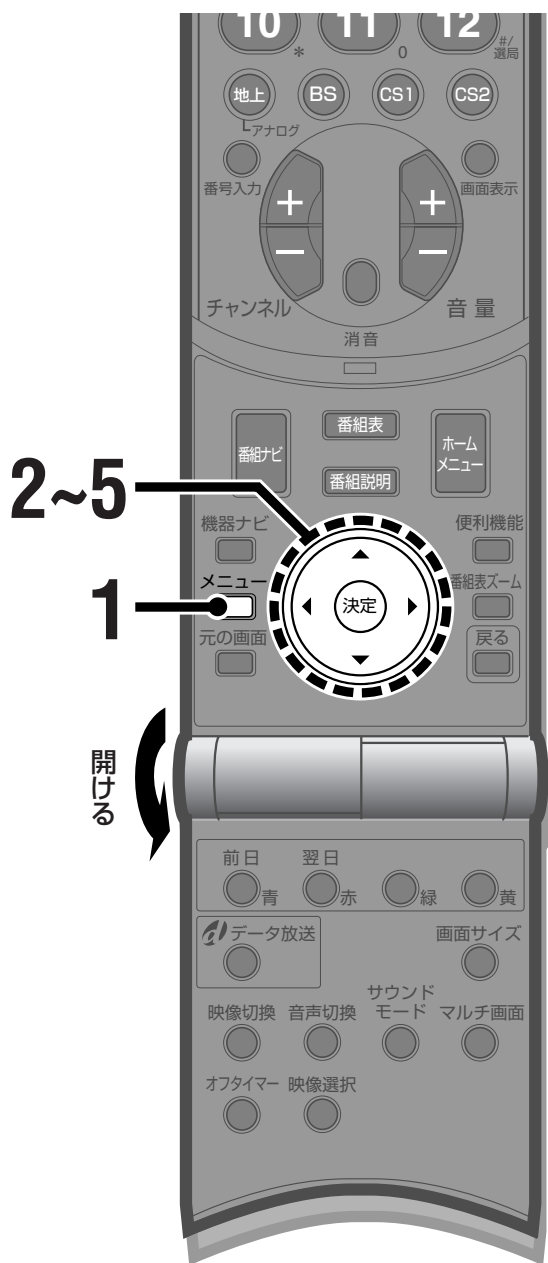
「ボード」画面を消すには
元の画面ボタンを押す

他のボードを読みたいときは

手順5で戻るボタンを押し、手順4からくり返します。

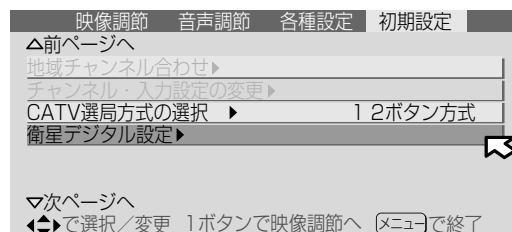
ダウンロードの設定をする

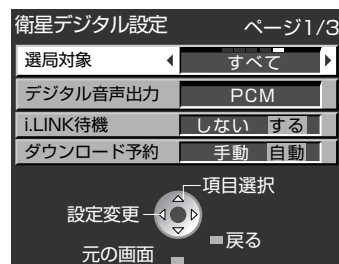
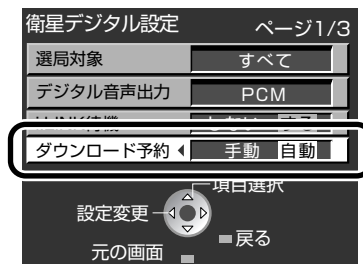
本機のBS・110度CSデジタル放送受信機はパソコンのようにプログラム(ソフトウェア)やデータで、さまざまな機能を実現しています。さらに、新しい機能の追加やサービスへの対応が必要になったとき、「ダウンロード」と呼ばれる機能でプログラムやデータを入れ換え、機能の追加やサービスへ対応をできるようになっています。

お知らせ
- 工場出荷時は、ダウンロードの設定は「自動」になっています。(通常は設定を「自動」にすることをおすすめします。)
- ダウンロードするプログラムがあるときにはメールでお知らせします。

- **メニュー画面を切り換えるには**
  メニューを表示中に1ボタン(チャンネル数字ボタン)を押すと、各メニュー画面を切り換えることができます。
- **操作を途中でやり直すときは**
  戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。
- **元の画面に戻るには**
  元の画面ボタンを押します。メニューや設定画面が消えます。

1 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

2 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「初期設定」メニューの「衛星デジタル設定」を選ぶ

3 カーソルボタン(◀▶)を押す

「衛星デジタル設定」画面が表示されます。

4 カーソルボタン(▲▼)を押して「ダウンロード予約」を選ぶ

➡次のページへ

5 カーソルボタン（◀▶）を押して設定を選ぶ

自動

通常はこちらを選びます。重要なダウンロード情報が届いたとき、電源オフ時に自動的にダウンロードを行います。

手動

全てのダウンロードを、ダウンロード予約選択メールでダウンロードを行うか選択します（☞「自分でダウンロードするには」）。
「手動」を選んだ場合、本機の性能改善のような重要なダウンロードの場合でも、自動的にダウンロードを行わなくなりますのでご注意ください。

「衛星デジタル設定」画面を消すには

元の画面ボタンを押す

ダウンロードを行うときのご注意

- ダウンロードは、電源が「切」の状態でないと実行されません。電源プラグを抜かず、リモコンまたは本体の電源ボタンで電源を切っておいてください。
- ダウンロードが終了すると、メールでダウンロードの実行結果が届きます。メールの表示方法については90ページをご覧ください。

自分でダウンロードするには

手順5で「自動」を選んでいても、プログラムによっては、ダウンロードをするかしないかを選んで、決定しなくてはならないものがあります。

1. メールを開く（☞90ページ）
2. メールをよく読んで内容を確認する
3. カーソルボタン（◀▶）を押して「する」を選び、決定ボタンを押す

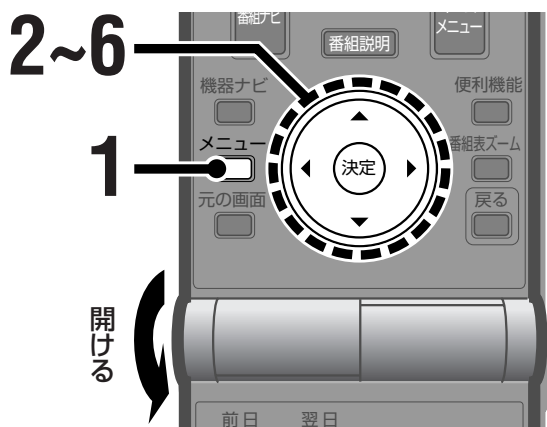
電源が「切」になると、自動的に選択されたダウンロードが行われます。

ダウンロードに失敗したときは・・・

悪天候のときなどにダウンロードが失敗することがあります。そのような場合はダウンロードの失敗をメールでお知らせします。（☞90ページ）
ダウンロード失敗のメール上で、再度ダウンロードをするかどうかを選択できます。
「もう1度ダウンロードをする」を選ぶと、指定された時間にダウンロードが行われます。

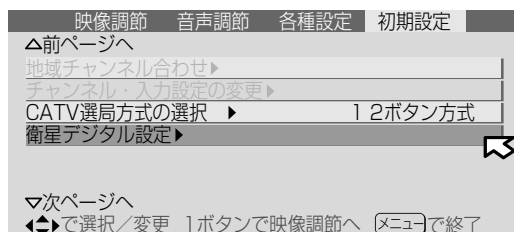
放送衛星の受信設定

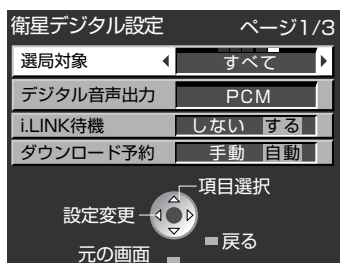
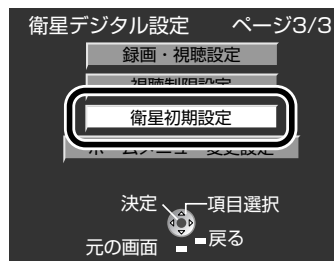
衛星から電波を受信するのに必要な設定です。

ご注意:
放送衛星の受信設定は、衛星デジタル放送からの指示がない限り変更しないでください。

- **メニュー画面を切り換えるには**
  メニューを表示中に1ボタン（チャンネル数字ボタン）を押すと、各メニュー画面を切り換えることができます。
- **操作を途中でやり直すときは**
  戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。
- **元の画面に戻るには**
  元の画面ボタンを押します。メニューや設定画面が消えます。

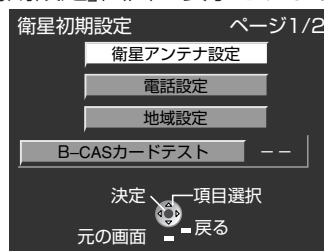
1 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

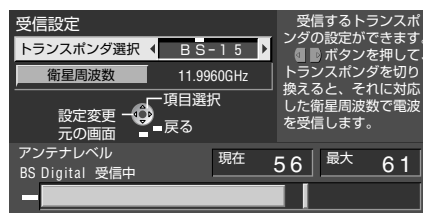
2 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「初期設定」メニューの「衛星デジタル設定」を選ぶ

3 カーソルボタン(◀▶)を押す

「衛星デジタル設定」画面が表示されます。

4 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「衛星初期設定」を選ぶ

- 「衛星デジタル設定」画面は3ページ構成です。上記の画面イラストは3ページ目です。

5 決定ボタンを3秒以上押す

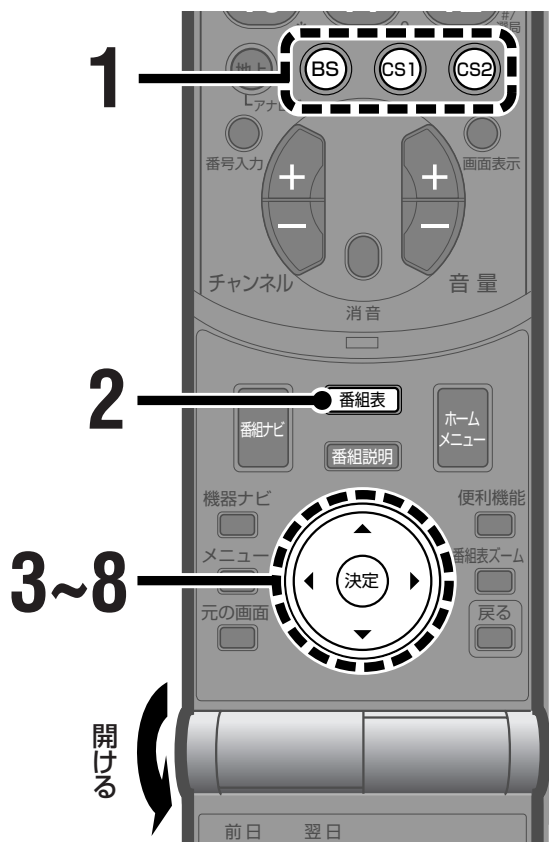
「衛星初期設定」画面が表示されます。

6 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「受信設定」を選び、決定ボタンを押す

「受信設定」画面が表示されます。

- 設定を変更すると衛星デジタル放送が受信できなくなる場合があります。

「受信設定」画面を消すには
元の画面ボタンを押す

衛星デジタル放送を予約する

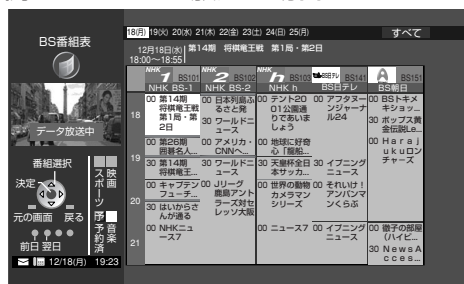
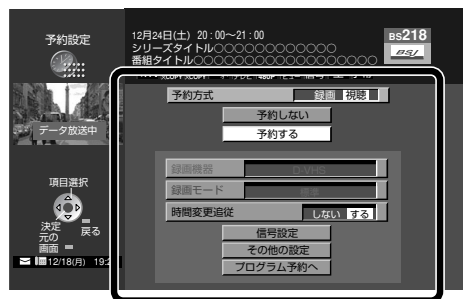
見たい番組を視聴予約する

衛星デジタル放送の見たい番組を視聴予約できます。他の放送やチャンネルを見ていても、番組の開始約5秒前になると予約したチャンネルに自動的に切り換わります。

・**操作を途中でやり直すときは**
戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。
・**元の画面に戻るには**
元の画面ボタンを押します。メニューや設定画面が消えます。

1 BS、CS1またはCS2ボタンを押して予約したい放送に切り換える

2 番組表ボタンを押す

選んでいる放送の番組表が表示されます。

例:BSデジタル放送の場合

3 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して予約したい番組を選び、決定ボタンを押す

「予約設定」画面が表示されます。

• 現在放送中の番組を選んだときは、番組を見るか、予約するかの選択画面が表示されます。「予約する」を選択すると、「予約設定」画面に切り換わります。

4 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「予約方式」を選ぶ

5 カーソルボタン(◀▶)を押して「視聴」を選ぶ

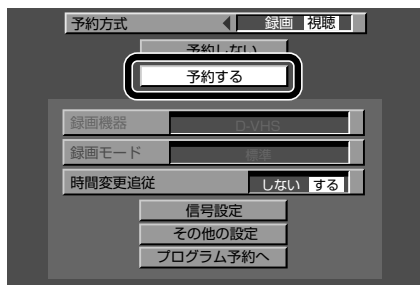
6 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して詳細設定の項目を選び、設定する

次の項目を設定できます。右記の「視聴予約の詳細を設定する」をご覧になって設定してください。

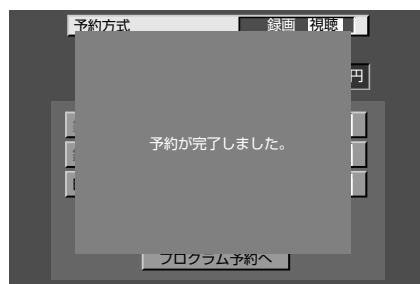
時間変更追従
番組の放送時間が変更された場合に、時間変更に合わせて、予約開始の設定時刻から最大で3時間の遅れまで対応します。

信号設定
複数の映像や音声などの信号がある番組では、予約する信号を選べます。

その他の設定
連続した予約や、予約の開始時刻/終了時刻の設定などができます。

7 カーソルボタン(▲▼)を押して「予約する」を選ぶ

- 「予約しない」を選んで決定ボタンを押すと、予約の手続きは中止され、番組表画面に戻ります。

8 決定ボタンを押す

「予約完了」画面が数秒間表示されます。

予約した番組が始まる約30秒前になると、「まもなく予約された番組が開始します」と画面に表示されます。約5秒前になると予約したチャンネルに切り換わります。

視聴予約の詳細を設定する

時間変更追従

1 カーソルボタン(◀▶)を押して設定する

時間変更追従	◀ しない する

する
放送時間の変更にあわせて、予約開始の設定時刻から最大で3時間の遅れまで対応します。

しない
放送時間に変更があっても、最初に設定された時刻に予約を開始します。

お知らせ
あらかじめ「時間追従変更」を「する」ように設定しておくこともできます。(☞113ページ)

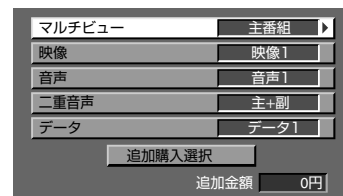
信号設定

1 「信号設定」を選び、決定ボタンを押す

2 カーソルボタン(▲▼)を押して設定項目を選び、カーソルボタン(◀▶)を押して設定する

マルチビュー
番組がマルチビュー放送の場合に番組を設定します。

映像
映像信号が複数ある場合に、映像を設定します。

音声
音声信号が複数ある場合に、音声を設定します。

二重音声
「自動」「主」「副」「主＋副」を設定します。
- 視聴予約の場合は、「自動」に設定すると、予約時に設定されている二重音声の設定になります。

データ
データが複数ある場合にデータを設定します。「−−」にすると、予約実行時にデータ放送の指示に従いデータ放送画面を表示します。

- 「予約設定」画面に戻るには、戻るボタンを押します。
- 番組の中に追加購入が必要な信号がある場合は、「追加購入選択」を選んで決定ボタンを押すと、「追加購入選択」画面が表示されます。
  カーソルボタン(▲▼)で購入したい信号を選び、決定ボタンを押して購入します。

ご注意
- 「プログラム予約」の場合は「二重音声」の項目のみ設定できます。
- 番組によっては設定できない項目もあります。

➡次のページへ

その他の設定

1 「その他の設定」を選び、決定ボタンを押す

イベントリレー予約		オフ オン
開始時刻修正	20：00	±0分
終了時刻修正	21：00	±0分
マルチビュー録画		オフ オン

2 カーソルボタン（▲▼）を押して設定項目を選び、カーソルボタン（◀▶）を押して設定する

イベントリレー予約

予約した番組と同様な番組が引き続き別のチャンネルで行われる場合に、続けて予約を実行したいときには「オン」に設定します。ただし、「時間変更追従」を「しない」にしている場合には無効になります。

開始時刻修正

予約を実行する時刻を、番組の開始時刻の1分前から終了時刻の6分前まで修正できます。

終了時刻修正

予約の終了する時刻を、番組の開始時刻の6分後から終了時刻の1分後まで修正できます。

- 「予約設定」画面に戻るには、戻るボタンを押します。

ご注意

- 「プログラム予約」で視聴予約する場合は設定できません。
- 開始時刻から終了時刻までが5分以下になるように修正することはできません。また、6分以下の番組の場合は開始、終了時刻は共に修正できません。
- 番組によっては設定できない項目もあります。

お知らせ

- 「予約設定」画面はジャンル検索で放送予定の番組を選んでも表示されます。(☞65ページ)
- すでに予約してある番組を選んだときは、予約修正の画面が表示されます。(☞114ページ)
- 有料番組の場合は「予約する」の横に、購入するのに必要な金額が表示されます。
- 予約の状況によっては、完了画面のかわりに別の画面が出ることがあります。(☞「予約時のメッセージについて」)
- 連続ドラマなどを予約したいときは、「プログラム予約」が便利です。日付けや曜日などを指定して予約できます。「プログラム予約へ」を選んで決定ボタンを押すと、「プログラム予約」画面が表示されます。(☞111ページ)

ご注意

- 視聴予約は本機の電源が入っていないと実行されません。
- 有料番組を予約した場合、予約が実行されると自動的に番組が購入されます。予約が実行されると、実際に視聴しなくても料金が請求されます。

予約時のメッセージについて

「この番組は契約されていません。予約できません。」

契約していないチャンネルの番組を予約操作しようとしたとき表示されます。

「予約がいっぱいです。予約を削除してからやり直してください。」

これ以上予約できないとき表示されます。
予約できる件数は、録画予約や予約の履歴と合わせて、24件までです。「予約一覧」(☞114ページ)で不要な予約や履歴を削除してから予約してください。

「予約が完了しました。予約が重複しています。予約が実行されない場合があります。」

予約済みの番組と同じ時間帯の番組を予約したとき表示されます。
予約の優先順位により、実行されない予約があります。(☞115ページ)予約の重なりを解除するには、「予約一覧」(☞114ページ)で予約を修正または削除してください。

予約を変更するまたは取り消すには

予約がまだ実行されていないとき

「予約一覧」画面で予約の変更や取消しができます。詳しくは114ページをご覧ください。

予約の実行中

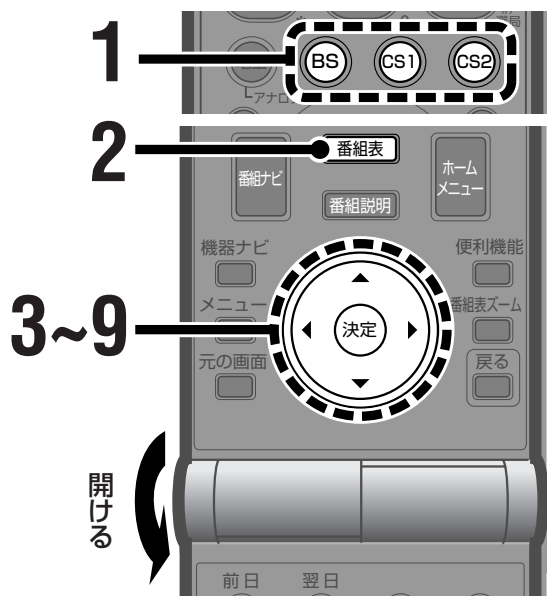
中止の操作は必要ありません。視聴予約した番組をご覧のときも、通常の番組をご覧になっているときと同様に、チャンネルを変えたり、番組表を見たりできます。

デジタル予約録画する

本機と、i.LINK接続した録画機器を連動させて、衛星デジタル放送をデジタル録画できます。

デジタル予約録画

① 番組表から衛星デジタル放送を録画予約する ➡ ② i.LINK経由で録画開始の信号と衛星デジタル放送の信号を送る ➡ ③ 電源が自動的に入り、デジタル録画する

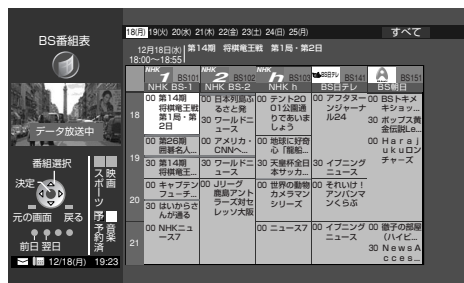
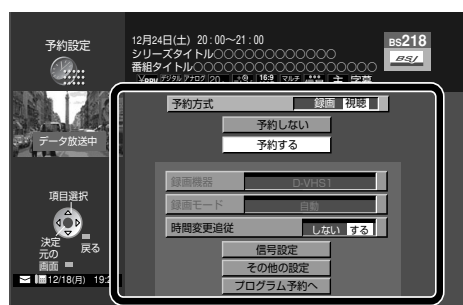
- 録画予約をする前に、i.LINKコードの接続と設定を行ってください。(☞162、163ページ)
- 録画機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

・**操作を途中でやり直すときは**
戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

・**元の画面に戻るには**
元の画面ボタンを押します。メニューや設定画面が消えます。

1 BS、CS1、またはCS2ボタンを押して、予約したい衛星デジタル放送に切り換える

2 番組表ボタンを押す

番組表が表示されます。

例：BSデジタル放送の場合

3 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して予約したい番組を選び、決定ボタンを押す

「予約設定」画面が表示されます。

- 現在放送中の番組を選んだときは、番組を見るか、予約するかの選択画面が表示されます。「予約する」を選択して、決定ボタンを押してください。

4 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「予約方式」を選ぶ

5 カーソルボタン(◀▶)を押して「録画」を選ぶ

「録画機器」と「録画モード」が設定できるようになります。

➡次のページへ

6 デジタル録画する機器を設定する

1）カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して「録画機器」を選ぶ

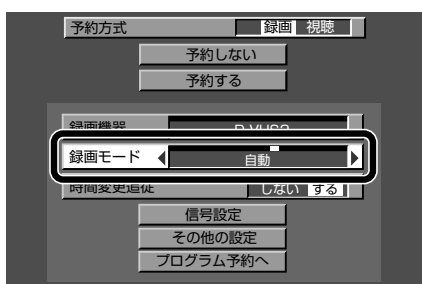
2）カーソルボタン（◀▶）をくり返し押して「D-VHS※」または「HDR※」を選ぶ

D-VHS※
D-VHSビデオデッキで録画するときに選びます。

HDR※
ハードディスクビデオレコーダーで録画するときに選びます。

- 末尾の※印は、i.LINK接続している機器に割り当てられる番号です。
  複数のD-VHSビデオデッキまたはハードディスクビデオレコーダーを接続しているときは、「i.LINK接続設定」画面（☞163ページ）で、録画したい機器の番号を確認してください。

7 「録画モード」を設定する

1）カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して「録画モード」を選ぶ

2）カーソルボタン（◀▶）をくり返し押して「自動」を選ぶ

- 「自動」以外の録画モードを選ぶとアナログ録画になります。（☞105ページ）

8 カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して詳細設定の項目を選び、設定する

次の項目を設定できます。103ページの「デジタル録画予約の詳細を設定する」をご覧になって設定してください。

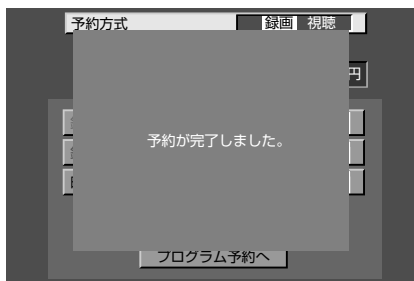
時間変更追従
番組の放送時間が変更された場合に、時間変更に合わせて、予約開始の設定時刻から最大で3時間の遅れまで対応します。

信号設定
複数の映像や音声などの信号がある番組では、予約する信号を選べます。

その他の設定
連続した予約や、予約の開始時刻/終了時刻の設定などができます。

9 カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して「予約する」を選び、決定ボタンを押す

現在放送中の番組を選んだとき
選んだ番組に切り換わり、録画が始まります。

放送予定の番組を選んだとき
「予約完了」画面が数秒間表示されます。

- 「予約しない」を選んで決定ボタンを押すと予約は中止されます。

予約した番組が始まる約30秒前になると、「まもなく予約された番組が開始します」と画面に表示されます。約5秒前になると予約したチャンネルに切り換わります。
本機と連動して録画機器の電源が入り、録画が始まります。

デジタル録画予約の詳細を設定する

時間変更追従

1 カーソルボタン(◀▶)を押して設定する

時間変更追従　しない　する

する

放送時間の変更にあわせて、予約開始の設定時刻から最大で3時間の遅れまで対応します。

しない

放送時間に変更があっても、最初に設定された時刻に予約を開始します。

お知らせ

あらかじめ「時間追従変更」を「する」ように設定しておくこともできます。(☞113ページ)

信号設定

1 「信号設定」を選び、決定ボタンを押す

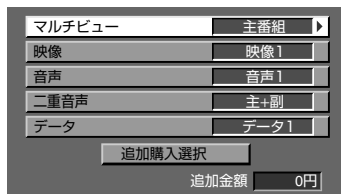
2 カーソルボタン(▲▼)を押して設定項目を選び、カーソルボタン(◀▶)を押して設定する

マルチビュー

番組がマルチビュー放送の場合に番組を設定します。

映像

映像信号が複数ある場合に、映像を設定します。

音声

音声信号が複数ある場合に、音声を設定します。

二重音声

「自動」「主」「副」「主+副」を設定します。

- 録画予約の場合は、「自動」に設定すると、「主+副」の設定になります。

データ

データが複数ある場合にデータを設定します。「−−」にすると、予約実行時にデータ放送の指示に従いデータ放送画面を表示します。

- 「予約設定」画面に戻るには、戻るボタンを押します。
- 番組の中に追加購入が必要な信号がある場合は、「追加購入選択」を選んで決定ボタンを押すと、「追加購入選択」画面が表示されます。
  カーソルボタン(▲▼)で購入したい信号を選び、決定ボタンを押して購入します。

ご注意

- 「プログラム予約」の場合は「二重音声」の項目のみ設定できます。
- 番組によっては設定できない項目もあります。

その他の設定

1 「その他の設定」を選び、決定ボタンを押す

2 カーソルボタン(▲▼)を押して設定項目を選び、カーソルボタン(◀▶)を押して設定する

イベントリレー予約

予約した番組と同様な番組が引き続き別のチャンネルで行われる場合に、続けて予約を実行したいときには「オン」に設定します。ただし、「時間変更追従」を「しない」にしている場合には無効になります。

開始時刻修正

番組の一部分だけを録画したい(余分な放送部分をカットしたい)ときに設定します。予約を実行する時刻を、番組の開始時刻の1分前から終了時刻の6分前まで修正できます。

終了時刻修正

番組の一部分だけを録画したい(余分な放送部分をカットしたい)ときに設定します。予約の終了する時刻を、番組の開始時刻の6分後から終了時刻の1分後まで修正できます。

マルチビュー録画

マルチビュー放送の番組をデジタル録画するとき、副番組も同時に録画したい場合は「オン」に設定します。

- 「予約設定」画面に戻るには、戻るボタンを押します。

お知らせ

あらかじめ「マルチビュー録画」を「オン」に設定しておくこともできます。(☞113ページ)

ご注意

- 「プログラム予約」の場合は「マルチビュー録画」の項目のみ設定できます。
- 開始時刻から終了時刻までが5分以下になるように修正することはできません。また、6分以下の番組の場合は開始、終了時刻は共に修正できません。
- 番組によっては設定できない項目もあります。

➡次のページへ

お知らせ

- 「予約設定」画面はジャンル検索で放送予定の番組を選んでも表示されます。(☞65ページ)
- すでに予約してある番組を選んだときは、予約修正の画面が表示されます。(☞114ページ)
- 有料番組の場合は「予約する」の横に、購入するのに必要な金額が表示されます。
- 予約の状況によっては、完了画面のかわりに別の画面が出ることがあります。(☞「予約時のメッセージについて」)
- 本機の電源が「切」のときでも、録画の開始時刻になると、本機と連動して録画機器の電源が入り、録画が始まります。ただし、テレビの画面には何も映りません。
- 連続ドラマなどを予約したいときは、「プログラム予約」が便利です。日付けや曜日などを指定して予約できます。「プログラム予約へ」を選んで決定ボタンを押すと、「プログラム予約」画面が表示されます。(☞111ページ)

ご注意

- i.LINK接続されていても、「i.LINK接続設定」で「使用」が「する」に設定されていないと「D-VHS※」または「HDR※」は表示されません。(☞163ページ)
- 電源プラグが抜かれていると録画予約は実行されません。
- 有料番組を予約した場合、予約が実行されると自動的に番組が購入されます。予約が実行されると、実際に録画しなくても料金が請求されます。
- 録画の設定動作には若干の時間が必要なため、開始時刻の直前に予約を設定しようとすると予約が設定できない場合があります。
- デジタル予約録画の実行中は、番組ナビや番組表、選局などの一部の機能が使用できなくなります。録画中にこれらの操作を行うと、CH（チャンネル）ロック解除画面が表示されます。(☞「録画予約を変更するまたは取り消すには」)
- 録画機器の機能や注意事項については、録画機器の取扱説明書を参照してください。

予約時のメッセージについて

「この番組は契約されていません。予約できません。」

契約していないチャンネルの番組を予約操作しようとしたとき表示されます。

「予約がいっぱいです。予約を削除してからやり直してください。」

これ以上予約できないとき表示されます。
予約できる件数は、録画予約や予約の履歴と合わせて、24件までです。「予約一覧」(☞114ページ)で不要な予約や履歴を削除してから予約してください。

「予約が完了しました。予約が重複しています。予約が実行されない場合があります。」

予約済みの番組と同じ時間帯の番組を予約したとき表示されます。予約の優先順位により、実行されない予約があります。(☞115ページ)
予約の重なりを解除するには、「予約一覧」(☞114ページ)で予約を修正または削除してください。

録画予約を変更するまたは取り消すには

予約がまだ実行されていないとき

「予約一覧」画面で予約の変更や取消しができます。詳しくは114ページをご覧ください。

予約の実行中

1 **番組ナビボタン、番組表ボタンまたは番組説明ボタンを押して、CH（チャンネル）ロック解除画面を表示させる**

2 **カーソルボタン(▲▼)を押して「解除する」を選び、決定ボタンを押す**

予約の実行が中止されます。
- 必要に応じて録画機器を停止させます。

デジタル録画するときは

- 連動型データ放送の番組または複数の映像信号や音声信号がある番組の場合、これらの番組に関連するデータは、録画予約の際に設定にしたがって出力されます。ただし、番組によっては自動的に複数の信号が録画される場合があります。
- マルチチャンネル放送では、選択されたチャンネルの映像･音声がi.LINK入出力端子から出力されます。
- 標準放送番組をSDモードで録画するときは、本機で選択した映像･音声のみが記録されます。
- データ放送を録画するときは次のようになります。
  －D-VHSテープにHSまたはSTDモードで録画できます。
  －HSまたはSTD以外の録画モードや、VHSまたはS-VHS方式では録画できません。
- データ放送に映像がある番組を録画するときは次のようになります。
  －D-VHSテープにHSまたはSTDモードで録画できます。
  －HSまたはSTD以外の録画モードや、VHSまたはS-VHS方式では、音声のみ録画できます。
- HSモードに対応していないD-VHSビデオデッキでは、ハイビジョン番組など標準放送以外の番組をデジタル録画できません。標準放送以外の番組を録画するときは、D-VHSビデオデッキの入力をi.LINK入力から本機のモニター/録画出力端子をつないだ入力に切り換えて、アナログ録画（VHS/S-VHS録画）してください。(☞105ページ)
- HM-DH20000/HM-DH30000/HM-DH35000/HM-DHX1（ビクター製D-VHSビデオデッキ）では、i.LINK接続による録画時にはD-VHSビデオデッキのビデオナビゲーションに番組情報が記憶されます。ただし、110度CSデジタル放送を録画したテープのビデオナビゲーションでは、チャンネルが正しく表示されません。
- 予約録画実行中にi.LINKコードの抜き差しは行わないでください。予約が終了しても録画機器の録画停止ができません。

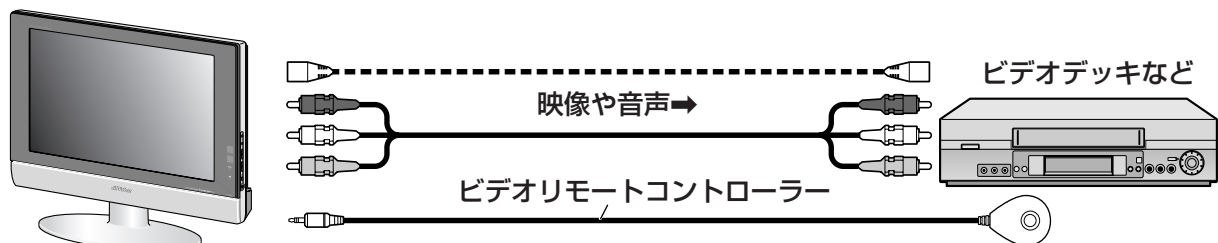
デジタルコピーガードについて

番組によっては、デジタル録画ができないように設定されています。このような番組の場合はデジタル録画ではなくアナログ録画(☞105ページ)になります。
録画予約をする前に、番組説明でデジタル録画が可能な番組かどうか確認してください。(☞67ページ)

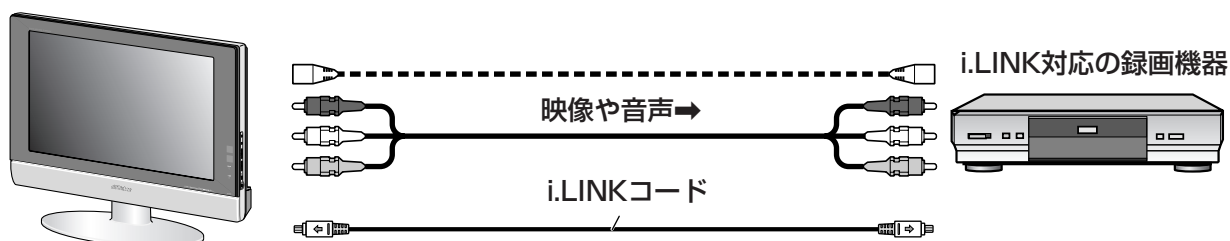
アナログ予約録画する

本機と録画機器を連動させて、衛星デジタル放送をアナログ録画できます。

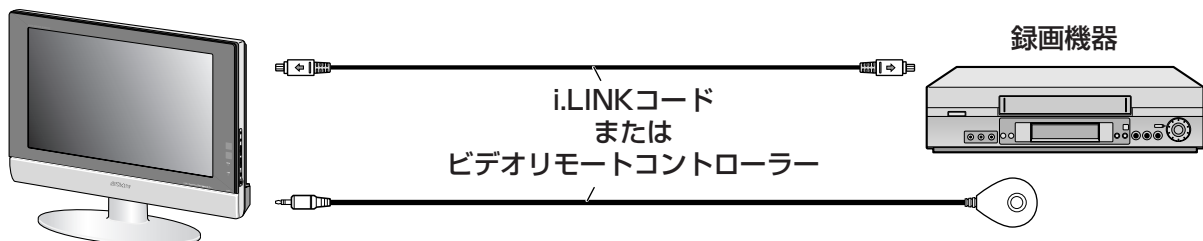
アナログ予約録画

ビデオリモートコントローラー(Irシステム)を使って録画する場合

① 番組表から録画予約する ➡ ② ビデオリモートコントローラー(Irシステム)で録画開始の信号を送る ➡ ③ 電源が自動的に入り、アナログ録画する

• 録画予約をする前に、録画機器の接続およびビデオリモートコントローラー(Irシステム)の接続と設定を行ってください。(☞157〜160ページ)
• お使いの録画機器によってはタイマー予約録画ができます。(☞109ページ)
• 録画機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

i.LINK対応機器で録画する場合

① 番組表から録画予約する ➡ ② i.LINK経由で録画開始の信号を送る ➡ ③ 電源が自動的に入り、アナログ録画する

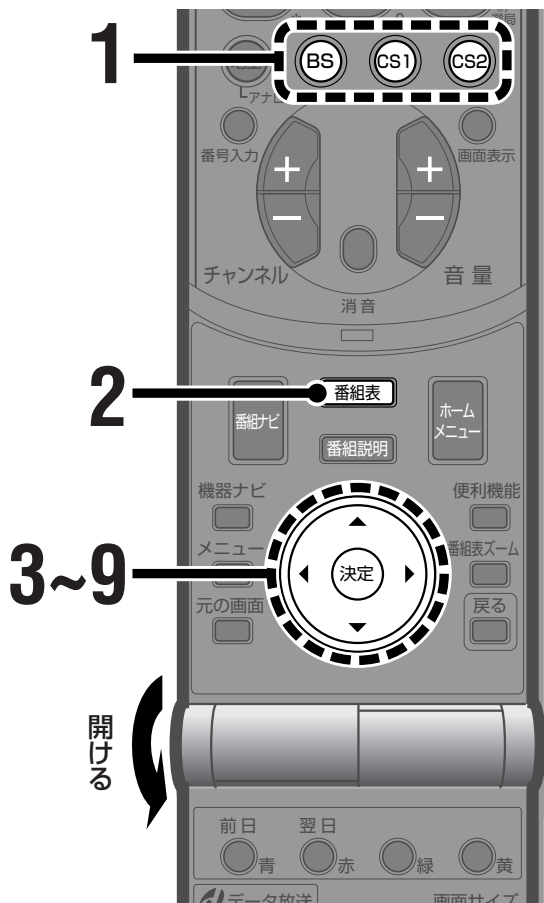
• 録画予約をする前に、i.LINKコードの接続と設定および映像・音声コードの接続を行ってください。(☞160〜164ページ)
• 録画機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

録画機器に搭載されているチューナーを使用する場合

① 番組表から録画予約する ➡ ② i.LINK経由またはビデオリモートコントローラー(Irシステム)で録画開始の信号を送る ➡ ③ 電源が自動的に入り、録画機器のチューナーを使ってアナログ録画する

• 録画機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意

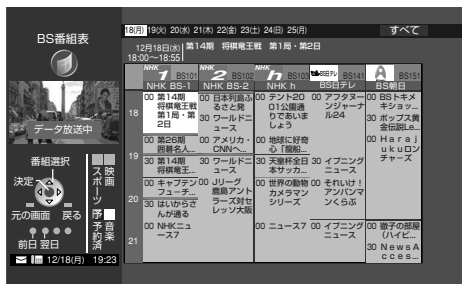
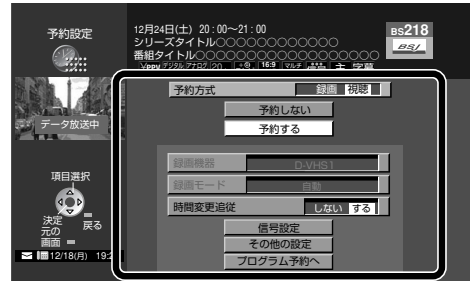
• Irシステムやi.LINKが使用できない場合には、本機での予約設定と別に、録画機器側でも予約設定を行う必要があります。録画機器側で本機と接続した外部入力を選択し、録画機器の録画予約をしてください。

➡次のページへ

・**操作を途中でやり直すときは**
戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。
・**元の画面に戻るには**
元の画面ボタンを押します。メニューや設定画面が消えます。

1 BS、CS1またはCS2ボタンを押して予約したい放送に切り換える

2 番組表ボタンを押す

選んでいる放送の番組表が表示されます。

例：BSデジタル放送の場合

3 カーソルボタン（◀▶▲▼）を押して予約したい番組を選び、決定ボタンを押す

「予約設定」画面が表示されます。

• 現在放送中の番組を選んだときは、番組を見るか、予約するかの選択画面が表示されます。「予約する」を選択して、決定ボタンを押してください。

4 カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して「予約方式」を選ぶ

5 カーソルボタン（◀▶）を押して「録画」を選ぶ

6 録画する機器を設定する

1) カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「録画機器」を選ぶ

2) カーソルボタン(◀▶)をくり返し押して録画する機器を選ぶ

ビデオ(連動) →手順8へ
ビデオリモートコントローラー(Irシステム)を使って、ビデオデッキで録画をするときに選びます。

DVDレコーダー(連動) →手順8へ
ビデオリモートコントローラー(Irシステム)を使って、DVDレコーダーで録画をするときに選びます。

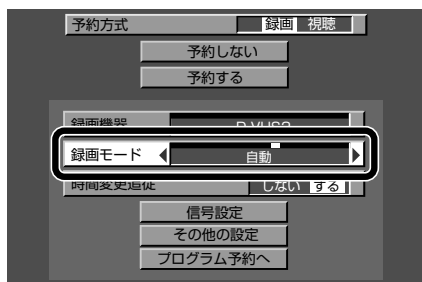
***D-VHS※** →手順7へ
i.LINK接続したD-VHSビデオデッキで録画するときに選びます。

***HDR※** →手順7へ
i.LINK接続されたハードディスクビデオレコーダーで録画するときに選びます。

* 末尾の※印は、i.LINK接続している機器に割り当てられる番号です。
複数のD-VHSビデオデッキまたはハードディスクビデオレコーダーを接続しているときは、「i.LINK接続設定」(☞163ページ)で、録画したい機器の番号を確認してください。

7 「録画モード」を設定する

• i.LINK接続した録画機器のみの設定です。

1) カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「録画モード」を選ぶ

2) カーソルボタン(◀▶)をくり返し押して「標準」、「3倍」、または「5倍」を選ぶ
• 選べる録画モードは録画機器によって異なります。

8 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して詳細設定の項目を選び、設定する

次の項目を設定できます。108ページの「アナログ録画予約の詳細を設定する」をご覧になって設定してください。

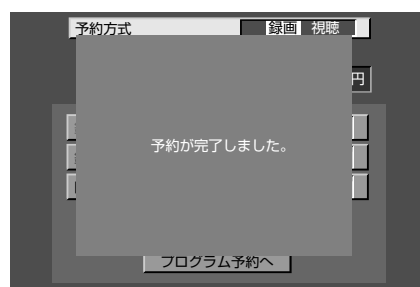
時間変更追従
番組の放送時間が変更された場合に、時間変更に合わせて、予約開始の設定時刻から最大で3時間の遅れまで対応します。

信号設定
複数の映像や音声などの信号がある番組では、予約する信号を選べます。

その他の設定
連続した予約や、予約の開始時刻/終了時刻の設定などができます。

9 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「予約する」を選び、決定ボタンを押す

現在放送中の番組を選んだとき
選んだ番組に切り換わり、録画が始まります。

放送予定の番組を選んだとき
「予約完了」画面が数秒間表示されます。

• 「予約しない」を選んで決定ボタンを押すと予約は中止されます。

予約した番組が始まる約30秒前になると、「まもなく予約された番組が開始します」と画面に表示されます。約5秒前になると予約したチャンネルに切り換わります。
本機と連動して録画機器の電源が入り、録画が始まります。

「ビデオ(連動)」または「DVDレコーダー(連動)」を選んだときは

録画機器で次の準備を行ってください。

1 本機を接続した外部入力に切り換える
2 録画モード(標準・3倍・5倍など)を設定する
3 電源を「切」にする

➡次のページへ

アナログ録画予約の詳細を設定する

時間変更追従

1 **カーソルボタン（◀▶）を押して設定する**

時間変更追従　◀ しない する

する
放送時間の変更にあわせて、予約開始の設定時刻から最大で3時間の遅れまで対応します。

しない
放送時間に変更があっても、最初に設定された時刻に予約を開始します。

お知らせ
あらかじめ「時間追従変更」を「する」ように設定しておくこともできます。（☞113ページ）

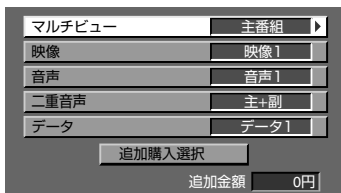
信号設定

1 **「信号設定」を選び、決定ボタンを押す**

2 **カーソルボタン（▲▼）を押して設定項目を選び、カーソルボタン（◀▶）を押して設定する**

マルチビュー
番組がマルチビュー放送の場合に番組を設定します。

映像
映像信号が複数ある場合に、映像を設定します。

音声
音声信号が複数ある場合に、音声を設定します。

二重音声
「自動」「主」「副」「主＋副」を設定します。
- 「自動」に設定すると、「主＋副」の設定になります。

データ
データが複数ある場合にデータを設定します。「－－」にすると、予約実行時にデータ放送の指示に従いデータ放送画面を表示します。

- 「予約設定」画面に戻るには、戻るボタンを押します。
- 番組の中に追加購入が必要な信号がある場合は、「追加購入選択」を選んで決定ボタンを押すと、「追加購入選択」画面が表示されます。
  カーソルボタン（▲▼）で購入したい信号を選び、決定ボタンを押して購入します。

ご注意
- 「プログラム予約」の場合は「二重音声」の項目のみ設定できます。
- 番組によっては設定できない項目もあります。

その他の設定

1 **「その他の設定」を選び、決定ボタンを押す**

イベントリレー予約　オフ オン
開始時刻修正　20：00　±0分
終了時刻修正　21：00　±0分
マルチビュー録画　オフ オン

2 **カーソルボタン（▲▼）を押して設定項目を選び、カーソルボタン（◀▶）を押して設定する**

イベントリレー予約
予約した番組と同様な番組が引き続き別のチャンネルで行われる場合に、続けて予約を実行したいときには「オン」に設定します。ただし、「時間変更追従」を「しない」にしている場合には無効になります。

開始時刻修正
番組の一部分だけを録画したい（余分な放送部分をカットしたい）ときに設定します。予約を実行する時刻を、番組の開始時刻の1分前から終了時刻の6分前まで修正できます。

終了時刻修正
番組の一部分だけを録画したい（余分な放送部分をカットしたい）ときに設定します。予約の終了する時刻を、番組の開始時刻の6分後から終了時刻の1分後まで修正できます。

- 「予約設定」画面に戻るには、戻るボタンを押します。

ご注意
- 「マルチビュー録画」はデジタル予約録画するときの設定です。（マルチビュー放送の副番組をアナログ録画することはできません。☞101、113ページ）
- プログラム予約する場合は、「マルチビュー録画」の項目のみ表示されます。
- 開始時刻から終了時刻までが5分以下になるように修正することはできません。また、6分以下の番組の場合は開始、終了時刻は共に修正できません。
- 番組によっては設定できない項目もあります。

タイマー予約録画する

松下社製の録画機器をお使いの場合、機器によってはタイマー予約ができます。
タイマー予約は、本機で番組を予約したときに、ビデオリモートコントローラー(Irシステム ☞158ページ)で録画機器に予約の設定を一括送信し、録画機器を予約待機の状態にします。
タイマー予約ができるのは以下のときです。

- 1989年以降発売の松下製タイマー予約機能付き録画機器をお使いのとき
- 「Irシステム設定」の「メーカー」および「リモコン種別」が次の設定のとき(☞158、159ページ)
  「メーカー」:　　「松下」
  「リモコン種別」:「ビデオ1～3」または
  　　　　　　　　「DVDレコーダー1～3」

1 アナログ録画予約の設定を行う
106ページをご覧ください。

2 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「録画機器」を選ぶ

3 カーソルボタン(◀▶)をくり返し押して録画する機器を選ぶ

ビデオ(タイマー)
ビデオデッキでタイマー録画をするときに選びます。

DVDレコーダー(タイマー)
DVDレコーダーでタイマー録画をするときに選びます。

4 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「録画モード」を選ぶ

5 カーソルボタン(◀▶)を押して設定する

- **「ビデオ(タイマー)」を選んだとき**
  次の中から選びます。
  「標準」、「3倍」、「5倍」、「標3*」
  *「標準」でアナログ録画を行い、テープの残りが少なくなると、自動的に「3倍」に切り換わります。
- **「DVDレコーダー(タイマー)」を選んだとき**
  次の中から選びます。
  「XP」、「SP」、「LP」、「EP」、「FR」

6 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「予約する」を選び、決定ボタンを押す
リモコン信号の送信確認画面が表示されます。
画面に従って操作してください。
録画機器にタイマー予約設定情報が送信され、録画機器は予約待機状態になります。

ご注意

- タイマー予約をしたあとは、録画機器側で予約が設定されているかどうか確認してください。
- 録画機器は予約録画の待機状態のままにしてください。
- 「時間変更追従」はできません。
- 深夜放送の番組や24時間番組など、日付が変わっても放送される番組の場合、録画機器の機能として正しい時間帯の予約ができなかったり、タイマー予約が無効になる場合があります。
- 設定した録画モードの機能がない録画機器の場合は、録画機器に設定されている録画モードでアナログ録画されます。ただし、「ビデオ(タイマー)」で「5倍」に対応していない録画機器の場合には「標準」で録画されます。

その他の接続による録画

Irシステムやi.LINKが使用できない場合には、本機での予約設定と別に、録画機器側でも予約設定を行う必要があります。
本機で録画予約するときに、「録画機器」を「－－」に設定してください。
録画予約が終わったら、録画機器側で本機と接続した外部入力を選び、録画機器の録画予約を行ってください。

➡次のページへ

お知らせ

- 「予約設定」画面はジャンル検索で放送予定の番組を選んでも表示されます。（☞65ページ）
- すでに予約してある番組を選んだときは、予約修正の画面が表示されます。（☞114ページ）
- 有料番組の場合は「予約する」の横に、購入するのに必要な金額が表示されます。
- 予約の状況によっては、完了画面のかわりに別の画面が出ることがあります。（☞「予約時のメッセージについて」）
- 本機の電源が「切」のときでも、録画の開始時刻になると、本機と連動して録画機器の電源が入り、録画が始まります。ただし、テレビの画面には何も映りません。
- 連続ドラマなどを予約したいときは、「プログラム予約」が便利です。日付けや曜日などを指定して予約できます。「プログラム予約」を行うには「プログラム予約へ」を選んで、決定ボタンを押します。（☞111ページ）

ご注意

- ビデオリモートコントローラー（Irシステム）を設定しないと、「ビデオ（連動）」「ビデオ（タイマー）」「DVDレコーダー（連動）」「DVDレコーダー（タイマー）」は表示されません。（☞158ページ）
- i.LINK接続されていても、「i.LINK接続設定」で「使用」が「する」に設定されていないと「D-VHS※」または「HDR※」は表示されません。（☞163ページ）
- 電源プラグが抜かれていると、録画予約は実行されません。
- 有料番組を予約した場合、予約が実行されると自動的に番組が購入されます。予約が実行されると、実際に録画しなくても料金が請求されます。
- 録画の設定動作には若干の時間が必要なため、開始時刻の直前に予約を設定しようとすると予約が設定できない場合があります。
  DVDレコーダーの場合は90秒前、ビデオデッキの場合は15秒前には予約設定を終了してください。
- 衛星デジタル放送を録画予約した場合、予約の実行中は、番組ナビや番組表、選局などの一部の機能が使用できなくなります。録画中にこれらの操作を行うと、予約録画を中止しても良いかの確認画面が表示されます。
- データ放送はアナログ録画できません。デジタル録画してください。
- 録画機器の機能や注意事項については、録画機器の取扱説明書を参照してください。

コピーガードについて

番組によっては、録画ができないようにコピーガードをかけているものがあります。
このような番組の場合は、録画することはできません。

予約時のメッセージについて

「この番組は契約されていません。予約できません。」

契約していないチャンネルの番組を予約操作しようとしたとき表示されます。

「予約がいっぱいです。予約を削除してからやり直してください。」

これ以上予約できないとき表示されます。
予約できる件数は、録画予約や予約の履歴と合わせて、24件までです。「予約一覧」（☞114ページ）で不要な予約や履歴を削除してから予約してください。

「予約が完了しました。予約が重複しています。予約が実行されない場合があります。」

予約済みの番組と同じ時間帯の番組を予約したとき表示されます。
予約の優先順位により、実行されない予約があります。（☞115ページ）予約の重なりを解除するには、「予約一覧」（☞114ページ）で予約を修正または削除してください。

録画予約を変更するまたは取り消すには

予約がまだ実行されていないとき

「予約一覧」画面で予約の変更や取消しができます。
詳しくは114ページをご覧ください。
- タイマー予約やその他の接続による予約の場合は録画機器側の予約も削除する必要があります。

予約の実行中

1 **番組ナビボタン、番組表ボタンまたは番組説明ボタンを押して、CH（チャンネル）ロック解除画面を表示させる**

2 **カーソルボタン（▲▼）を押して「解除する」を選び、決定ボタンを押す**

予約の実行が中止されます。
- 必要に応じて録画機器を停止させます。

ご注意

タイマー予約やその他の接続による予約の場合は、録画機器側の予約を中止することはできません。録画機器側の操作で録画予約を中止してください。

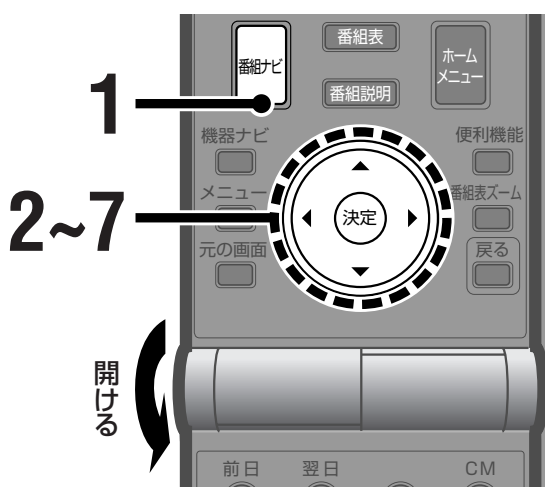
日時を指定して予約する

本機は日時とチャンネルを指定して予約することもできます(プログラム予約)。
プログラム予約には、次の3通りの方法があります。

プログラム予約の種類

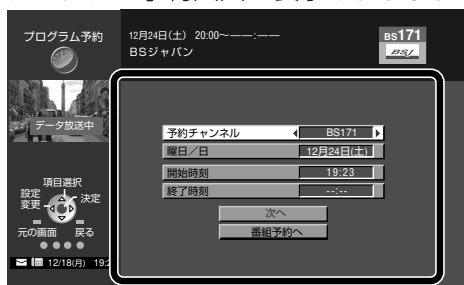
日付指定
最大1カ月先までの日付を指定して予約できます。

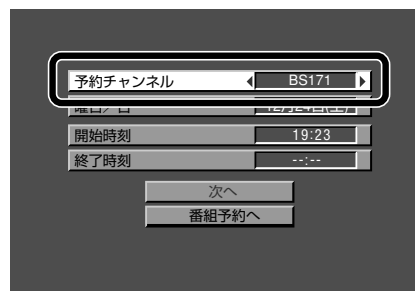
連続予約
「毎日」、「毎週(月)〜(土)」(連続6日間)、「毎週(月)〜(金)」(連続5日間)の3種類から選んで予約できます。

曜日予約
「毎週(日)」「毎週(月)」…「毎週(土)」の毎週決まった曜日を指定して予約できます。

1 番組ナビボタンを押す

「番組ナビ」画面が表示されます。

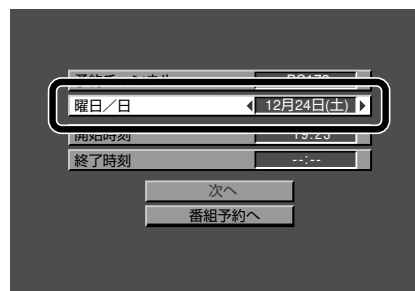
2 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して「プログラム予約」を選び、決定ボタンを押す

プログラム予約画面が表示されます。

3 予約するチャンネルを設定する

1) カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「予約チャンネル」を選ぶ

2) カーソルボタン(◀▶)をくり返し押して予約したいチャンネルを選ぶ

- 予約するチャンネル番号を直接入力して選ぶこともできます。決定ボタンを押し、チャンネル数字ボタンで入力してください。

4 予約する曜日または日を設定する

1) カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「曜日/日」を選ぶ

➡次のページへ

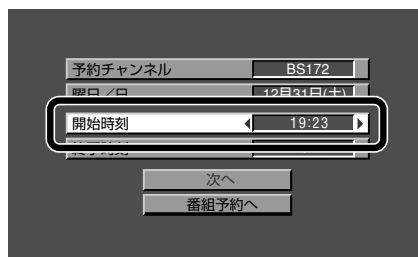
2）カーソルボタン(◀▶)をくり返し押して予約したい曜日または日を選ぶ

最大1カ月先の日付まで選ぶことができます。

カーソルボタン(◀▶)をくり返し押すと、次のように切り換わります。

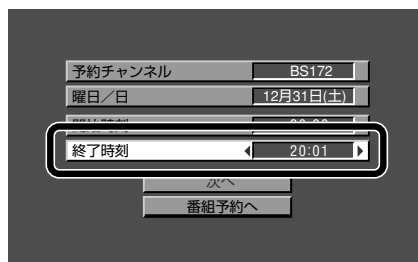
• 青または赤ボタンを押すと、日付指定、連続予約、曜日予約の先頭に切り換わります。

5 予約の開始時刻を設定する

1）カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「開始時刻」を選ぶ

2）カーソルボタン(◀▶)をくり返し押して開始時刻を設定する

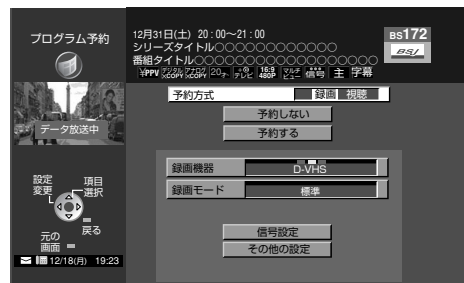
• カーソルボタン(◀▶)を押したままでいると、15分刻みで時刻が変化します。
• 予約の開始時刻を直接入力することもできます。決定ボタンを押し、チャンネル数字ボタンで入力してください。

6 予約の終了時刻を設定する

1）カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「終了時刻」を選ぶ

2）カーソルボタン(◀▶)をくり返し押して終了時刻を設定する

• カーソルボタン(◀▶)を押したままでいると、15分刻みで時刻が変化します。
• 予約の終了時刻を直接入力することもできます。決定ボタンを押し、チャンネル数字ボタンで入力してください。

7 カーソルボタン(▲▼)を押して「次へ」を選び、決定ボタンを押す

予約設定画面が表示されます。

視聴予約をするには

98ページの手順4から予約の操作を行ってください。

録画予約をするには

101または106ページの手順4から予約の操作を行ってください。

番組表に切り換えるには

番組表へ切り換えるには、カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して「番組表へ」を選び、決定ボタンを押します。選んでいるチャンネルおよび時間帯の番組表が表示されます。

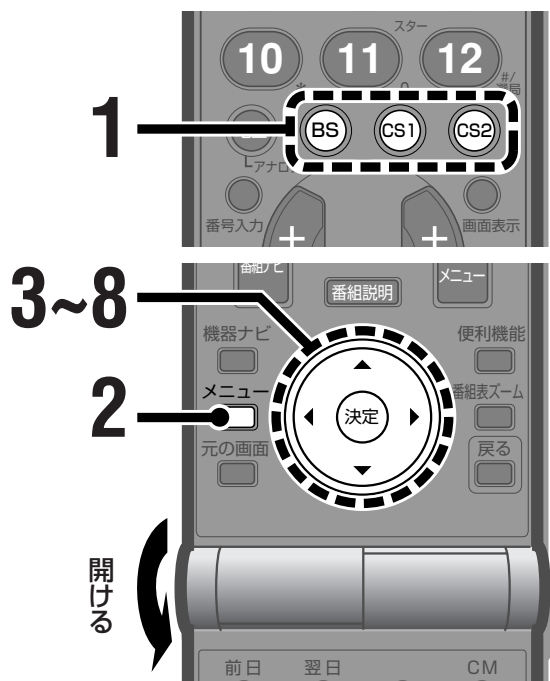
お知らせ

• プログラム予約をするとき、次の画面が一時的に表示されることがあります。
　ー視聴年令制限を設定しているとき
　　暗証番号の入力画面
　ー暗証番号を設定していないとき
　　暗証番号の登録画面
　視聴制限のある番組の視聴、録画をするときは、暗証番号を入力または登録してください。(☞78、84ページ)
　暗証番号を入力または登録しないと、視聴制限のある番組の視聴、録画 はできません。
　暗証番号の入力または登録画面は、戻るボタンを押すか、または数秒間何もしないでいると消えます。

ご注意

• プログラム予約では、「時間変更追従」を設定することはできません。
• 「番組表へ」を選んで決定ボタンを押しても、選んでいるチャンネルおよび時間帯の番組データがない場合、番組表は表示されません。

録画・視聴予約の初期設定をする

番組の開始時間の変更に合わせて予約開始の時間を変更したり、i.LINK接続した機器でマルチビュー放送の番組をデジタル予約録画するときの設定をあらかじめ行えます。

- **メニュー画面を切り換えるには**
  メニューを表示中に1ボタン（チャンネル数字ボタン）を押すと、各メニュー画面を切り換えることができます。
- **操作を途中でやり直すときは**
  戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

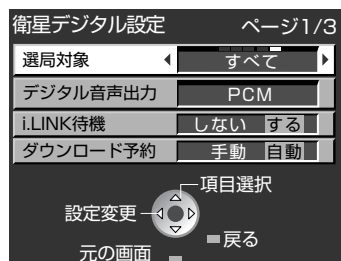
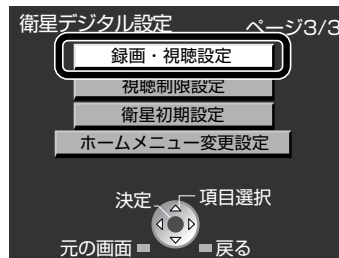
1 BS、CS1、またはCS2ボタンを押して、録画したい衛星デジタル放送に切り換える

2 メニューボタンを押す

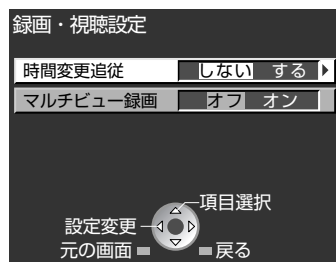
メニュー画面が表示されます。

3 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「初期設定」メニューの「衛星デジタル設定」を選ぶ

4 カーソルボタン(◀▶)を押す

「衛星デジタル設定」画面が表示されます。

5 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「録画・視聴設定」を選ぶ

- 「衛星デジタル設定」画面は3ページ構成です。上記の画面イラストは3ページ目です。

6 決定ボタンを押す

「録画・視聴設定」画面が表示されます。

7 カーソルボタン(▲▼)を押して設定したい項目を選ぶ

時間変更追従

番組の放送時間の変更に合わせて予約時間を変更します。

「しない」: 放送時間に変更があっても予約時間を変更しません。

「する」: 放送時間の変更にあわせて、最大3時間まで予約時間を変更します。

- タイマー予約(☞109ページ)の場合は、時間を変更できません。録画機器側で変更してください。

マルチビュー録画

i.LINK接続した録画機器によるデジタル録画のときのみ有効です。
録画予約した番組がマルチビュー放送の場合、副番組も同時に録画するかどうかを設定します。

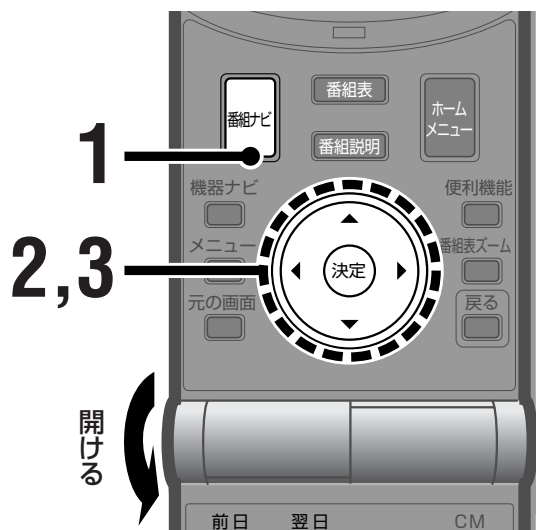
「オフ」: 主番組の映像と音声のみ録画します。

「オン」: 副番組の映像と音声も録画します。

8 カーソルボタン(◀▶)を押して設定する

「録画・視聴設定」画面を消すには
元の画面ボタンを押す

予約を取り消す/変更する

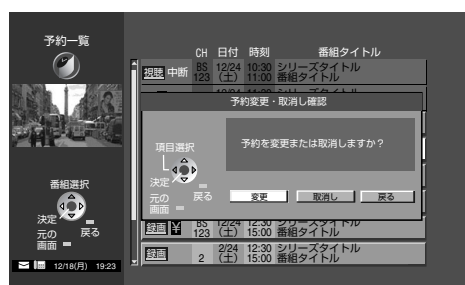
予約した番組の確認や変更、取り消しができます。また、すでに予約が実行された番組の履歴も確認できます。

1 番組ナビボタンを押す

「番組ナビ」画面が表示されます。

2 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して「予約一覧/削除」を選び、決定ボタンを押す

「予約一覧」画面が表示されます。

3 カーソルボタン(▲▼)を押して取り消し/変更したい予約(または予約履歴)を選び、決定ボタンを押す

「予約変更・取り消し確認」画面が表示されます。

予約または履歴を取り消す

カーソルボタン(◀▶)で「取消し」を選び、決定ボタンを押す

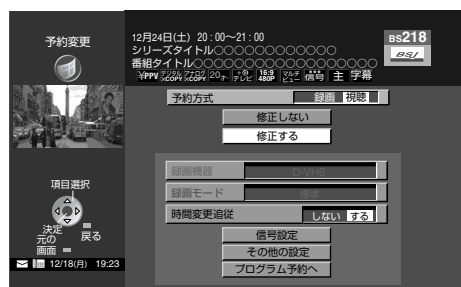
予約が取り消されます。

- 履歴を取り消すときは履歴削除確認画面が表示されます。
  カーソルボタン(◀▶)で「はい」を選び、決定ボタンを押します。

予約を変更する

カーソルボタン(◀▶)で「変更」を選び、決定ボタンを押す

「予約変更」画面が表示されます。

予約設定時と同様の操作で、予約を修正することができます。

予約の変更が終わったら、カーソルボタン(▲▼)を押して「修正する」を選んで、決定ボタンを押します。

- プログラム予約での予約を変更するときは「プログラム予約」画面が表示されます。
  プログラム予約をするときと同様の操作で修正できます。

「予約一覧」画面を消すには

元の画面ボタンを押す

「予約一覧」画面の表示について

- 画面上に「済」(グレー)と表示されている項目は、既に実行された予約の履歴です。
- 8件以上の予約がある場合は、一覧の横にスクロールバーが表示されます。表示されていない項目はカーソルボタン(▲▼)を押すと表示されます。
- プログラム予約での予約は、「番組タイトル」に「<プログラム予約>」と表示されます。

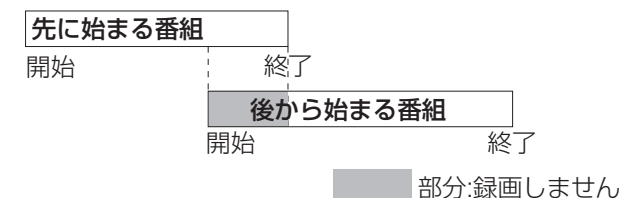
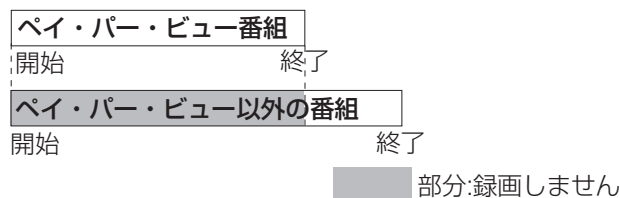
ご注意

- 予約開始の約2分前からは予約を変更しないでください。予約が正しく実行されない場合があります。
- タイマー予約をした場合、予約一覧には表示されません。
- i.LINK接続した録画機器からの予約を変更または取り消す場合は、予約を設定した機器で行ってください。

予約についてのご注意

予約の優先順位

予約した番組の放送時間が重なってしまった場合には、本機は自動的に予約の優先順位をつけて予約を実行します。

1 予約開始時間が先の番組が優先されます。

2 開始時間が同じ場合は、ペイ・パー・ビュー番組が優先されます。

ペイ・パー・ビュー番組同士、またはペイ・パー・ビュー番組以外の番組同士の場合は、以下のように優先順位が付けられます。

－録画予約と視聴予約では、録画予約が優先されます。

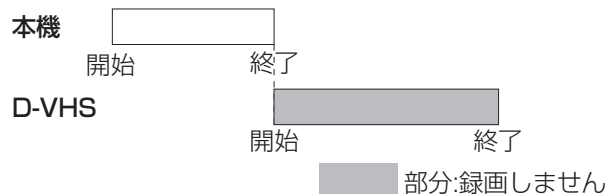
－衛星デジタル放送、VHF/UHF、CATVの順で優先されます。

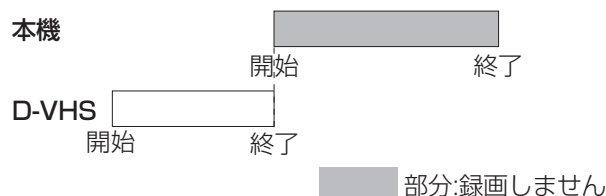
－同じ放送では、チャンネル番号の小さい放送が優先されます。

- 優先順位の低い番組の予約は、優先された予約の終了後に途中から実行されます。
- 一度開始した予約が、後から始まる予約によって中断することはありません。
- チャンネルが異なる番組を、時間を続けて録画予約した場合、前の番組の録画が約5秒早く終了します。
- 録画機器側で他の予約を設定し、本機での予約と重複した場合などには、録画予約がうまく動作しない場合があります。

D-VHSビデオデッキで録画予約するとき

ビクター製D-VHSビデオデッキ（HM-DH35000/HM-DH30000/HM-DH20000/HM-DR10000/HM-DHX1）をi.LINK接続し、次のように連続した録画予約を行なった場合、2番組目の番組が録画できないことがあります。

- 本機の予約終了時刻とD-VHSビデオデッキの予約開始時刻が同じとき

- D-VHSビデオデッキの予約終了時刻と本機の予約開始時刻が同じとき

部分:録画しません

このような場合は、「プログラム予約」を使って、1番組目と2番組目のあいだに1分以上の間隔ができるように予約してください。
（衛星デジタル放送をi.LINKでデジタル録画します。）

いろいろな機能で楽しむ

お好みの映像にする

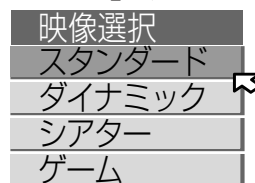
画質を選ぶ

4種類の画質(スタンダード・ダイナミック・シアター・ゲーム)から選びます。
お買い上げ時は「ダイナミック」に設定されています。
ふだんは「スタンダード」でご覧になることをおすすめします。

・メニュー画面を切り換えるには
メニューを表示中に1ボタン(チャンネル数字ボタン)を押すと、各メニュー画面を切り換えることができます。

1 映像選択ボタンをくり返し押してお好みの画質を選ぶ

設定画面が表示されます。
押すたびに画質が変わります。

例:「スタンダード」を選んでいるとき

スタンダード
ふつうの明るさの部屋でくっきりとした映像を見たいとき

ダイナミック
明るい部屋で明暗のはっきりとしたメリハリのある映像を見たいとき

シアター
映画番組や映画ソフトを楽しむとき

ゲーム
テレビゲームを楽しむとき
(明るさをおさえ、輪郭を強調した映像になります。)

しばらくすると設定画面が消えます。

お知らせ

「シアター」を選んでいるときは、120ページの「シアタープロで調節する」でさらに細かな調節ができます。

メニューから画質を選ぶには

1 メニューボタンを押す

2 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「各種設定」メニューの「映像選択」を選ぶ

3 カーソルボタン(◀▶)を押す
設定画面が表示されます。

4 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押してお好みの画質を選ぶ
選んだ画質に切り換わります。

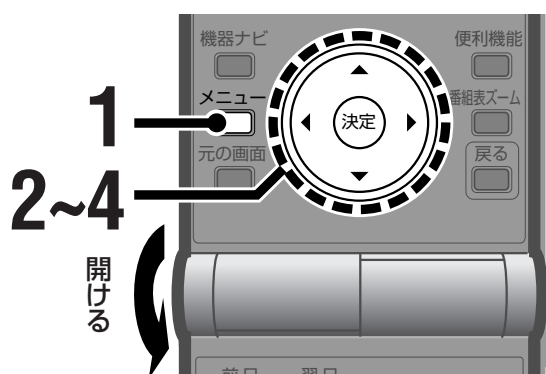
映像を調節する

選んだ画質をお好みに合わせて調節できます。(4種類の画質を別々に調節できます。)

映像調節の項目と調節のめやす

調節項目	◀	▶	調節のめやす
ピクチャー	薄く	濃く	明るさ·色の濃さを決める
黒レベル	暗く	明るく	見やすい明るさに
色あい	赤っぽく	緑っぽく	健康的な肌色に
色の濃さ	薄く	濃く	(交互に調節)
シャープネス*1	やわらか	くっきり	好みの輪郭に
バックライト	暗く	明るく	画面の明るさを変える
白バランス	高い 色温度	低い 色温度	画面全体の色調を選ぶ 高い: 標準 低い: 赤みが強くなる
ノイズクリア*2	切り 弱い	強い	画面のざらつきが少なくなるように調節

調節項目	◀		▶	調節のめやす
DCC*2 (DETカラークリエーション) (☞122ページ)	弱い	標準	強い	くすんだ色を自然な色調に補正 弱い: 補正を弱める 標準: お勧めの色調を再現します。 強い: 明るさ、濃さを強調したあざやかな色に補正します。 •「標準」または「強い」を選んだときは「シアタープロ設定」でお好みの色調に調節できます。

*1 画質に「シアター」を選んでいるときはシャープネスの調節はできません。「シアタープロ設定」でHシャープネス、Vシャープネスの調節を行ってください。(☞120ページ)
*2 「ノイズクリア」と「DCC」の調節はカーソルボタン(▲▼)を使います。

• **メニュー画面を切り換えるには**
メニューを表示中に1ボタン(チャンネル数字ボタン)を押すと、各メニュー画面を切り換えることができます。ただし、「映像調節」メニュー(全2ページ)の2ページ目は、1ボタンでは表示できません。

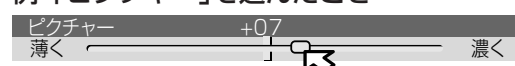
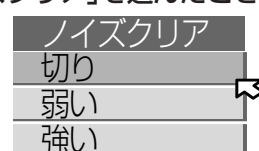
1 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

2 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「映像調節」メニューから調節する項目を選ぶ

3 カーソルボタン(◀▶)を押す

調節画面が表示されます。

例:「ピクチャー」を選んだとき

例:「ノイズクリア」を選んだとき

ノイズクリア
切り
弱い
強い

4 カーソルボタン(◀▶)を押して調節する

しばらくすると設定画面が消えます。
•「ノイズクリア」と「DCC」の調節はカーソルボタン(▲▼)を使います。

5 他の項目も調節するときは手順2から手順4をくり返す

メニュー画面を消すには
メニューボタンを押す

お買い上げの時の設定に戻すには

手順2で「映像調節を標準に戻す」を選び、決定ボタンを押します。

シアタープロで調節する

映像選択で「シアター」を選択しているときは、「シアタープロ設定」でさらに細かく映像を調節できます。（通常は、お買い上げ時のままで十分な画質になるように設定されています。）

お知らせ

設定できる項目は、微妙な調節を行うために専門的な内容になっています。調節するときは、少しずつ設定値を変更して変化を確認しながら、設定項目の内容を把握されることをおすすめします。

シアタープロ設定の項目と調節のめやす

DSDエッジ

文字やイラストなどの輪郭部の明るさの変化を急峻（きゅうしゅん）にして、映像の輪郭をきちんと見せる効果があります。
設定値を大きくしすぎると、風景などの映像が不自然になることがあります。
（設定値:輪郭をつけない −30･･･+30 輪郭をつける）

Hシャープネス、Vシャープネス

映像の輪郭部に、明るいところはより明るく、暗い部分はより暗い信号を加えて、輪郭を強調してはっきりとした映像にします。
調節するときにはHシャープネス、Vシャープネスを交互に調節します。数値を大きくしすぎると、加えた信号が目立ち、不自然な映像になることがあります。
（設定値:輪郭を強調しない −30･･･+30 輪郭を強調する）

DSDコアリング

画面のざらざら感（ノイズ）を抑えるため、原因となる微少信号成分を除去します。よりノイズを抑えたいときに+側に調節します。
（設定値:あまりノイズを除去しない −5･･･+5 よりノイズを除去する）

白バランス 赤、白バランス 青、白バランス 緑

映像の基準となる白をより白く見えるように調節するときに使います。
調節するときには「白バランス 赤」と「白バランス 青」および「白バランス 緑」を交互に調節して、白が白らしく見えるように調節します。
（設定値:赤色を弱くする −30･･･+30 赤色を強くする）
（設定値:青色を弱くする −30･･･+30 青色を強くする）
（設定値:緑色を弱くする −30･･･+30 緑色を強くする）

色バランス

肌色の調節をしたあと、他の色のバランスを整えるときに使います。
映像調節の「色合い」で肌色を調節すると（☞119ページ）、他の色もわずかに変化してしまいます。
（例:肌色を調節したら、緑の葉が少し黄色味がかった葉になってしまった。）このようなとき、お好みに調節した肌色はそのままに、青みだけを変化させることができます。肌色以外の色が自然な色になるように調節してください。
（設定値:青みを弱くする−5･･･+5 青みを強くする）

- 次の項目はDCC（DET カラークリエーション）機能を使って調節するための項目です。
  調節のしかたについては、122ページをご覧ください。

DCC赤色色選択、DCC黄色色選択
DCC緑色色選択、DCC水色色選択

DCCで補正する色を選びます。
（設定値:−30･･･+30）

DCC赤色色あい、DCC黄色色あい
DCC緑色色あい、DCC水色色あい

「DCC色選択」で指定した色の色あいを調節します。
（設定値:−15･･･+15）

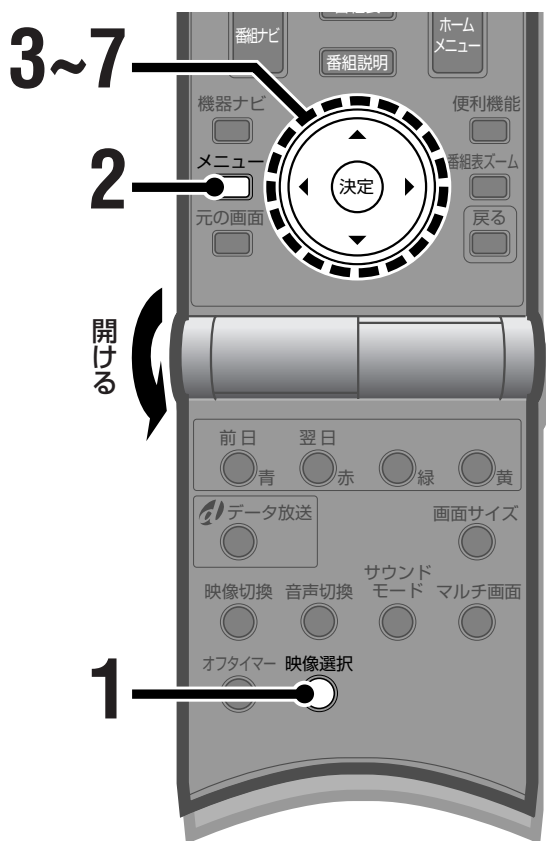
DCC赤色色の濃さ、DCC黄色色の濃さ
DCC緑色色の濃さ、DCC水色色の濃さ

「DCC色選択」で指定した色の濃さを調節します。
（設定値:−30･･･+30）

暗部:色の濃さ

赤色や青色などの明るさ成分の低い色の濃さを調節します。
（設定値:−15･･･+15）

明部:色の濃さ

黄色や緑色などの明るさ成分の高い色の濃さを調節します。
（設定値:−15･･･+15）

- **メニュー画面を切り換えるには**
  メニューを表示中に1ボタン（チャンネル数字ボタン）を押すと、各メニュー画面を切り換えることができます。ただし、「映像調節」メニュー（全2ページ）の2ページ目は、1ボタンでは表示できません。

1 映像選択ボタンをくり返し押して画質を「シアター」にする

- 118ページもご覧ください。

2 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

3 カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して「映像調節」メニューの「シアタープロ設定」を選ぶ

- 「映像調節」メニューは2ページ構成です。
  上記の画面イラストは2ページ目です。

4 カーソルボタン（◀▶）を押す

設定画面が表示されます。

- 「シアタープロ設定」の設定画面は4ページ構成です。
  上記の画面イラストは1ページ目です。

5 カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して調節したい項目を選ぶ

6 カーソルボタン（◀▶）を押す

設定画面が表示されます。

例：「DSDエッジ」を選んだとき

例：「白バランス 赤」を選んだとき

7 カーソルボタン（◀▶）を押して調節する

しばらくすると設定画面が消えます。

8 他の項目も調節するときは手順5から手順7をくり返す

メニュー画面を消すには
メニューボタンを押す

お買い上げの時の設定に戻すには

手順5で「シアタープロ設定を標準に戻す」を選び、決定ボタンを押します。

DCC(DETカラークリエーション)で調節する

「映像調節」メニューで「DCC」を「標準」または「強い」に設定する(☞119ページ)と、映像選択 の「シアター」をさらに細かく調節できます。(お買い上げ時は、当社がおすすめする色が再現できるように設定されています。)
DCCは、赤色・黄色・緑色・水色の4色を検出・制御して、美しい色再現を実現します。
指定の4色をさらに調節し、お好みの色再現にできます。また、指定の色を任意で選べます。

お知らせ
設定できる項目は、微妙な調節を行うために専門的な内容になっています。調節するときは、少しずつ設定値を変更して変化を確認しながら、設定項目の内容を把握されることをおすすめします。

DCCの調節項目と調節のめやす

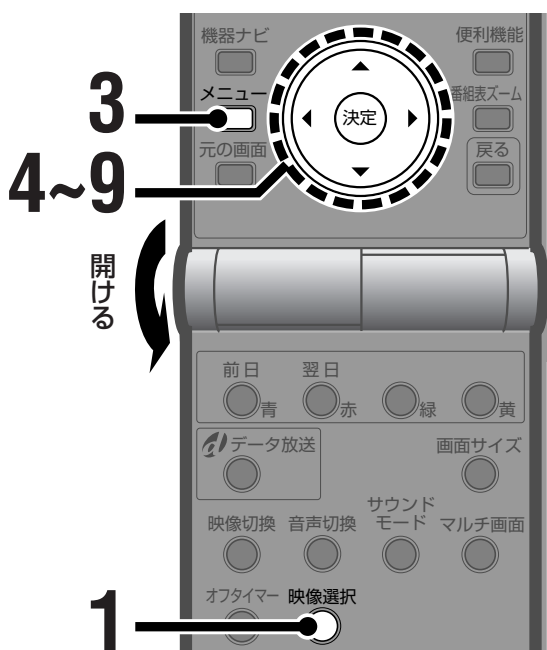
DCC赤色色選択、DCC黄色色選択
DCC緑色色選択、DCC水色色選択
DCCで補正する色を選びます。
(設定値:ー30･･･+30)

DCC赤色色あい、DCC黄色色あい
DCC緑色色あい、DCC水色色あい
「DCC色選択」で指定した色の色あいを調節します。
(設定値:ー15･･･+15)

DCC赤色色の濃さ、DCC黄色色の濃さ
DCC緑色色の濃さ、DCC水色色の濃さ
「DCC色選択」で指定した色の濃さを調節します。
(設定値:ー30･･･+30)

暗部:色の濃さ
赤色や青色などの明るさ成分の低い色の濃さを調節します。
(設定値:ー15･･･+15)

明部:色の濃さ
黄色や緑色などの明るさ成分の高い色の濃さを調節します。
(設定値:ー15･･･+15)

お知らせ
上記以外の「シアタープロ設定」の項目については、120ページをご覧ください。

- **メニュー画面を切り換えるには**
  メニューを表示中に1ボタン(チャンネル数字ボタン)を押すと、各メニュー画面を切り換えることができます。ただし、「映像調節」メニュー(全2ページ)の2ページ目は、1ボタンでは表示できません。

1 映像選択ボタンをくり返し押して画質を「シアター」にする

- 118ページをご覧ください。

2 「映像調節」メニューで「DCC」を「標準」または「強い」に設定する

- 119ページをご覧ください。

3 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

4 カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して「映像調節」メニューの「シアタープロ設定」を選ぶ

- 「映像調節」メニューは2ページ構成です。
  上記の画面イラストは2ページ目です。

5 カーソルボタン（◀▶）を押す

設定画面が表示されます。

映像調節 音声調節 各種設定 初期設定
△選択中の映像選択（ シアター ）に対して調節されます。
DSDエッジ ◀ 00 ▶
Hシャープネス ◀ 00 ▶
Vシャープネス ◀ 00 ▶
DSDコアリング ◀ 00 ▶
白バランス 赤 ◀ 00 ▶
白バランス 青 ◀ 00 ▶
▽次ページへ
◀▲▼▶で選択／変更 戻るで前画面へ メニューで終了

- 「シアタープロ設定」の設定画面は4ページ構成です。
  上記の画面イラストは1ページ目です。

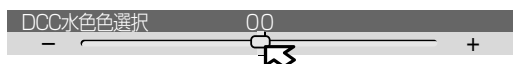
6 調節したい色を選ぶ

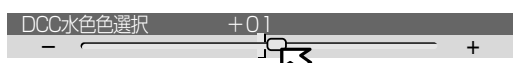
1）カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して調節したい色を「DCC色選択」から選ぶ

例：青色を調節したいときは「DCC水色色選択」を選びます。

2）カーソルボタン（◀▶）を押す

設定画面が表示されます。

例：「DCC水色色選択」を選んだとき

3）カーソルボタン（◀▶）を押して調節する

例：「DCC水色色選択」を選んだとき

しばらくすると設定画面が消えます。

- 「DCC色選択」の調節中は選ばれた色以外が薄くなります。

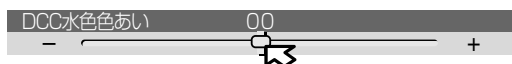
7 「色あい」を調節する

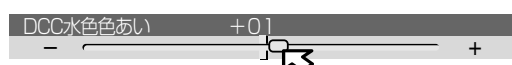
1）カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して、手順6で選んだ色の「DCC色あい」を選ぶ

例：「DCC水色色選択」で色を指定したときは、「DCC水色色あい」を選びます。

2）カーソルボタン（◀▶）を押す

設定画面が表示されます。

例：「DCC水色色あい」を選んだとき

3）カーソルボタン（◀▶）を押して調節する

例：「DCC水色色あい」を選んだとき

しばらくすると設定画面が消えます。

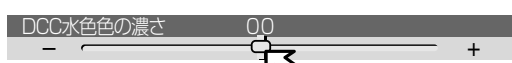
8 「色の濃さ」を調節する

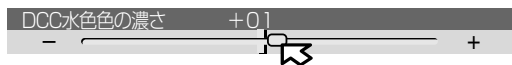
1）カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して、手順6で選んだ色の「DCC色の濃さ」を選ぶ

例：「DCC水色色選択」で色を指定したときは、「DCC水色色の濃さ」を選びます。

2）カーソルボタン（◀▶）を押す

設定画面が表示されます。

例：「DCC水色色の濃さ」を選んだとき

3）カーソルボタン（◀▶）を押して調節する

例：「DCC水色色の濃さ」を選んだとき

しばらくすると設定画面が消えます。

9 他の色も調節するときは、手順6から手順8をくり返す

メニュー画面を消すには

メニューボタンを押す

お買い上げの時の設定に戻すには

手順6で「シアタープロ設定を標準に戻す」を選び、決定ボタンを押します。

お好みの音声にする

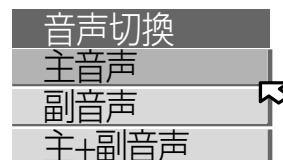
音声を切り換える

二重音声放送やステレオ音声放送のときに、聞きたい音声を選びます。
2画面の左画面および裏番組の親画面（左画面）を選んでいるときでも、音声を切り換えられます。

お知らせ
このページでは地上アナログ放送をご覧のときについて説明しています。衛星デジタル放送の音声切換については、75ページをご覧ください。

1 音声切換ボタンをくり返し押してお好みの音声を選ぶ

設定画面が表示されます。

例：二重音声放送を受信しているとき

押すたびに次のように音声が切り換わります。

二重音声放送受信中

→「主音声」→「副音声」→「主＋副音声」

ステレオ放送受信中

→「ステレオ」→「モノラル」

しばらくすると設定画面が消えます。

ご注意

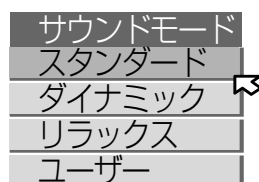
- 音声が切り換えられるかどうかは番組によって異なります。
- 衛星デジタル放送または外部入力を2画面で表示中は、音声の切り換えはできません。（☞131ページ）
- 番組一覧（☞133ページ）を表示中は、音声の切り換えはできません。

サウンドモードを選ぶ

4 種類のモード(スタンダード、ダイナミック、リラックス、ユーザー)からお好みのモードを選びます。

• **メニュー画面を切り換えるには**
メニューを表示中に1ボタン(チャンネル数字ボタン)を押すと、各メニュー画面を切り換えることができます。

1 サウンドモードボタンをくり返し押してお好みのモードを選ぶ

設定画面が表示されます。
押すたびにモードが切り換わります。

スタンダード
音声のバランスがとれた標準モード

ダイナミック
迫力ある音声を楽しむとき

リラックス
ゆったりとしたナチュラルな音声を楽しむとき

ユーザー
あらかじめ設定したお好みの音声を楽しむとき(☞127ページ)

しばらくすると設定画面が消えます。

メニューからサウンドモードを選ぶには

1. **メニューボタンを押す**
2. **カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「各種設定」メニューの「サウンドモード」を選ぶ**
3. **カーソルボタン(◀▶)を押す**
設定画面が表示されます。
4. **カーソルボタン(▲▼)をくり返し押してお好みのモードを選ぶ**
選んだモードに切り換わります。

ご注意
ヘッドホンを使用しているときは、音声調節の設定はできません。

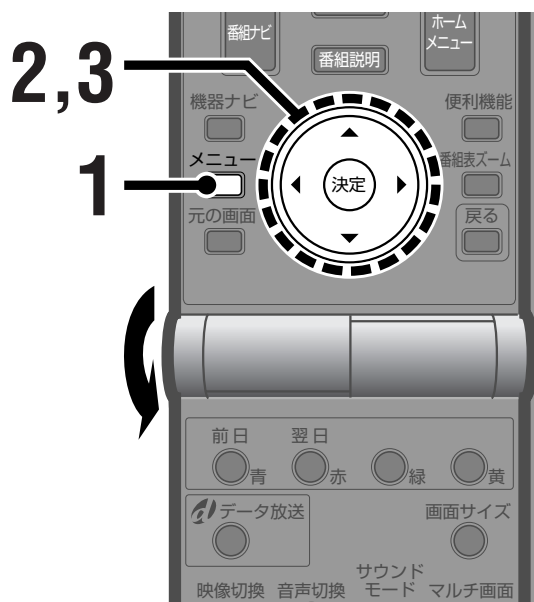
音声を調節する

選んだサウンドモードをお好みの音声に調節できます。
また、お好みの設定をユーザーモードに記憶させることができます。

音声調節の内容と調節のめやす

調節項目	◄	►
高音	弱く	強く
低音	弱く	強く
BBE*1	BBEとは、音声をより原音に忠実な臨場感ある音で再現する回路です。このBBE回路によって、音楽のみならず人の声や効果音なども、鮮明で存在感のある音で再現されます。 「入り」:　原音に忠実で聞きやすい音を再現します。 「切り」:　この機能は働きません。	
ステレオサラウンド*2	ステレオ音声のサラウンド効果を設定します。 「入り」:　音源の広がりを楽しめます。 「切り」:　この機能は働きません。	
モノラルサラウンド*2	モノラル放送や、二重音声放送の「主音声」「副音声」(☞75、124ページ)を受信しているときのサラウンド効果を設定します。 「入り」:　広がりのある効果を楽しめます。 「切り」:　この機能は働きません。	
AHB（アクティブハイパーバス）	重低音を強調したいときや小さな音量で聞くときに使います。 「入り」:　クリアで迫力ある重低音を楽しめます。 「切り」:　この機能は働きません。	
左右バランス	左側が大きく	右側が大きく

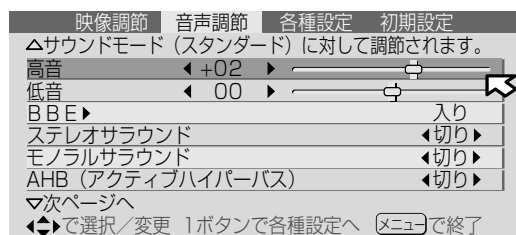
*1 BBEは、BBE Sound社の登録商標です。
*2 サラウンドとは、臨場感あふれる豊かなサウンドをお楽しみいただくための機能です。

• **メニュー画面を切り換えるには**
メニューを表示中に1ボタン（チャンネル数字ボタン）を押すと、各メニュー画面を切り換えることができます。ただし、「音声調節」メニューの2ページ目は、1ボタンでは表示できません。

1 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

2 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「音声調節」メニューから調節する項目を選ぶ

3 カーソルボタン（◀▶）を押して調節する

映像調節　音声調節　各種設定　初期設定
△サウンドモード（スタンダード）に対して調節されます。
高音　◀ +02 ▶
低音　◀ 00 ▶
ＢＢＥ▶　入り
ステレオサラウンド　◀切り▶
モノラルサラウンド　◀切り▶
AHB（アクティブハイパーバス）　◀切り▶
▽次ページへ
◀⬍▶で選択／変更　1ボタンで各種設定へ　メニューで終了

4 他の項目も調節するときは手順2から手順3をくり返す

メニュー画面を消すには
メニューボタンを押す

お買い上げの時の設定に戻すには

手順2で「音声調節を標準に戻す」を選び、決定ボタンを押します。

ご注意

- 各モードごとに調節はできますが、サウンドモードを切り換えると、スタンダード、ダイナミック、リラックスの設定値はお買い上げ時の設定に戻ります。
- 二重音声放送の「主+副音声」(☞75、124ページ)はステレオサラウンド、モノラルサラウンドともサラウンド効果は出ません。
- 番組やソフトによっては、サラウンド効果が出にくかったり、全く出ない場合があります。
- ヘッドホンを使用しているときは、音声調節はできません。

お好みの音声を記憶させるには

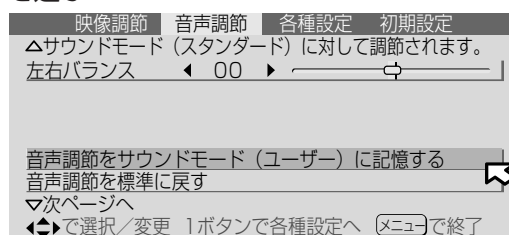
サウンドモードがユーザーモードのとき

音声調節を行うと、設定値は自動的にユーザーモードに記憶されます。

サウンドモードがスタンダード、ダイナミック、またはリラックスモードのとき

次のようにして、音声調節の設定値をユーザーモードとして記憶させることができます。

1 左ページの手順1から手順3を行い、音声を調節する

2 カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して「音声調節をサウンドモード（ユーザー）に記憶する」を選ぶ

- 「音声調節」メニューは2ページ構成です。
  上記の画面イラストは2ページ目です。

3 決定ボタンを押す
「音声調節の値をサウンドモード（ユーザー）に記憶しました。」のメッセージが出て記憶されます。

記憶させた設定で音声を聴くには
サウンドモードボタンをくり返し押して「ユーザー」を選ぶ（☞125ページ）

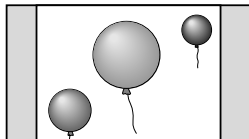
画面サイズを変える

画面サイズの種類

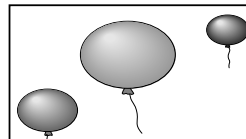
このテレビでは、横縦比（画面サイズ）16：9の横長画面を活かして、いろいろな画面サイズで映像を楽しむことができます。ここでは画面サイズの種類と、その見えかたを説明します。

ノーマル

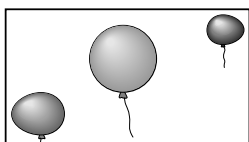
• テレビ番組をオリジナルサイズ(4:3)で見るとき

地上アナログ放送の映像は横と縦の比率が4:3となっています。このオリジナルのサイズで映像を映します。このとき、左右に帯が残ります。

フル

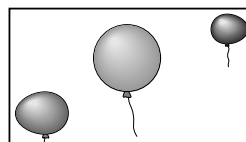
• テレビ番組を画面いっぱいに拡大して見るとき

オリジナルサイズのテレビ映像（4:3）を、そのまま画面いっぱいに映します。

パノラマ

• テレビ番組を自然に拡大して見るとき

地上アナログ放送の映像を、不自然に見えないように、横長の画面いっぱいに拡大します。

パノラマズーム

• テレビ番組を自然に拡大して見るとき

衛星デジタル放送（1125i）で放送されている4:3の映像で、左右に帯がついている画面のときに、横長の画面いっぱいに拡大します。

字幕パノラマ

• 字幕入りの映画番組を見るとき

映画番組などで画面下側に字幕の入った部分を圧縮して、字幕が切れないようにします。

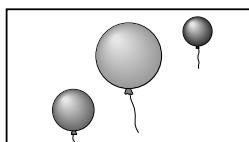
シネマ

• 映画番組を見るとき

劇場サイズの映画番組や映画ソフトを、黒い帯が見えないように拡大します。映像によっては帯が残ることがあります。

シネマズーム

• 映画番組を見るとき

衛星デジタル放送（1125i）で放送されている劇場サイズの映画番組や映画ソフトを、黒い帯が見えないように拡大します。映像によっては帯が残ることがあります。

お知らせ

各放送や外部入力の映像信号によって選べる画面サイズが次のようになります。（*「用語解説」☞181ページ）

地上アナログ放送やビデオ、衛星デジタル放送（525i*、525p*）のとき

- 画面サイズ選択
- パノラマ
- 字幕パノラマ
- シネマ
- フル
- ノーマル

衛星デジタル放送（750p*、1125i*）のとき

- 画面サイズ選択
- パノラマズーム
- シネマズーム
- フル

コンポーネント/D4映像入力端子から750p*の映像が入力されているとき

- 画面サイズ選択
- フル

ご注意

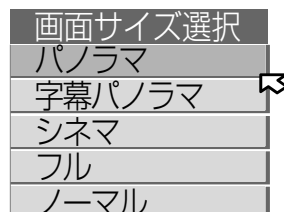
テレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において画面サイズ選択機能（パノラマ）等を利用して、画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

画面サイズを選ぶ

- **メニュー画面を切り換えるには**
  メニューを表示中に1ボタン（チャンネル数字ボタン）を押すと、各メニュー画面を切り換えることができます。

1 画面サイズボタンをくり返し押してお好みの画面サイズを選ぶ

設定画面が表示されます。

例：地上アナログ放送のとき

- ご覧になっている放送や外部入力により、選べる画面サイズが異なります。（☞128ページ）

しばらくすると設定画面が消えます。

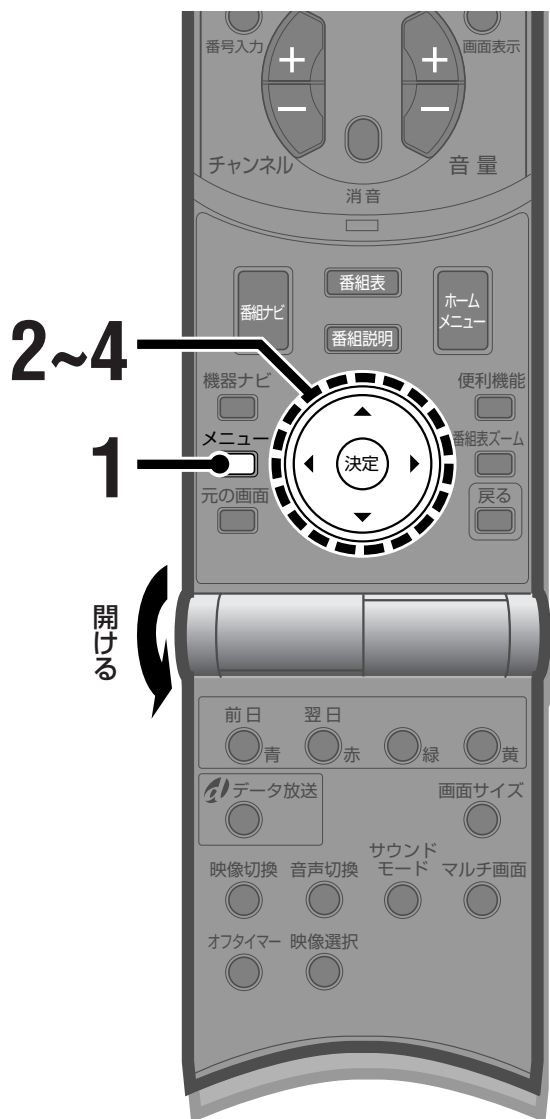
お知らせ

本体の画面サイズ選択ボタンでも同様に操作できます。

メニューから画質を選ぶには

1. **メニューボタンを押す**
2. **カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して「各種設定」メニューの「画面サイズ」を選ぶ**
3. **カーソルボタン（◀▶）を押す**
   設定画面が表示されます。
4. **カーソルボタン（▲▼）をくり返し押してお好みの画質を選ぶ**
   選んだ画面サイズに切り換わります。

画面の位置を調節する

映画の字幕や野球放送のスコア表示が隠れてしまうときなどに、画面の上下左右の位置を調節します。

• **メニュー画面を切り換えるには**
メニューを表示中に1ボタン（チャンネル数字ボタン）を押すと、各メニュー画面を切り換えることができます。

1 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

2 カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して「各種設定」メニューの「画面位置の調整」を選ぶ

3 カーソルボタン（◀▶）を押す

調節画面が表示されます。

4 カーソルボタン（◀▶▲▼）を押して画面の位置を調節する

• 決定ボタンを押すと標準位置に戻ります。

調節画面を消すには
メニューボタンを押す

ご注意

• 画面サイズで「ノーマル」を選んでいるときは、画面の位置調節はできません。
• 左右の位置調節ができるのは画面サイズがパノラマズームとシネマズーム（☞128ページ）のときだけです。
• 画面サイズを切り換えると、画面の位置調節の設定は解除されます。

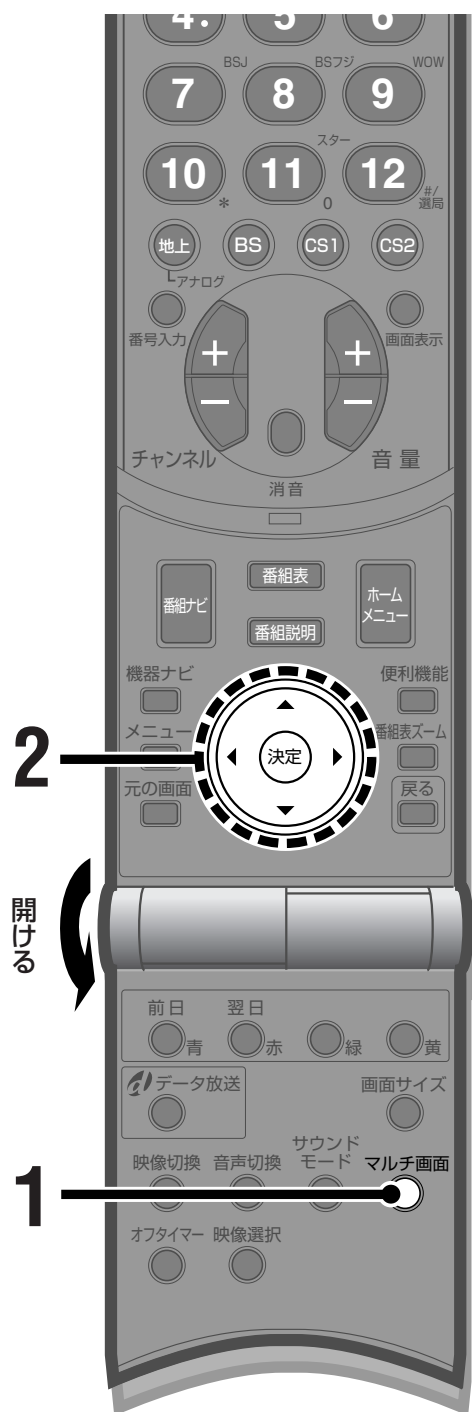
マルチな画面で楽しむ

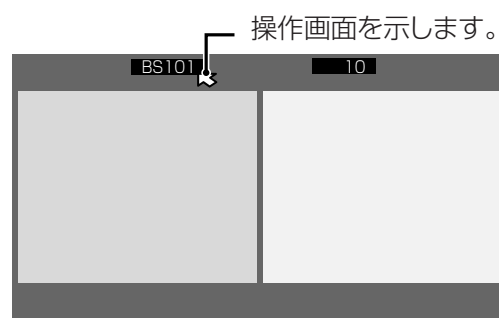
2つの番組を同時に楽しむ

異なる番組やビデオなどの映像を、2つの画面で同時に楽しむことができます。

1 マルチ画面ボタンを押す

マルチ画面の選択画面が表示されます。

2画面　番組一覧

2 カーソルボタン（◀▶）を押して「2画面」を選び、決定ボタンを押す

2画面表示になります。
それまでご覧になっていた画面が左画面になります（操作画面）。
操作画面の音声がスピーカーから聞こえます。

操作画面を示します。

- 衛星デジタル放送（1125i、525p、750p）の映像をご覧のときは、次のような画面になります。

操作画面を示します。操作画面をカーソル（▲▼）で上下に移動することができます。

操作画面を切り換えるには

操作をしたい画面に切り換えるには、カーソルボタン（◀▶）を押します。

➡次のページへ

2画面で見ることができる組み合わせ

2画面で表示できる放送や外部入力の組み合わせは次のとおりです。

左画面		右画面 テレビ VHF/UHF/CATV	テレビ 衛星デジタル	i.LINK入出力 i-1	i.LINK入出力 i-2	ビデオ1 映像・S映像入力	ビデオ1 D4映像入力	ビデオ2	ビデオ3 映像入力	ビデオ3 コンポーネント映像入力
テレビ	VHF/UHF/CATV	×	○	○	○	○	×	○	○	×
	衛星デジタル	○	×	×	×	○	×	○	○	×
i.LINK入出力	i-1	○	×	×	×	○	×	○	○	×
	i-2	○	×	×	×	○	×	○	○	×
ビデオ1	映像・S映像入力	○	○	○	○	×	×	○	○	×
	D4映像入力	○	○	○	○	×	×	○	○	×
ビデオ2		○	○	○	○	○	×	×	○	×
ビデオ3	映像入力	○	○	○	○	○	×	○	×	×
	コンポーネント映像入力	○	○	○	○	○	×	○	×	×

1画面に戻すには

ご覧になりたい方の画面を操作画面にして、決定ボタンを押します。選んだ画面の映像が1画面になります。
または、131ページの手順1と手順2を行い、手順2で「1画面」を選び、決定ボタンを押します。左画面の映像が1画面になります。

2画面中にヘッドホンをつなぐと

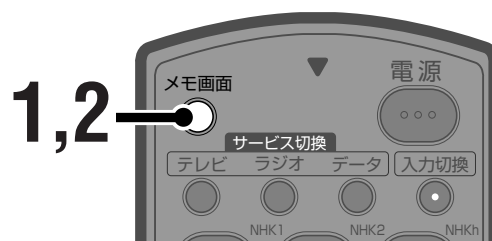
スピーカーからは左画面の音声、ヘッドホンからは右画面の音声が聞こえてきます。

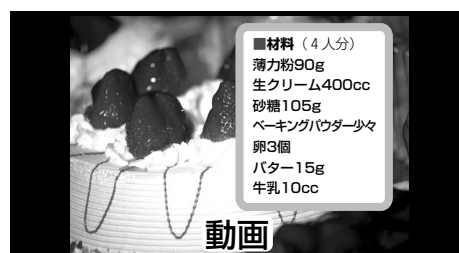
- ヘッドホンを接続中に2画面にすると、右画面の音声がヘッドホンから聞こえてきます。左画面の音声はスピーカーからでますが、音量は「0」になっています。

ご注意

2画面中は次のようになります。
- メモ画面ボタンは使えません。
- 2画面の操作を優先させるため、一部を除き、衛星デジタル放送の操作を禁止しています。
- 衛星デジタル放送または外部入力を表示中は、音声切換（☞75、124ページ）はできません。
- 映像調節メニュー以外は調節できません。
- 番組ナビ、番組表、番組説明の各ボタンを押すと、2画面が解除され、それぞれの画面が表示されます。

メモ画面機能を使う

今見ている映像を、メモ画面（静止画面）で見ることができます。
応募先の住所や、料理番組のレシピなどをメモするときに便利です。同時に今まで見ていた番組も楽しめます。

1 静止させたい場面で、メモ画面ボタンを押す

次のように画面が切り換わります。

2 メモを取り終わったら、もう一度メモ画面ボタンを押す

通常の表示に戻ります。

ご注意

- 2画面、番組一覧を表示中はメモ画面ボタンは使えません。
- チャンネル切換、入力切換を行うとメモ画面は解除されます。
- メニューボタンを押すと、メモ画面が解除されて、メニュー画面が表示されます。

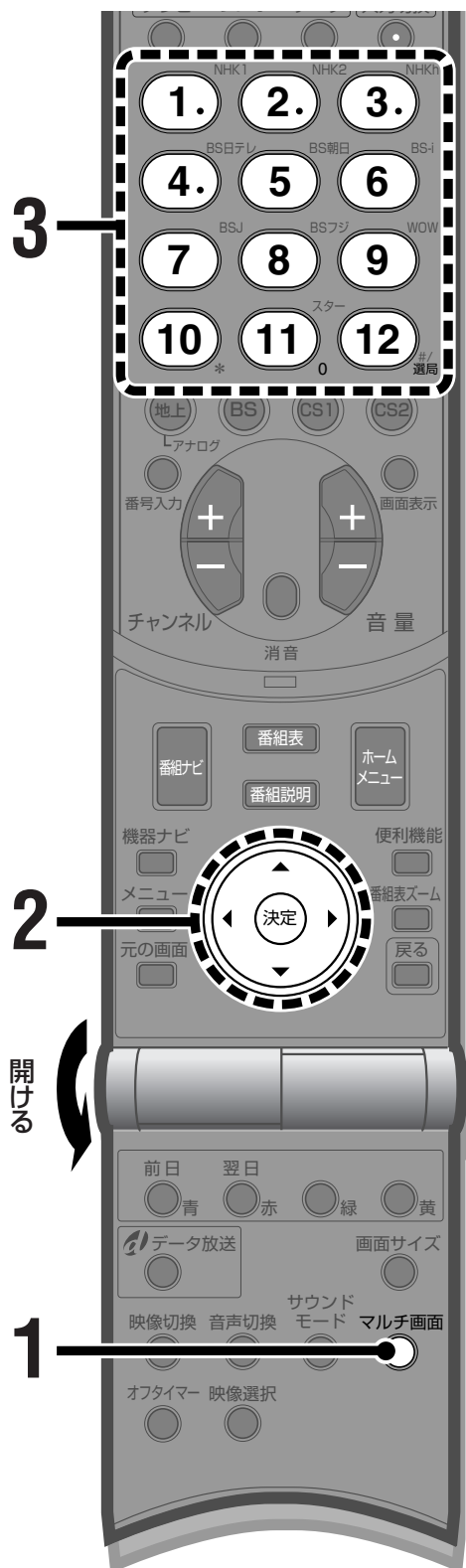
放送されている番組を一覧表示する

現在放送されている番組の一覧を表示します。どのチャンネルでどんな番組が放送されているのかを見ながら、番組を選べます。

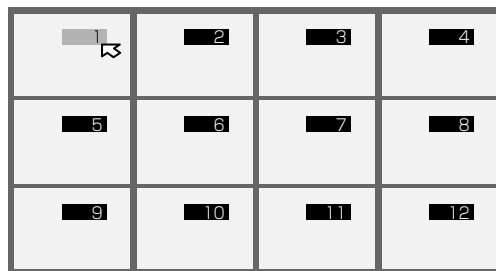
お知らせ
- 番組一覧を表示できるのは地上アナログ放送とCATVのチャンネルです。
- 衛星デジタル放送をご覧のときは、番組一覧は表示されません。

1 マルチ画面ボタンを押す

マルチ画面の選択画面が表示されます。

2画面　番組一覧

2 カーソルボタン（◀▶）を押して「番組一覧」を選び、決定ボタンを押す

画面が12分割されて、番組が静止画で映ります。

1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12

受信できる放送局が、数秒間ずつ順々に、音声とともに動画で表示されます。

3 見たい番組をチャンネル数字ボタンで選ぶ

選んだチャンネルが1画面で映ります。

お知らせ

見たい番組が動画になったときに決定ボタンを押すと、チャンネルが選ばれて1画面で映ります。

1画面に戻すには

手順1と手順2を行い、手順2で「1画面」を選び、決定ボタンを押します。

ご注意
- 「チャンネル1～12ボタンの設定変更」で「＋－ボタン選局」を「見ない」（スキップ）に設定されているチャンネルは、番組一覧で表示されません。（☞46、49ページ）
- 番組一覧中は次のようになります。
  - 次のボタンは操作できません。
    チャンネル＋/－、入力切換、音声切換、オフタイマー、メモ画面、戻る
  - メニューボタンを押すと、番組一覧は解除され、メニュー画面が表示されます。

映画を楽しむ

フィルム撮影された映画などをキレイに見る

フィルム撮影された映画やアニメをご覧になるときに、動きが速いところの輪郭がぼんやりと見えることがあります。
ナチュラルシネマを使うと、動きの速いところもぼんやり感のない映像でご覧になれます。

- **メニュー画面を切り換えるには**
  メニューを表示中に1ボタン（チャンネル数字ボタン）を押すと、各メニュー画面を切り換えることができます。ただし、「各種設定」メニュー（全3ページ）の2、3ページ目は、1ボタンでは表示できません。

1 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

2 カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して「各種設定」メニューの「ナチュラルシネマ」を選ぶ

- 「各種設定」メニューは3ページ構成です。上記の画面イラストは2ページ目です。

3 カーソルボタン（◀▶）を押す

設定画面が表示されます。

4 カーソルボタン（▲▼）を押して設定する

オート
映像に合わせて自動的に「入り」「切り」します。

入り
常にナチュラルシネマを使います。

切り
そのままの映像で表示します。

しばらくすると、設定画面が消えます。

お知らせ

- 通常は「オート」に設定してください。
- 地上アナログ放送などではナチュラルシネマを「入り」にすると、輪郭が二重になったり、不自然な映像になることがまれにあります。その場合は、ナチュラルシネマを「切り」にしてお使いください。

ご注意

- 次のような場合は、ナチュラルシネマの設定が「入り」の状態から「オート」に切り換わります。
  －電源を切ったとき
  －チャンネルや入力を切り換えたとき
  －マルチ画面（2画面、番組一覧、メモ画面）に切り換えたとき
- プログレッシブ*（525pや750p）を見ているときは切り換えできません。（*「用語解説」☞182ページ）

映画に最適な映像にする

映画番組や映画ソフトに最適な画面設定にできます。

1 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

2 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「各種設定」メニューの「映画」を選ぶ

- 「各種設定」メニューは3ページ構成です。上記の画面イラストは2ページ目です。

3 カーソルボタン(◀▶)を押す

設定画面が表示されます。

映画　切り　入り

4 カーソルボタン(◀▶)を押して設定する

入り

画面サイズ、映像選択、デジタルE.E.、白バランスが自動的に設定されます。

切り

そのままの映像で表示します。

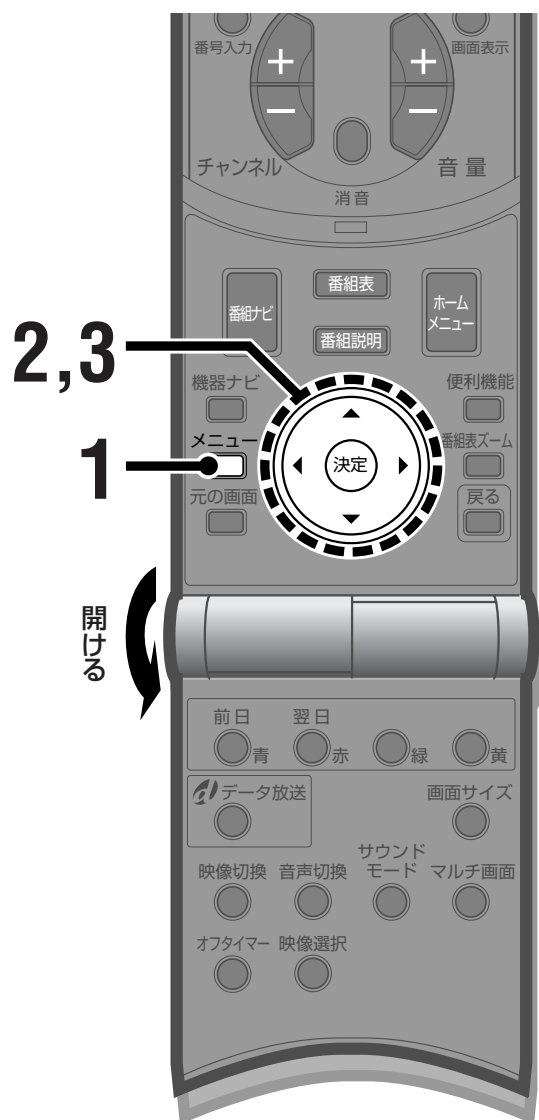
しばらくすると、設定画面が消えます。

- **メニュー画面を切り換えるには**
  メニューを表示中に1ボタン(チャンネル数字ボタン)を押すと、各メニュー画面を切り換えることができます。ただし、「各種設定」メニュー(全3ページ)の2、3ページ目は、1ボタンでは表示できません。

ご注意

次のようなときは映画の設定は「切り」になります。
－チャンネルや入力を切り換えたとき
－S1映像信号*が入力されたとき
(*「用語解説」☞181ページ)

本来の解像度で表示する（S/N連動）

本機はノイズを抑えた見やすい映像でご覧いただく「S/N連動」機能を持っています。通常は、「S/N連動」を「入り」にしてご使用ください。
ノイズを抑えた見やすい映像よりも、解像度を優先したい場合は、「切り」に設定してください。

1 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

2 カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して「各種設定」メニューの「S/N連動」を選ぶ

- 「各種設定」メニューは3ページ構成です。上記の画面イラストは2ページ目です。

3 カーソルボタン（◀▶）を押して設定する

入り
ノイズを抑えた見やすい映像になります。

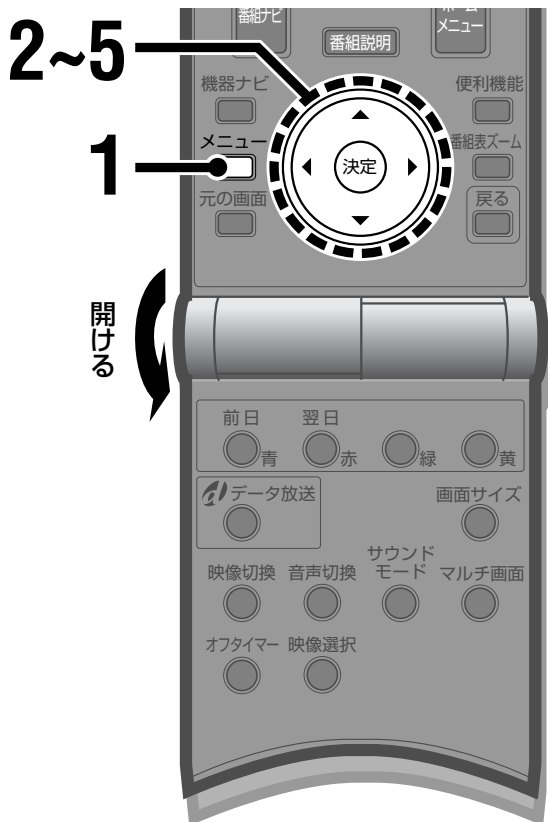
切り
本来の解像度で映像を表示します。

メニュー画面を消すには
メニューボタンを押す

- **メニュー画面を切り換えるには**
  メニューを表示中に1ボタン（チャンネル数字ボタン）を押すと、各メニュー画面を切り換えることができます。ただし、「各種設定」メニュー（全3ページ）の2、3ページ目は、1ボタンでは表示できません。

デジタルE.E.で節電する

部屋の明るさに合わせて、画面の明るさを自動的に調節します。節電になり、目にやさしい機能です。
デジタルE.E.の効果は、ハートマークでテレビ画面に表示させることができます。

お知らせ
「E.E.」とは、Ecology & Economy（目にやさしい省電力）＋Electronic Eye（電子の目）の略です。

- **メニュー画面を切り換えるには**
  メニューを表示中に1ボタン（チャンネル数字ボタン）を押すと、各メニュー画面を切り換えることができます。

1 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

2 カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して「各種設定」メニューの「デジタルE.E.」を選ぶ

3 カーソルボタン（◀▶）を押して設定する

入り
画面の明るさを自動的に調節します。

切り
画面の明るさを常に一定にします。

- **デジタルE.E.の効果をテレビ画面に表示するときは**
  →手順4へ
- **デジタルE.E.の効果をテレビ画面に表示しないときは**
  メニューボタンを押す
  メニュー画面が消えます。

4 カーソルボタン（▲▼）を押して「デジタルE.E.の効果表示」を選ぶ

5 カーソルボタン（◀▶）を押して設定する

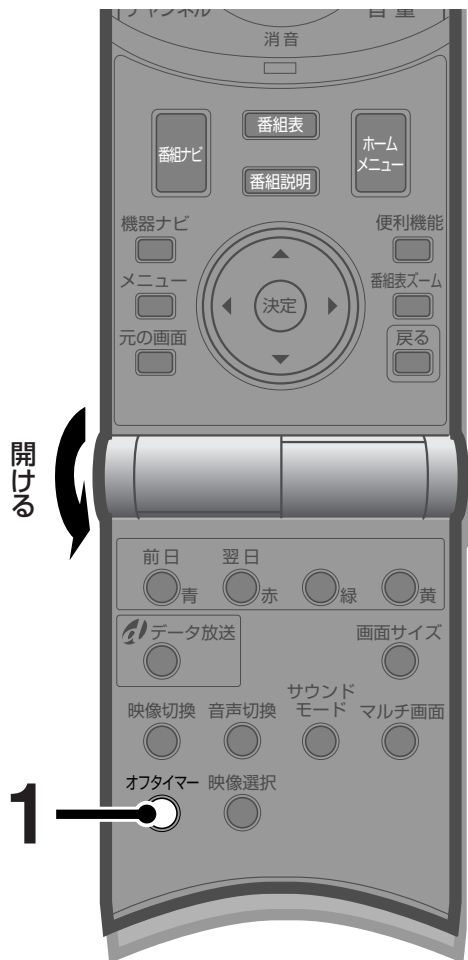
表示する
デジタルE.E.の効果のレベルがハートマークでテレビ画面に表示されます。

表示しない
効果のレベルは表示されません。

メニュー画面を消すには
メニューボタンを押す

テレビの消し忘れを防ぐ

指定した時間に電源を切る

テレビを見ながら寝てしまいそうなときなどに設定すると、テレビの消し忘れが防げます。
設定した時間が過ぎると自動的に電源が切れます。

1 オフタイマーボタンをくり返し押して、電源が切れるまでの残り時間を選ぶ

設定画面が表示されます。
押すたびに残り時間が変わります。

しばらくすると設定画面が消えます。
残り時間が画面右下に表示されます。

オフタイマーを解除するには

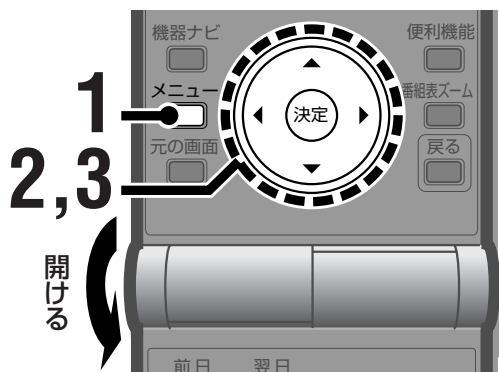
オフタイマーボタンをくり返し押して、「切り（解除）」を選ぶ

- 「切り（解除）」を選ばずに、残り時間を選び直すと、設定を変更できます。

お知らせ

残り時間の表示はテレビの操作をすると消えます。
電源の切れる3分前になると再び表示され、電源が切れるまで強制的に表示されます。

無信号のときに電源を切る

放送終了後やビデオの再生終了後、約4分経過すると自動的に電源を切る機能です。

- **メニュー画面を切り換えるには**
  メニューを表示中に1ボタン（チャンネル数字ボタン）を押すと、各メニュー画面を切り換えることができます。ただし、「各種設定」メニュー（全3ページ）の2、3ページ目は、1ボタンでは表示できません。

1 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

2 カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して「各種設定」メニューの「無信号電源オートオフ」を選ぶ

映像調節　音声調節　各種設定　初期設定
△前ページへ
無信号電源オートオフ　◀設定しない▶
S／N連動　◀入り▶
テレビ消し忘れ防止設定　◀設定する▶
ビデオ1入力端子信号のモニター出力　◀出力しない▶
ナチュラルシネマ▶　切り
映画▶　切り
▽次ページへ
◀⬍▶で選択／変更　1ボタンで初期設定へ　メニューで終了

- 「各種設定」メニューは3ページ構成です。上記の画面イラストは2ページ目です。

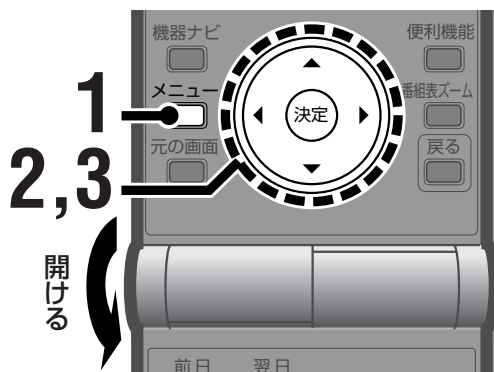
3 カーソルボタン（◀▶）を押して設定する

設定する
放送終了後やビデオ再生の終了後、約4分経過すると、自動的に電源が切れます。

設定しない
この機能は働きません。

メニュー画面を消すには
メニューボタンを押す

無操作のときに電源を切る

何も操作しない状態が約3時間続くと、自動的に電源が切れるように設定できます。

- **メニュー画面を切り換えるには**
  メニューを表示中に1ボタン（チャンネル数字ボタン）を押すと、各メニュー画面を切り換えることができます。ただし、「各種設定」メニュー（全3ページ）の2、3ページ目は、1ボタンでは表示できません。

1 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

2 カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して「各種設定」メニューの「テレビ消し忘れ防止設定」を選ぶ

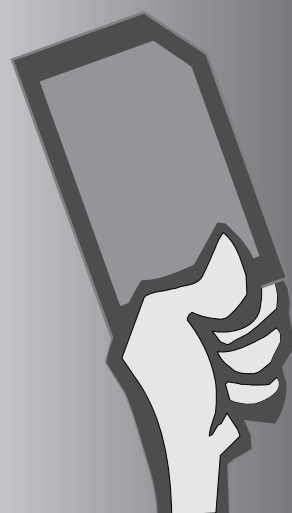
- 「各種設定」メニューは3ページ構成です。上記の画面イラストは2ページ目です。

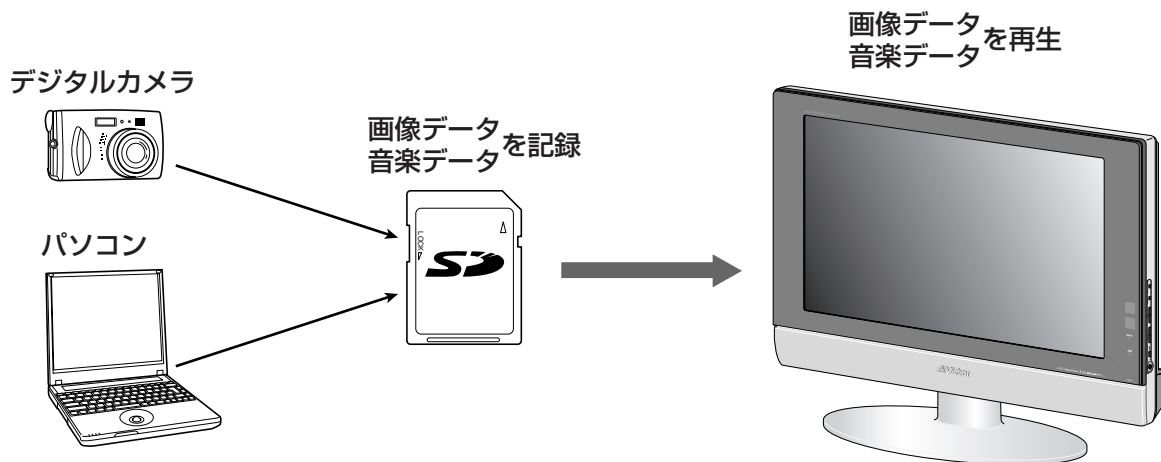
3 カーソルボタン（◀▶）を押して設定する

設定する
何も操作しない状態が約3時間続くと、自動的に電源が切れます。

設定しない
この機能は働きません。

メニュー画面を消すには
メニューボタンを押す

SDメモリーカードで楽しむ

SDメモリーカードでできること

本機は、SDメモリーカードに記録された画像データや音楽データを再生できます。デジタルカメラの静止画像やパソコンで編集した音楽をお楽しみになれます。

本機で再生できる画像データと音声データ

再生できる画像データ

- DCF[1]規格の画像データ
- SDメモリーカード対応の機器間データ転送用フォルダ「IMEXPORT」のExif2.1以上の画像データ（ただしファイル名が日本語の場合、ファイル名は表示されません。）

再生できる音楽データ

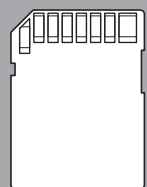
AAC[2]方式の音楽データ（サンプリング周波数がハーフレート（24 kHz、22.05 kHz、16 kHz）のデータを除く）

[1] DCF (Design rule for Camera File system)
デジタルカメラの統一フォーマットとしてJEITA（電子情報技術産業協会）によって制定された画像ファイルフォーマットです。DCF対応のデジタル機器間で画像ファイルを相互に利用することが簡単にできます。

[2] AAC (Advanced Audio Coding)
音声符号化の規格の一つです。
CDと同等の音質の音楽データを約1/12にまで圧縮できます。

SDメモリーカードとは

SDメモリーカードは、著作権を保護する機能を内蔵した記録媒体です。
幅24mm × 高さ32mm × 厚さ2.1mmという、切手とほぼ同じ大きさの半導体メモリーで、MD（ミニディスク）やCD（コンパクトディスク）、カセットテープなどに替わる、次世代の記録媒体です。

表面　裏面

SDメモリーカードの使用上のご注意

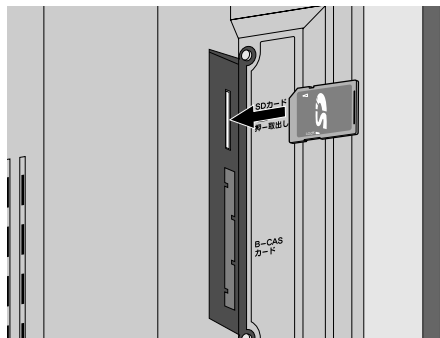
- パソコンなどで画像編集ソフトを使って編集した画像データは、本機で再生できない場合があります。
- SDメモリーカードを再生中（「SDカード」画面での操作中）は、電源を切ったり、SDメモリーカードを抜いたりしないでください。SDメモリーカードのデータが破壊されることがあります。
- SDメモリーカードは松下製、東芝製および当社製のものを推奨します。

SDメモリーカードの使い方

お知らせ

- カードを入れるときは、カバーを外してください。(☞21ページ)

1 本体側面にSDメモリーカードを入れる

カードの表(ロゴが印刷されている面)を本体後面に向けて、奥まで押し込んでください。

「SDカード」画面が表示されます。

画像を見るには

144〜149ページをご覧ください。

音楽を聞くには

150ページをご覧ください。

「SDカード」画面を消すには

元の画面ボタンを押す

衛星デジタル放送に切り換わります。地上アナログ放送や外部入力をご覧になるときは選びなおしてください。

SDメモリーカードを抜くには

SDメモリーカードを指で奥に押し込む

カードが出てきます。

「SDカード」画面を表示するには

「機器ナビ」画面からも「SDカード」画面を表示させることができます。

1 機器ナビボタンを押す

「機器ナビ」画面が表示されます。

2 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「SDカード」を選び、決定ボタンを押す

「SDカード」画面が表示されます。

ご注意

- 電源が「切」のときは、SDメモリーカードを挿入しても、「SDカード」画面は表示されません。
- 録画予約の実行中は、「SDカード」画面を表示できません。
- 「SDカード」画面を表示しているときはメニューを表示できません。
- SDメモリーカードを抜くときは、必ず元の画面ボタンを押して「SDカード」画面を消してから、抜いてください。「SDカード」画面が表示されているときは、本機がデータを読み込んでいます。データの読み込み中にSDメモリーカードを抜くと、データが壊れることがあります。

画像を見る

画像を一度に見る－マルチ表示

SDメモリーカードに記録されている画像データを、縮小画像で一度に9枚まで表示できます。

お知らせ

- マルチ表示できるのは縮小画像データが記録されているときのみです。
- 画質（☞118ページ）を変更するときは、SDメモリーカードを再生する前にあらかじめ行ってください。再生中は変更できません。

「マルチ表示」画面

画像情報

「No.」：画像番号（またはファイル名）

「日付」：画像が記録された日付

「画素数」：画像の実際の画素数（横×縦）

「プリント枚数」：「ラボ・プリントサービス」などにプリントしてもらう枚数（本機では変更できません。）

総枚数

現在選ばれている画像

画像番号

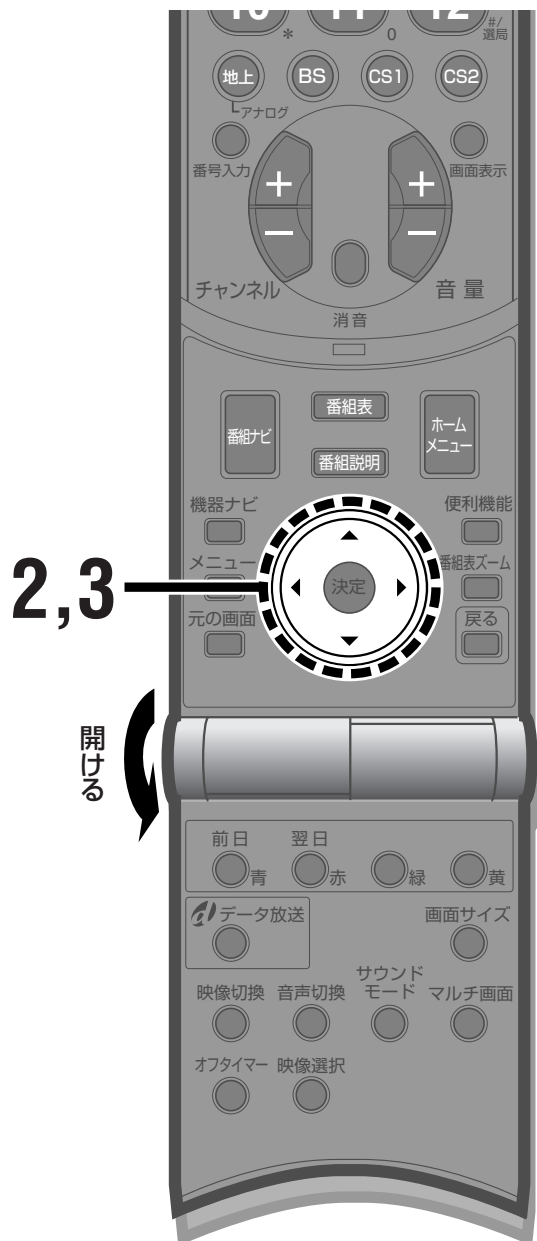
アクセス中表示

本機がSDメモリーカードのデータを読み込んでいるときは「アクセス中」と表示され、が赤く表示されます。（通常はが青く表示されます。）

エラー表示

画像データが読み込めないなど縮小画像が表示できないときに表示されます。

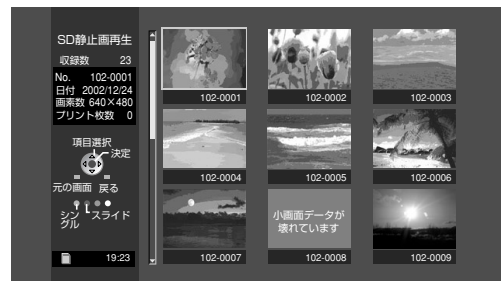
ご注意

「アクセス中」と表示されているときはSDメモリーカードを抜かないでください。記録されているデータが壊れる場合があります。

1 SDメモリーカードを入れる

「SDカード」画面が表示されます。

- SDメモリーカードの入れ方は143ページをご覧ください。

2 カーソルボタン(▲▼)を押して「SD静止画再生」を選び、決定ボタンを押す

「SD静止画再生」画面がマルチ表示されます。

3 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して画像を確認する

10枚以上の画像があるときは、カーソルボタン(▲▼)をくり返し押すと、順に表示されます。

「SDカード」画面を消すには

元の画面ボタンを押す

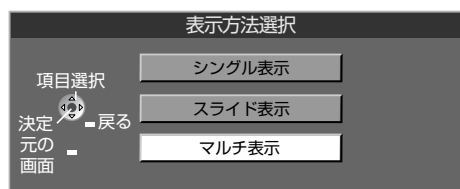
衛星デジタル放送に切り換わります。地上アナログ放送や外部入力をご覧になるときは選びなおしてください。

お知らせ

- 「SDカード」画面は「機器ナビ」画面からも表示できます。(☞143ページ)
- シングル表示中(☞146ページ)またはスライド表示中(☞148ページ)に緑ボタンを押すと、「マルチ表示」画面になります。

「表示方法選択」画面から切り換えるには

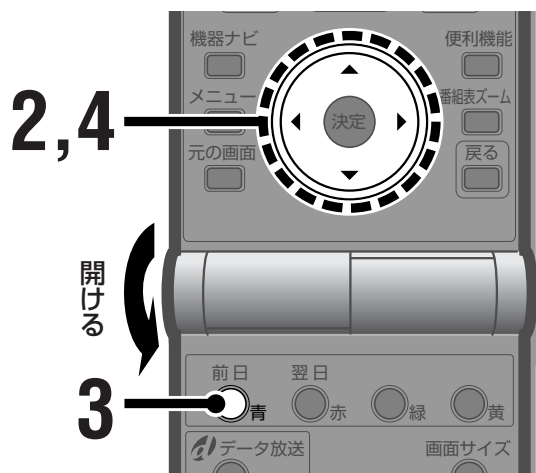
1 「SD静止画再生」画面を表示中に決定ボタンを押す

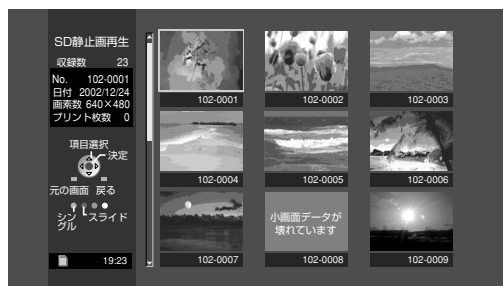
「表示方法選択」画面が表示されます。

2 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して表示方法を選び、決定ボタンを押す

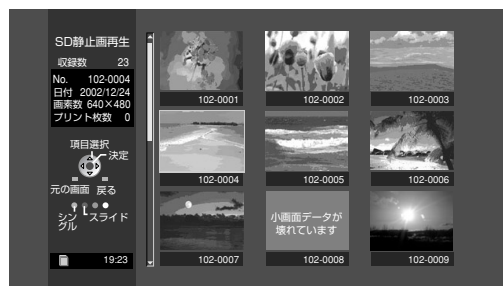
画像を1枚ずつ見る－シングル表示

SDメモリーカードに記録されている画像データを1枚ずつ大きく表示できます。
また、画像の拡大や縮小、回転ができます。

お知らせ

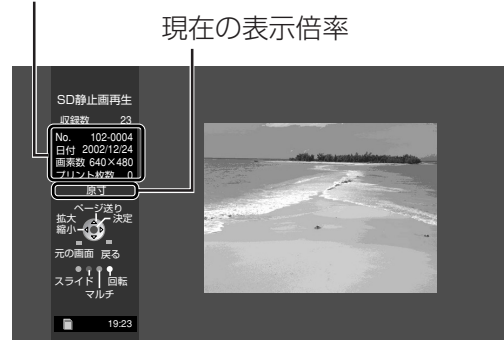
画質（☞118ページ）を変更するときは、SDメモリーカードを再生する前にあらかじめ行ってください。再生中は変更できません。

1 「マルチ表示」画面を表示させる

- 「マルチ表示」画面を表示させるには145ページをご覧ください。

2 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して見たい画像を選ぶ

- 10枚以上の画像があるときは、カーソルボタン(▲▼)をくり返し押すと、順に表示されます。

3 青ボタンを押す

選んだ画像が大きく表示（シングル表示）されます。

現在表示している画像の情報（☞144ページ）

現在の表示倍率

4 他の画像を見るにはカーソルボタン(▲▼)を押す

シングル表示のまま、画像が切り換わります。

「SDカード」画面を消すには

元の画面ボタンを押す

衛星デジタル放送に切り換わります。地上アナログ放送や外部入力をご覧になるときは選びなおしてください。

お知らせ

「表示方法選択」画面（☞145ページ）で「シングル表示」を選んで決定ボタンを押しても、シングル表示に切り換わります。

ご注意

- 画像のサイズが大きいと完全に表示されるまでに時間がかかります。
- 画像データが読み込めないなど、画像をシングル表示できないときはエラーメッセージが表示されます。

画像を拡大または縮小するには

シングル表示中に画像を「2倍」、「原寸」、「1/2倍」に切り換えられます。

画像を拡大するには

カーソルボタン(▶)を押します。

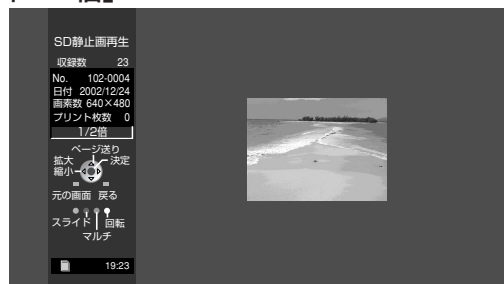
画像を縮小するには

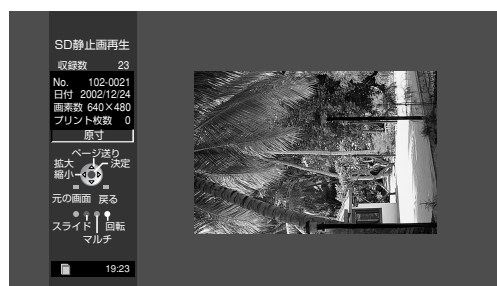
カーソルボタン(◀)を押します。

例：画素数が640×480の画像のとき

「2倍」

「原寸」

「1/2倍」

シングル表示中に画像を回転するには

シングル表示中に黄色ボタンを押します。
押すごとに、画像が90°ずつ時計回りに回転します。

お知らせ

- 画像の画素数によっては、回転させたときに、画面に入るように拡大または縮小されます。
- シングル表示中に画像を回転させると、スライド表示するときも回転させた状態で表示されます。回転させた角度は「SD静止画再生」画面を消すまで記憶されます。

画像を連続して見る－スライド表示

SDメモリーカードに記録されている画像データを連続して再生することができます。

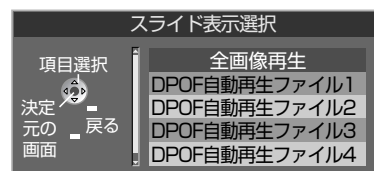
お知らせ

画質（☞118ページ）を変更するときは、SDメモリーカードを再生する前にあらかじめ行ってください。再生中は変更できません。

1 「マルチ表示」画面を表示させる

- 「マルチ表示」画面を表示させるには145ページをご覧ください。

2 赤ボタンを押す

「スライド表示選択」画面が表示されます。

全画像再生

記録されているすべての画像を、「マルチ表示」画面で表示される順番で連続して再生します。

DPOF自動再生ファイル

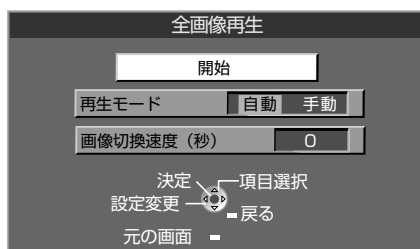
スライド表示のために画像を表示させる順番を記述したファイルです。

ファイルに含まれるすべての画像を、あらかじめ記録されている順番で再生します。

- 「DPOF自動再生ファイル」（スライド表示のために画像を表示させる順番を記述したファイル）が記録されていない場合は上記の画面は表示されません。手順3に進んでください。

3 カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して項目を選び、決定ボタンを押す

- 5個以上の「DPOF自動再生ファイル」があるときは、カーソルボタン（▲▼）をくり返し押すと、順に表示されます。

例：「全画像再生」を選んだとき

4 カーソルボタン(▲▼)を押して項目を選ぶ

「スライド表示」を開始する前に、スライド表示の方法を選べます。

再生モード

「手動」: カーソルボタン(▲▼)を押すごとに画像が切り換わります。

「自動」: 「画像切替速度(秒)」で設定した時間間隔で、自動的に次の画像に切り換わります。

画像切替速度(秒)

「再生モード」を「自動」にしているときに、表示する画像と画像の時間間隔を設定します。

- 「0」~「10」、「15」、「20」、「25」、「30」、「40」、「50」、「70」、「100」の中から選びます。(数字は秒単位)

5 カーソルボタン(◀▶)を押して設定する

6 カーソルボタン(▲▼)を押して「開始」を選び、決定ボタンを押す

「スライド表示」が始まります。

- 「再生モード」を「手動」にしたときはカーソルボタン(▲▼)で画像を切り換えてください。

スライド表示を止めるには

決定ボタンを押します。「表示方法選択」画面が表示されます。(☞145ページ)
(「スライド表示」を選ぶか、戻るボタンを押すと、スライド表示が再開されます。)

「SDカード」画面を消すには

元の画面ボタンを押す
衛星デジタル放送に切り換わります。地上アナログ放送や外部入力をご覧になるときは選びなおしてください。

お知らせ

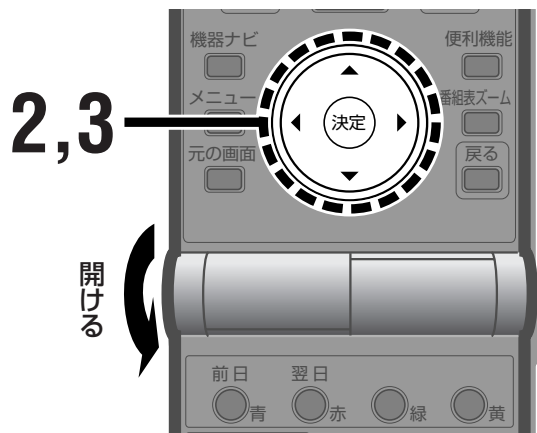
- 横向きの画像は、あらかじめシングル表示中に画像を回転させて縦向きにしておくと、縦向きの状態でスライド表示できます。
- スライド表示中に緑ボタンまたは戻るボタンを押すと「マルチ表示」画面(☞144ページ)になります。
- スライド表示中に青ボタンを押すと「シングル表示」画面(☞146ページ)になり、表示されていた画像がシングル表示されます。

ご注意

- 画像のサイズが大きいと完全に表示されるまでに時間がかかります。
- スライド表示中に、画像の拡大や縮小、回転はできません。
- 画像データが読み込めないなど、画像をスライド表示できないときはエラーメッセージが表示され、次の画像に移ります。
- 本機でDPOF自動再生ファイルを作成することはできません。

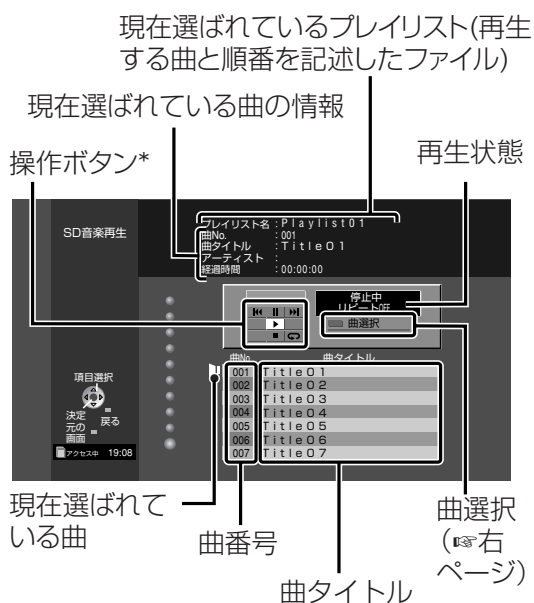
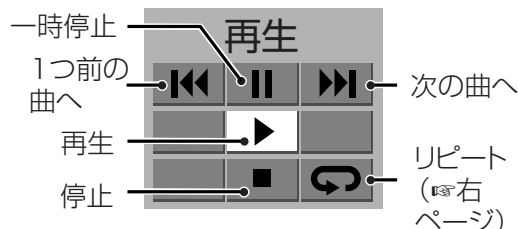
音楽を聴く

SDメモリーカードに記録された音楽を再生することができます。

お知らせ
サウンドモード(☞125ページ)を変更するときは、SDメモリーカードを再生する前にあらかじめ行ってください。再生中は変更できません。

1 SDメモリーカードを入れる

「SDカード」画面が表示されます。
• SDメモリーカードの入れ方は143ページをご覧ください。

2 カーソルボタン(▲▼)を押して「SD音楽再生」を選び、決定ボタンを押す

「SD音楽再生」画面が表示されます。

*操作ボタン:
例:「▶(再生)」ボタンが選ばれているとき

3 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して操作ボタンの「▶(再生)」を選び、決定ボタンを押す

曲の再生が始まります。
• 再生するプレイリストや曲を選ぶときは右ページをご覧ください。

音量を調節するには
音量+/−ボタンを押す
• 画面に音量は表示されません。

操作ボタンを使うには
カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して操作したいボタンを選び、決定ボタンを押す

再生を止めるには
カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して「■(停止)」を選び、決定ボタンを押す

「SDカード」画面を消すには
元の画面ボタンを押す
衛星デジタル放送に切り換わります。地上アナログ放送や外部入力をご覧になるときは選びなおしてください。

お知らせ
「SDカード」画面は「機器ナビ」画面からも表示できます。(☞143ページ)

ご注意
音楽データが読み込めないなど、再生できないまたは曲のタイトルなどが表示できないときはエラーメッセージが表示されます。(再生できないときは次の曲に移ります。)

聴きたい曲を選ぶには

1 **カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して「曲選択」を選ぶ**

2 **決定ボタンを押す**

プレイリスト画面が表示されます。

- プレイリストが記録されていない場合は曲選択画面が表示されます。手順4に進んでください。

3 **カーソルボタン(▲▼)を押して聴きたいプレイリストを選び、決定ボタンを押す**

曲選択画面が表示されます。

- 11個以上のプレイリストがあるときは、カーソルボタン(▲▼)をくり返し押すと、順に表示されます。

4 **カーソルボタン(▲▼)を押して聴きたい曲を選び、決定ボタンを押す**

選んだ曲が再生され、再生画面が表示されます。

- 画面上に表示しきれない曲があるときは、カーソルボタン(▲▼)をくり返し押すと、順に表示されます。

曲をくり返し再生するには

1 **カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して「🔁(リピート)」を選ぶ**

2 **決定ボタンをくり返し押してリピートモードを選ぶ**

押すたびに次のように切り換わります。

1曲リピート

現在の曲をくり返し再生します。

全曲リピート

記録されている全ての曲をくり返し再生します。

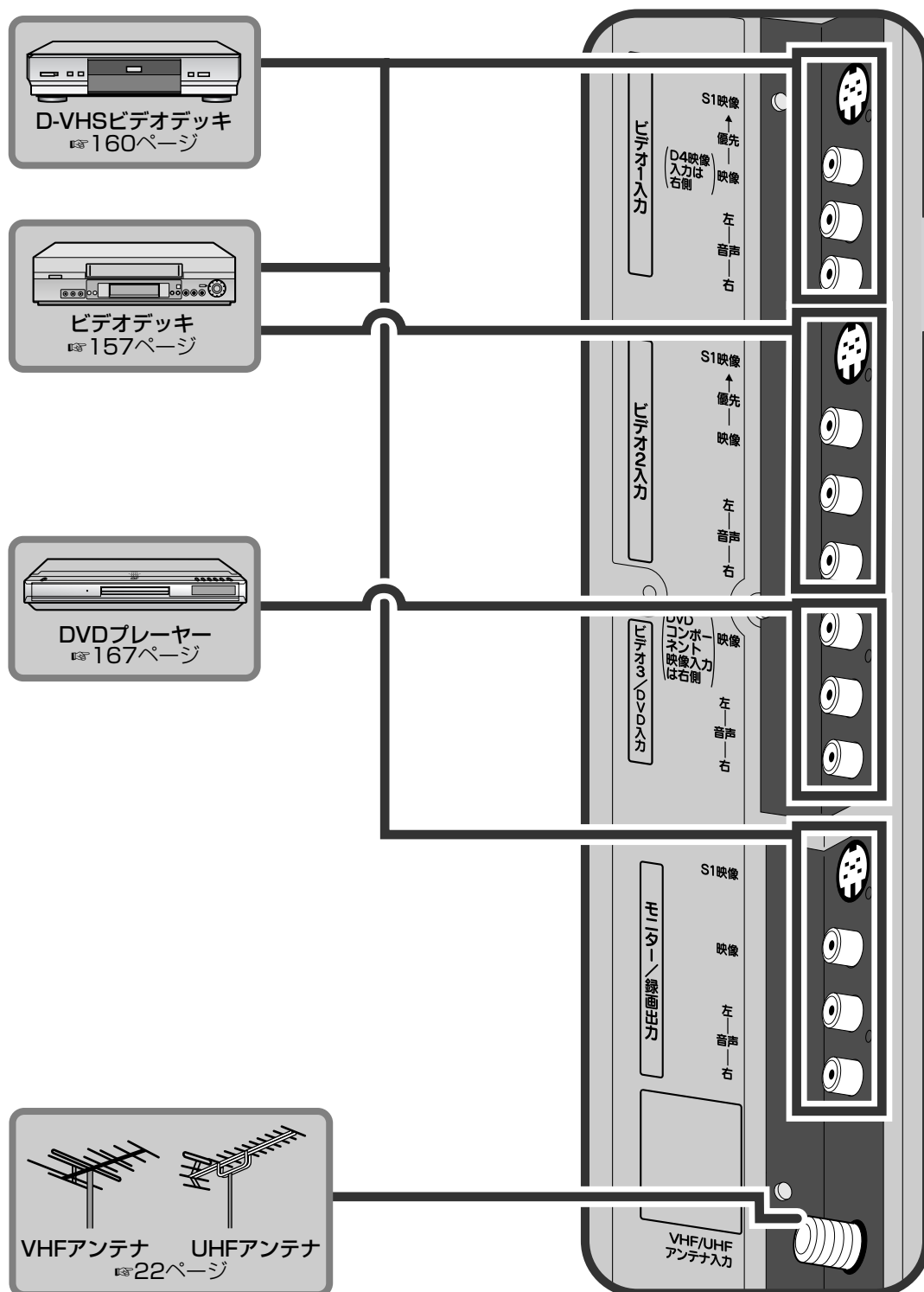
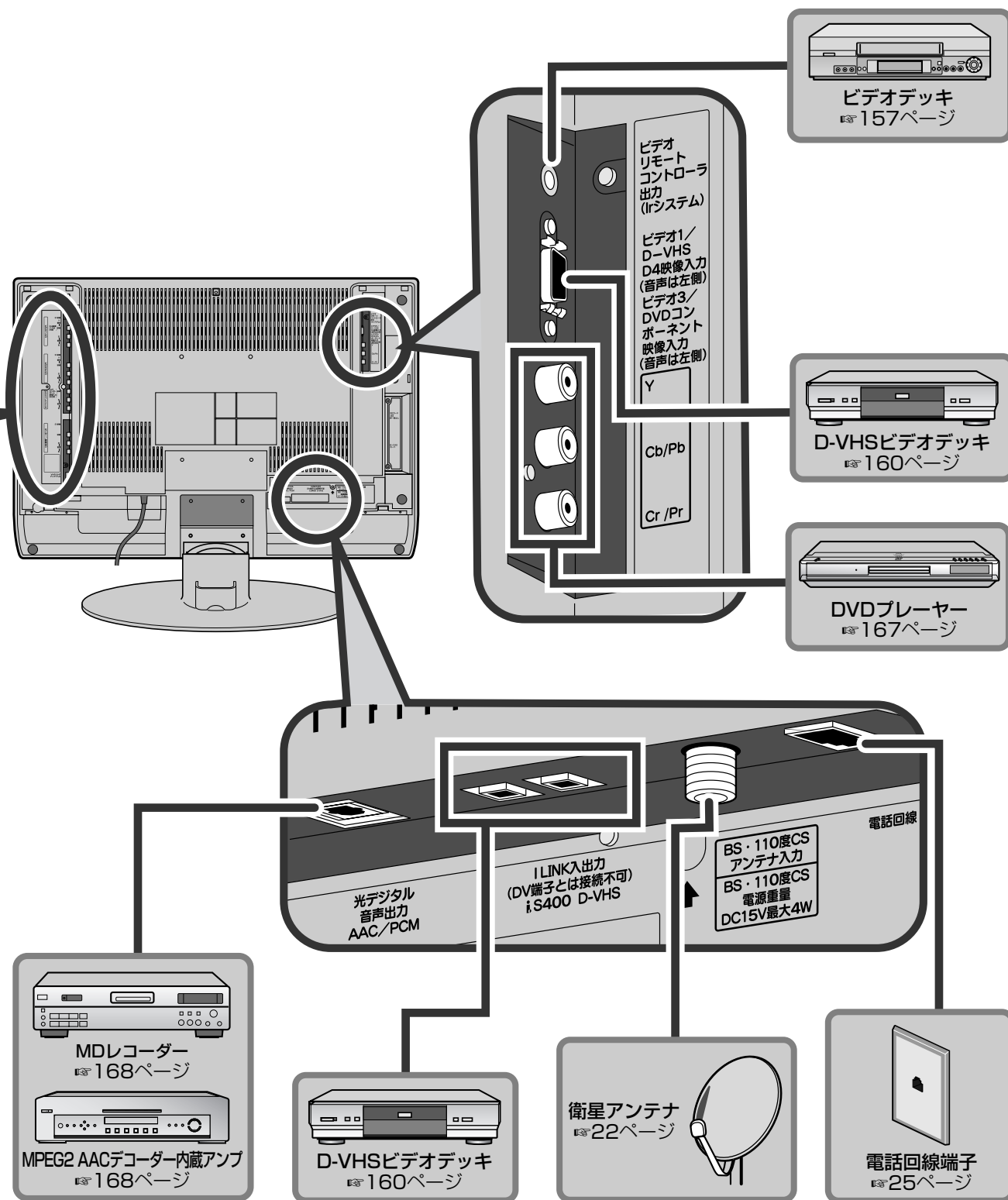
他の機器をつなぐ

接続できる機器

本体側面、下面の端子と、接続できる機器の一例です。詳しい接続の説明は、各ページをご覧ください。

お知らせ

- 衛星デジタル放送のデジタル録画予約を実行するには、i.LINK対応録画機器をi.LINKコードで接続してください。また接続した後で、i.LINK接続設定を確認してください。
- 衛星デジタル放送のアナログ録画予約を実行するには、録画機器の接続とビデオリモートコントローラーの接続及び設定を行ってください。
- お手持ちの機器にＳ映像入出力端子があるときは、Ｓ映像コードで接続することをおすすめします。映像端子よりも鮮明な映像で録画または再生できます。
- Ｓ１映像入出力端子と映像入出力端子が同時に接続されているときは、Ｓ１映像入出力端子の信号が優先されます。
- お手持ちの機器にD映像出力があるときは、D映像コードで接続することをおすすめします。Ｓ映像コードや映像コードも同時に接続されているときは、D映像コードからの信号が優先されます。

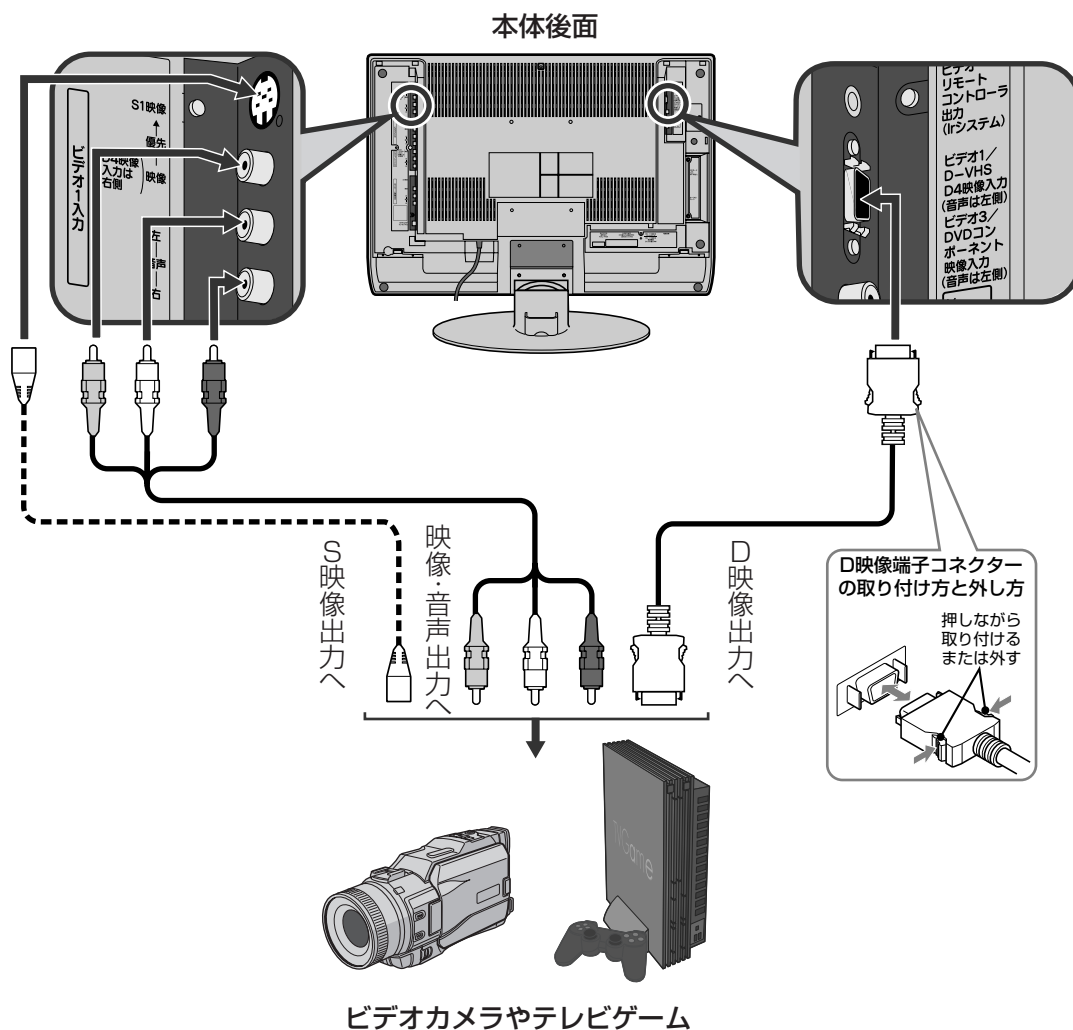
ご注意

- **接続が終わるまで、電源コードはコンセントから抜いておいてください。**
- 接続する機器の取扱説明書もご覧ください。
- 接続コードのプラグはしっかり奥まで差し込んでください。
- 他の機器の映像をご覧のとき、画面にノイズ(たて線など)が出るときは、コードをとおしてノイズが入っていることが考えられます。シールドのしっかりしたコードに交換したり、コードの位置をかえて、ノイズが少なくなるようにしてください。

ご注意

- 光デジタルコード、i.LINKコード、モジュラーコードを接続するときは、端子の向きを確認の上、端子とプラグの形状を合わせて差し込んでください。

ビデオカメラやテレビゲームをつなぐ

ビデオカメラやテレビゲームなど、取り外すことが多い機器は本体側面のビデオ1入力端子につなぎます。

お知らせ

- ビデオカメラやテレビゲームの接続には、専用の接続コードやアダプターが必要な場合があります。詳しくは、ビデオカメラやテレビゲームの取扱説明書をご覧ください。
- D映像出力があるときは、D映像コードで接続することをおすすめします。S映像コードや映像コードも同時に接続されているときは、D映像コードからの信号が優先されます。
- コードをつなぐときは、カバーを外してください。(☞21ページ)

ビデオカメラやテレビゲーム

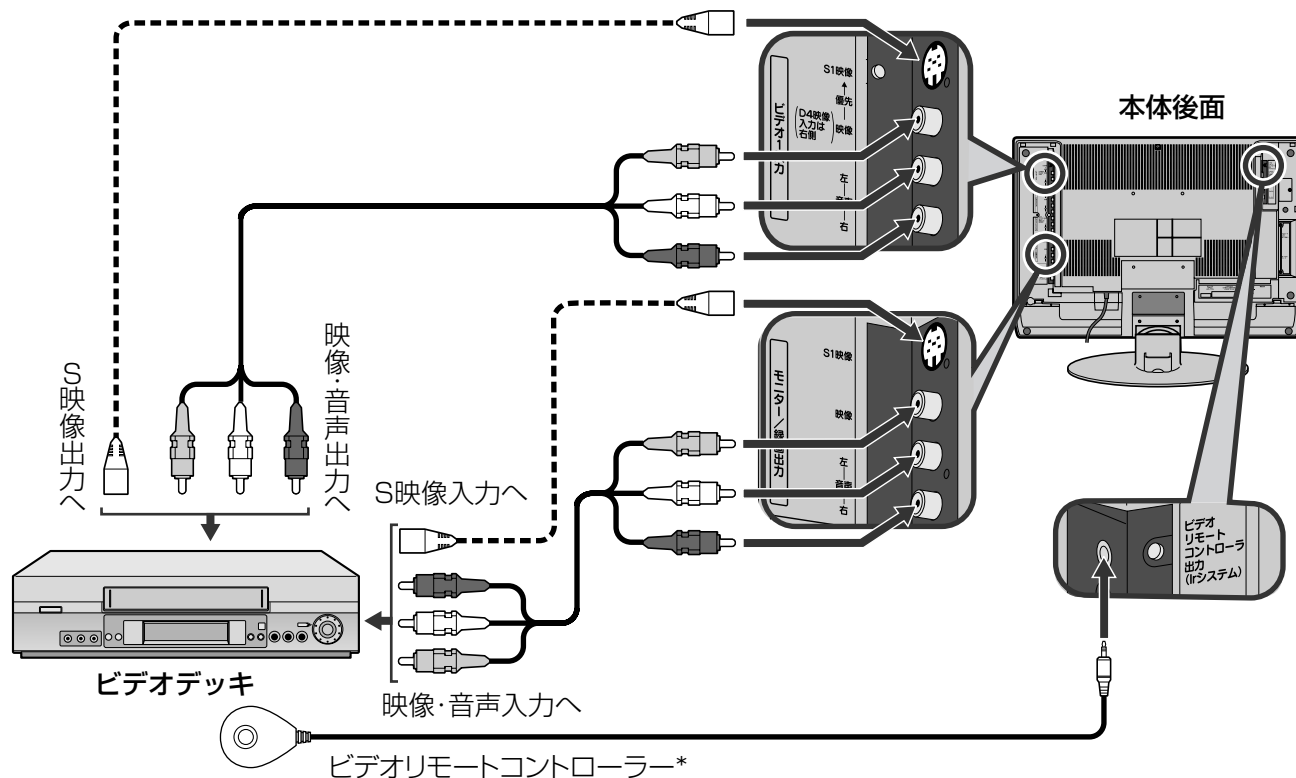
ビデオカメラやテレビゲームを楽しむ

入力切換ボタンをくり返し押して「ビデオ1」を選ぶ

- 外部入力の表示名を変更した場合(☞171ページ)は、変更した表示名をお選びください。

ビデオデッキをつなぐ

お知らせ

- VHF/UHFアンテナはビデオデッキ経由で本機につなぎます。「準備する」の「ビデオデッキをつなぐ」(☞24ページ)をご覧ください。
- 「BSデジタルリンク予約」や「BSデジタル予約[着信予約]」機能のあるビクター製ビデオデッキの場合は、ビデオデッキの取扱説明書にしたがって、接続と操作を行ってください。
- コードをつなぐときは、カバーを外してください。(☞21ページ)

*設置と準備のしかたは、「ビデオリモートコントローラー(Irシステム)を設定する」(☞158ページ)をご覧ください。

ビデオを見る

入力切換ボタンをくり返し押して「ビデオ1」を選ぶ

- 外部入力の表示名を変更した場合(☞171ページ)は、変更した表示名をお選びください。

番組を見ながら録画する

番組を見ながら録画することもできます。ただし、操作画面なども録画されます。
操作画面を録画したくない場合は録画予約(☞101、105ページ)をされることをおすすめします。

ご注意

- モニター/録画出力端子のS1映像端子から地上アナログ放送の映像は出力されません。
- 番組を見ながら録画しているときに、番組表などを表示させるとビデオテープに記録された映像や音声が乱れることがあります。

ビデオ1入力の映像が乱れるときは

ビデオ1入力の映像が乱れるときは、ビデオ1入力端子からの信号をモニター出力しないように設定します。

1 メニューボタンを押す

2 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「各種設定」メニューの「ビデオ1入力端子信号のモニター出力」を選ぶ

- 「各種設定」メニューは3ページ構成です。
  上記の画面イラストは2ページ目です。

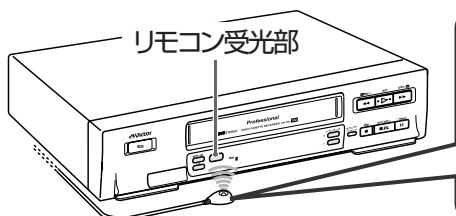
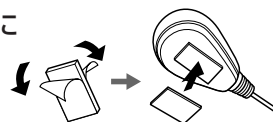
3 カーソルボタン(◀▶)で「出力しない」を選ぶ

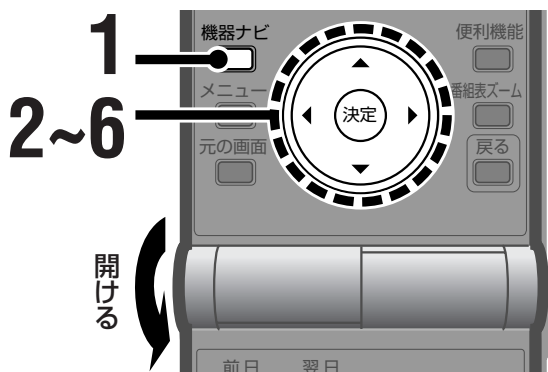
4 メニューボタンを押して終了する

ビデオリモートコントローラー(Irシステム)を設定する

本機とビデオデッキを連動させてアナログ録画予約をするために、ビデオリモートコントローラー(Irシステム)の設定をします。ビデオリモートコントローラー(Irシステム)からの信号を、ビデオデッキのリモコン信号に合わせます。

設定を始める前に

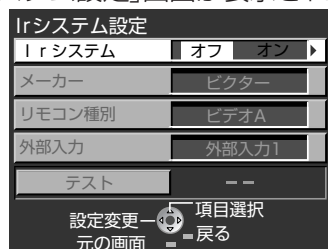
- ビデオリモートコントローラーを接続のうえ（☞157、160ページ）、ビデオデッキのリモコン受光部の下に設置します。（ビデオデッキの取扱説明書をご覧になって、リモコン受光部の位置をお確かめください。）

1 ビデオリモートコントローラーに付属の両面テープを張り付ける

2 ビデオリモートコントローラーを固定する

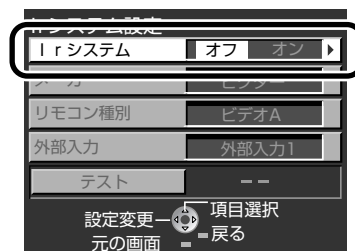
- 次のようにビデオデッキを準備します。
  －リモコンで操作できるように設定してください。（設定のあるビデオデッキのみ）
  －ビデオデッキの電源は切っておいてください。
- ビデオデッキが予約待機中や予約録画の実行中でないときに行ってください。

- **設定を途中でやり直すときは**
  戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

1 機器ナビボタンを押す

「機器ナビ」画面が表示されます。

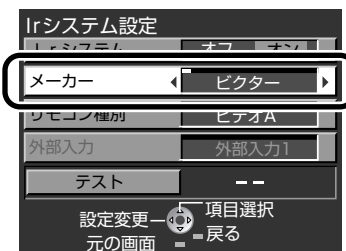
2 カーソルボタン(▲▼)を押して「Irシステム設定」を選び、決定ボタンを押す

「Irシステム設定」画面が表示されます。

3 「Irシステム」を「オン」にする

1）カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「Irシステム」を選ぶ

2）カーソルボタン(◀▶)を押して「オン」を選ぶ

4 ビデオデッキのメーカーを設定する

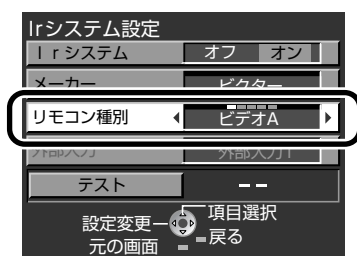
本機に接続しているビデオデッキのメーカーを設定します。

1）カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「メーカー」を選ぶ

2）カーソルボタン(◀▶)を押してお使いのビデオデッキのメーカー名を選ぶ

- 接続できるビデオデッキのメーカーは次のとおりです。
  ビクター・松下・東芝・三菱・三洋・シャープ・ソニー・日立・アイワ・NEC・パイオニア

5 リモコン信号の種類を設定する

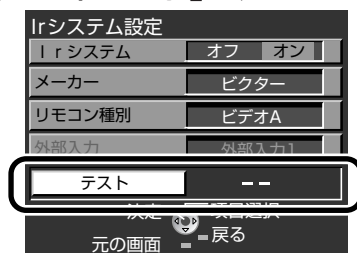
各メーカーとも複数のリモコン信号があります。お使いのビデオデッキが動作するリモコン信号に設定します。

1）カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「リモコン種別」を選ぶ

2）カーソルボタン(◀▶)を押してリモコン信号の種類を選ぶ

6 ビデオデッキの動作テストを行う

ビデオデッキの電源が「入/切」するかどうか、テストします。

1）カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「テスト」を選ぶ

Irシステム設定
Ｉｒシステム　オフ　オン
メーカー　ビクター
リモコン種別　ビデオA
外部入力　外部入力1
テスト　－－
元の画面　戻る

2）決定ボタンを押す

動作テストが開始されます。

テスト　送信中

テストを実行すると、ビデオデッキに電源「入/切」のリモコン信号をくり返し送ります。

ビデオデッキの電源が「入/切」したときは

ビデオリモートコントローラー(Irシステム)の設定は終了です。
決定ボタンを押してテストを終了します。

ビデオデッキの電源が「入/切」しないときは

手順5から6をくり返して、別のリモコン信号でテストしてください。

「Irシステム設定」画面を消すには

元の画面ボタンを押す

衛星デジタル放送に切り換わります。地上アナログ放送や外部入力をご覧になるときは選びなおしてください。

お知らせ

「メーカー」の設定によっては「リモコン種別」で「DVDレコーダ」が選べます。
DVDレコーダーを接続しているときは「DVDレコーダ」の中から機器が動作するリモコン信号を選んでください。

ご注意

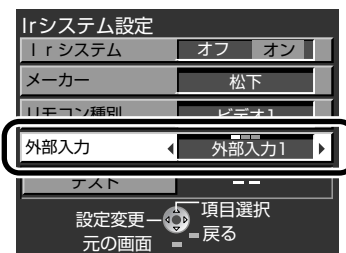
- 「Irシステム」が「オフ」のときは、「Irシステム設定」画面の他の項目を選べません。
- 他のリモコン信号でテストを行っても録画機器の電源が「入/切」しないときは、以下のことを行ってください。
  - 録画機器が録画機器のリモコンで電源の「入/切」ができるかどうか確認してください。
  - ビデオリモートコントローラー(Irシステム)の接続と設置を確認してください。
  - 録画機器がテストのリモコン信号を受け付けないときは、「Irシステム」を「オフ」にして、録画機器側で録画予約を行ってください。
- 一部のメーカーのビデオデッキには動作しないものもあります。

タイマー予約録画をするときは

松下社製の録画機器でタイマー予約録画(☞109ページ)をするには、録画機器の外部入力を指定する必要があります。
「メーカー」および「リモコン種別」が次の設定のときのみ設定できます。

「メーカー」：　「松下」
「リモコン種別」：　「ビデオ1～3」または「DVDレコーダー1～3」

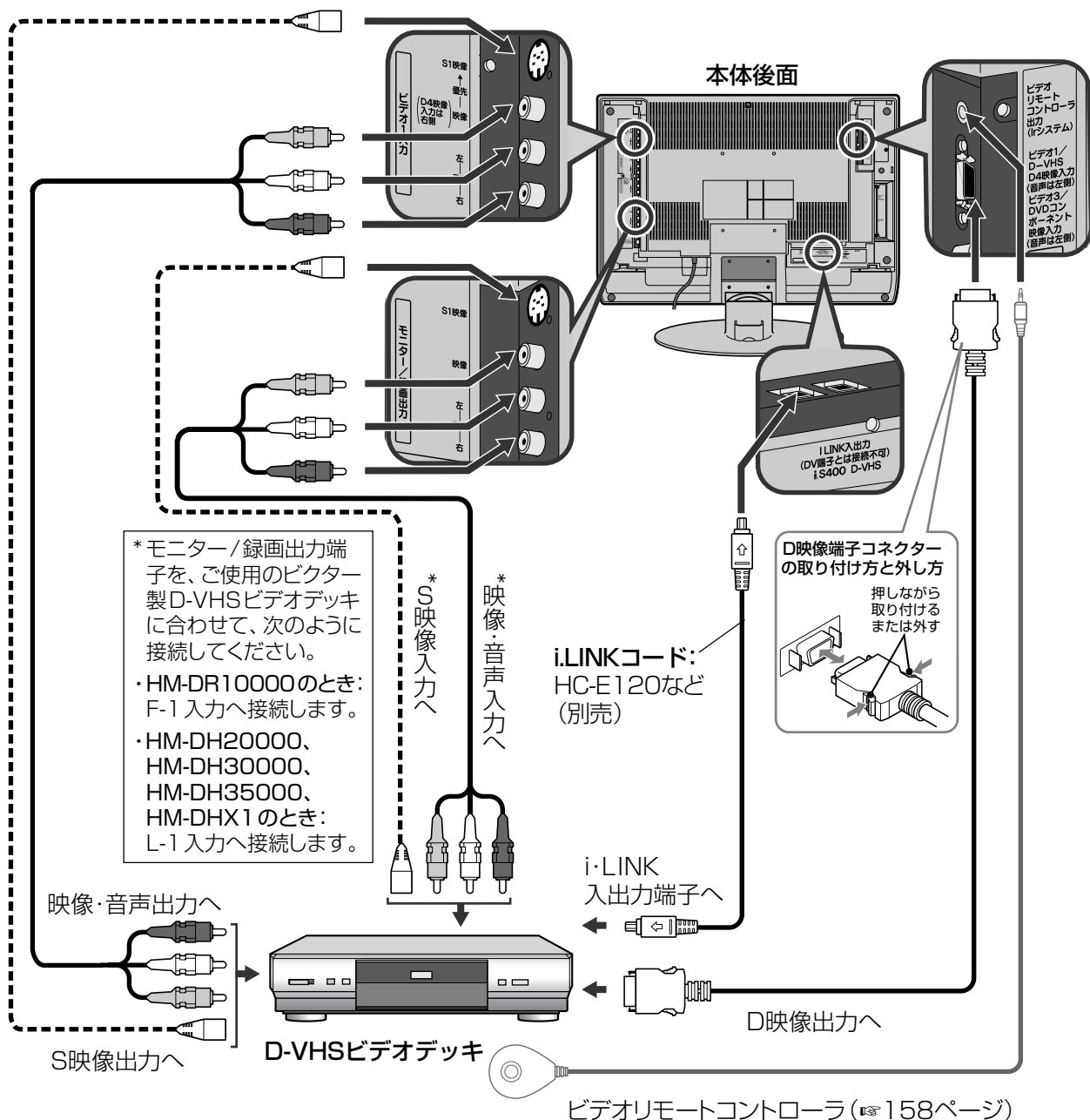
1 ビデオリモートコントローラー(Irシステム)の設定を行い、「メーカー」と「リモコン種別」をお使いの録画機器(松下社製)に合わせて設定する

2 カーソルボタン(▲▼)を押して「外部入力」を選ぶ

3 カーソルボタン(◀▶)を押して、録画機器の外部入力の番号を選ぶ

本機との接続に使用している録画機器の外部入力を選びます。

D-VHSビデオデッキをつなぐ

i.LINKコードを接続するだけで使用できます。
接続が終わったら、163ページの「i.LINK対応機器の確認と設定をする」を必ず行ってください。

お知らせ
- VHF/UHFアンテナはビデオデッキ経由で本機につなぎます。「準備する」の「ビデオデッキをつなぐ」（☞24ページ）をご覧ください。
- i.LINKコード以外の接続は必要に応じて行ってください。
- 本機のi.LINK接続が可能なビクター製品には次のようなものがあります。
  D-VHSビデオデッキ：HM-DR10000、HM-DH20000、HM-DH30000、HM-DH35000、HM-DHX1
- 複数のD-VHSビデオデッキをi.LINK接続するときは、「i.LINKでつなぐ」（☞162ページ）をご覧ください。
- コードをつなぐときは、カバーを外してください。（☞21ページ）

ご注意
- i.LINKコードはS400の規格に対応したものをご使用ください。S400の規格の表示のないi.LINKコードは使用できません。
- HM-DR10000、HM-DH20000（ビクター製D-VHSビデオデッキ）をご使用の場合：
  D映像端子からのビデオデッキ側のメニュー画面が出力されません。
  D4映像入力端子に接続した場合は、映像コードを「ビデオ2」または「ビデオ3」の映像入力端子に接続してください。ビデオデッキの メニュー画面を使って操作するには、入力切換ボタンをくり返し押して、「ビデオ2」または「ビデオ3」を選びます。
  詳しくは、お使いのD-VHSビデオデッキの取扱説明書をご覧ください。

番組を見ながら録画する

番組を見ながら録画することもできます。ただし、操作画面なども録画されます。
操作画面を録画したくない場合は録画予約（☞101、105ページ）をされることをおすすめします。

デジタル録画した衛星デジタル放送を見る

デジタル録画した衛星デジタル放送の再生はi.LINK接続で行います。i.LINKコードの接続と設定を確認してください。（☞163ページ）

- お買い上げ時は、D-VHSビデオデッキの再生を始めると、自動的にi.LINK入力に切り換わるように設定されています。（☞「i.LINK自動切換を設定する」）

1 **D-VHSビデオデッキの再生を始める**
自動的に「i －1」または「i －2」に切り換わります。

お知らせ

- 「i.LINK自動切換」で「設定しない」を選んでいるときは、入力切換ボタンをくり返し押して「i －1」もしくは「i －2」を選んでください。
- 「機器操作」画面からD-VHSビデオデッキを操作することもできます。（☞166ページ）
- i.LINK接続したD-VHSビデオデッキが「i －1」、「i －2」のどちらに割り当てられるかは、「i.LINK接続設定」の「機器名」によります。（☞163ページ）
- 入力切換ボタンをくり返し押して「ビデオ1」に切り換えても、再生映像をご覧になれます。

デジタル録画したデータ放送を見る

連動型データ放送を見るとき

再生中にデータ放送ボタンを押すと、データ放送の画面が表示されます。実際の放送をご覧になっているときとほぼ同様に、データ放送の操作ができます。（☞60、61ページ）

独立型データ放送を見るとき

実際の放送をご覧になっているときとほぼ同様に、データ放送の操作ができます。（☞61ページ）
（双方向サービスなど、一部操作が制限される場合があります。）

VHS/S-VHS（アナログ）テープを見る

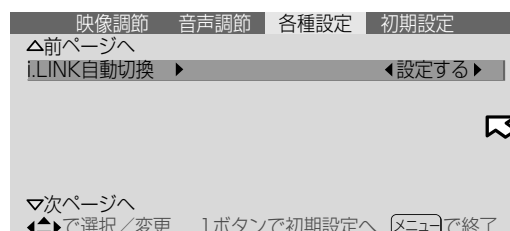
入力切換ボタンをくり返し押して「ビデオ1」を選ぶ

- 外部入力の表示名を変更した場合（☞171ページ）は、変更した表示名をお選びください。
- HM-DHX1をご使用の場合は、i.LINK入力（i －1またはi －2）に切り換えてもご覧になれます。

i.LINK自動切換を設定する

D-VHSビデオデッキの再生を始めると自動的にi.LINK入力に切り換えるかどうかを設定できます。

1 **メニューボタンを押す**

2 **カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して「各種設定」メニューの「i.LINK自動切換」を選ぶ**

- 「各種設定」メニューは3ページ構成です。
  上記の画面イラストは3ページ目です。

3 **カーソルボタン（◀▶）を押して設定する**

設定する
i.LINK接続した機器の再生を始めた場合、自動的に「i －1」もしくは「i －2」に入力が切り換わります。

設定しない
i.LINK接続した機器を操作したあと、入力切換ボタンをくり返し押して「i －1」もしくは「i －2」を選びます。

4 **メニューボタンを押して終了する**

ご注意

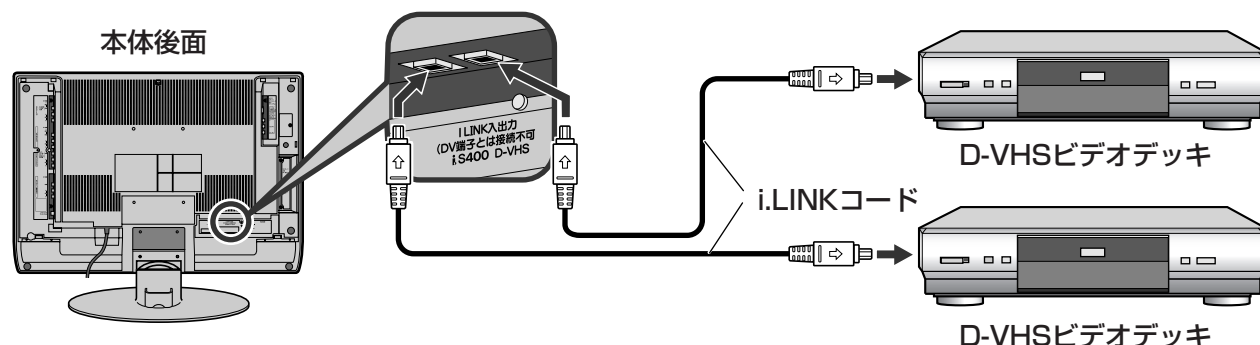
- MPEG2 AACデコード機能のないD-VHSビデオデッキでは衛星デジタル放送の音声の再生ができません。本機にi.LINK入力をして再生します。
- モニター/録画出力端子のS1映像端子から地上アナログ放送は出力されません。i.LINK接続した録画機器で地上アナログ放送を録画する場合には、S映像コードを接続せずに、映像･音声コードのみ接続して録画してください。
- 番組を見ながら録画しているときに、番組表などを表示させるとビデオテープに記録された映像や音声が乱れることがあります。

i.LINK(アイリンク)でつなぐ

i.LINKについて

i.LINK端子を持つ機器同士を1本のi.LINKケーブルで接続するだけで、デジタル信号(本機では衛星デジタル放送の映像・音声・データ放送)を双方向でやりとりできます。また他の機器を中継していても、直接接続しているときと同じようにやりとりできます。そのため順序を気にせずに、複数の機器を接続できます。

接続例

(「D-VHSビデオデッキをつなぐ」☞160ページもご覧ください)

お知らせ

- 録画/再生や相手機器の操作を行うには、相手機器を指定する操作が必要です。(☞163ページ)
- i.LINKは、国際標準化規格「IEEE1394-1995」およびその拡張仕様を示す呼称です。
  i.LINKとi.LINKのロゴ「i」はソニー株式会社の商標です。

i.LINKで接続するときのご注意

- i.LINKコードはS400の規格に対応したものをご使用ください。S400の規格の表示のないものは使用できません。
- i.LINK対応機器を接続するときは、各機器がループ状(閉じた輪)にならないように接続します。

- i.LINK接続しているすべての機器の電源プラグはいつも差し込んだままにしてください。
  またi.LINK接続での操作を行っているときは、i.LINKコードを抜き差ししないでください。
- あまり多くの機器を同時に接続すると、機器同士の相性などにより思わぬ動作をする場合がありますので、D-VHSビデオデッキ以外は接続しないでください。
- パソコンやパソコン周辺機器を接続していると誤作動を起こす場合があります。
- 本機のi.LINK端子で扱えるデータは、衛星デジタル放送の映像、音声、データ放送の信号です。デジタルビデオカメラなどのDVデータやパソコン用のデータには対応していません。

i.LINK対応機器の確認と設定をする

i.LINK接続した録画機器で、デジタル録画/再生や本機からの操作を行うには、「i.LINK接続設定」で「使用」を「する」に設定する必要があります。下記をご覧になって、正しく設定してください。

お知らせ

録画をするには録画機器側のi.LINK入力設定が必要です。必ず設定を行ってください。設定や操作方法は録画機器の取扱説明書をお読みください。

「i.LINK接続設定」画面の項目について

機器名

i.LINK接続されている機器の名称です。

- 番号は接続した順番です。
- 複数のi.LINK対応機器を接続している場合、番号の小さい機器から順に「i −1」入力、「i −2」入力に割り当てられます。

メーカー名

i.LINK接続されている機器のメーカー名です。

- 本機で認識できないときは「不明」と表示されます。

機種名

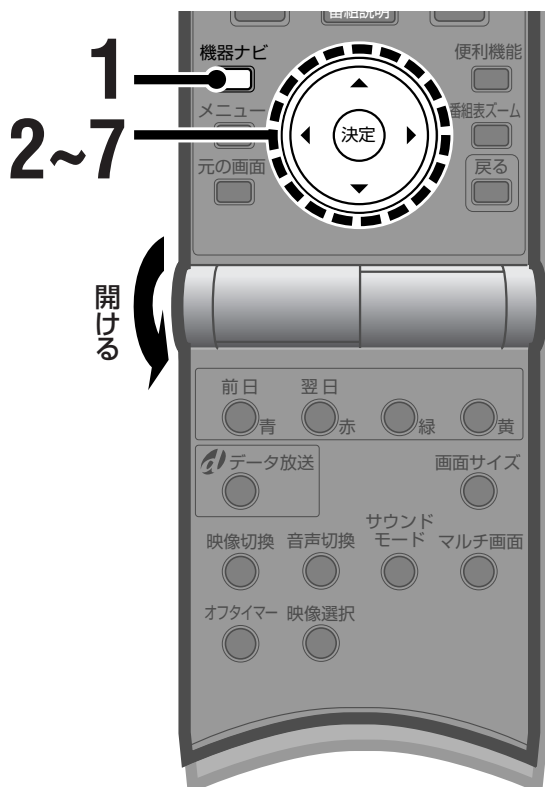
i.LINK接続されている機器の機種名です。

- 本機で認識できないときは「不明」と表示されます。

接続状態

「オン」：電源「入り」の状態で接続されています。
「オフ」：i.LINKで制御できる電源「切り」の状態で接続されています。
「未接続」：i.LINKで制御できない電源「切り」の状態で接続されています。または、一度接続されたが現在は接続されていない状態です。
「予約」：予約録画の待機状態です。
「不明」：i.LINKで制御できない機器または「使用」を「しない」に設定している機器です。

使用

「する」：本機で録画/再生または操作できます。
「しない」：本機で録画/再生または操作できません。
「不可」：本機でi.LINKでの制御ができない機器です。

- **設定を途中でやり直すときは**
  戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

1 機器ナビボタンを押す

「機器ナビ」画面が表示されます。

2 カーソルボタン(▲▼)を押して「i.LINK接続設定」を選び、決定ボタンを押す

「i.LINK接続設定」画面が表示されます。

- 画面の左側には衛星デジタル放送の映像が表示されます。

➡次のページへ

i.LINK対応機器の確認と設定をする(つづき)

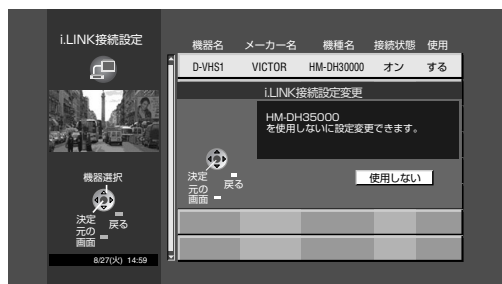
3 接続しているi.LINK機器を確認する

- 各項目の内容については163ページをご覧ください。

- **i.LINK対応機器の設定を変更するときは**
  →手順4へ
- **設定を変更しないときは**
  元の画面ボタンを押す
  衛星デジタル放送に切り換わります。地上アナログ放送や外部入力をご覧になるときは選びなおしてください。

4 カーソルボタン(▲▼)を押して設定を変更する機器を選ぶ

5 決定ボタンを押す

「i.LINK接続設定変更」画面が表示されます。

6 カーソルボタン(◀▶)を押して設定項目を選ぶ

使用する

本機で録画/再生や操作をする場合に選びます。

- 「使用しない」に設定されているときのみ表示されます。
- すでに2台のi.LINK対応機器が「使用する」に設定されているときは、さらに他の機器を「使用する」に設定できません。

使用しない

本機で録画/再生や操作をしない場合に選びます。

- 「使用する」に設定されているときのみ表示されます。

削除する

この機器を「i.LINK接続設定」画面から削除します。

- 「接続状態」が「未接続」の場合のみ表示されます。

7 決定ボタンを押す

「i.LINK接続設定変更」画面が消えます。

「i.LINK接続設定」画面を消すには

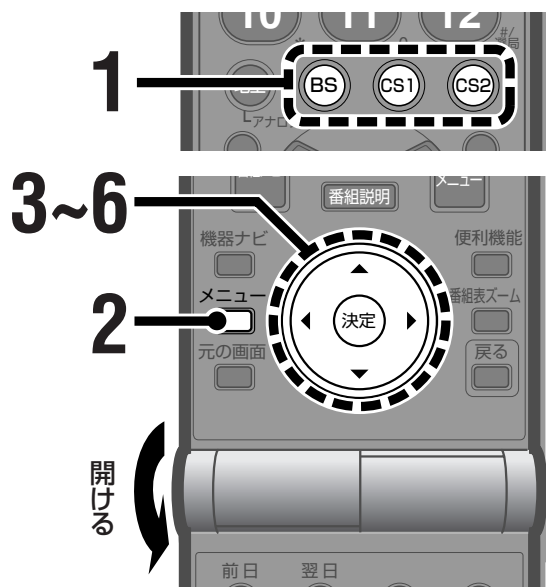
元の画面ボタンを押す
衛星デジタル放送に切り換わります。地上アナログ放送や外部入力をご覧になるときは選びなおしてください。

お知らせ

本機で設定できるi.LINK対応機器はD-VHSビデオデッキ2台までです。

i.LINK待機を設定する

本機は、電源が「切」のときでもi.LINK接続した機器からの制御やデータの中継ができるように設定できます。

お知らせ
- 番組表から録画予約を行った場合は、「i.LINK待機」を「する」に設定してください。
- i.LINK接続している機器がないときは、「しない」に設定してください。待機時の消費電力を抑えることができます。

- **メニュー画面を切り換えるには**
  メニューを表示中に1ボタン(チャンネル数字ボタン)を押すと、各メニュー画面を切り換えることができます。
- **設定を途中でやり直すときは**
  戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

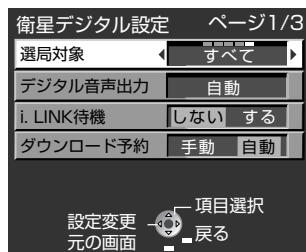
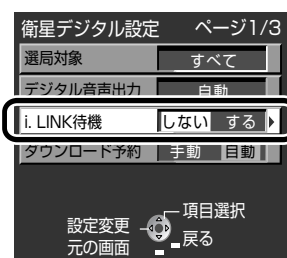
1 BS、CS1、またはCS2ボタンを押して、衛星デジタル放送に切り換える

2 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

3 カーソルボタン(▲▼) をくり返し押して「初期設定」メニューの「衛星デジタル設定」を選ぶ

4 カーソルボタン(◀▶)を押す

「衛星デジタル設定」画面が表示されます。

5 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「i.LINK待機」を選ぶ

6 カーソルボタン(◀▶)を押して設定する

する

電源が「切」のとき、i.LINK接続した機器からの制御やデータの中継ができます。
i.LINK接続した機器から再生の信号を受け付けると、本機の電源が自動的に「入」になります。
- 「する」に設定すると、電源が「切」のときでも電源/機能待機ランプが赤く点灯します。

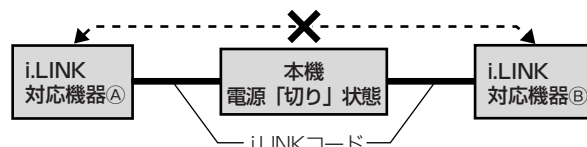
しない

電源が「切」のとき、i.LINK接続した機器からの操作の受け付けやデータの中継はできません。消費電力を抑えられます。

「衛星デジタル設定」画面を消すには
元の画面ボタンを押す

「しない」に設定すると

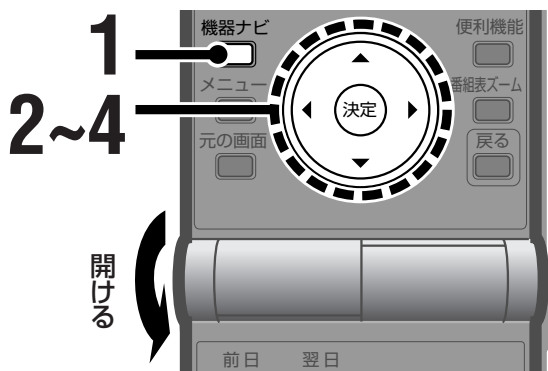
本機を中継して接続されているi.LINK対応機器の間で、制御やデータの中継はできません。
データのやりとりや相手機器の操作を行うときは、「i.LINK待機」を「する」に設定してください。

Ⓐ Ⓑ間で信号やデータのやりとりができない。

ご注意

電源プラグを抜いて電源を「切」にしたときは、「する」に設定していても、i.LINK接続した機器からの操作は受け付けません。電源を切るときはリモコンまたは本体の電源ボタンで切ってください。

i.LINK接続した機器を操作する

本機では、i.LINK接続したD-VHSビデオデッキの基本的な操作ができます。
画面に表示された操作パネルを使って、現在見ている衛星デジタル放送の番組をデジタル録画したり、デジタル録画したD-VHSテープを見ることができます。

お知らせ
- D-VHSビデオデッキが「i.LINK接続設定」で「使用」を「する」に設定されているかどうか確認してください。（☞163ページ）
- D-VHSビデオデッキの取扱説明書をご覧になり、D-VHSビデオデッキをi.LINKでの操作を受け付ける状態に設定してください。

- **元の画面に戻るには**
  元の画面ボタンを押します。メニューや操作画面が消えます。

1 機器ナビボタンを押す

「機器ナビ」画面が表示されます。

2 カーソルボタン（▲▼）を押して「機器操作」を選び、決定ボタンを押す

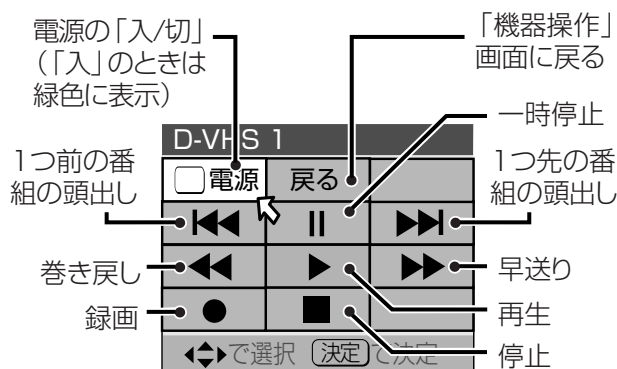
「機器操作」画面が表示されます。

「i.LINK接続設定」の「機器名」（☞163ページ）

3 カーソルボタン（▲▼）を押して操作したいD-VHSビデオデッキを選び、決定ボタンを押す

操作パネル*が表示されます。

4 カーソルボタン（◀▶▲▼）を押して操作したいボタンを選び、決定ボタンを押す

操作パネルを消すには
元の画面ボタンを押す

お知らせ
- 「i.LINK自動切換」を「設定する」にしているときは、再生を始めると自動的に「i －1」または「i －2」に切り換わります。（☞161ページ）
- 操作中は本機の機能が一部使用できなくなります。

ご注意
- i.LINKコードが接続されていても、「i.LINK接続設定」で「使用」を「する」に設定されていないと、「機器操作」画面は表示できません。（☞163ページ）
- 予約実行中のD-VHSビデオデッキは操作できません。
- 2台のD-VHSビデオデッキをi.LINK接続している場合、1台が本機からの信号を録画しているときはもう1台を操作することはできません。

衛星デジタル放送を録画するには

操作パネルから衛星デジタル放送を録画するときは、次のように行います。

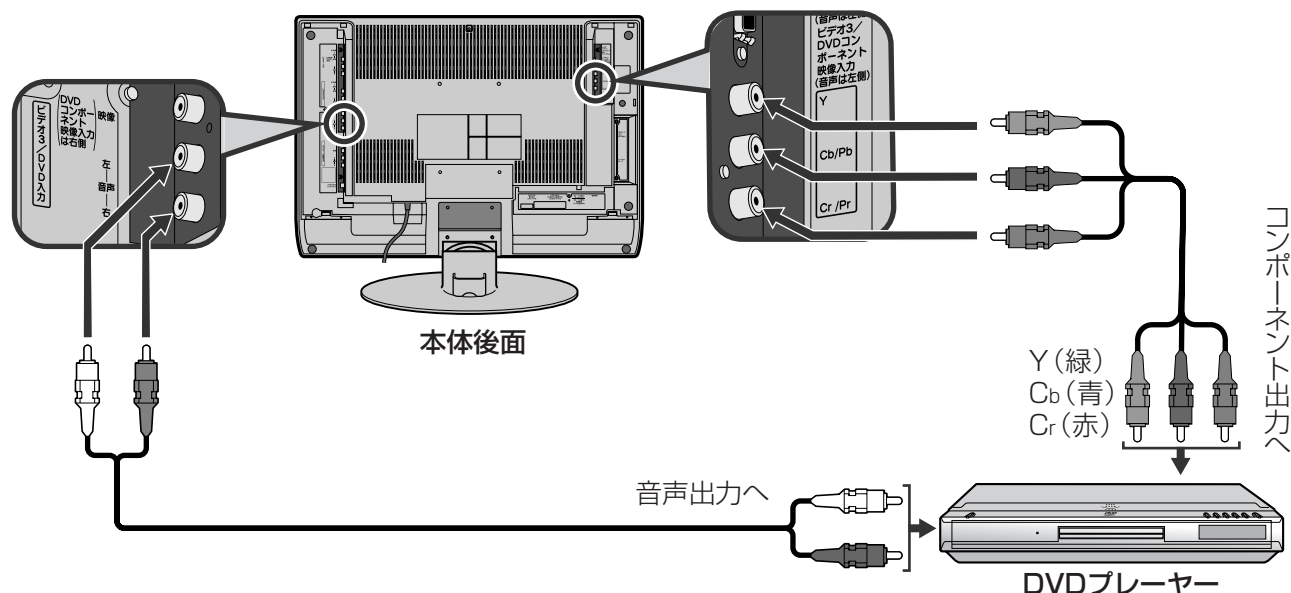
1. **録画したい衛星デジタル放送のチャンネルを選ぶ**
2. **操作パネルを表示させる**
3. **カーソルボタン（◀▶▲▼）を押して「●（録画）」を選び、決定ボタンを押す**
   録画が開始されます。

ご注意
大切な番組は録画予約の操作を行って録画してください（☞101、105ページ）。録画予約の操作をしていない場合、番組ナビや番組表などの操作を行うとこれらの画面も録画されます。

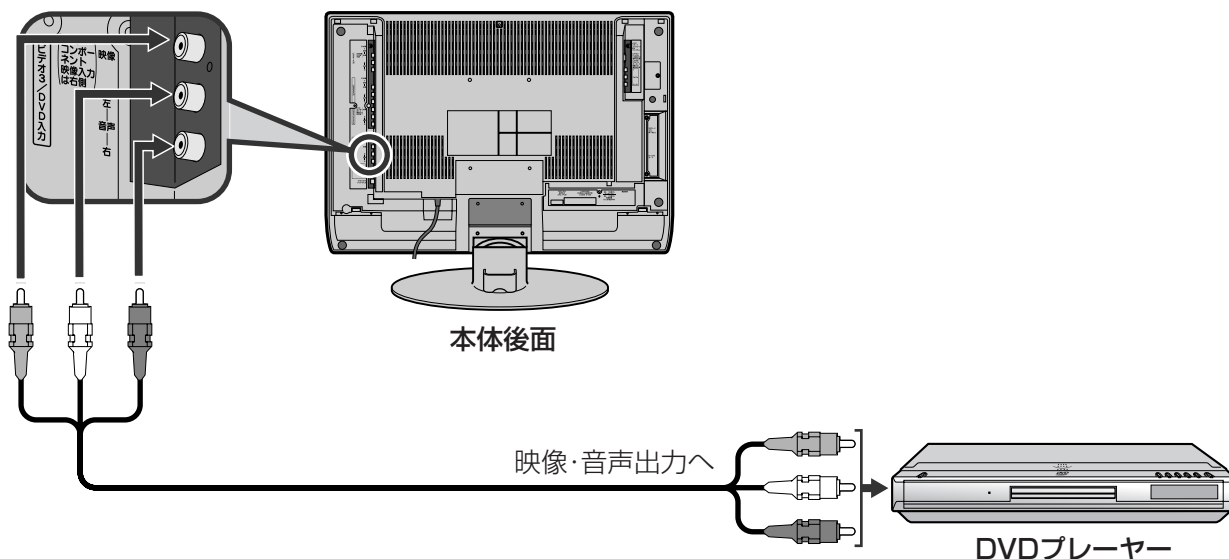
DVDプレーヤーをつなぐ

コンポーネント映像出力端子付きのDVDプレーヤーをつなぐ

お知らせ

- DVDプレーヤーの映像出力端子がD映像端子のときは、片端がDコネクターのコード(VX-D210など)をお使いください。
- コードをつなぐときは、カバーを外してください。(☞21ページ)

コンポーネント映像出力端子のないDVDプレーヤーをつなぐ

お知らせ

- コードをつなぐときは、カバーを外してください。(☞21ページ)

接続が終わったら

DVDプレーヤーのマルチアスペクト(画面サイズ)をワイド画面(画面サイズ16:9)用の設定にしてください。詳しくは、お手持ちのDVDプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

DVDを見る

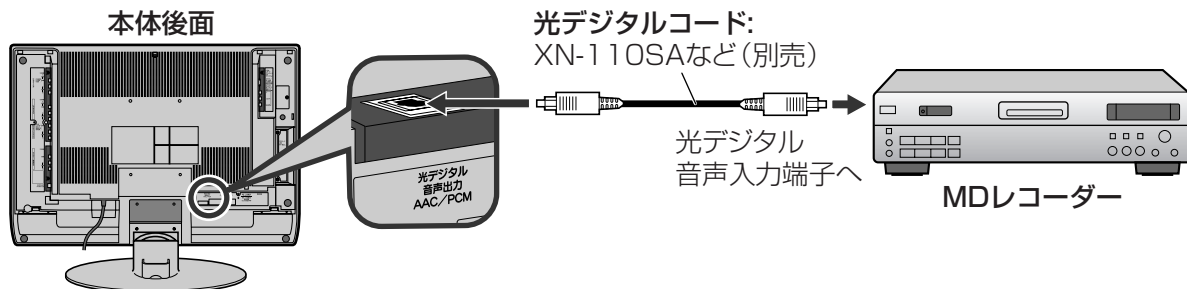
入力切換ボタンをくり返し押して「ビデオ3」を選ぶ

- 外部入力の表示名を変更した場合(☞171ページ)は、変更した表示名をお選びください。

オーディオ機器をつなぐ

MDレコーダーをつなぐ

衛星デジタル放送のデジタル音声をデジタル録音できます。

お知らせ
- サンプリングレートコンバーターを内蔵しているMDレコーダーをお使いください。
  お手持ちのMDレコーダーがサンプリングレートコンバーターを内蔵しているかどうかはMDレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

サンプリングレートコンバーターについて

本機は、3つのサンプリング周波数(32kHz、44.1kHz、48kHz)を使用しています。しかし、MDレコーダーには44.1kHzのサンプリング周波数でしか録音できません。そこで、32kHzや、48kHzのサンプリング周波数のデジタル音声を録音するためにはそれらのサンプリング周波数を44.1kHzに変換する必要があります。
その変換機能をサンプリングレートコンバーターといいます。

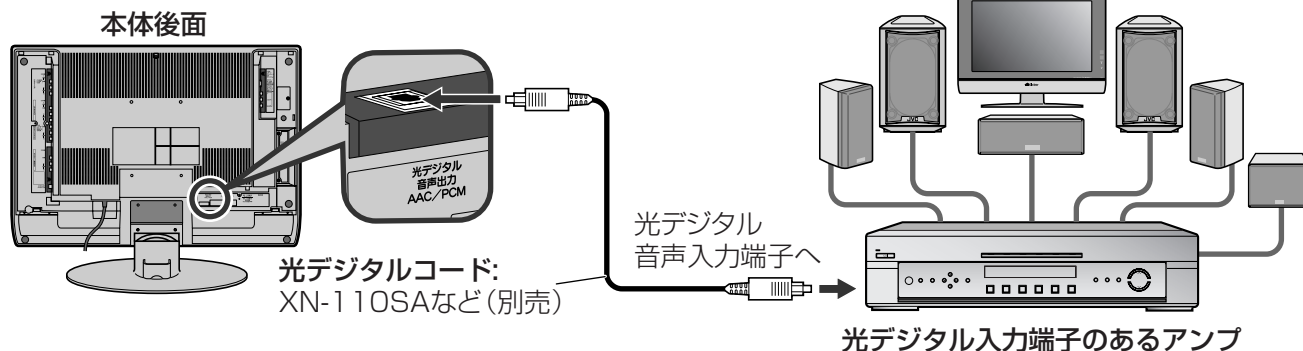
接続が終わったら

「衛星デジタル設定」の「デジタル音声出力」を「PCM」に設定してください。(☞169ページ)

ご注意
- デジタルコピーガードがかかっている番組は、接続しているオーディオ機器で録音できない場合があります。
- 録音中に番組表などを表示させると、MDに録音された音声が乱れることがあります。

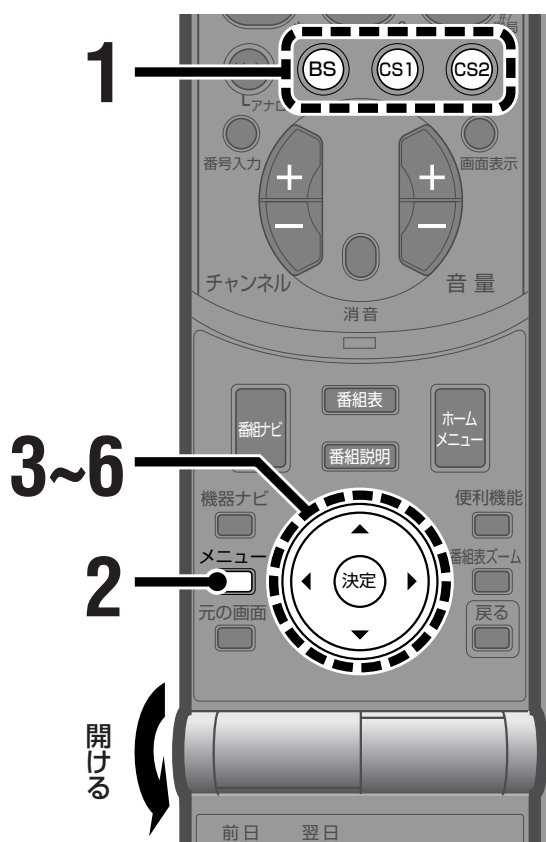
アンプやスピーカーをつなぐ

MPEG2 AACデコーダー内蔵のアンプを接続すると、衛星デジタル放送の5.1chサラウンド音声もお楽しみいただけます。

お知らせ
- 本機の音量を「0」にして、アンプで音量を調節してください。

接続が終わったら

「衛星デジタル設定」の「デジタル音声出力」を「AAC」に設定してください。(☞169ページ)

光デジタル音声出力端子の出力信号を設定する

接続している機器にあわせて、光デジタル音声信号を設定します。

- **メニュー画面を切り換えるには**
  メニューを表示中に1ボタン（チャンネル数字ボタン）を押すと、各メニュー画面を切り換えることができます。
- **設定を途中でやり直すには**
  戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

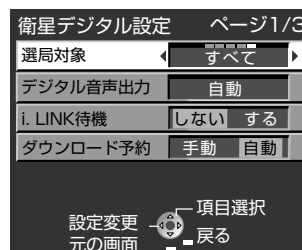
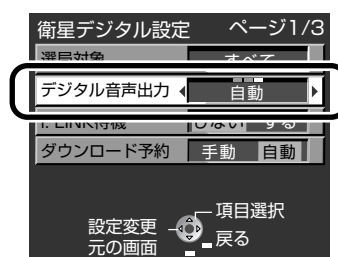
1 BS、CS1、またはCS2ボタンを押して衛星デジタル放送に切り換える

2 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

3 カーソルボタン（▲▼）をくり返し押して「初期設定」メニューの「衛星デジタル設定」を選ぶ

4 カーソルボタン（◀▶）を押す

「衛星デジタル設定」画面が表示されます。

5 カーソルボタン（▲▼）を押して「デジタル音声出力」を選ぶ

6 カーソルボタン（◀▶）を押して設定する

PCM
MDレコーダーでデジタル録音するときに選びます。

AAC
MPEG2 AACデコーダー内蔵アンプをつないでいるときに選びます。

自動
サラウンド音声の番組の場合のみ自動的に「AAC」に切り換わります。

「衛星デジタル設定」画面を消すには
元の画面ボタンを押す

お知らせ
本機の光デジタル音声出力端子から出力されるデジタル音声信号は、次のとおりです。

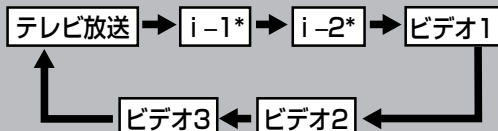
光デジタル音声出力端子から出力される放送と入力信号	光デジタル音声出力端子から出力されない放送と入力信号
・BSデジタル放送 ・110度CSデジタル放送（CS1、CS2） ・i−1入力からの信号 ・i−2入力からの信号	・地上アナログ放送 ・ビデオ1入力からの信号 ・ビデオ2入力からの信号 ・ビデオ3入力からの信号

つないだ機器の映像を見る

外部機器の映像を見るときは、機器をつないだ外部入力に切り換えます。

入力を切り換える

入力切換ボタンを押す

設定画面が表示されます。
押すたびに、入力が次のように切り換わります。

入力切換
8
i －1
i －2
ビデオ1
ビデオ2
ビデオ3

* 「i －1」および「i －2」はi.LINK入力です。D-VHSビデオデッキなどのi.LINK対応機器をi.LINK接続しているときのみ選べます。（☞162ページ）

しばらくすると、設定画面が消えます。

お知らせ

- i.LINK接続したD-VHSビデオデッキが「i －1」、「i －2」のどちらに割り当てられるかは、「i.LINK接続設定」の「機器名」によります。（☞163ページ）
- 外部入力の表示名を変更するときや使用していない外部入力をスキップしたいときは、「機器に合わせて入力表示を変更する」（☞171ページ）をご覧ください。

外部入力を直接選ぶ

入力切換ボタンを押してから、チャンネル数字ボタン（1.から3.）を押す

選んだ外部入力（ビデオ1からビデオ3）に切り換わります。

外部入力名を画面に表示する

画面表示ボタンを押す

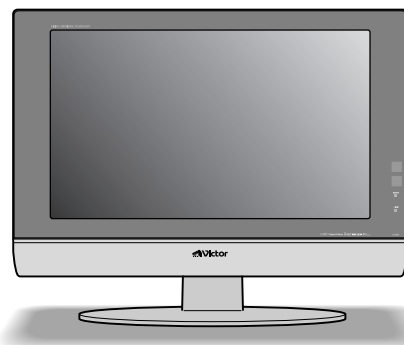
設定画面が表示されます。
押すたびに「入力表示」と「表示なし」が切り換わります。

画面表示
入力表示
表示なし

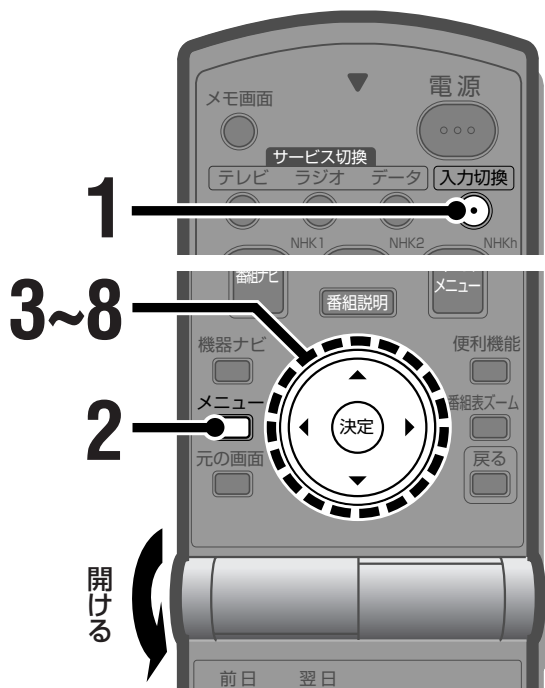
入力表示
画面右上に外部入力名を表示します。

表示なし
外部入力を切り換えたとき、一定のあいだ外部入力名を表示します。

しばらくすると、設定画面が消えます。

ご注意
映像が映っていないとき（無信号）は、本機の電源が入っていることを示すため、表示を消すことはできません。

機器に合わせて入力表示を変更する

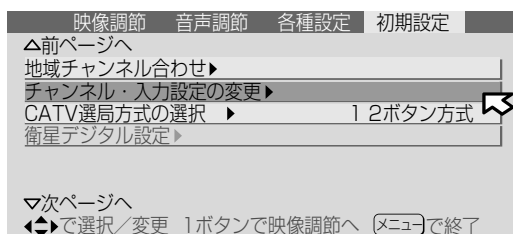
本機の外部入力端子(ビデオ1からビデオ3)につないだ機器に合わせて、画面に表示される外部入力名を変更したり、使用していない外部入力を選ばないようにスキップさせせることができます。

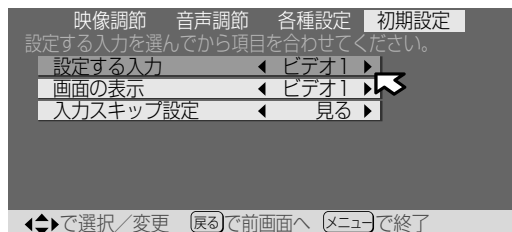
ご注意
• 「i －1」、「i －2」の設定を変更することはできません。

• **メニュー画面を切り換えるには**
メニューを表示中に1ボタン(チャンネル数字ボタン)を押すと、各メニュー画面を切り換えることができます。
• **設定を途中でやり直すには**
戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

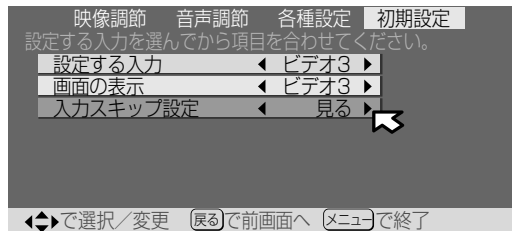
1 入力切換ボタンをくり返し押して外部入力(ビデオ1からビデオ3)に切り換える

2 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

3 カーソルボタン(▲▼)をくり返し押して「初期設定」メニューの「チャンネル・入力設定の変更」を選ぶ

4 カーソルボタン(◀▶)を押す

設定画面に切り換わります。

5 カーソルボタン(◀▶)を押して「設定する入力」から設定を変更する外部入力名を選ぶ

6 カーソルボタン(▲▼)を押して設定を変更する項目を選ぶ

設定する入力
設定を変更する外部入力名を選びます。
(ビデオ1、ビデオ2、ビデオ3)

画面の表示
画面に表示される外部入力名を選びます。
(ビデオ1～3、VTR1、VTR2、DVD、BSデジタル、CSデジタル、BS/CS、ムービー、ゲーム)

入力スキップ設定
リモコンの入力切換ボタンでその外部入力を選べるようにするかしないかを設定します。
使用していない外部入力をスキップしたいときは、「見ない」を選びます。

7 カーソルボタン(◀▶)を押して設定を変更する

8 他の外部入力の設定も変更するときは、カーソルボタン(▲▼)を押して「設定する入力」を選び、手順5から手順7をくり返す

設定画面を消すには
メニューボタンを押す

こまったときは

故障かな？と思ったら－症状とその原因と対処方法

修理をご依頼される前に、もう一度次の点を確認してください。それでも不具合や異常があるときは、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんなときは故障ではありません

本機は、マイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。本機が正常に操作できなくなった場合は、一度電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、改めてコンセントに差し込み、電源を入れて操作してください。

- ディスプレイパネルに手を触れると弱い電気を感じることがありますが、これはディスプレイパネルが静電気を帯びているためで、人体に影響はありません。
- 本体の天面や背面の一部は温度が高くなっておりますが、品質、性能には異常はありません。
- 部屋の温度変化により、本機から「ミシッ」という音がすることがあります。画面や音声に異常がなければ心配はありません。
- ディスプレイの内部から動作音が聞こえる場合がありますが、画面や音声に異常がなければ心配ありません。

Q 症 状	A 原因と対処（参照ページ）
●電源が入らない ●リモコンで操作できない	■ 電源プラグがはずれていませんか？（☞28ページ） ■ リモコンの電源ボタンを押したときにリモコン上部の操作ランプが暗かったり、点滅しなければ、電池の消耗が考えられます。電池を交換してください。（☞28ページ）
●正常に動作しない ●本体もリモコンも操作できなくなった	■ 本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。本機が正常に操作できなくなったときは、一度電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、あらためてコンセントに差し込み、電源を入れてください。
●地上アナログ放送が映らない	■ アンテナは正しく接続されていますか？（☞22ページ） ■ チャンネル設定は済んでいますか？（☞29、45ページ）
●衛星デジタル放送が映らない	■ 受信設定は正しいですか？（☞35～43ページ） ■ 衛星アンテナはBS・110度CSデジタル放送対応ですか？BSデジタル放送または110度CSデジタル放送を受信するにはBS・110度CSデジタル放送対応の衛星アンテナが必要です。 ■ 衛星アンテナを衛星に向けて正しく設置しましたか？ ■ 衛星アンテナの前方に建物や樹木などの障害物はありませんか？ ■ 衛星アンテナの接続には衛星デジタル放送対応の同軸ケーブルや分配器を使用していますか？ ■ 大雨や雪が降っていませんか？大雨や雪が降っていると、衛星からの電波が弱くなり、映らないことがあります。また、衛星アンテナに着雪していると映らないことがあります。 ■ B-CASカードは入っていますか？（☞27ページ） ■ B-CASカードの向きは正しいですか？（☞27ページ） ■ 放送のない時間帯ではありませんか？ ■ 受信契約をしていないチャンネルではありませんか？（☞6ページ） ■ ペイ・パー・ビューのチャンネルではありませんか？（☞72ページ） ■ 電話回線の接続や設定は正しいですか？（☞25、37ページ）

Q 症　状	A 原因と対処(参照ページ)
●衛星デジタル放送が映らない	■ 110度CSデジタル放送だけが映らない場合、「CS受信選択」が「無効」になっていませんか？(☞43ページ)
●CATVが映らない	■ 受信契約はお済みですか？ ■ ケーブルは正しく接続されていますか？ ■ チャンネル＋／ーボタンで選べないときは、「＋ーボタン選局」の設定を「見る」にしてください。(☞49ページ)
●予約録画ができない	■ ビデオリモートコントローラー(Irシステム)の設定は正しいですか？(☞158ページ) ■ ビデオリモートコントローラー(Irシステム)の接続や設置は正しいですか？(☞158ページ) ■ ビデオデッキの入力切換は正しいですか？ ■ 録画予約の設定は正しいですか？(☞101～110ページ) ■ 録画できない番組ではありませんか？(☞104、110ページ) ■ D-VHSビデオデッキをi.LINK接続している場合、「i.LINK接続設定」は正しいですか？(☞163ページ)
●衛星デジタル放送の投票や申し込みができなくなった	■ 電話回線の接続や設定は正しいですか？(☞25、37ページ)
●2画面にならない	■ 左右の画面で同時に地上アナログ放送、または同時に衛星デジタル放送を見ることはできません。(☞132ページ) ■ 左右の画面に同じ外部入力の映像を映すことはできません。(☞132ページ) ■ 録画予約の実行中は2画面で表示できません。
●2画面のとき、衛星デジタル放送の操作ができない	■ 2画面の操作を優先させるため、一部を除き、衛星デジタル放送の操作を禁止しています。
●メモ画面(静止画)にならない	■ 2画面、番組一覧を表示中のときは静止画をご覧になることはできません。(☞132ページ)
●メニュー画面の項目が選べない	■ 文字が白抜きされている項目は、設定するための条件を満たしていないため選ぶことはできません。設定を見直ししてください。
●チャンネルを選ぶときの動作がおかしい	■ **地上アナログ放送のとき** CATVのチャンネル選局方式が「数字入力方式」に設定されているときは、地上アナログ放送のチャンネル選局も2桁入力になります。CATVをご覧にならないときは、CATVのチャンネル選局方式を「12ボタン方式」にしてください。(☞47ページ) ■ **衛星デジタル放送のとき** 衛星デジタル放送のチャンネルをチャンネル＋/－ボタンで選ぶとき、チャンネルは「衛星デジタル設定」の「選局対象」の設定にしたがって順番に表示され、設定にあてはまらないチャンネルは選べません。チャンネル＋/－ボタンで選べるチャンネルを変更したい場合は、設定を変更してください。(☞86ページ)

Q 症　状	A 原因と対処（参照ページ）
●設定画面が表示できない	■ 録画予約を実行しているとき（☞101、105ページ）は、「衛星デジタル設定」、「i.LINK接続設定」、「Irシステム設定」の各設定画面は表示できません。
●外部入力が選べない	■ 使用していない外部入力がスキップされているためです。「入力スキップ設定」を「見ない」から「見る」に変更します。（☞171ページ） ■ i.LINK入力（i －1、i －2）はi.LINK接続された機器がない場合、あるいは「i.LINK接続設定」が正しくない場合は選べません。（☞162、163ページ） ■ 「i.LINK自動切換」で「設定しない」が選ばれているときは、i.LINK接続された機器の再生を始めても、i.LINK入力（i －1、i －2）に自動では切り換わりません。 自動的にi.LINK入力（i －1、i －2）に切り換わるようにするには、「設定する」を選んでください。（☞161ページ）
●SDメモリーカードが再生できない	■ 本機で再生できるデータが記録されていますか？（☞142ページ） ■ 録画予約を実行しているとき（☞101、105ページ）はSDメモリーカードの再生はできません。
●電源を「切」にしたのに機能待機ランプが赤く光っている	■ 電源が「切」のときでも、録画予約の実行中などの場合は機能待機ランプが赤く点灯します。 ■ 「i.LINK待機」を「する」に設定している場合（☞165ページ）、電源が「切」のときでも機能待機ランプが赤く点灯します。
●録画予約の実行が終わったのに機能待機ランプが赤く光っている	■ 終了処理のため、数分間赤く点灯する場合があります。
●接続したAV機器からの映像、音声が出ない	■ AV機器は正しく接続されていますか。（☞154～168ページ） ■ 正しい外部入力を選んでいますか。（☞170ページ） ■ AV機器の電源は入っていますか。 ■ D-VHSビデオデッキをi.LINK接続している場合、「i.LINK接続設定」は正しいですか？（☞163ページ） ■ D-VHSモードで記録された内容が衛星デジタル放送の番組以外の場合は、D端子か、S映像端子、または映像端子を接続した入力に切り換えてご覧ください。
●映像が乱れる	■ 本機の近くで携帯電話を使用していませんか？2m以上離れて使用してください。
●色が出ない、おかしい	■ 色あいや色の濃さの調節がズレていませんか？映像調節をやり直してください。（☞119ページ） ■ 地上アナログ放送やCATVの場合は、受信周波数がズレていませんか？「チャンネル1～12ボタンの設定変更」で「受像微調整」をしてみてください。（☞46、49ページ）
●音が出ない	■ ヘッドホン端子にヘッドホンが差し込まれたままになっていませんか？ ■ 消音ボタンを押していませんか？（☞52、54ページ）

Q 症　状	A 原因と対処(参照ページ)
●音声が重なって聞こえる	■ 二重音声放送の音声が「主+副音声」になっていませんか？(☞75、124ページ)
●音声が切り換えられない	■ **地上アナログ放送のとき** モノラル放送やステレオ放送ではありませんか？(☞124ページ) ■ **衛星デジタル放送のとき** ・音声多重の番組ですか？(☞75ページ) ・複数の音声信号のある番組ですか？(☞75ページ)
●画面表示が消えない	■ 外部機器の映像が映っていますか？受信できるチャンネルを選んでいますか？ 入力信号がないときは強制的に表示され、消すことはできません。(☞170ページ)
●電源を切っているのに本体があたたかい	■ 電源を切っていても、一部の電気回路は動作しています。故障ではありません。
●突然電源が切れた	■ オフタイマーを設定していませんか？(☞138ページ) ■ 放送終了後に電源が切れたときは、無信号電源オートオフ機能が働いたためです。(☞139ページ) ■ テレビ消し忘れ防止を設定していませんか？(☞139ページ)
●テレビ上部や液晶パネル面の温度が高い	■ 性能品質上は問題ありません。本体の通風口をふさがないようご注意ください。
●映像が不安定なとき一瞬画面が白くなる	■ 液晶を駆動するための信号が欠落したときなどに発生します。故障ではありません。

以下のようなときは、アンテナの調整や妨害機器への対策などで症状が改善される場合もありますが、どうしても避けられないこともあります。

●雪が降っているような画面になる(スノーノイズ)・雑音が出る	■ アンテナは正しく接続されていますか。 ■ 屋外のアンテナ線が切れたり、はずれたりしていませんか。 ■ アンテナの向きが変わっていたり、壊れていたりしていませんか。
●画面にはん点が出る・雑音が出る(妨害)	■ ドライヤー・自動車・オートバイ・蛍光灯などの妨害電波の影響が考えられます。
●画面にしま模様が出る・雑音が出る(混信)	■ 無線局やパソコン・AV機器・電子レンジなどからの電波の混入が考えられます。

こんなメッセージが出たら

以下のメッセージが表示されたときは、原因欄をご確認いただいて、正しく操作または設定してください。

お願い： カスタマーセンターなどにお問い合わせになるときは、画面右下に表示されるメッセージ番号もお知らせください。

お知らせ

メッセージ欄の⊘マークは、操作禁止マークです。

一般操作/地上アナログ放送のとき

画面メッセージ	原因
⊘	• 2画面で衛星デジタル放送または外部入力を表示中に音声切換ボタンを押したとき。(☞75、124ページ) • 衛星デジタル放送のときに、番組一覧を表示しようとしたとき。(☞133ページ) • 番組一覧の表示中に音声切換ボタンを操作したとき。(☞133ページ) • ビデオ入力モードのときに音声を切り換えようとしたとき。(☞124ページ) • 525p、750pの映像を見ているときにナチュラルシネマを「入り」にしたとき。(☞134ページ)
音声調節の値をサウンドモード(ユーザー)に記憶しました。	音声の調節を行って、その設定値をユーザーモードに記憶させたとき。(☞127ページ)
この操作は2画面ではできません。	• 2画面の両画面に地上アナログ放送を映そうとしたとき。(☞131ページ) • 2画面の両画面に衛星デジタル放送を映そうとしたとき。(☞131ページ) • 2画面の両画面に同じビデオ入力を映そうとしたとき。(☞131ページ)
無信号のためまもなく電源が切れます。	無信号電源オートオフが働く3分前のとき。(無信号でなくなるまでメッセージは消えません。)(☞139ページ)
無操作のためまもなく電源が切れます。	テレビ消し忘れ防止機能を設定した状態で何も操作しない状態が3時間続き、電源が切れる3分前のとき。(何かのボタンが押されるかまたは電源が切れるまでメッセージは消えません。)(☞139ページ)

衛星デジタル放送のとき

画面メッセージ	原　因
B-CASカードを正しく挿入してください。	B-CASカードが入っていません。 B-CASカードを挿入してください。(☞27ページ)
このICカードは使用できません。 B-CASカスタマーセンターへ連絡してください。	B-CASカードに異常があります。カスタマーセンターにご連絡ください。
B-CASカードの交換が必要です。 B-CASカスタマーセンターへ連絡してください。	
このチャンネルは契約されていません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ連絡してください。	契約の確認、または新たな契約を行ってください。
このチャンネルはご覧いただけません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ連絡してください。	契約していないチャンネルを選んでいませんか？ 契約の確認、または新たな契約を行ってください。

画面メッセージ	原　因
契約期限が切れています。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ連絡してください。	契約を更新するか、または新たな契約を行ってください。
視聴条件によりご覧いただけません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ連絡してください。	契約を変更するか、または新たな契約を行ってください。
購入受け付け期間を終了しています。	購入しようしている番組の受付期限が切れてしまっています。他の番組を選んでください。
購入できません。電話の接続・設定を確認の上、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ連絡してください。	購入データがいっぱいになっています。電話回線を接続してデータを送信してください。(☞25、37、85ページ)
視聴できません。 視聴するには、決定ボタンを押してください。	有料番組の購入をしなかった場合などに表示されます。決定ボタンを押すと購入するための操作画面が表示されます。(☞72ページ)
アンテナとの接続に不具合があります。 接続をもう一度確認してください。	アンテナケーブルやコネクターが傷んでいる可能性がありますので点検してください。
受信できません。 アンテナの設定や調整を確認してください。	アンテナの設定や向きの調節が正しくされていない場合や、雨や雪などの気象条件により一時的に受信レベルが低下している場合、または放送されていないチャンネルを選んでいる場合に表示されます。(☞35ページ)
時刻の情報がありません。アンテナの設定や調整を確認してください。	本機は時間情報を衛星デジタル放送から取得しています。衛星放送をプログラム予約する場合は衛星アンテナの接続と設定を行ってください。(☞35ページ)
選局中です。 しばらくお待ちください。	選局動作中です。
現在、受信できません。	受信するデータに異常がある場合や、雨や雪などの気象条件により一時的に受信レベルが低下している場合に表示されます。 またはアンテナケーブルやコネクターに接触不良などがあります。(☞22ページ)
降雨対応放送に切り替わりました。	雨や雪などの気象条件により一時的に受信レベルが低下しています。またはアンテナケーブルやコネクターに接触不良などがあります。(☞22ページ)
現在、このチャンネルは放送を休止しています。	選んだチャンネルの放送は休止中です。別のチャンネルを選んでください。
このチャンネルは、受信機にデータを送るための放送です。	選んだチャンネルは蓄積放送のチャンネルです。別のチャンネルを選んでください。
放送サービスでないため、このチャンネルは視聴できません。	選んだチャンネルはBSまたは110度CSデジタル放送ではありません。別のチャンネルを選んでください。
緊急警告放送が開始されました。決定で選局、戻るで本メッセージを非表示にします。	緊急警告放送が始まっています。必ず確認するようにしてください。

i.LINK操作のとき

画面メッセージ	原　因
i.LINK接続による再生ができません。	i.LINK端子に入力されている信号を再生できない場合に表示されます。
i.LINK接続による再生ができません。 外部機器との接続・設定を確認してください。	i.LINKコードの接続や、i.LINK接続している機器との設定が正しくない場合に表示されます。接続や設定を確認してください。(☞162、163ページ)

アイコン一覧

本機はアイコン(各種の情報を簡単に表したマーク)によってさまざまな情報を表示します。主なアイコンとその内容は次のとおりです。

お知らせ

- 放送局から情報が送られてこない場合は､正しいアイコンを表示しない場合があります。
- 「デジタル1COPY」のアイコンが出ない番組でもi.LINKでのダビングができない場合があります。

	アイコン	内容	アイコン	内容
番組情報関連	テレビ	衛星テレビ放送(映像+音声)の番組	データ	衛星データ放送の番組
	+ⓓ テレビ	衛星テレビ放送(映像+音声)で番組に合わせた衛星データ放送を行っているテレビ連動データ放送の番組	+ⓓ ラジオ	衛星ラジオ放送で番組に合わせた衛星データ放送を行っているラジオ連動データ放送の番組
	モノラル	モノラル音声の番組	ステレオ	ステレオ音声の番組
	デジタル ×COPY	デジタルコピーガードがかかっている番組	アナログ ×COPY	アナログコピーガードがかかっている番組
	デジタル 1COPY	1回のみデジタルコピーが可能な番組	●●● 信号	映像、音声、データのいずれかを信号切り替えができる番組
	デジタル ×出力	i.LINK端子からデジタル信号を出力しない番組	アナログ ×出力	モニター出力端子から映像･音声信号を出力しない番組
		本機が電話回線を使用中の場合	主	二重音声信号があり「主」を選択している場合
	副	二重音声信号があり「副」を選択している場合	主+副	二重音声信号があり「主+副」を選択している場合
	予	予約している番組	臨時	臨時ニュースなどの予定外の番組
	ラジオ	衛星ラジオ放送の番組	字幕	番組の中の字幕(日本語／英語)の情報が含まれている番組
	ⓓ テレビ	衛星テレビ放送(映像+音声)で番組とは別の衛星データ放送を行っている番組	ⓓ ラジオ	衛星ラジオ放送で番組とは別の衛星データ放送を行っている番組
	16:9 480P	番組の映像信号情報 (上:アスペクト比、下:信号方式)	マルチ ビュー	マルチビュー放送の番組
	有料	有料の信号を含む番組 (ペイ･パー･ビュー番組)	無料	無料の番組
	視	「視聴」で予約している番組	録	「録画」で予約している番組
	20才~	視聴年齢制限がある番組(表示される年齢は4～20才まであります)		
メール関連		お客様がまだ読まれてないメール (未読メール)		お客様が既に読まれたメール (既読メール)
視聴制限関連	4 才~	視聴可能年齢の設定より高い年齢制限の番組を選んだ場合に「暗証番号入力」画面へ設定している視聴可能年齢が表示されます。	有料	一番組限度額の設定より高い金額の番組を選んだ場合に「暗証番号入力」画面へ表示されます。
予約一覧関連	視聴	予約方式が「視聴」の予約	録画	予約方式が「録画」の予約
	録画 Ir	「連動予約」「タイマー予約」で設定した「録画」の予約	録画 D-VHS	D-VHSビデオデッキで設定した「録画」の予約
	録画 i.LINK	外部のi-LINK機器から設定されている予約	¥	有料の番組 (ペイ･パー･ビューの番組)
	重複	予約時間が重なっており優先順位が低い予約	変更	予約した番組が放送開始時間を変更して予約が実行された番組
	済	予約の実行が予定通り終了した予約	実行中	現在、予約を実行している予約
	済 メール	予約の実行に問題が起こった予約 (メールで問題内容を確認できます。☞90ページ)	リレー	イベントリレー予約が実行された予約 (☞100、103、108ページ)
電話発信記録	i.LINK	i.LINK接続した機器から本機を通じて電話発信を行ったことを示します。		

用語解説

AAC
MPEG2の新しい音声方式。
衛星デジタル放送で標準に定められたデジタル音声方式です。「アドバンスド・オーディオ・コーディング」の略で、音声のビットレートを原音の約1/12まで圧縮。CD並みの音質でモノラルから5.1chサラウンドステレオまで聴くことができます。

B-CAS（ビーキャス）カード
視聴者の色々な情報を管理しているカード。

BS（ビーエス）デジタルチューナー
現行のハイビジョンテレビやBS放送受信機でBSデジタル放送を見るときに接続する機器。
本機はBSデジタルチューナーを内蔵しています。

BS（ビーエス）デジタル放送
2000年12月から開始された、すべてデジタル方式のBS放送。BSテレビ放送・BSラジオ放送・BSデータ放送があります。

BS（ビーエス）テレビ放送
BSデジタル放送の1つ。標準画質放送と、デジタルハイビジョン放送がある。マルチチャンネル放送、連動型データ放送といった特長があります。

BS（ビーエス）データ放送
BSデジタル放送の1つ。独立型データ放送と(番組)連動型データ放送があります。

BS（ビーエス）ラジオ放送
BSデジタル放送の1つ。音声だけではなく、データ放送形式で映像や、付加情報などがある番組も放送されています。

CS（シーエス）テレビ放送
CSデジタル放送の1つ。標準画質放送と、デジタルハイビジョン放送があります。マルチチャンネル放送、連動型データ放送といった特長があります。

CS（シーエス）データ放送
CSデジタル放送の1つ。独立型データ放送と（番組）連動型データ放送があります。

CS（シーエス）ラジオ放送
CSデジタル放送の1つ。音声だけではなく、データ放送型式で映像や、付加情報などがある番組も放送されています。

D（ディー）4映像端子
コンポーネント映像を1本のコードで接続できる端子。数字は扱える信号を意味しています。本機（D4）ではハイビジョン(1125i)・プログレッシブ(750p、525p)・従来の信号(525i)が扱えます。
対応信号は下記の通りです。

	映像信号フォーマット			
対応する映像出力	1125i	750p	525p	525i
D4	○	○	○	○
D3	○	―	○	○
D2	―	―	○	○
D1	―	―	―	○

i.LINK
i.LINK端子を持つ機器間でデジタル映像やデジタル音声などのマルチメディア系のデータの双方向通信を行ったり、接続した機器を操作したりできるシリアル転送方式のインターフェースです。

Ir（アイアール）システム
本機からの録画予約を実行するためのシステムです。録画開始の時刻になると、設定されたリモコン信号を、ビデオリモートコントローラーから録画機器へ送ります。

PCM
アナログ音声をデジタル音声に変換する方式の一つです。「パルス・コード・モジュレーション：パルス符号変調」の略で、手軽にデジタル音声が楽しめます。

S（エス）1映像信号
S映像信号にフルモード（縦長の映像）を自動判別するための識別信号を重畳させた信号。画面サイズが16:9のテレビでは識別信号を検出して自動的に画面サイズを「フル」に切り換えます。

S（エス）映像信号
映像信号を輝度信号と色信号に分離した信号。鮮明で色にじみの少ない映像が楽しめます。

XGA（エックスジーエー）（eXtended（エクステンデッド） Graphics（グラフィックス） Array（アレイ））
VGA（640×480ドット）をさらに拡張したグラフィックスの表示規格で、1024×768ドットの解像度を実現します。

110度CSデジタルチューナー
現行のハイビジョンテレビやBSまたはCS受信機で110度CSデジタル放送を見るときに接続する機器。
本機は110度CSデジタルチューナーを内蔵しています。

110度CSデジタル放送
CSデジタル放送の中でも特に、東経110度に打ち上げられた新衛星からの放送2002年3月より放送開始されました。

525i/525p/1125i/750p/1125p
デジタル放送の各種映像信号の走査線数と走査方式を表した呼称。本機は525i/525p/1125i/750pの4方式に対応しています。(数字は走査線数、「i」は「インターレース」、「p」は「プログレッシブ」を表します。)

アイコン
各種の情報を簡単な図などで、シンボルとして表示。

暗証番号
視聴年齢制限のかかった番組を視聴するときや、ペイ・パー・ビュー番組を購入する際などに使用する番号。最初の設定を行う際に、登録します。

インターレース
従来の映像方式。半分の走査線を交互に表示することによって映像を再現します。

用語解説（つづき）

液晶ディスプレイ
液晶を封入したパネルの電極間に電気を通すと、映像として見えるように開発された表示素子。環境に配慮した低消費電力で動作します。

共聴
集合住宅で、一カ所のアンテナで受信した電波を各家庭に配るしくみ。

ゴースト
放送局からの電波が地上波アンテナに届く前に、建物や地形に反射することで主電波より遅れて届き2重3重の映像になることです。

コピーガード
著作権保護のため、録画ができないようにするための機能。

コンポーネント映像端子
映像信号を輝度信号（Y）と色差信号（C_b/P_b、C_r/P_r）の3つのコンポーネント（構成要素）に分離して伝送する接続方法です。
コンポーネント映像端子は３つの端子に分かれているので、接続には3つのプラグに分かれた専用コード（コンポーネントコード）を用います。
通常の映像端子に比べ、色のキレがよく、ちらつきのない画質が得られます。

視聴年齢制限
大人向けの番組などで、視聴できる年齢を制限する機能。

視聴予約
予約の1つ。予約した時間になると、その番組に切り換わる。

ジャンル
番組の種類。見たい番組をさがすときに使う。

受信契約
有料放送を受信するために各放送会社とかわす契約。

受信チャンネル
受信できる放送局のチャンネル。新聞のテレビ欄などに載っているチャンネル番号のことです。

信号切換
複数の映像・音声・データを切り換える機能。

ダウンロード
BS・110度CSデジタルチューナーのマイコンプログラムを電波を使って新しくすること。

デジタルE.E.（イーイー）
Ecology & Economy（目にやさしい省電力）＋Electronic Eye（電子の目）
部屋の明るさに合わせて、画面の明るさを自動的に調節します。

デジタルピュア（Digital pure）
高画質を実現する「受信チューナー・映像を処理するデジタル回路・ブラウン管に表示する回路など」の技術の総称です。

内線発信番号
外に電話をかけるときに、相手の電話番号の前につける番号。

番組表（電子番組ガイド / EPG（イー・ピー・ジー））
衛星デジタル放送のデータとして送られてくる番組の情報を、見やすくまとめて表示する機能。番組を探したり、予約したりできる。

ビデオリモートコントローラー
録画予約時に、Irシステムによるリモコン信号をビデオデッキに送り、操作する機器。リモコンの送信部に相当する。

プログレッシブ(750p、525p)
一度にすべての走査線で表示（インターレースではその半分）しているため、従来より高精細な映像方式。本機はDETを使い、さらに最適化しています。

ペイ・パー・デイ（PPD）
１日単位で料金を払うシステム。

ペイ・パー・ビュー（PPV）
見た分だけ料金を支払うシステム。

ボード
放送局から送られる受信者あてのお知らせ。

マルチチャンネル放送
BSデジタル放送の特長の１つ。情報を圧縮することによって、1チャンネルで最大3チャンネルの放送が可能（標準画質放送時）。

メール
放送局から送られる個人あての手紙。
本機からのメッセージもメールとして扱われる場合があります。

録画予約
予約の１つ。予約した時間になると、録画が始まります。

MPEG2 AACに関する使用特許番号の表示
本機において、MPEG2 AAC に関する下記番号の特許（出願中も含む）を使用しています。
特許番号（出願番号）
5,848,391 5,291,557 5,451,954 5,400,433 5,222,189 5,357,594 5,752,225 5,394,473
5,583,962 5,274,740 5,633,981 5,297,236 4,914,701 5,235,671 07/640,550 5,579,430
98/03037 97/02875 97/02874 98/03036 5,227,788 5,285,498 5,481,614 5,592,584
5,781,888 08/039,478 08/211,547 5,703,999 08/557,046 08/894,844 5,299,238 5,299,239
5,299,240 5,197,087 5,490,170 5,264,846 5,268,685 5,375,189 5,581,654 5,548,574
08/506,729 08/576,495 5,717,821 08/392,756

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期限

当社は液晶テレビの補修用性能部品を、製造打ち切り後、最低8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

お買い上げの販売店または最寄りの「ビクターサービス窓口」にお問い合わせください。（☞184、185ページ）

修理を依頼されるときは

174～177ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理の際は保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店及び、ビクターサービスが修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　名	ビクター液晶テレビ
型　名	LT-26LC4/LT-26LC41
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印等も合わせてお知らせください。
お　名　前	
電話番号	（　　）　－

修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器設備費、一般管理費が含まれています。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

＋

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

愛情点検　**●長年ご使用のテレビの点検をぜひ！**

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか

●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
●上下、または左右の映像が欠けて映る。
●映像が時々、消えることがある。
●変なにおいがしたり、煙が出たりする。
●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。

ご使用を中止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして必ず販売店にご相談下さい。

ちょっとした心づかいでテレビの安全

サービス窓口案内

ビクターサービス窓口案内

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご用命ください

ご贈答品等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、機種名をご確認の上、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

●修理についてのご相談窓口

ビクターサービスエンジニアリング株式会社

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。
T.C.はテクニカルセンターの略称です。

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
北海道				
北海道	札幌S.C.	(011)898-1180	004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1丁目2-29
	旭川S.C.	(0166)61-3659	070-8012	旭川市神居二条3-2-15
	北見S.S.	(0157)25-8557	090-0037	北見市山下町4-7-19
	釧路S.S.	(0154)24-0797	085-0005	釧路市松浦町3-3
	帯広S.S.	(0155)24-4493	080-0806	帯広市東六条南12-11
	函館S.S.	(0138)52-5324	040-0001	函館市五稜郭町4-16函館五稜郭MFビル1F
東北				
青森	青森S.C.	(017)723-2261	030-0844	青森市桂木4-6-17
	八戸S.S.	(0178)44-4521	031-0803	八戸市諏訪2-2-36
	弘前S.S.	(0172)28-0165	036-8084	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡S.C.	(019)637-0121	020-0835	盛岡市津志田9地割24-1
	水沢S.S.	(0197)22-2773	023-0815	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田S.C.	(018)824-3189	010-0953	秋田市山王中園町4-1
	大館S.S.	(0186)43-0980	017-0874	大館市美園町5-6
	横手S.S.	(0182)32-8873	013-0064	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台S.C.	(022)287-0151	984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13
	石巻S.S.	(0225)94-7711	986-0853	石巻市門脇字四番谷地8-18
山形	山形S.C.	(023)642-0279	990-2412	山形市松山3-12-18
	酒田S.S.	(0234)26-7145	998-0842	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山S.C.	(024)952-6331	963-0205	郡山市堤1-3
	いわきS.S.	(0246)27-7991	973-8409	いわき市内郷御台境町鶴巻6-1
	会津若松S.S.	(0242)38-1355	965-0831	会津若松市表町1-44ハイツシンフォニー101号
	福島S.S.	(024)553-9437	960-0103	福島市本内字南原26-1
関東・甲信越				
新潟	新潟S.C.	(025)242-3431	950-0084	新潟市明石1-2-19
	長岡S.S.	(0258)24-8391	940-0012	長岡市下下条2-1366-1
	上越S.S.	(025)545-1734	942-0081	上越市五智1-11
長野	長野S.C.	(026)221-6583	380-0913	長野市川合新田962-1
	松本S.S.	(0263)25-9165	390-0828	松本市庄内2-4-21
群馬	前橋S.C.	(027)255-5921	371-8543	前橋市大渡町1-10-1 日本ビクター㈱前橋工場第2棟
栃木	宇都宮S.C.	(028)638-1639	321-0953	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	水戸S.C.	(029)246-1560	310-8528	水戸市元吉田町1030 日本ビクター㈱水戸工場技術棟1F
	土浦S.S.	(029)821-8756	300-0813	土浦市富士崎1丁目10-1
山梨	甲府S.S.	(055)237-4016	400-0864	甲府市湯田2-11-5
千葉				
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	**(03)5803-2888**	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	千葉S.C.	(043)246-2588	261-0001	千葉市美浜区幸町2-1-1
	柏S.C.	(04)7175-4322	277-0863	柏市豊四季512-10-67
	浦安S.S.	(047)353-6189	279-0001	浦安市当代島2-13-27

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
東京				
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	**(03)5803-2888**	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	本郷S.C.	(03)5684-8254	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル1F
	秋葉原S.S.	(03)3251-2128	101-0021	東京都千代田区外神田1-6-6
	練馬S.C.	(03)3993-7520	176-0014	東京都練馬区豊玉南1-19-1
	大田S.C.	(03)3727-9385	145-0062	東京都大田区北千束2-20-6
	八王子S.C.	(0426)46-6914	192-0045	東京都八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	CSセンター	(03)3874-5231	110-0003	東京都台東区根岸5-4-3
埼玉				
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	**(03)5803-2888**	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大宮S.C.	(048)654-5241	331-0814	さいたま市北区東大成町2-658-1
	熊谷S.S.	(048)553-5105	361-0057	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
神奈川				
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	**(03)5803-2888**	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	横浜S.C.	(045)651-0403	231-0028	横浜市中区翁町1-3-1
	川崎S.C.	(044)975-1879	216-0024	川崎市宮前区南平台3-2（第2石原ビル）
	平塚S.C.	(0463)36-2160	254-0065	平塚市南原2-4-5
	相模原S.C.	(042)776-2052	229-0004	相模原市古淵3-7-4
	横浜T.C.	(046)234-4500	243-0401	海老名市東柏ヶ谷6-19-26
静岡				
静岡	静岡S.C.	(054)282-4141	422-8043	静岡市中田本町62-31 中田ビル1階
	沼津S.S.	(055)922-1557	410-0041	沼津市筒井町6-5
	浜松S.S.	(053)421-3441	435-0041	浜松市北島町785
東海・北陸				
愛知	名古屋S.C.	(0568)25-3235	481-0041	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河S.C.	(0564)51-5931	444-0833	岡崎市柱曙3-10-12
	豊橋S.S.	(0532)64-0815	440-0028	豊橋市多米東町１丁目1-1
岐阜	岐阜S.S.	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重S.S.	(0593)52-0841	510-0076	四日市市堀木2-15-2
	津S.S.	(059)229-7780	514-0815	津市大字藤方485-18
富山	富山S.C.	(076)425-2397	939-8211	富山市二口町4丁目1-3
石川	金沢S.C.	(076)269-4821	921-8062	金沢市新保本4丁目65-17
福井	福井S.S.	(0776)53-6916	910-0843	福井市西開発3-211

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。　0304

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
近畿				
滋賀	滋賀S.S.	(077)582-5812	524-0033	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	**(06)6304-5731**	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	京都S.C.	(075)644-0247	612-8401	京都市伏見区深草下川原町31番地の1
京都北部	福知山S.S.	(0773)22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	**(06)6304-5731**	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	奈良S.C.	(0744)24-6271	634-0007	橿原市葛本町834-2
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	**(06)6304-5731**	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	堺S.C.	(072)254-2881	591-8032	堺市百舌鳥梅町3丁21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	大阪メンテナンスセンター	(06)6304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山S.S.	(073)472-6799	640-8323	和歌山市太田430-8
	田辺S.S.	(0739)22-9976	646-0031	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	**(06)6304-5731**	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	神戸S.C.	(078)252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	姫路S.S.	(0792)34-3833	670-0975	姫路市中地南町11-1

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
中国				
岡山	岡山S.C.	(086)243-1566	700-0926	岡山市西古松西町8-23
広島	広島S.C.	(082)243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17
	福山S.S.	(084)931-6984	721-0973	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口S.C.	(083)973-3708	754-0022	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳山S.S.	(0834)27-1331	745-0042	徳山市野上町2-35
	下関S.S.	(0832)51-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23
四国				
香川	高松S.C.	(087)866-1200	761-8057	高松市田村町205-1
徳島	徳島S.C.	(088)622-7387	770-8052	徳島市沖浜2-37
高知	高知S.S.	(088)882-0546	780-8122	高知市高須新町4-143
愛媛	松山S.C.	(089)923-0372	791-8015	松山市中央1-4-12
	宇和島S.S.	(0895)20-1018	798-0087	宇和島市坂下津甲407-40
九州・沖縄				
福岡 佐賀	福岡S.C.	(092)431-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米S.S.	(0942)39-3495	830-0038	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州S.C.	(093)921-3981	802-0064	北九州市小倉北区片野2-15-12
長崎	長崎S.C.	(095)862-5522	852-8021	長崎市城山町9-13
	佐世保S.S.	(0956)33-5568	857-1166	佐世保市木風町1467-2
大分	大分S.C.	(097)543-1422	870-0822	大分市大道町4-1-2
熊本	熊本S.C.	(096)353-4536	861-4101	熊本市近見8-1-10
宮崎	宮崎S.S.	(0985)24-5401	880-0032	宮崎市霧島町3-59
	延岡S.S.	(0982)35-7077	882-0857	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島S.C.	(099)282-8818	890-0034	鹿児島市田上7丁目9-8
沖縄	沖縄S.C.	(098)898-3631	901-2224	沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16
山陰				
山陰ビクター販売（株）				
島根	松江S.C.	(0852)31-8900	690-0825	松江市学園1丁目16-39
鳥取	鳥取S.S.	(0857)23-2151	680-0911	鳥取市千代水1丁目22-1

主な仕様

システム

●**受信方式** NTSC（VHF/UHF/CATV）

●**受信チャンネル**
VHF 1～12、UHF 13～62
CATV C13～C38
BSデジタル放送のチャンネルに対応
001～999
110度CSデジタル放送のチャンネルに対応
001～999

●**画面寸法（幅X高さX対角）**
56.6 cm x 33.9 cm x 66 cm

●**表示画素数** 水平：1280
垂直：768

●**スピーカー** 6.6 cm丸形、2個

●**音声出力** 10 W＋10 W

入出力端子

●**アンテナ端子**
VHF/UHF：75Ω、F型
BS・110度CS：75Ω、F型
（BS・110度CSコンバーター用電源
DC15V 4W 重畳）

●**ビデオ1、ビデオ2、ビデオ3/DVD入力端子**
S1映像(S映像)：
Y：1V(p-p)、75Ω、同期負
C：0.286V(p-p)(バースト信号)、75Ω
（ビデオ3/DVDを除く）
映像： 1V(p-p)、75Ω、同期負
音声： 0.5V(rms)、ハイインピーダンス

●**ビデオ3/DVDコンポーネント映像入力端子**
(1125i)
Y ：1V(p-p)、75Ω±20%
同期信号分±0.35V(p-p)、3値同期
P_b、P_r ：±0.35V(p-p)、75Ω±20%
(750p/525p/525i)
Y ：1V(p-p)、75Ω、同期負
C_b、C_r ：0.7V(p-p)、75Ω±20%

●**D4映像入力（ビデオ1入力）端子**
映像： D端子（D4）

●**モニター/録画出力端子**
S1映像： Y：1V(p-p)、75Ω、同期負
C：0.286V(p-p)(バースト信号)、75Ω
映像： 1V(p-p)、75Ω、同期負
音声： 0.5V(rms)、ローインピーダンス

●**i.LINK入出力端子（2系統）**
4ピン S400

●**光デジタル音声出力端子**
－18dBm、660nm
メニュー設定によりMPEG2 AACと
PCMを切り換えて出力

●**電話回線端子**
2Pモジュラージャック
モデム伝送レート 2400bps

●**ビデオリモートコントローラー端子**
ミニジャック

●**ヘッドホン端子**
直径 3.5 mm、ステレオミニジャック

電源部・その他

●**使用電源** AC100V、50/60Hz

●**消費電力** 140W（待機時 0.6W）
BS・110度CSデジタルチューナー部動作時（機能待機時）
22W（BS・110度CSコンバーター最大4Wを除く）

●**最大外形寸法（幅x高さx奥行）**
70.2 cm x 55.9 cm x 9.4 cm

●**質量（重さ）** 19.0 kg

●**付属品** 20ページ参照

●**別売品** アンテナ混合器 ：VZ-84

※ このテレビを使用できるのは日本国内のみです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますのでご使用できません。This television set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
※ 仕様および外観は改良のため変更することがありますのでご了承ください。
※ テレビの型（32型、26型など）は画面寸法を表すものではなく、ディスプレイの外径対角寸法を基準とした大きさの目安です。
※ 写真や図は、説明をわかりやすくするために誇張・省略・合成をしています。実物とは多少異なりますのでご了承ください。
※ 本機は「家電・汎用品高調波抑制対策ガイドライン」に適合しています。

索　引

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 **ビクターサービスエンジニアリング株式会社**	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 **お客様ご相談センター**
184、185ページをご覧ください。	フリーダイヤル **0120−2828−17** 携帯電話・ＰＨＳ・ＦＡＸなどからのご利用は **東京** 電話 **(03) 5684−9311** FAX **(03) 5684−9317** 〒113-0033　東京都文京区本郷3-14-7　ビクター本郷ビル **大阪** 電話 **(06) 6765−4161** FAX **(06) 6765−4891** 〒550-0013　大阪市西区新町3-1-31　新町レナウンビル

ビクターホームページ　http://www.jvc-victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

AV＆マルチメディアカンパニー

〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

0903-HH-MW-VP